

	發生年齡	發生基地	數	大	サ	形	狀	表	面	硬	度	周圍トノ關係	皮	膚	疼	痛	轉	移	再	發	成
Fibrom	不 定	皮下又ハ粘膜炎組織 臟器内結締組織	單發又ハ多發	通常小ナルモ、軟性纖維腫ハ巨大トナルコトアリ	圓形、橢圓形、稍々不正形又ハ有蓋下垂	扁平		硬或軟		移動ス		多クハ尋常稀ニ菲薄	(-)	(-)	(-)			(-)			緩慢
Myxom	不 定 (併シ先天性ノモノ多シ)	同上 (粘膜炎組織ハ幼若ナル結締組織ニ相當ス)	多ク單發	著大トナラズ、併シ混合腫瘍ニ於テハ巨大トナルコトアリ	圓形、橢圓形	扁平		軟		移動ス		多クハ尋常	(-)	(-)	(-)			(-)			緩慢
Lipom	幼年又ハ壯年	皮下ニ最モ多ク、其他粘膜炎、腹腔内等	單發稀ニ多發	時トシテ巨大トナルコトアリ(軟性脂肪腫)	圓形、橢圓形、稍々不正形、稀ニ分葉狀	分葉狀凹凸		弾力性軟或ハ稍々靱		移動ス		多クハ尋常、大ナレバ菲薄	(-)	(-)	(-)			(-)			緩慢速(轉)
Osteom	幼 年	骨 (稀ニ皮下結締組織内)	單發又ハ多發	巨大トナラズ、併シ肉腫變性セルトキハ巨大トナル	不正形	小結節狀凹凸		骨樣硬度		多クハ骨ニ關係アリ		多クハ尋常	(-)	(-)	(-)			(-)			甚ダ
Chondrom	幼年、時トシテ先天性	骨端、其他耳下腺附近、睾丸等	單發又ハ多發	同上	稍々不正形	稍々粗大結節狀凹凸		軟骨樣硬度		多クハ骨ニ關係アリ他ニハ移動ス		多クハ尋常	(-)	(-)	(-)			(-)			緩慢ノハ
Myom	壯 年	子宮、稀ニ胃、腸粘膜炎、皮下等	單發、時トシテ多發	子宮筋腫ハ巨大トナルコトアルモ、其他ノモノハ大トナラズ	圓形、橢圓形	扁平、多發ナレバ粗大凹凸		硬靱		多クハ子宮ニ關係アリ他ニハ移動ス		尋常	(-)	(-)	(-)			(-)			緩慢
Neurom	不 定	皮下神經纖維稀ニ交感神經節	單發又ハ多發	巨大トナラズ	圓形又ハ橢圓形	扁平		硬靱		移動ス		多クハ尋常		著明ナルコトアリ	(-)			(-)			緩慢
Gliom	不 定	腦、脊髄、眼	單發	巨大トナラズ、併シグリオ肉腫ハ稍々大トナル	圓形或ハ稍々不正形	扁平		硬或軟		腦、脊髄内或眼球内ニアリ		尋常	(-)		時トシテ血行轉移	時トシテ(+)					慢
Angiom	先天性ナルコト多シ	皮下ニ最モ多ク、稀ニ肝、脾、骨、筋肉等	單發、時トシテ多發	通常大トナラズ、併シ海綿狀血管腫ハ稍々大トナルコトアリ	圓形或ハ不正形	輕度ノ凹凸		軟、壓縮性(内部ニ小結節アルコトアリ)		周圍トノ限界明或不明		菲薄、青色又ハ赤色、深部ナレバ尋常	(-)	(-)	時トシテ(+)						緩慢
Lymphangiom	先天性ナルコト多シ	同上	多ク單發	同上	圓形或ハ不正形	輕度ノ凹凸		軟、壓縮性(結節ナシ)		周圍トノ限界明或不明		菲薄又ハ尋常	(-)	(-)	時トシテ(+)						緩慢
Endotheliom	不 定	耳下腺附近、稀ニ皮下等	單發	巨大トナラズ、併シ惡性變性ヲナセルトキハ著大トナルコトアリ	圓形又ハ橢圓形	扁平		稍々硬靱		移動ス		多クハ尋常	(-)		甚ダ稀ニ血行轉移	甚ダ稀ニ(+)					緩慢
Papillom	不 定	皮膚、粘膜炎、稀ニ膀胱、囊腫内等	多ク單發	巨大トナラズ	疣狀、乳頭狀或ハ絨毛狀等	乳頭狀又ハ粗大凹凸著明		硬靱		移動ス		尋常或色素沈着	(-)	(-)	(-)						多ク
Adenom	壯 年	乳腺、甲狀腺、腎臟、肝臟粘膜炎、皮膚腺等	多ク單發	乳腺腺腫ハ時トシテ大トナルコトアルモ、其他ハ大トナラズ	圓形或ハ不正圓形	扁平或ハ輕度ノ凹凸		硬靱		移動ス		多クハ尋常	(-)	(-)	(-)						稍々
Sarkom	多クハ壯年	皮下、筋肉、骨、各臟器等ノ結締組織又ハ他腫瘍ノ間質 黒色肉腫ハ皮膚	單發	屢々巨大トナル	圓形、不正圓形	大體扁平		軟或ハ硬 時トシテ羊皮紙樣啞靱音(骨肉腫)		初メ限局性後瀰漫性		初メハ癒着ナキモ後癒着 時トシテハ表面ノ皮膚ニ靜脈ノ擴張ヲ認ム	多クハ無痛		血行轉移多シ 末期ニハ淋巴行轉移アルコトアリ	屢々(+)					一般 硬キ
Karzinom	多クハ老年稀ニハ壯年	皮膚、粘膜炎、各種内臟器、其他乳頭腫、腺腫、畸形腫、囊腫等ヨリ癌腫變性	單發	著大トナルコトアルモ肉腫程巨大トナラズ	潰瘍狀、腫瘍狀或滲潤性ニシテ圓形、不正形等種々	不同凹凸		硬靱、稍々軟		初期ニハ限局性ナルコトアルモ多クハ滲潤性ニシテ健康部トノ境界不明		皮下ニ發生セルモノモ容易ニ皮膚ト癒着スルコト多シ	初メ無痛、末期ニハ屢々劇痛		淋巴行轉移多シ 末期ニハ血行轉移(±) 腹腔ニテハ撒種ヲ生ズルコトアリ	屢々(+)					一般 テ稀 (硬)
Mischgeschwulst	先天性又ハ青春期ニ發育	睾丸、卵巢、薦骨部等	單發	時トシテ巨大トナルコトアリ	圓形、不正圓形、不正形	扁平或ハ輕度ノ凹凸		不同硬軟		多クハ移動ス		多クハ尋常	(-)	(-)	(-)						稍々

状	表面	硬 度	周囲トノ關係	皮 膚	疼 痛	轉 移	再 發	成 長	組 織 的 所 見 大 要
圓形、稍々不 有莖下垂	扁平	硬或軟	移動ス	多クハ尋常稀=非薄	(-)	(-)	(-)	緩慢	比較的緻密ノ結締組織基質ヨリ成リ 其中ニ比較的少數ノ細長ノ結締組織細胞核散在ス
圓形	扁平	軟	移動ス	多クハ尋常	(-)	(-)	(-)	緩慢稀=速	粘液組織基質ノ中ニ星芒狀ノ細胞核散在
圓形、稍々不 =分葉狀	分葉狀凹凸	弾力性軟或ハ稍々靱	移動ス	多クハ尋常、大ナレバ 非薄	(-)	(-)	(-)	緩慢、時トシテハ 速(軟性)	脂肪組織ヨリ成リ、細胞ハ脂肪球ニ充タサル 核ハ細胞ノ側壁ニ附着ス
	小結節狀凹凸	骨様硬度	多クハ骨ニ關係アリ	多クハ尋常	(-)	(-)	(-)	甚ダ緩慢	硬キ骨基質ヨリ成リ(切片標本ヲ作ルニハ脱灰法ヲ要ス) 其中ニ星狀ノ骨細胞核散在ス
正形	稍々粗大結節狀凹凸	軟骨様硬度	多クハ骨ニ關係アリ他 ニハ移動ス	多クハ尋常	(-)	(-)	(-)	緩慢、悪性ノモ ノハ速	軟骨基質ヨリ成リ、其中ニ特有ノ被膜ヲ有スル軟骨細胞散在ス
圓形	扁平、多發ナレバ粗 大凹凸	硬靱	多クハ子宮ニ關係アリ 他ニハ移動ス	尋常	(-)	(-)	(-)	緩慢或速(子宮)	筋腫ノ間質ハ時ニヨリテ多少アリ、筋纖維束狀ヲナシテ存シ 筋細胞核ハ棍棒狀ヲナシ兩端鈍ナルコト特異、紡錘細胞肉腫ト鑑別ヲ要ス
橢圓形	扁平	硬靱	移動ス	多クハ尋常	著明ナルコトアリ	(-)	(-)	緩慢	多クハ纖維腫ト合併シ、其中ニ神經纖維ヲ認ム
稍々不正形	扁平	硬或軟	腦、脊髄内或眼球内ニ アリ	尋常	(-)	時トシテ血行轉移	時トシテ(+)	慢速或速(悪性)	「グリア組織ヨリ成リ、其中ニ蜘蛛纖維ヲ有スル「グリア細胞アリ 併シ悪性ノモノハ圓形細胞肉腫ト區別困難
ハ不正形	軽度ノ凹凸	軟、壓縮性(内部ニ小結 節アルコトアリ)	周圍トノ限界明或不明	非薄、青色又ハ赤色、 深部ナレバ尋常	(-)	(-)	時トシテ(+)	緩慢或稍々速	(a) 單純性ノモノハ結締組織間質ニ小血管アリ、其内被細胞ハ短肥ナリ (b) 囊狀ナルハ血管擴張ス、(c) 囊狀血管腫ハ血管全體ニ囊狀ヲ呈ス
ハ不正形	軽度ノ凹凸	軟、壓縮性(結節ナシ)	周圍トノ限界明或不明	非薄又ハ尋常	(-)	(-)	時トシテ(+)	緩慢或稍々速	(a)(b) ハ血管腫ノ遺構ニ類スレドモ管内ニ血球ヲ有セズ (c) 囊狀淋巴管腫ハ囊腫狀ヲ呈ス
橢圓形	扁平	稍々硬靱	移動ス	多クハ尋常	(-)	甚ダ稀ニ血行轉移	甚ダ稀ニ(+)	緩慢或稍々速	結締組織間質内ニ内被細胞索アリ、屢々細胞索内ニ管腔アリ、中ニ淋巴變性物アリ、 或ハ細胞群内ニ特有ナル層狀體ヲ認ム、間質ト細胞間ノ關係ハ密ナリ
乳嘴狀或ハ 等	乳嘴狀又ハ粗大凹凸 著明	硬靱	移動ス	尋常或色素沈着	(-)	(-)	(-)	多クハ緩慢	上皮及乳頭ノ増殖著明ニシテ特有ナル状態ヲ呈ス
ハ不正圓形	扁平或ハ軽度ノ凹凸	硬靱	移動ス	多クハ尋常	(-)	(-)	(-)	稍々緩慢	結締組織間質内ニ腺腔アリ、(a) 單純ナルハ腔甚ダ狭ク、(b) 擴張性ナルハ腔甚ダ廣ク、 單純ニ擴張シ或ハ其中ニ乳嘴ノ突起ヲ見ル
不正圓形	大體扁平	靱軟或ハ硬 時トシテ羊皮紙様啞聾音 (骨肉腫)	初メ限局性 後瀰漫性	初メハ癒着ナキモ 後癒着 時トシテハ表面ノ皮膚 ニ腫脹ノ擴張ヲ認ム	多クハ無痛	血行轉移多シ 末期ニハ淋巴行轉 移アルコトアリ	屢々(+)	一般ニ速 硬キハ比較的遅	(a) 圓形細胞肉腫ハ淋巴球又ハ之ヨリ大ナル圓形細胞ヨリ成リ、間質ニ乏シ (b) 紡錘細胞肉腫ハ紡錘形ノ細胞ヨリ成リ時ニ長短アリ、稍々間質多シ (c) 巨大細胞肉腫ハ紡錘細胞肉腫中ニ多核ヲ有スル巨大細胞アリ (d) 骨肉腫ハ多クハ紡錘細胞肉腫ニシテ其中ニ骨膜等ヨリ發生セル骨増殖ヲ認ム (e) 黑色肉腫ハ不同ノ大サ及ビ形状ヲ有スル細胞ヨリ成リ、其中ニ褐色ノ色素ヲ含有ス
腫瘍狀或滲潤 テ圓形、不正形	不同凹凸	硬靱、稍々靱軟	初期ニハ限局性ナルコ トアルモ多クハ滲潤性 ニシテ健康部トノ境界 不明	皮下ニ發生セルモノモ 容易ニ皮膚ト癒着スル コト多シ	初メ無痛、末期ニ ハ屢々劇痛	淋巴行轉移多シ末 期ニハ血行轉移(±) 腹腔ニテハ撒種ヲ 生ズルコトアリ	屢々(+)	一般ニ速、時トシ テ稍々緩慢 (硬キ程成長緩)	(a) 表皮癌ハ癌細胞ヨリ成リ、癌球、棘細胞、角化變性特有、然シ不明ナルコトアリ (b) 單純性癌ハ癌細胞間質ヨリ成リ、癌細胞不同骰子形又ハ圓形ニシテ癌細胞ノ大 サ、密度種々、間質トノ關係粗 (c) 腺癌ニ於ケル癌細胞ノ基底細胞ハ圓柱狀、中央ニ於テハ不正圓形又ハ骰子形ニシ テ中央ニ腺腔ヲ有シ又ハ乳嘴狀突起アリ或ハ充實性ナリ (d) 膠様癌或ハ粘液癌ハ癌細胞又ハ間質ノ膠様或ハ粘液變性アリ
不正圓形、不正形	扁平或ハ軽度ノ凹凸	不同硬軟	多クハ移動ス	多クハ尋常	(-)	(-)	(-)	稍々緩慢或速	種類ニヨリテ種々雜多ナリ、充實性或囊腫狀ニシテ、各組織或ハ臓器又ハ種々ノ腫瘍 成分混生ス(本文参照)

vii). 其他 erkrankte Organe ニ於テ種々ノ Untersuchung ラ要スル
コトアリ。

(Differential-Diagnose ハ別表ニ記載ス)。

(Therapie ニ就テハ各腫瘍ノ條下ニ述ブ)。

B) Spezielle Geschwulstlehre

I. Fibrom 纖維腫 *Fibroma*.

Bindegewebe ヨリ成ル gutartige Geschwulst ニシテ erworben 又ハ an-
geboren ニ entstehen ス。

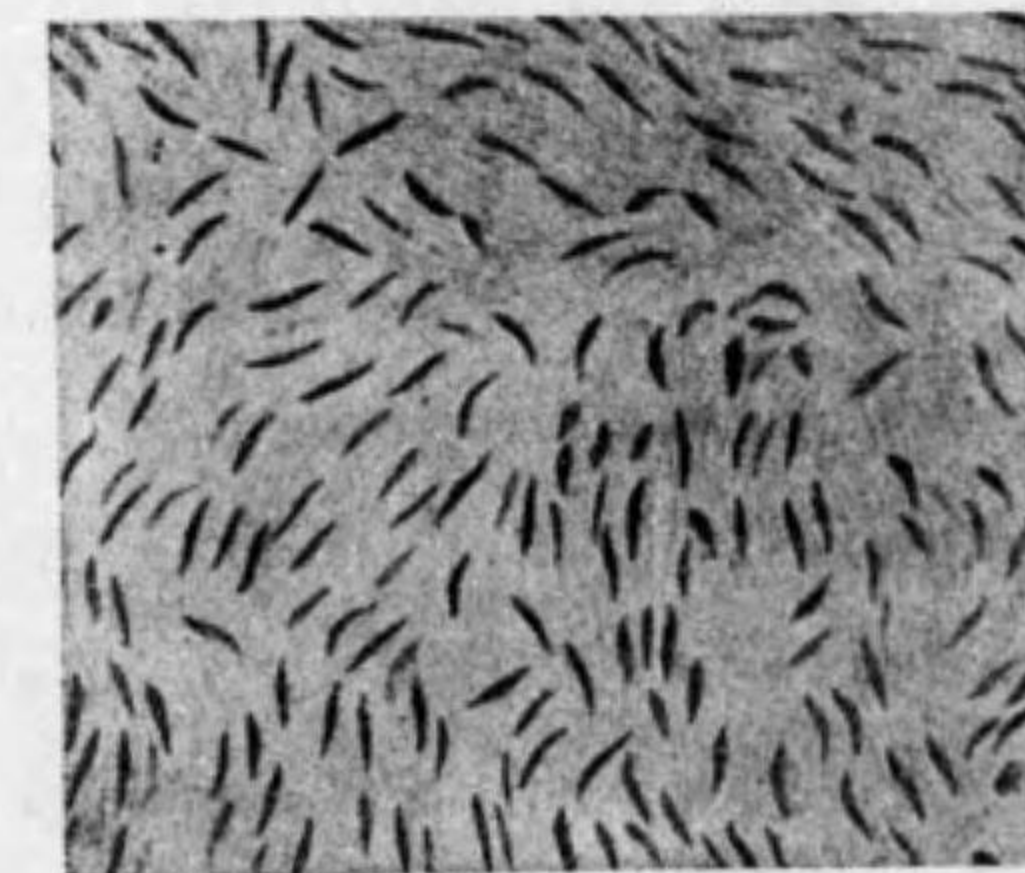
Lokalisation: Bindegewebe ノ存スル總テノ場所ニ發生スレドモ, 特ニ
subkutanes Bindegewebe (Gesicht, Nacken, Rumpf, Extremitäten 等) ニ多ク,
其他 submucosa, subserosa, Nerven, Sehnenscheide, Fascia, Periost, Magen,
Darm, Ovarium, Niere, Mamma, Uterus, Lunge 等ノ各所ニ發生ス。

Bau: lokalisiert ノ Tumor ニシテ其 Schnittfläche ハ grauweiss, blutarm ニシテ Bindegewebe
ノ Faserverlauf ラ認ム。

Histologisch: 主トシテ Bindegewebe ヨリ成ル, 其中ニ schmal lang ニシテ beide Enden ノ
spitzig ナル Bindegewebszellkern zerstreuen
ス。hartes Fibrom ニテハ此 Zellen 特ニ
schmal lang ニシテ其 Zahl 少ク, weiches
Fibrom ニテハ稍々 kurz und dick ニシテ
其 Zahl 多シ, 其 Zahl 殊ニ多キ時ハ
Spindelzellensarkom ト differenzieren スルコ
ト schwer ナリ。其 Übergangsform ヲ
Fibrosarkom (纖維肉腫)ト稱ス。

時トシテ Fibrom ノ中ニ schleimige De-
generation ラ見ル。其他種々ノ Geschwülste
ト kombinieren シ來ルコトアリ。尙 histolo-
gisch ニハ **Narbengewebe** ト ähnlich ナルモ entzündliche Rundzelleninfiltration ノ多寡ニヨリ
テ區別セラル。

第 六 十 五 圖



纖 維 腫

Symptome: 大體之ヲ a) Hartes Fibrom (硬性纖維腫)ト, b) Weiches Fibrom (軟性纖維腫)ノ 2 Arten ニ分ツ。

i) Form. knotig, polypös, papillös 等種々ニシテ, 毎常 Begrenzung deutlich ナリ。

ii). Zahl. vereinzelt 又ハ multipel ナリ。特ニ Haut ノ weiches Fibrom ハ multipel ニ auftreten シ (Recklinghausensche Krankheit), 甚シキハ 其數 mehrere Tausend ニ及ブコトアリ (Fig. 68, 69)。

iii). Grösse. erbsengross—wallnuss-gross ナルモノ多シ, 併シ小ナルハ miliargross, 大ナルハ manneskopfgross 以上ナルコトアリ (特ニ Uterus, Ovarium, Mesenterium ニ entwickeln スルモノハ grösser ナリ)。

iv). Konsistenz. derb (hartes Fibrom) 又ハ etwas weich (weiches Fibrom) ナリ。

v). Wachstum. 多クハ langsam ナリ。併シ weiches Fibrom ハ hartes Fibrom ヨリモ etwas rasch ニ vergrößern ス。

Diagnose: 多クハ leicht。 Konsistenz, Wachstum ニヨリテ 診断セラル。Neurofibrom トハ Schmerz ノナキコトニヨリテ 區別セラル。特ニ multiples weiches Fibrom ハ 其 typisch ナル Zustand ニヨリテ Diagnose leicht ナリ。併シ innere Eingeweide ニ於ケル Fibrom ハ klinisch ニ Diagnose ヲ下スコト多クハ unmöglich ナリ。

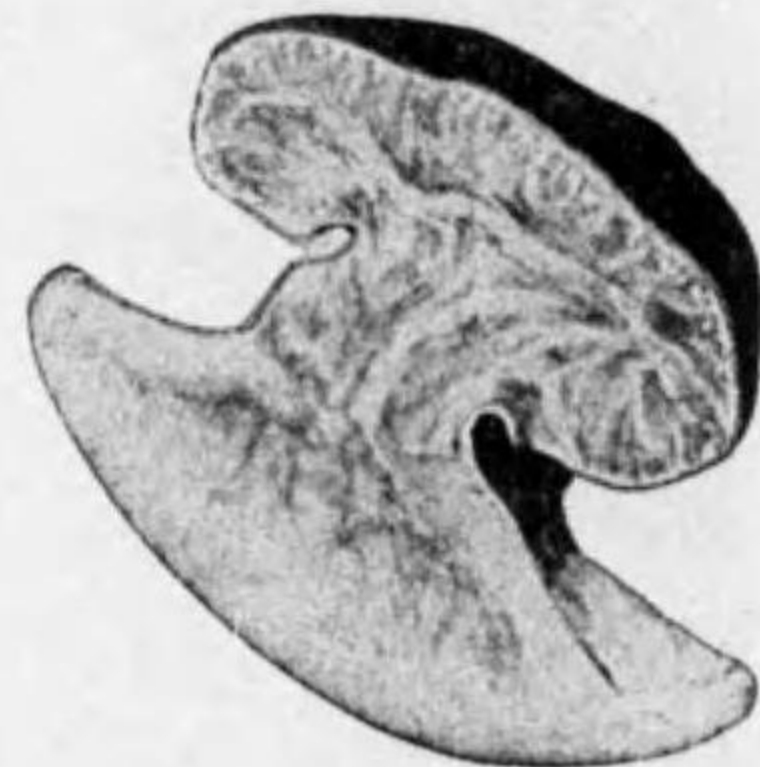
Therapie: gutartig ナルヲ以テ必ズシモ Behandlung ヲ要セザレドモ,

第六十六圖



背部ノ菌茸狀纖維腫 (硬性)

第六十七圖



同上断面

Exstirpation ヲ行フヲ sicher トス。併シ multiples Fibrom ニ對シテハ

第六十八圖



多發性軟性纖維腫 (大腿ノ瓣狀象皮病)

unmöglich ナリ。又 Thiosinamin, Fibrolysin ノ Wirkung ハ unsicher トス。其他漢法醫書ニハ 薏苡仁ノ煎浸ノ内服ヲ angeben スレドモ echter Tumor ニハ 其 Wirkung sicher ナラズ。

第六十九圖



皮膚ノ多發性軟性纖維腫及腋窩ノ肉腫

(Anhang): Narbenkeloid 癩痕ケロイド或蟹足腫

Cicatrikal-keiloid.

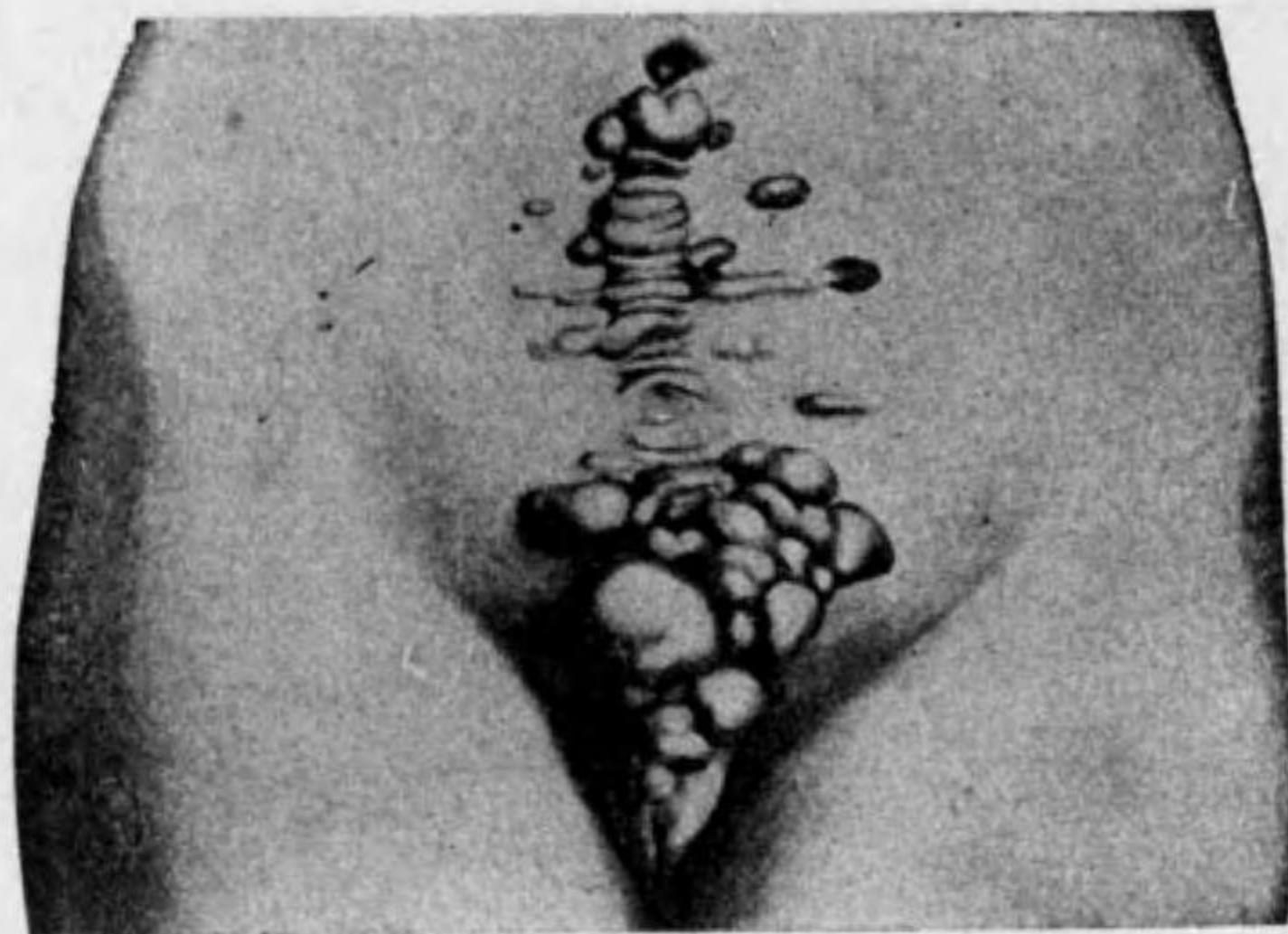
其 histologischer Bau ハ hartes Fibrom ト全ク同様ナリ。本症ノ Wesen ニ關シテハ 或ハ echte Geschwulst ナリト言ヒ, 或ハ einfach ニ

abnorme Wucherung
ヲナセルモノナリト
云フ。

Symptome: 本症
ハ Wunde, Verbrennung
或ハ Entzündungen
等ノ後ニ Hautニ
Narbe 生ジタル後ニ,
其 Narbengewebe ガ
abnormニ wuchernシ
テ tumorartigトナル
モノナリ。之ニバー
種ノ Disposition ア
リテ Narbenkeloidヲ
生ズル人ニ於テハ一
且 operativニ之ヲ
extirpieren スルモ,
更ニ betreffende Stelle
ニ又 Narbenkeloidヲ
entwickeln ス。

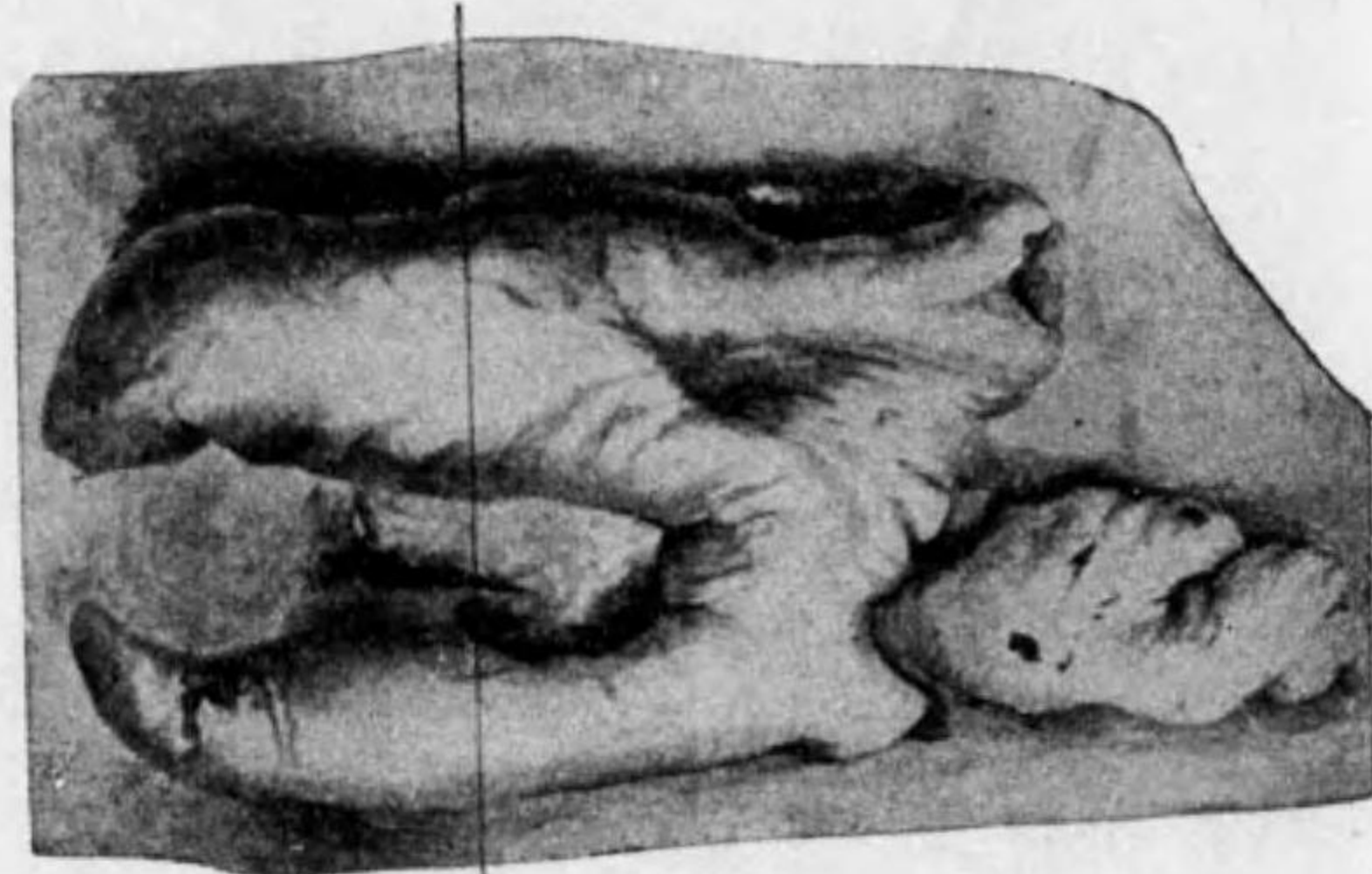
Narbenkeloid ノ
Formハ略々其 primäre
Narbe ノ形状
ニ entsprechen スレ
ドモ, 其 Vergrößerung
hochgradigナル
時ハ殆ド primäre
Formヲ認メ難シ。

第七十圖



開腹術後ノ癩痕ヨリ發生セル「ケロイド」

第七十一圖



火傷後ノ癩痕「ケロイド」

第七十二圖



同上断面 (n. Lexer)

Konsistenz hartニシテ全ク hartes Fibromト同様ナリ, 併シ echtes Fibrom
ト異リテ一定ノ Grösseニ達スレバ Entwicklungハ stillstehenシ或ハ多少
schrumpfen ス。

Diagnose: leicht, 他ニ differenzieren スベキモノナシ。

Therapie: Exzisionヲ行フモ rezidivieren スルヲ以テ erfolglos, 只 Ex-
zisionノ後 Hauttransplantationヲ行ヒ Hautränderヲ全ク bedecken スルコ
トニヨリテ Zweckヲ達シ得ルコトアリ。

Arzneimittelトシテハ 15% Thiosinaminalkohol, 10% Thiosinaminglycerin,
10% Fibrolysin-wässrige Lösung等ヲ 1週 2—3回宛 subkutan 又ハ Tumor
内ニ injizieren ス。時トシテハ 10% Thiosinamin-oder Fibrolysin-Kaliseife
ヲ lokalニ applizierenシテ heilen スルコトアリ。

薏苡仁煎劑ノ内服ガ Erfolgアルコトアリ (5—10 gr. ヲ煎劑トシテ一日
ニ内服セシム)。

其他 X-Strahlen, Radiumモ anwenden セラル。

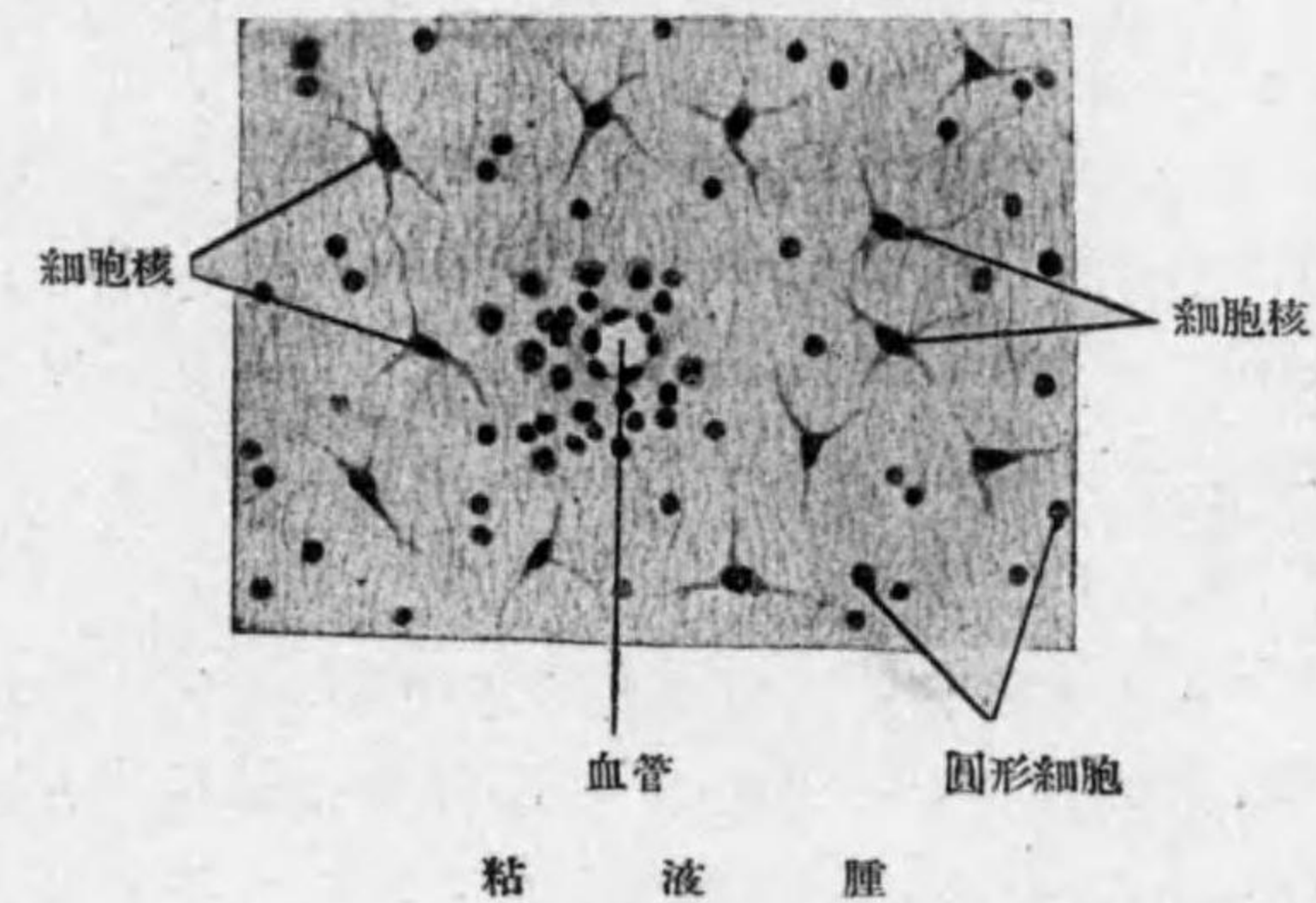
II. Myxom 粘液腫 Myxoma.

Schleimgewebeヨリ成ル Tumorナリ。多クハ angeborenニ生ジ, 又ハ junge Personニ認メ
ラル。

Bau: makroskopischニ
ハ Schnittfläche weichニシ
テ etwas transparent, grau-
weisslichニ見ユ。histolo-
gischニハ Grundsubstanz
ハ schleimgewebeヨリ成リ,
其中ニ sternförmigノ Zell-
kern zerstreutニ存在ス。比
較的 Blutgefässニ乏シ。

Reines Myxomハ ange-
borenニ entwickeln スルコ
トアレドモ sehr seltenナリ。

第七十三圖



細胞核

細胞核

血管

圓形細胞

粘液腫

多クハ andere Geschwülste ト kombinieren シ來ル, z. B. Myxofibrom, Myxolipom, Myxochondrom, Myxosarkom, Myxoendotheliom, Mischgeschwulst 等ノ如シ。

Tumor ノ中ニ Myxom ヲ kombinieren セル時ハ其部ノ Konsistenz weich ニシテ Wachstum relativ rasch ナリ。

Myxosarkom (粘液肉腫)。

Lokalisation 前者ト同様ナリ。Wachstum rasch ニシテ deutlich ニ vergrößern シ, 遂ニハ Kapsel ヲ durchbrechen

シテ Umgebung ニ infiltrativ ニ wachsen シ, 時トシテハ haematogene Metastase ヲ作ルコトアリ。

Histologisch ニハ Grunds substanz ニ 乏シク rundlich ニ 近キ Schleimgewebszellen reichlich ニ 存在ス。併シ rein ノ

Myxo-arkom ハ relativ selten ニシテ, **Myxochondrosarkom (粘液軟骨肉腫)** ナルモノ多シ。之ハ特ニ Rippe, Becken 等ノ Knochen ニ entwickeln スルコト多シ。

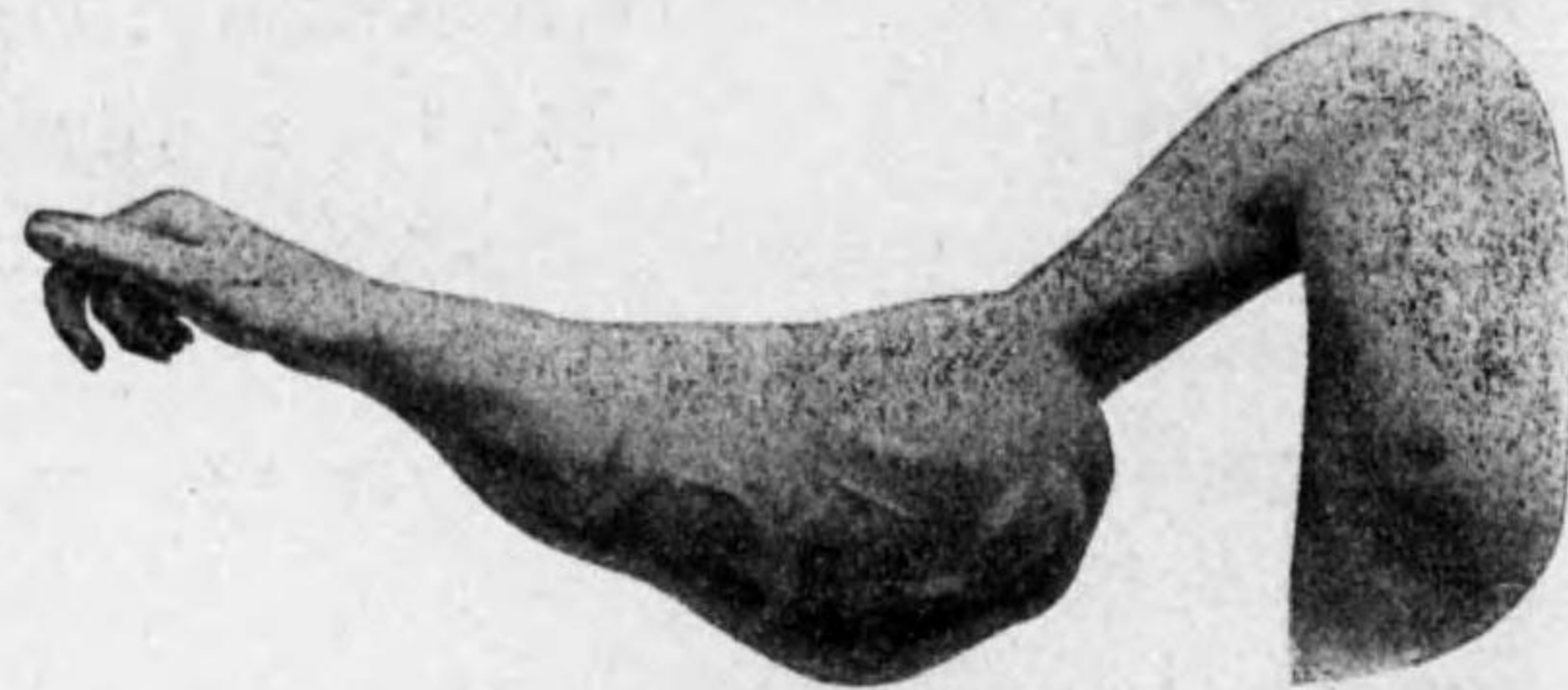
Therapie: 成ルベク frühzeitig ニ totale Exstirpation ヲ行フ。

III. Lipom 脂肪腫 Lipoma.

Entstehung: Lipom ハ relativ häufig ニ auftreten スル Tumor ニシテ Fettgewebe ノ übermässige Wucherung ニ 因ルモノナリ。angeboren 又ハ erworben (30—40 Lebensjahre ニ多シ) ニ entwickeln シ, 時ニハ或ル Missbildungen ニ 伴ヒ, 又ハ Trauma ノ後ニ entstehen スルコトアリ。Mann ヲリモ Frau ニ多シ。

Lieblingssitz: Unterhautzellgewebe (subkutan) ニ最モ多ク (Schulter, Rücken, Brust, Nacken, Kopf, Gesässgegend 等), 其他 Muskel, verschiedene Organe, Gelenke 等ニ entstehen ス。

第七十四圖

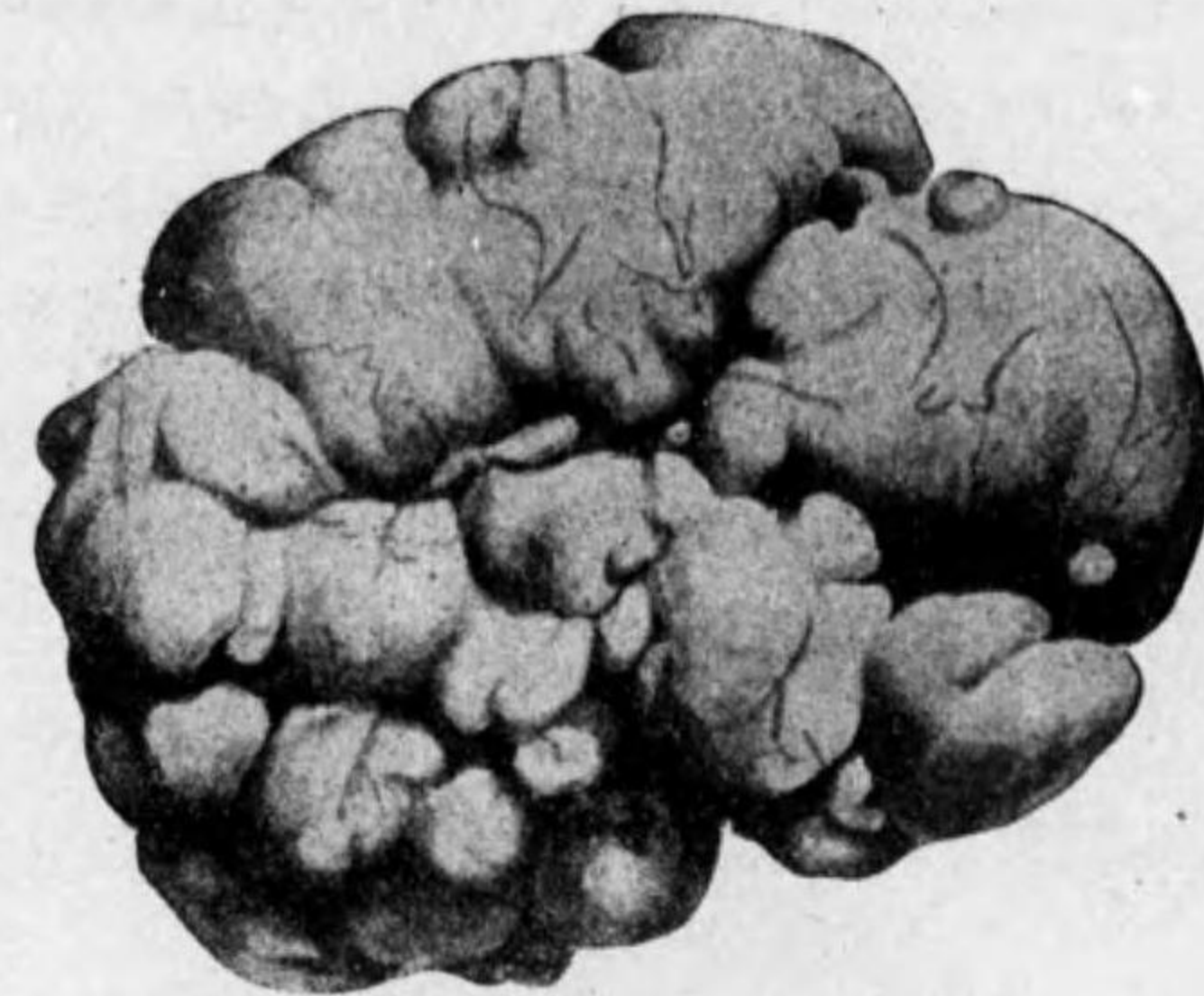


上肢粘液肉腫

Arten: Bindegewebe ノ 多少ニヨリテ a) **Weiches Lipom (軟性脂肪腫)** (Echtes Lipom), 及ビ b) **Hartes Lipom (硬性脂肪腫)** (Fibrolipom) ニ分ツ。其他 kombinieren セル Tumor ニヨリテ Angiolipom, Myolipom, Myxolipom 等ヲ分ツ。又 Wachstum ノ rasch ナル Zellen ニ富ム weiches Lipom ヲ Liposarkom ト稱スルコトアリ。

Bau: normales Fettgewebe ニ ähnlich, Schnittfläche gelblich weiss ニシテ weich, 且 lobulär od. lappig (分葉狀) ノ Bild ヲ有ス。

第七十五圖



別出セル皮下及筋肉間脂肪腫

第七十六圖



巨大ナル脂肪腫

第七十七圖



項背部皮下脂肪腫

Histologisch: physiologisches Fettgewebe = ähnlich。只 Tumor = 於テハ Fettzellen ノ Bau etwas unregelmässig ナルコト多ク、且 relativ klein ナルコト多シ。
Celloidin 又ハ Paraffin-Präparat ニテハ、Alkohol 及 Aether ヲ以テ Präparat ヲ behandeln スルヲ以テ Liponzellen ノ Fett ハ lösen セラルルガ爲ニ、其 Rest ハ Vakuolen (空胞) トナリテ存ス。併シ Gefrierschnittpräparat ノ Osmiumfärbung ニテハ Fett ハ schwarz =, Sudan III. Färbung ニテハ rötlich = färben ス。

第七十八圖



第七十九圖



瀰漫性對側性脂肪腫

Symptome: i). **Begrenzung** 多クハ lokalisiert ナレドモ、Handteller, Hals 等ニ於ケル weiches Lipom ニ於テハ diffus ナルコトアリ。
ii). **Form** halbkuglig, rundlich, oval, polypös, unregelmässig 等種々ナリ。
iii). **Oberfläche lappig** (分葉狀) ナルコト eigentümlich ナリ。併シ weiches Lipom ニテハ之ガ undeutlich ナルコトアリ。
iv). **Konsistenz** elastisch weich, 特ニ weiches Lipom ハ甚 weich ニシテ **Pseudofluktuation** (假性波動) ヲ呈スルコトアリ。

v) **Grösse** sehr verschieden, hartes Lipom ハ mehr klein, weiches Lipom ハ gross トナル, 大ナルハ manneskopfgross 以上トナルコトアリ。

vi). **Zahl** 多クハ einzeln。時トシテハ multipel。

vii). **Wachstum** 多クハ langsam ナルモ weiche Form ニ於テハ ziemlich rasch ナルコトアリ。

Eine spezifische Erkrankung トシテ殆ド全身ニ Fettgewebe ガ symmetrisch ニ増大スルコトアリ、之ヲ **diffuses symmetrisches Lipom** (瀰漫性對側性脂肪腫) ト云フ。併シ之ハ眞ノ Lipom ニハアラズ。

Diagnose: 多クハ leicht ナルモ, derb ノモノハ Fibrom 又ハ Sarkom ノ Anfangsstadium ト differenzieren スルヲ要シ, weich ノモノハ Hygrom, Dermoidzyste, Atherom, tuberkulöser Abszess, Gumma, weicher Lymphdrüsentumor 等ト differenzieren スルヲ要ス。Bauchhöhle ニ發生セル著大ナルモノニ於テハ種々ノ Bauchtumor, Ascites 等ト區別スベシ。

Therapie: totale Exstirpation ヲ行フ。併シ Wachstum ノ rasch ナル weiches Lipom ハ Rezidiv ヲ起スコトアリ。

IV. Chondrom 軟骨腫 Chondroma.

Entstehung: angeboren 又ハ erworben (20—25 Lebensjahre 以前ニ) ニ entstehen ス。Trauma 及ビ Rachitis 等其 veranlassende Momente トナルコトアリ。時トシテ hereditäre Belastung ヲ見ル。

Lieblingssitz und Arten: Knochen 又ハ Knorpelgewebe 内ニ entwickeln スルコト多シ。Knochen ニ於ケルモノハ, a) Ekchondrom ト, b) Enchondrom トニ分ツ。

a). **Ekchondrom** (外發軟骨腫) ハ selten ニシテ Rippenende, Wirbelkörper ノ間, Symphysis ossis pubis, Orbita, Schädelbasis 又ハ Larynx, Trachea 等ノ Knorpelgewebe アル Stelle ヲリ・entwickeln ス。

b). **Enchondrom** (内發軟骨腫) ハ relativ 多キモノニシテ vereinzelt 又ハ multipel ニ Fingerknochen, Tarsalknochen, Carpalknochen, Extremitätenknochen ノ Knochenende 又ハ Knochenmark 等ノ Knorpelgewebe ノナキ Stelle ニ entstehen ス。其他 Beckenknochen, Skapula, Kieferknochen, Rippe, Schädel 等ニモ entwickeln ス。

其他 Chondrom ハ Knochen 以外ニ Schilddrüse, Parotisdrüse, Hoden, Mamma, Leber, Zunge Blutgefäss, Lymphdrüse, Subkutis 等ニ發生スルコトアリ。併シ是等ハ多クハ Mischgeschwulst トシテ來ル。

Bau: Oberfläche ハ grob höckrig, Konsistenz ハ knorpelhart, Oberfläche 及 Schnittfläche ハ grauweisslich, halbdurchsichtig ニシテ少シク opal (乳白色) ナリ。

Histologisch: 多クハ hyaliner Knorpel ヨリ成リ selten ニ bindegewebiger Knorpel 或ハ Netzknorpel ヨリ成ル。多クハ hyaliner Grundsubstanz 内ニ Knorpelzellen アリ。此 Zellen ハ vereinzelt 又ハ二三 gruppieren シ, Kapsel ヲ有スルコト特有ナレドモ, Wachstum rasch ナルハ Kapsel ノナキコトアリ。又 physiologischer Knorpel ニ比シ, Zellen ニ大小不同多ク其 Zahl 亦 relativ 多ク, 且 unregelmässig ニ anordnen (配列) ス。

Chondrom ハ屢々 Osteom ニ übergehen スルコトアリ。其中間ニ位スルモノヲ Osteochondrom ト云フ。其他ノ Geschwulst ノ Kombination ニヨリテ Chondrofibrom, Myxochondrom, Chondrosarkom, Myxochondrosarkom, Zystochondrom 等ヲ生ジ, 又 sehr häufig ニ Mischgeschwulst ノ一成分トナル。

Symptome: Lokalisation ハ前述ノ如ク, Knochen 以外ニモ發生スルコトアレドモ, sehr selten ニシテ, 是等ノモノハ多クハ Mischgeschwulst トシテ來ルヲ以テ, klinisch ニ Chondrom ノ typisch ノ Bild unklar ナルコト多シ。

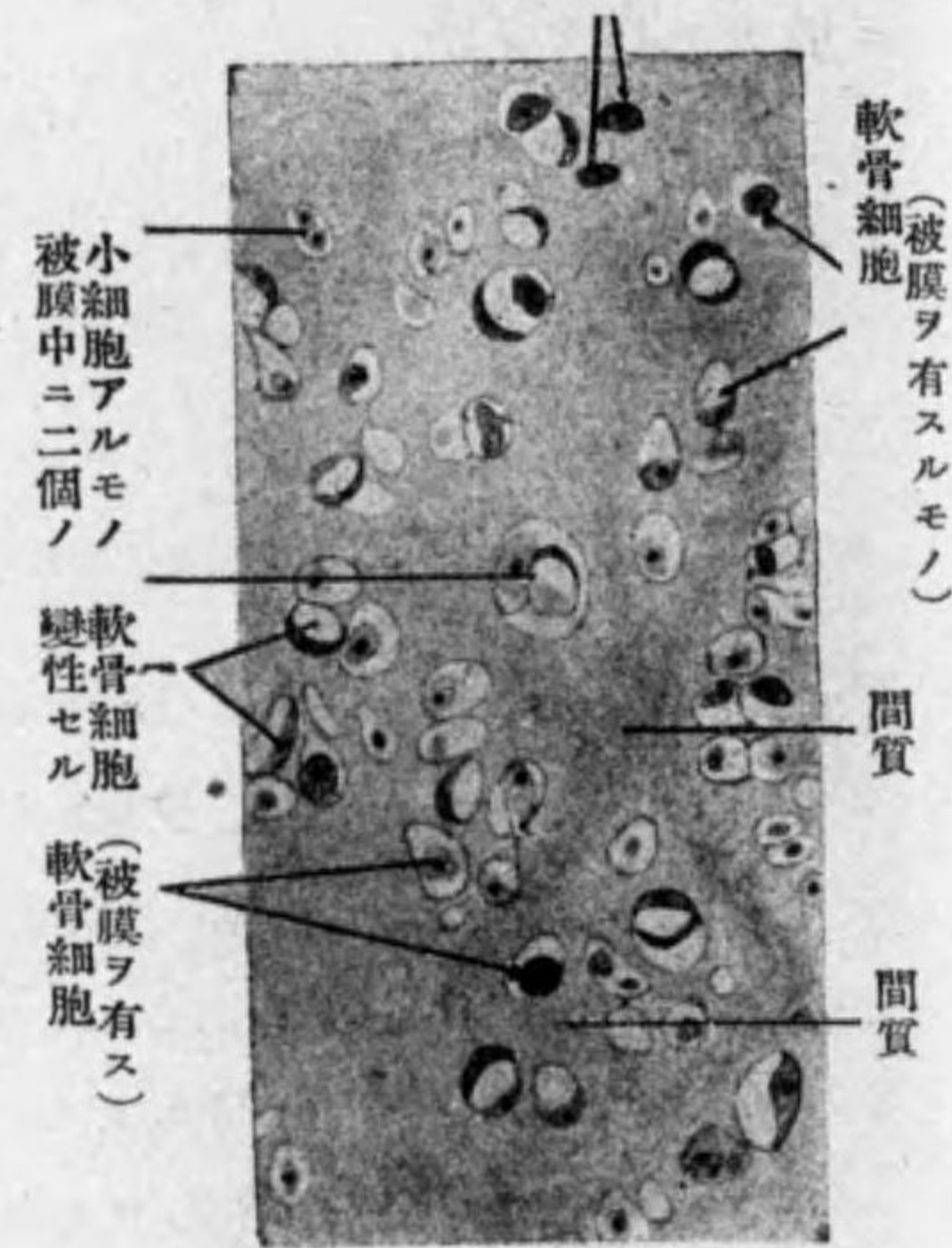
Knochen ニ entstehen セルモノハ之ト innig ノ Zusammenhang アリ, 時トシテハ其 Knochen ノ Wachstum stören セラル。

i). Form 種々ナリ, 即チ rundlich od. halbkuglig 又ハ ganz unregelmässig。

ii). Oberfläche grobhöckrig (粗大結節狀) 或ハ多少 glatt。

第 八 十 圖

若キ軟骨細胞 (被膜ヲ有ス)



軟 骨 腫

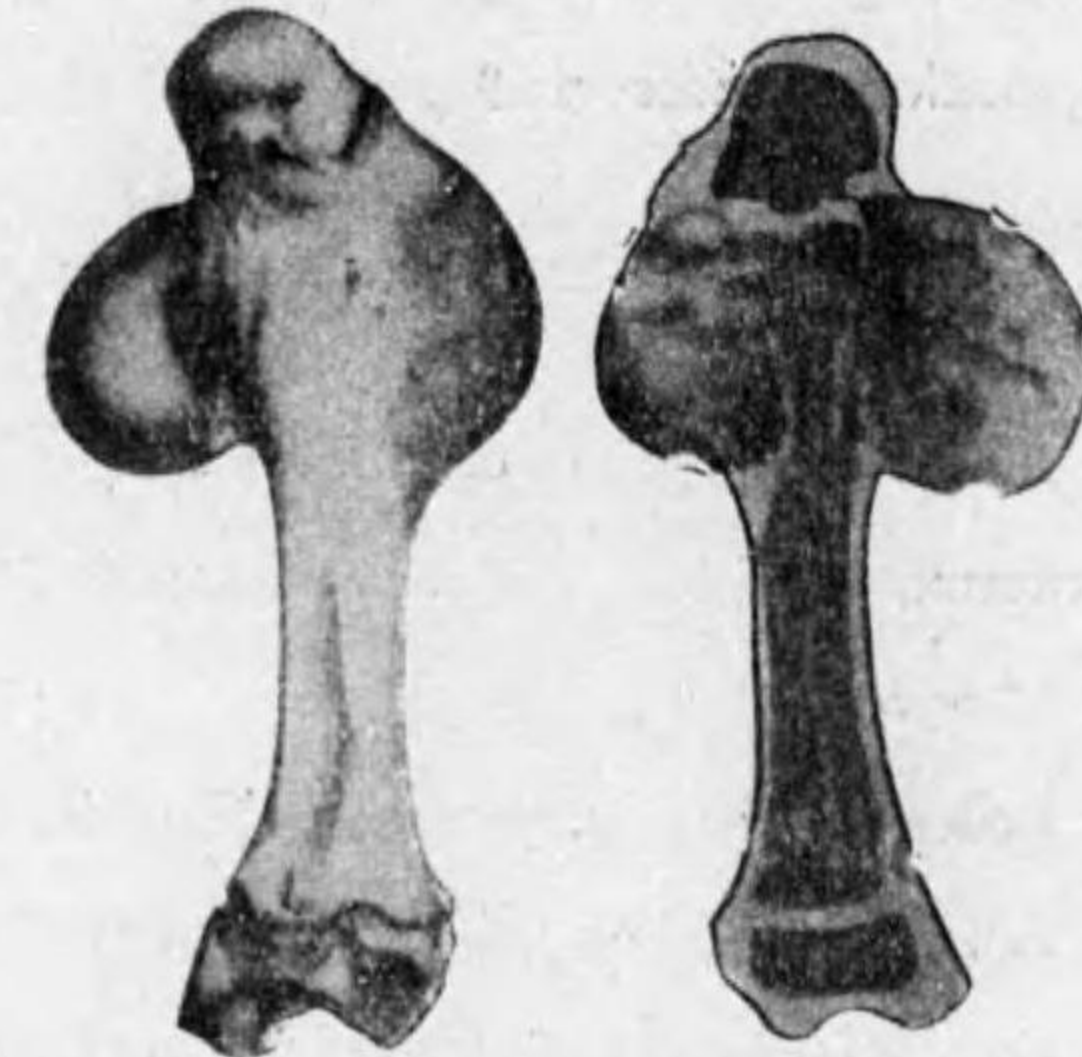
iii). Konsistenz knorpelhart (軟骨様硬度)。

iv). Zahl einzeln 又ハ multipel (此際ニハ多クハ symmetrisch ニ生ズ)。

v). Grösse kleinfingerspitzgross-taubeneigross ナルモノ多ク, 時トシテハ尙 grösser トナルコトアレドモ, rein ノ Chondrom ニテハ巨大トナルコトナシ (併シ Chondrosarkom 又ハ Chondromyxosarkom ニ於テハ巨大トナル)。

vi). Wachstum langsam. 併シ上記ノ Kombination ニヨリテハ rasch トナリ, Metastase ヲモ作ルコトアリ。

第 八 十 一 圖



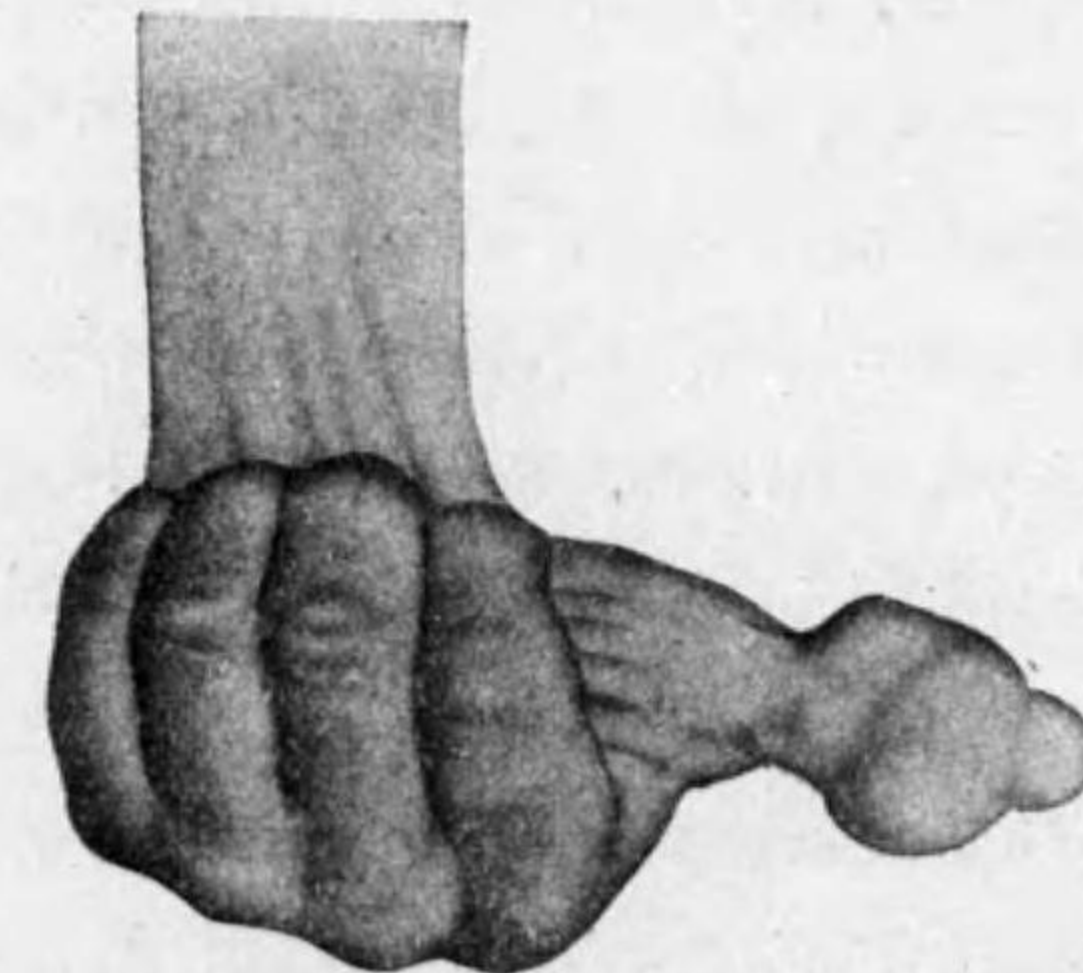
第 二 趾 骨 軟 骨 腫

第 八 十 二 圖



手 指 ノ 内 軟 骨 腫

第 八 十 三 圖



指 骨 ノ 多 發 性 軟 骨 腫

Diagnose: Konsistenz, Oberfläche, Wachstum, Lokalisation 等ニヨリテ Diagnose leicht ナリ。又 Röntgenuntersuchung ニテ sicher トナル。

Differenzieren スベキモノハ Osteom, hartes Fibrom, verkalkte Lymph-

drüsentuberkulose, verkalktes Atherom 等ナリ。

Therapie: Exstirpation。但シ Knochen = multipel = auftreten セルハ Operation schwer ナリ。

V. Osteom 骨腫 Osteoma.

Angeboren 又ハ erworben = junge Person = entwickeln ス。時トシテ Trauma, Rachitis が其 veranlassende Momente トナル。又 hereditäre Belastung ノアルコトアリ。

Lokalisation u. Arten: Lokalisation = ヨリ次ノ種類アリ。

A). **Knochensystem** ヨリ entwickeln スルモノ。

1). **Exostose (外骨腫)**。Knochen ノ Oberfläche = entwickeln スルモノニシテ, Perichondrium 又ハ Periost ヨリ entwickeln ス。

a). **Exostosis cartilaginea (軟骨性骨腫)**。最も多キモノニシテ, 初メ Perichondrium ヨリ Chondrom トシテ entwickeln シ, allmählich = verknöchern シテ Osteom トナル。其中間ニ位スルヲ Osteochondrom ト云フ。之ハ何レノ Knochen = モ生ズルガ, 就中 lange Röhrenknochen, Rippe, Clavicula, Finger, Zehe, Skapula, Schädel 等 = 多ク, einzeln 又ハ multipel = 生ズ。

b). **Periostales Osteom (骨膜性骨腫)** (Bindegewebiges Osteom 結締織性骨腫)。Periost ヨリ entwickeln スルモノニシテ, Knochen ト dicht ノ Zusammenhang アリ, 其 Oberfläche = klein höckrig ノ Tumor ヲ bilden ス。之ハ selten ノモノニシテ, Frontalbein, Temporalbein, Orbita ノ Wand 等 = entwickeln ス。

第 八 十 四 圖



示指ノ皮質性軟骨腫

2). **Enostose (内骨腫)**。Knochen ノ内部即チ Knochenmark ヨリ生ズルモノニシテ, klinisch = ハ Exostose ト differenzieren シ難シ。Röhrenknochen = ハ äusserst selten ニテ, 時トシテ Schädelknochen, Mandibula 等 = 發生ス。

第 八 十 五 圖



大腿骨ノ軟骨性外骨腫

第 八 十 六 圖



中指ノ軟骨性外骨腫

B). **Osteom aus Weichteile (軟部ニ發生スル骨腫)**。äusserst selten。Gehirn, Dura mater, Orbita, Lunge, Penis, Hoden, Ovarium, Subkutis 等 = entwickeln シタル報告アリ。此 Entstehung = 就キテモ種々ノ議論アリ。klinisch = Diagnose ヲ下シ難キコト多シ。

Bau: 其 makroskopischer Bau = ヨリ a). Osteoma durum od. eburneum (硬性或象牙性骨腫), b). Osteoma spongiosum (海綿様骨腫), c). Osteoma medullosum (骨髓様骨腫) ヲ區別ス。一般 = hart ノ Tumor = シテ Oberfläche = deutlich ノ granulierend ノ凹凸アリ。Knochen ヨリ entwickeln セルハ之ト dicht = verwachsen シ或ハ Stiel ヲ以テ verbinden ス。

Histologisch: 大體 physiologisch ノ Knochengewebe = ähnlich。只 Knochenzellen ノ Grösse 及ビ Form unregelmässig ナリ。Osteom ノ Schnittpräparat ヲ作ル = ハ豫メ Entkalkung (脱灰法) ヲ行ハザルベカラズ。

其他 Osteom ハ他ノ Geschwulst トノ Kombination ニヨリ Osteochondrom, Osteosarkom, Osteofibrom トナリ, 又時トシテ Mischgeschwulst ノ一成分トナル。又 myxomatöse, zystische Degeneration ヲナスコトアリ。

Symptome: i). **Lokalisation** 前述ノ如ク Weichteil ヨリ生ズルモノアレドモ sehr selten ニシテ, 多クハ Knochen ニ關係アリ。breite Basis 又ハ Stiel ヲ以テ Knochen ニ ansetzen スルヲ常トスルモ, selten ニハ Stiel ガ abtrennen セラルルコトアリ。時トシテハ Chondrom ノ如ク Knochen ノ Wachstumsstörung ヲ伴フ。

ii). **Form** unregelmässig。

iii). **Oberfläche** typisch ナルハ **kleinhöckrig** (小結節狀), 併シ Chondrom ノ Überzug (被覆) アル時ハ, 之ト同様ニ grobhöckrig (粗大結節狀) 又ハ knollig (磊塊狀) ナリ。

iv). **Konsistenz** knochenhart ナルヲ charakteristisch トスルモ, Chondrom ト kombinieren スル時ハ knorpelhart ナルコトアリ。

v). **Zahl** einzeln 又ハ multipel (此際ニハ屢々 symmetrisch)。

vi). **Grösse** Chondrom ト略々同様。rein ノ Osteom ハ巨大トナラズ (Sarkom ト kombinieren セルモノハ此限りニアラズ)。

vii). **Wachstum** ganz langsam。

viii). **Subjektive Symptome** fehlen スルヲ常トスルモ, selten ニ benachbart ノ Nerven ヲ drücken シタル爲ニ Neuralgie (神經痛) ヲ起スコトアリ。

Exostosis bursata (粘液囊性骨腫)。 etwas selten ノモノナルガ, 多クハ Femur ノ Osteom 又ハ Osteochondrom ニ見ラルルモノニシテ, Osteom ト Haut ノ間ニ新ニ Bursa ヲ生ズルガ爲ニ此 Name アリ (之ハ mechanischer Reiz ニヨリテ生ズル所謂 akzidentelle Bursa ナリ)。

Diagnose: 多クハ leicht。 i). Knochen トノ關係, ii). Oberfläche, iii). Konsistenz, iv). Wachstum 等ニヨリテ診斷セラル。其他 Röntgenuntersuchung ニヨリテ bestätigen セラル。併シ tiefe Stelle ニアル Osteom ハ

一程度ノ Grösse ニ達スルニアラザレバ klinisch ニ Diagnose ヲ下スコト schwer ナリ。

Therapie: operativ ニ entfernen ス。

VI. Myom. 筋腫 Myoma.

之ヲ分チテ A). Leiomyom ト, B). Rhabdomyom トナス。前者ハ häufig ニ見ラルルモ, 後者ハ sehr selten ナリ。

A). **Leiomyom** (滑平筋腫)。

Lokalisation: Uterus ニ entstehen スルコト最モ多ク, 其他時トシテ Oesophagus, Magen, Darm, Urogenitalapparat, subkutanes Gewebe, Mamma, Hoden 等ニ entwickeln スルコトアリ。Entstehungsalter ハ 30—40 Lebensjahre 以後ナルコト多シ。

Bau: glatte Muskelfasern ヨリ成ル zirkumskript ノ derber Tumor ナリ, Schnittfläche ハ graurötlich ニシテ Muskelfaser ガ Bündel ヲナシテ verflechten (交錯) セラ見ル。

Histologisch: Schnittpräparat ニテハ glatte Muskelfaserbündeln ガ längs, schief, quer ニ durchschneiden セラルルヲ見ル。Muskelzellen ノ Kern ハ keulenförmig (棍棒狀) ニテ, schmal länglich, beide Enden abgerundet ナルヲ以テ明ニ Fibrom 或ハ Spindelzellensarkom ト區別サル。glatte Muskelfaser ノ Querschnitt タル typisch ノ Bild ヲ Sonnenfigur (太陽像) トモ稱ス。

Muskelfaserbündel ノ間ニハ Bindegewebe アリ, 時トシテハ reichlich ニ vorhanden スルコトアリ, 之ヲ Fibromyom (纖維筋腫) ト云フ。或ハ Muskelfaser ガ次第ニ verschwinden シテ allmählich ニ Bindegewebe ニテ ersetzen セラルルコトアリ。此ノ如キハ Heilung ニ neigen セル Myom ニ於テ認メララルルモノナリ。又 Muskelfaserbündel ノ Zwischenbindegewebe ガ sarcomatös ノ Bau ヲ zeigen シ, bösartig ノ Verlauf ヲ取ルコトアリ。

其他 Myom ニ Erweichung, Höhlenbildung, fettige Degeneration, schleimige Degeneration, Kalkablagerung 等ヲ見ルコトアリ。sehr selten ニ gestieltes Uterusmyom ニ於テハ Stieltorsion (莖捻轉) ニヨリテ Myom 全部ノ Nekrose ヲ來シ spontane Heilung ヲ來スコトアリ。

Symptome: i). **Lokalisation** 前述ノ如ク verschieden ナルガ, klinisch

ニ beobachten セラルルハ Uterusmyom 位ノモノニテ, 他ハ klinisch ニ unklar ナルコト多シ。

ii). **Form** Gewebe ノ中ニ lokalisierter Tumor トシテ entwickeln シ, 或ハ Oberfläche ニ 現ハレテ knotig トナリ, 或ハ breite Basis 又ハ Stiel ヲ以テ ansetzen ス。

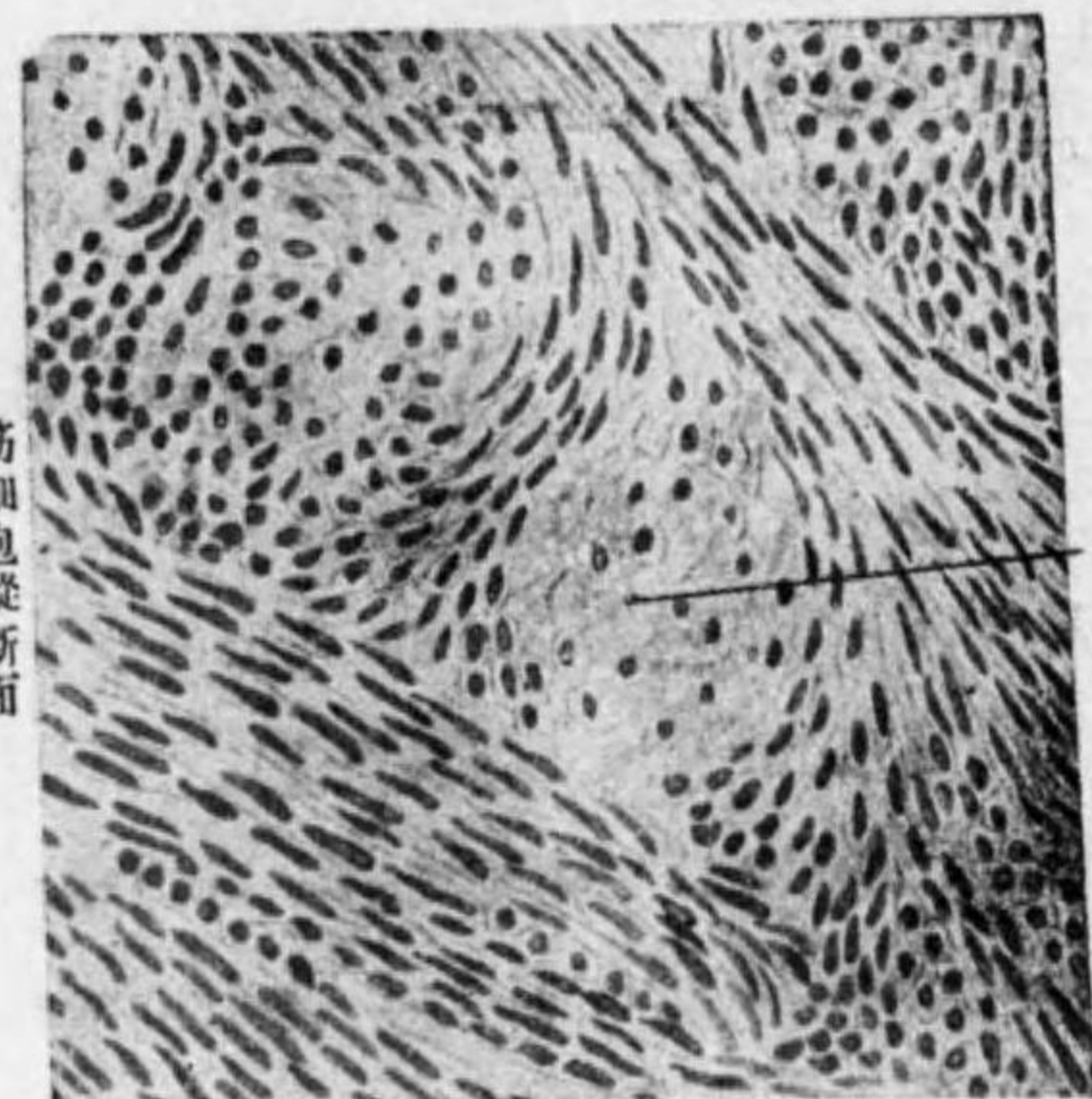
iii). **Oberfläche** 一般ニ glatt ナルガ, multipel ニ entwickeln セル場合ニハ全體トシテ grobhöckrig トナル。

iv). **Konsistenz** derb 或ハ elastisch derb (尤モ他ノ Veränderung アレバ之ニ 從ツテ Konsistenz 異ル)。

v). **Zahl** einzeln 又ハ multipel。

vi). **Grösse** 他部ノ Myom ハ多クハ klein ナルモ, Uterus ノ Myom ハ時トシテハ manneskopfgross 以上トナルコトアリ。

第 八 十 七 圖



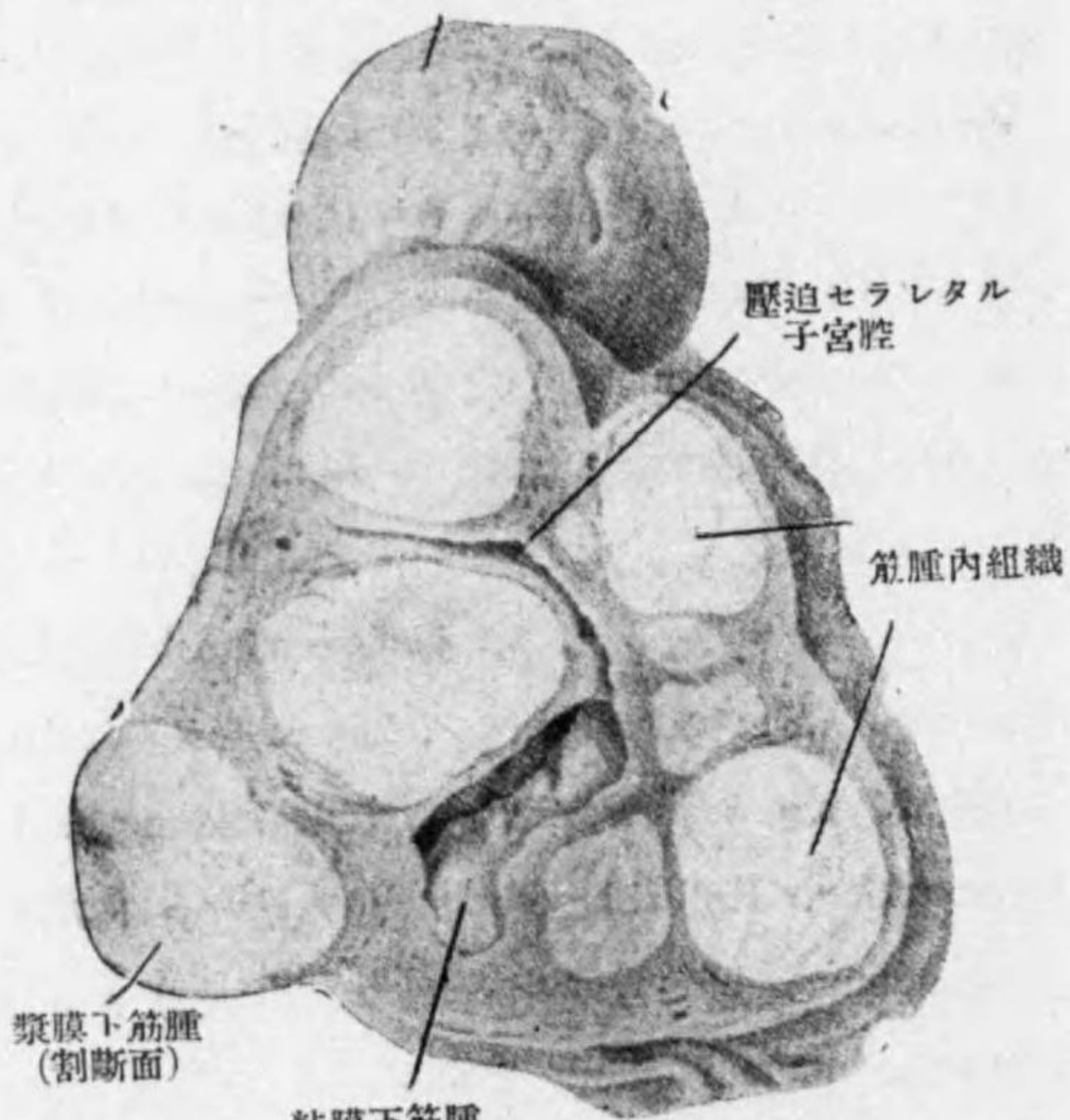
筋細胞縦断面

筋細胞横断面

子宮滑平筋

第 八 十 八 圖

有莖漿膜下筋腫



漿膜下筋腫 (割断面)

粘膜炎下筋腫

多發性子宮筋腫

vii). **Wachstum**

一般ニ langsam ナルモ, Uterus ニ entwickeln セルモノハ多クハ rasch ニシテ, 之ガ爲ニ Abmagerung ヲ來シ遂ニハ Schwäche ニヨリテ sterben スルコトアリ。

第 八 十 九 圖



横紋筋纖維腫

(發育不完全ナル筋細胞ヨリ成ル)

其他ノ Stelle ニ entwickeln シタルモノハ Grösse モ大ナラズ。klinische Bedeutung モナシ。併シ Darm ニ於ケル Myom ガ Ileus (吐糞症) ノ Aetiologie トナルコトアリ。

viii). 其他 Uterusmyom ハ verschiedene Symptome ヲ現ハスコトアリ (婦人科書参照)。

Diagnose: Uterusmyom ハ其 Konsistenz, Oberfläche, Wachstum, Uterus トノ Zusammenhang 等ニヨリテ diagnostizieren セラル (婦人科書参照)。其他ノモノハ klinisch ニ Diagnose ヲ下スコト schwer ナリ。

Therapie: Exstirpation ヲ可トスルモ, Operation unmöglich ナル時ハ其 Hauptgefässe ノ Ligatur, Ergotin ノ内服又ハ Injektion ヲ行フコトアリ。又ハ Röntgenbestrahlung モ行ハル。

B). **Rhabdomyom (横紋筋筋腫)**。

Unvollkommen ニ發育セル quergestreifte Muskelfaser ト Bindegewebe トヨリ成ル Tumor ニシテ Niere, Harnblase, Hoden, Uterus, Herz, Oesophagus, Magen, Parotis, Prostata, Extremitäten, Gesicht, Zunge, Orbita 等ニ發生スルモ, sehr selten ナリ。時トシテ manneskopfgross ニ達スルコトアリ。

Diagnose ハ histologische Untersuchung ニヨリテ初メテ bestätigen セラルルモノニシテ, klinisch ニハ Leiomyom, Fibrom, Sarkom, Endotheliom トノ區別困難ナリ。

VII. 神經腫 Neurom. Neuroma.

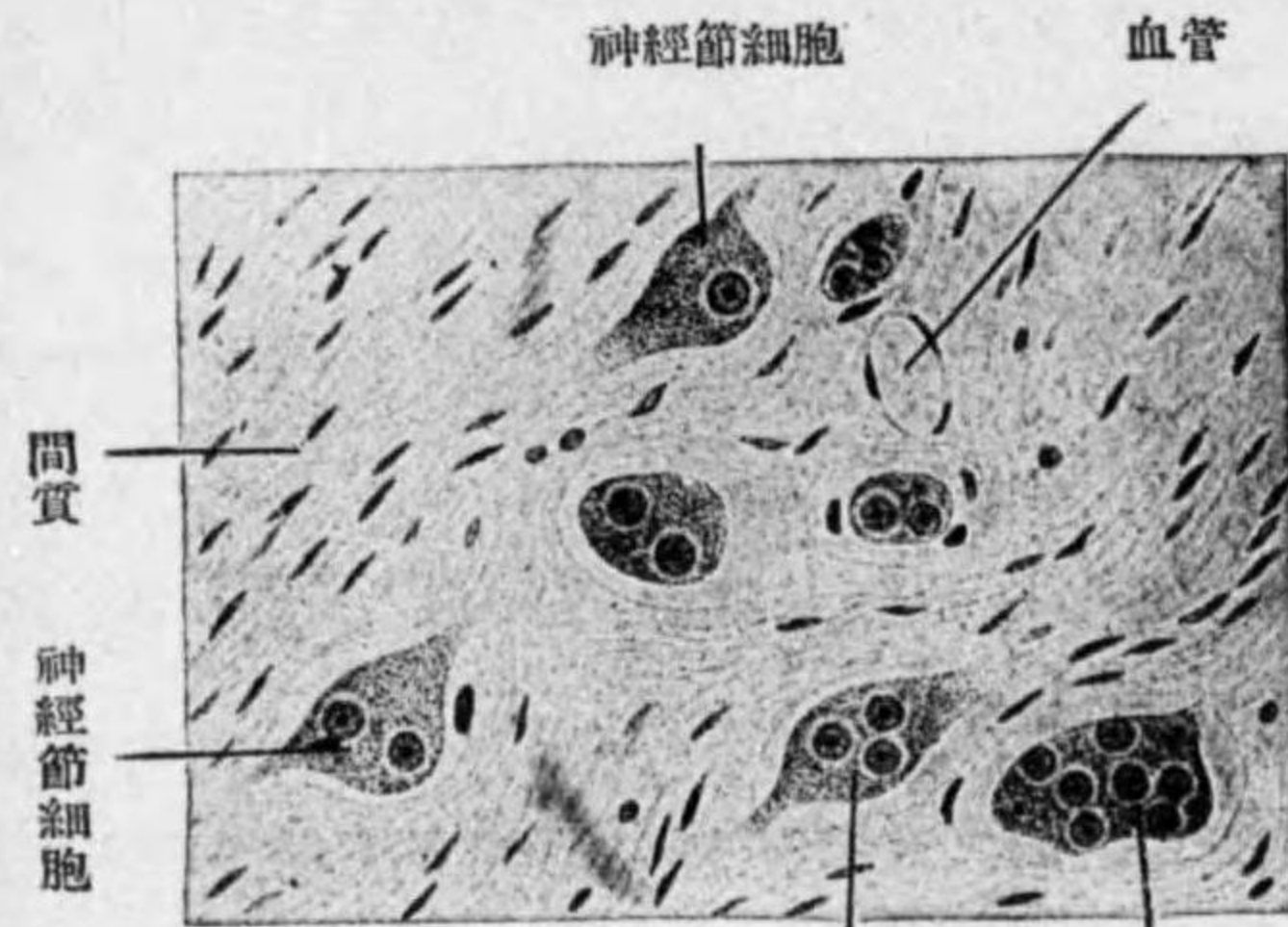
之ニ A) Falsches Neurom ト B) Echtes Neurom ノ 2 Arten ヲ分ツ。
A). Falsches Neurom (假性神經腫)。Relativ 多キモノニシテ、之ハ

第九十圖



神經纖維腫

第九十一圖



神經節細胞
眞性神經節細胞腫

第九十二圖



肋骨神經ノ粘液肉腫
剔出標本

畢竟 Nerven ノ Zwischenbindegewebe ヨリ entwickeln スル Fibrom ニ外ナ
ラズ。

Neurofibrom ハ periphäre Nerven 又ハ zentrale Nerven ニ vereinzelt 又ハ
multipel ニ auftreten シ、特ニ subkutan ニ multipel ニ auftreten シタル場

合ニハ Multiples weiches Fibrom (多發性軟性纖維腫) (一名 Reckling-
hausensche Krankheit) ノ Bild ヲ呈シ、時トシテハ elephantiatische Verdic-
kung ヲ見ルコトアリ。

Nervenstamm ニ entwickeln セル hartes Neurofibrom ハ屢々 Druckschmerz
ヲ有スルコト eigentümlich ナリ。

Fibrom ト Neurofibrom トノ klinische Differentialdiagnose ハ ganz schwer
ナリ、只後者ニ於テハ Druckschmerz ヲ有スル場合、又ハ Nerven ト共ニ左
右ニハ beweglich ナルモ、Nerven ノ Richtung ニハ bewegen シ難キコト
ニヨリテ differenzieren セラル。

B). Echtes Neurom (眞性
神經腫)。甚ダ selten、多クハ
sympathische Nerven 特ニ sym-
pathische Ganglien ノ存在スル
所 z. B. hinterer Bauch, Len-
denteil, Halsgend 等ニ發生シ、
或ハ subkutan ニモ entstehen
スルコトアリ (Gefäss ノ sym-
pathische Nerven ヨリス)。

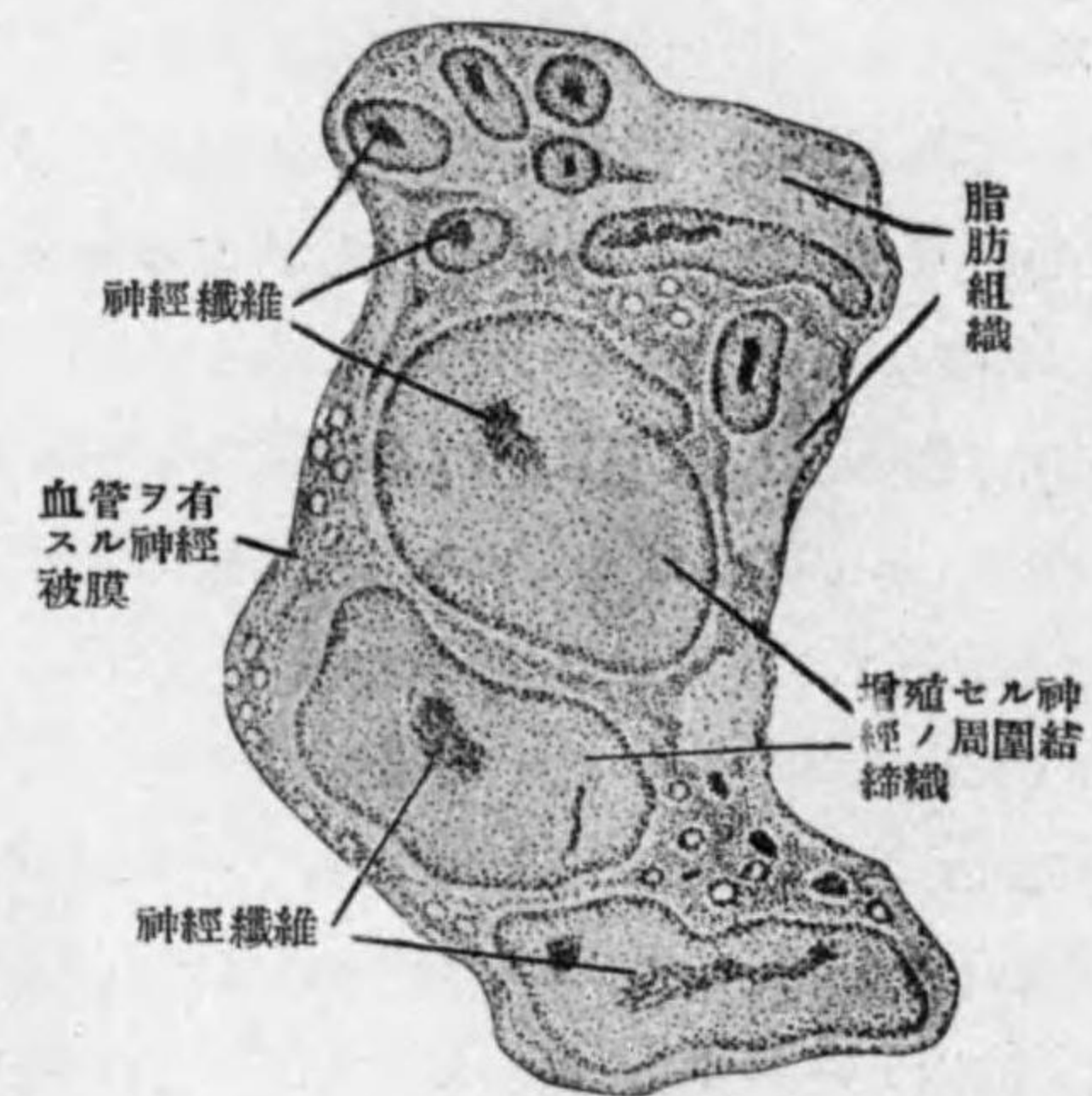
此 Geschwulst ハ gutartig
ニシテ Fibrom ニ ähnlich ナ
リ。enorm ニ vergrößern スル
コトナキモ、甚ダ稀ニハ man-
neskopfgross ニ及ブコトアリ。

Sichere Diagnose ハ histologische Untersuchung ニヨリテ Nervenfasern 及
Ganglienzellen ヲ nachweisen スルニアリ。

Therapie: Exstirpation.

Anhang: 時トシテ Nerven ノ atypische Regeneration ニヨリテ neurom-
artig ノ Bild ヲ呈スルモノアリ。

第九十三圖



神經纖維腫
(蔓狀神經腫)

a). **Amputationsneurom** (切斷端神經腫)。ExtremitätenノAmputationノ後ニAmputationstumpfノNervenガübermässigニwuchernシテ之ヲ生ジ、Neuralgieヲ發スルコトアリ。故ニAmputationニ際シテハ、Nervenヲ其上方ニテ切除セザルベカラズ。又既ニNeuromヲ生ジタル場合ニハoperativニ之ヲextirpierenスベシ。

b). **Traumatisches Neurom** (外傷性神經腫)。Questchung等ニヨリテNervenfaserノ一部分ガverletzenセラレタル時ハ、後ニ至リテNervenノseitlichニNervenfaserノatypischeWucherungヲ來シ、neuromartigトナリ、或ハUmgebungトverwachsenシNeuralgieヲ發スルコトアリ。此際ニハoperativニübermässigノ部分ヲextirpierenシFettgewebeニテumhüllenスベシ。

VIII. Gliom 膠腫或グリオーム Glioma.

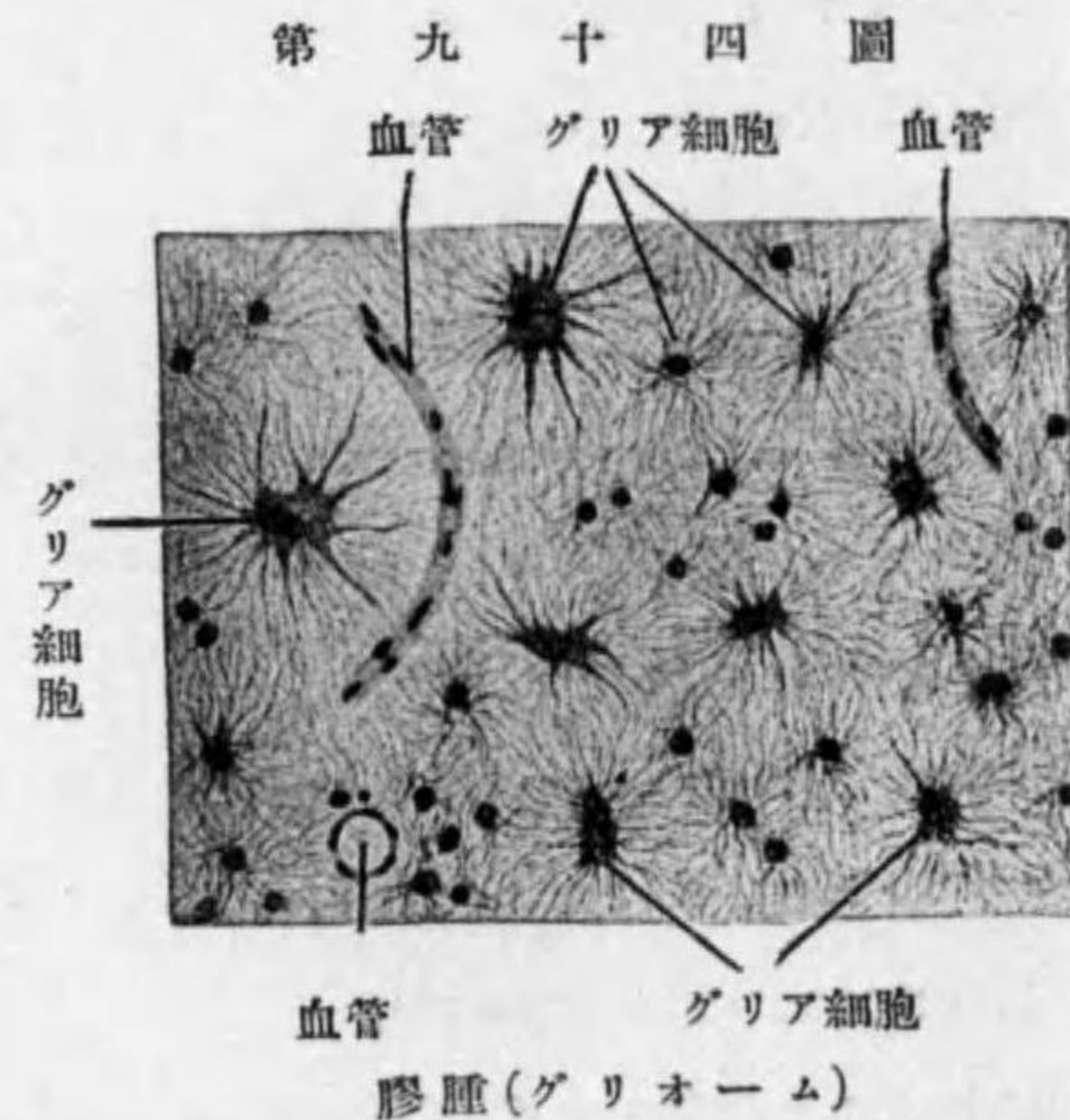
Zentrales NervensystemノGrundsubstanz(基質)ナルGliagewebeヨリ生ズルGeschwulstニシテ、之ニgutartigトböartigトアリ。

A). **Gutartiges Gliom** (良性グリオーム)ハFibromニähnlichニシテ其Wachstumモlangsamナリ。

B). **Bösartiges Gliom** (悪性グリオーム)ハ種々ノ點ニ於テRundzellen-Sarkomニähnlichニシテ、之ヲ又**Gliosarkom**(グリオ肉腫)トモ稱シ、Wachstumraschニシテhaemato-geneMetastaseヲ作ル。

GliomハGehirn、Rückenmark、Orbita(Retina)ニentwickelnシ、他ノ部位ニハ發生セズ。多クハKinderニ來ル。

1). **Gliom des Gehirns** (腦ノ「グリオーム」)。GehirnノechteGeschwülste中最モ多キモノニシテ、gutartigノモノハ長クsymptomlosニverlaufenシ、或ハSektionニヨリテzufälligニentdeckenセラレルコトアルモ、böartigノモ



ノハWachstumraschナルガ爲ニ、Symptomeヲ現ハスコト早シ(併シTumor selbstノSymptomeニアラズシテ、GehirnノfunktionelleSymptomeヲ示スノミ、之ニ2 Artenアリ。

a). **Lokale Symptome**: Gehirnニ於ケルLokalisationニヨリテ異ナリ、初メハ其Reizsymptome、後ニハLähmungssymptomeヲ呈ス(内科書参照)。

b). **Allgemeine Symptome**: HirntumorニヨルSchädel内ノDrucksteigerungニヨリテ、chronischノHirndrucksymptomeヲ呈ス。其HauptsymptomeハKopfschmerz、Schwindel、Erbrechen、Stauungspapille(鬱血乳頭)(±)等ナリ、時トシテハepileptischerAnfall(癲癇發作)アリ。letztes StadiumニハBewusstsein trüben ス(内科書参照)。

2). **Gliom des Rückenmarks** (脊髄ノ「グリオーム」)。RückenmarkノechteGeschwülste中最モ多キモノナレドモ、一般ニseltenナリ。之モklinischニGeschwulstトシテノdirekteSymptomeヲ呈セズ、只RückenmarkノfunktionelleSymptomeヲ現ハスノミ。即チ此SymptomeハRückenmarksnervenノStörungニシテ、**Syringomyelie**(脊髄空洞症)ノBildヲ呈ス(内科書参照)。

3). **Gliom in der Orbita** (眼窩グリオーム)。AugeノRetina(網膜)ヨリentstehenス。vergrössernスルニ從ツテAugeヲ突出セシメ(Exophthalmus 眼球突出症)或ハSchädelhöhleノ中ニeindringenス。多クハböartigニシテ、Metastaseヲ作り、Operationヲ行フモRezidivヲ生ジ易シ。時トシテハbeiderseitsニ來ル(眼科書参照)。

Therapie u. Prognose: GehirnノGliomハLokalisationニヨリテoperativニEnukleation(剝出)möglichナルコトアリ。Augeニ於テハ成ルベク早クAugeト共ニExstirpation(摘出)ヲ行フ。Rückenmarkニ於テハOperationノResultatunsicherナリ。

IX. Papillom 乳嘴腫 Papilloma.

Haut 又ハ Schleimhaut ノ Oberfläche ニ entwickeln ス。Epidermis ノ Papille (乳嘴) ガ特ニ wuchern シテ papillös トナルモノヲ云フ。

Lokalisation: a). Haut ニ於テハ Kopf, Achselhöhle, Inguinalgegend, Mamma, Rücken, Damm, Anus ノ Umgebung ニ多ク, 特ニ schwitzen, nässen シ易キ處ニ多シ。其他 Schamteil ノ Spitzcondylom

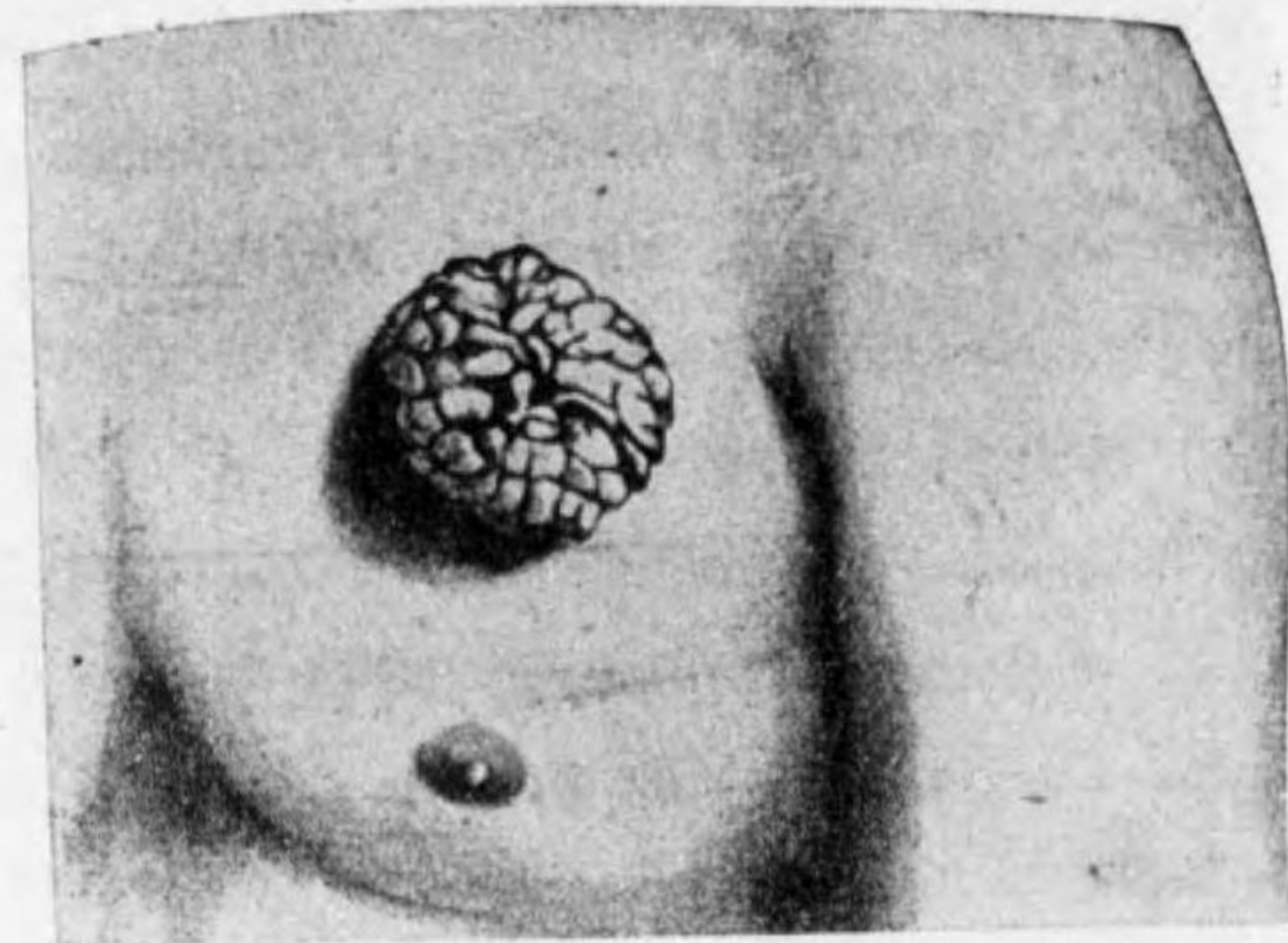
第九十六圖



同上 剖面

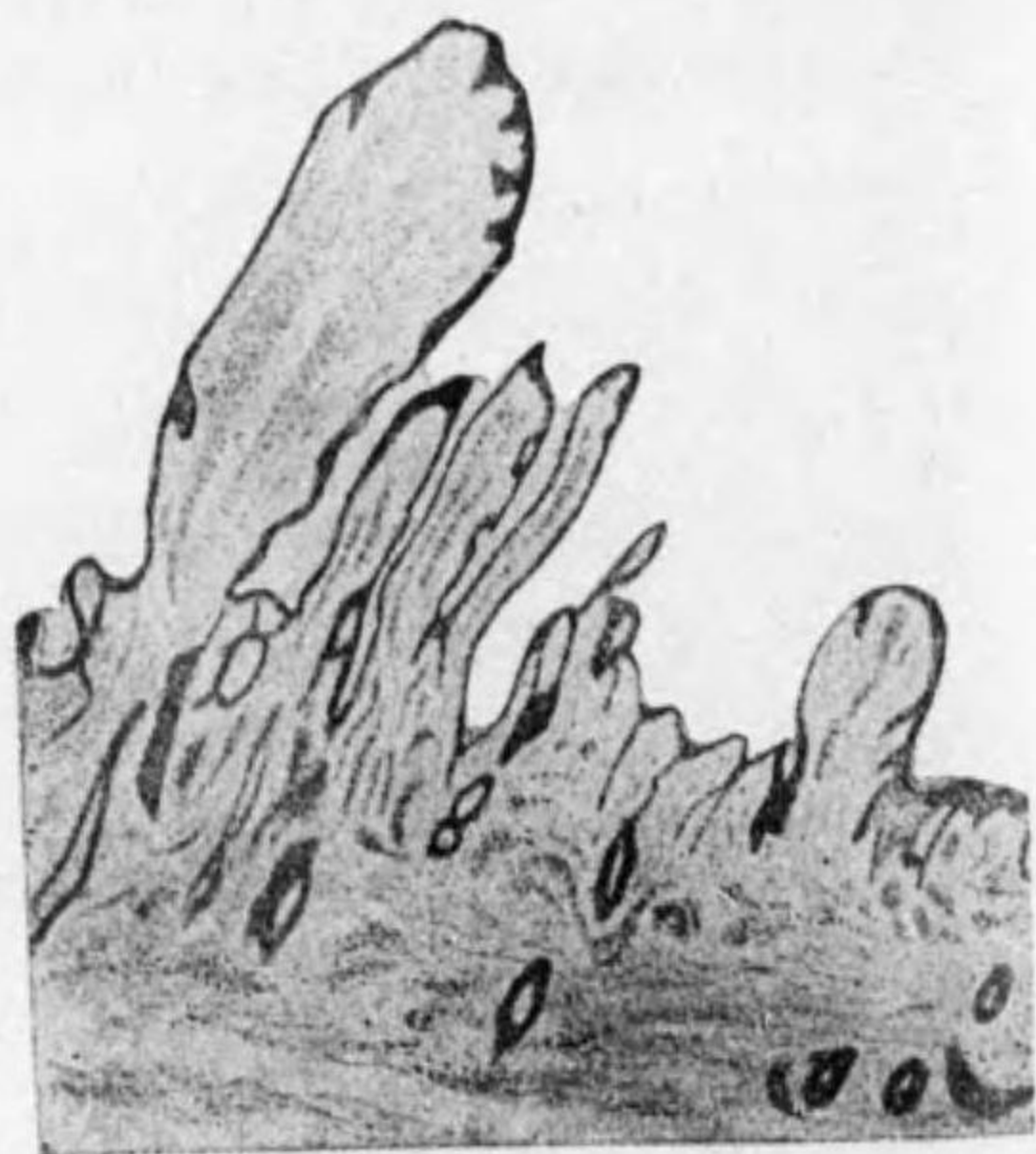
(尖形コンチローム) ハ其 Aussehen Papillom ト ähnlich ナルモ, 之ハ echte Geschwulst ニハアラスシテ gonorrhöische Sekret ノ Reiz ニヨリテ entwickeln スルモノニシテ, Ursache ガ verschwinden スル時ハ heilen スルコトアリ。

第九十五圖

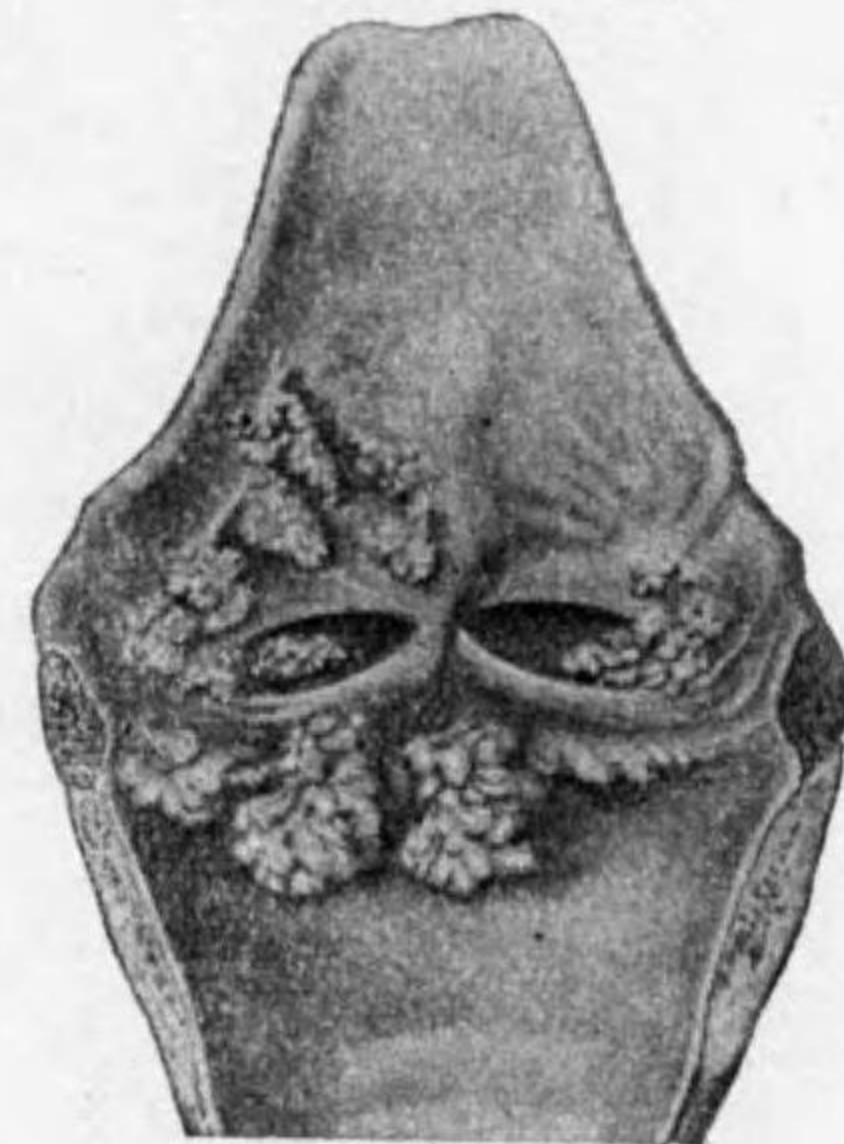


乳房乳嘴腫

第九十七圖



第九十九圖



喉頭乳嘴腫

b). Schleimhaut ニ於テハ Mundhöhle (特ニ Lippe, Wange, Weichergaumen, Rachen, Zunge, Pharynx, 等), Oesophagus, Vagina

ニ生ジ, 其他 Harnblase, selten ニハ Nierenbecken, Ureter ニ entwickeln スルコトアリ。特ニ Harnblase ニ生ズルモノハ 其 spezifisch ノ Bild ニヨリテ Zottenkrebs (絨毛癌) ト稱ス。其他 selten ニ

第九十八圖



膀胱乳嘴腫

Rektum, Nase, Uterus, Magen, Gallenwege 等ニ發生スルコトモアリ。

Symptome: Haut 又ハ Schleimhaut ノ Oberfläche ニ生ズル papillös ノ Tumor ニシテ, breitbasig 又ハ gestielt (Stiel schmal od. dick), Form ハ knotig (結節狀), himbeerartig (いちご狀), hahnenkammartig (鶏冠狀), blumenkohlartig (花椰子狀) 等種々ニシテ, Oberfläche eigentümlich ナリ。又 Harnblase ノ Zottenkrebs (絨毛癌) ハ絨毛狀ノ abnorme Wucherung ヲ示ス。

Konsistenz etwas weich 又ハ derb ナルガ, Karzinom ノ如ク Basis ニ Infiltration ナシ。

Wachstum ハ langsam ニシテ, Grösse ハ每常著明ナラズ。併シ

karzinomatöse Degeneration ヲナシタル時ハ Wachstum rasch トナリ, Basis = Infiltration ヲ生ズ。

Diagnose: spezifisches Aussehen ニヨリテ leicht ニ Diagnose ヲ下スコトヲ得ベシ。Karzinom トノ區別ハ前述ノ如シ。

Therapie: Exstirpation ヲ行フ。其一部ニテモ zurücklassen セバ rezidivieren ス。時トシテハ Arsenik (亞砒酸) ノ Bepuderung ニヨリテ heilen スルコトアリト。

(Anhang): Hawthorn (皮角)。

比較的 Hohesalter ノ人ニ多シ, Gesicht ニ多ク, 時トシテ Rumpf, Extremitäten, Schamgegend ニモ entstehen ス。

此 Tumor ハ Hautpapille 及 Corium (眞皮) ノ Wucherung = 因ルモノナレドモ時トシテハ Corium ノ wuchern スルコトアリ。

此 Tumor ハ Haut ノ warziger Knoten トシテ始マリ, Corium ノ Wucherung 盛ニシテ ziemlich gross トナル。Form ハ konisch (圓錐狀) 或ハ hornartig (小角様) 或ハ

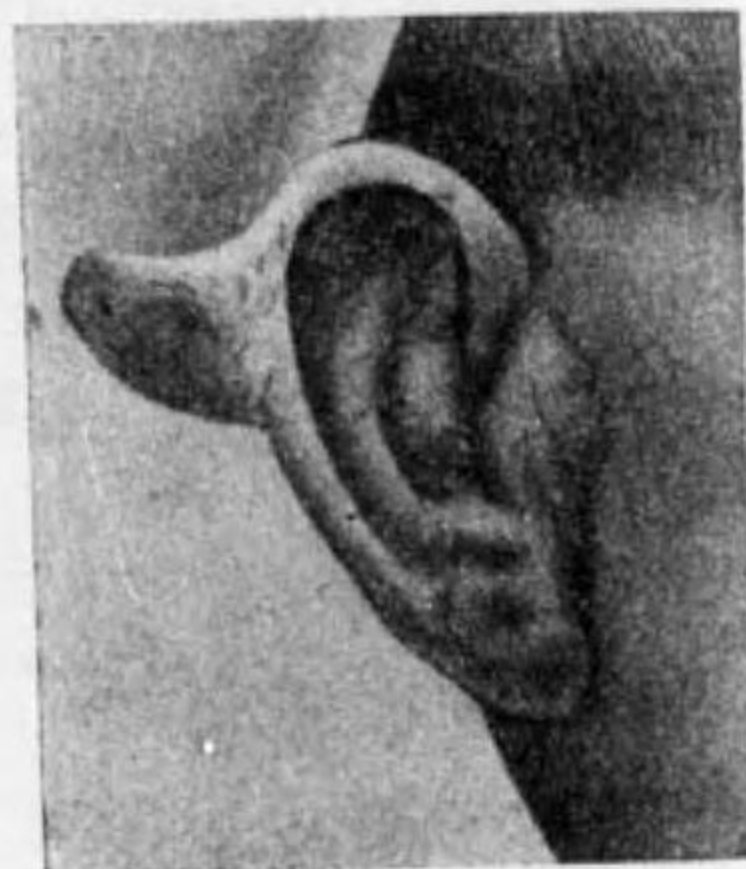
schmal lang ニシテkrallenartig (獸爪狀) ナルアリ, Horn (角) ノ如キ Konsistenz ヲ有シ Oberfläche = 縱溝アリ, dunkel bräunlich 又ハ schwarz ニシテ Basis ノ Haut ハ稍々 verdicken シ少シク gerötet ナリ。Hawthorn ハ時トシテ spontan = abstossen スルコトアルモ又 rezidivieren スルコト多シ。併シ vollständig = rezidieren スレバ Rezidiv ナシ。

第 百 一 圖



鼻ノ皮角

第 百 一 圖



耳ノ皮角

X. Adenom 腺腫 Adenoma.

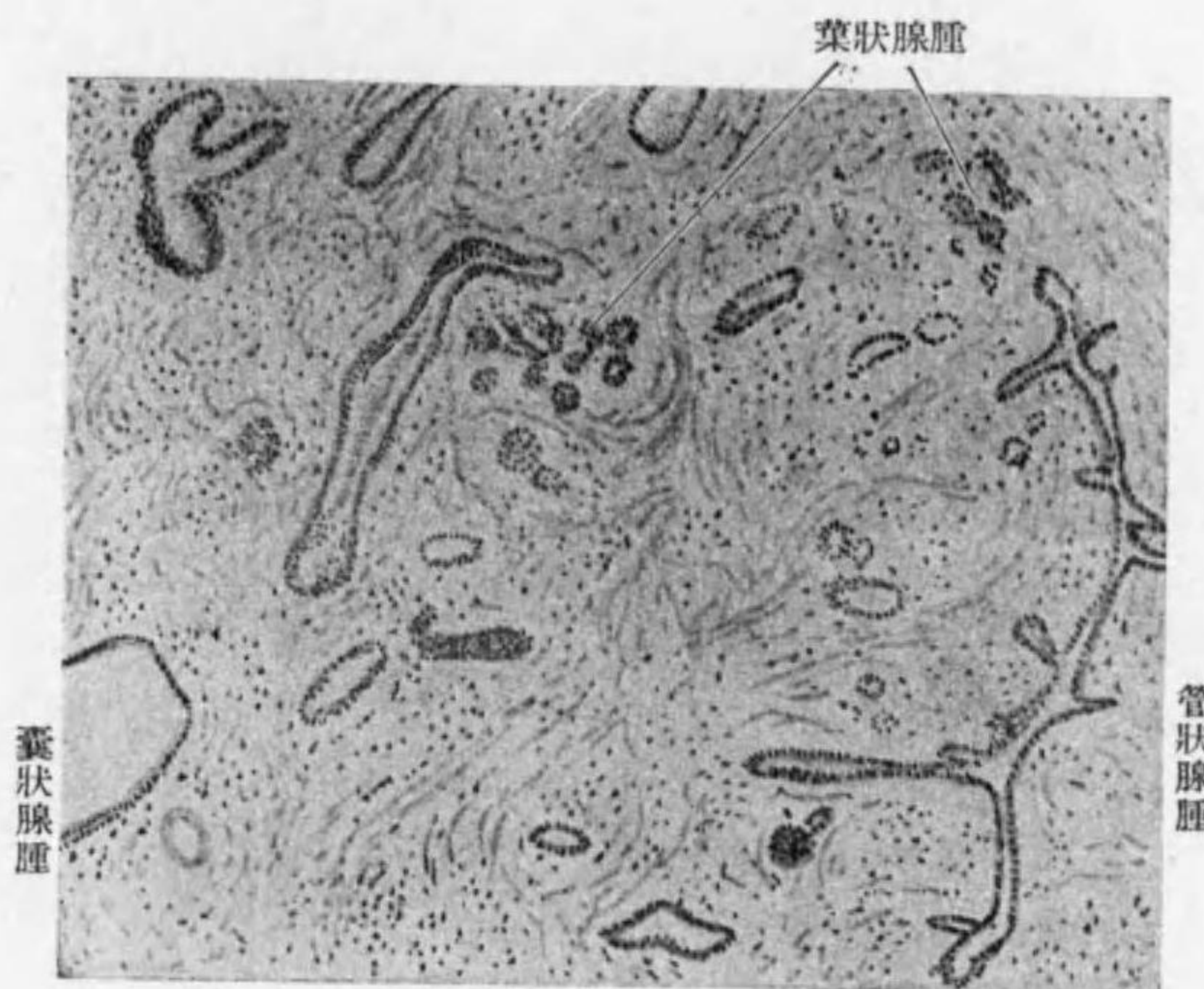
可ナリ häufig ニ認メラルルモノニシテ, 多クハ erworben ニ entwickeln シ, eigentlich ニハ gutartiger Tumor ナルモ, 屢々 karzinomatöse Degeneration ヲナス。

Lokalisation:

- 1). **Haut** (Schweissdrüse, Talgdrüse) sehr selten.
- 2). **Schleimhaut** (Magen, Darm, Nasenhöhle, Uterus, Gallenblase etc.).
- 3). **Drüsige Organe** (Mamma, Leber, Niere, Nebenniere, Hoden, Prostata, Ovarium, Schilddrüse, Thymus etc.).

是等ノ entstehen スル Mutterboden = 就キテハ a). gesundes Gewebe ヨリ, b). 時トシテハ drüsige Organe ノ一部ノ angeborene Verirrung (versprengter Schilddrüsenkeim, Nebennierenkeim etc.) ヨリ。 c). chronische Entzündung 又

第 百 二 圖



乳 腺 ノ 腺 腫

ハ Narbe ノアリシ Stelle (z. B. Mastitis, Schleimhaut ノ Katarrh, Leberzirrhose, Nephritis chronica, Ovarium ノ Narbe etc.) ヨリ entstehen ス。

Bau: zirkumskriptier Tumor ニシテ, 其 histologischer Bau ニヨリテ次ノ Einteilung アリ。即チ,

a). **Adenoma acinosum (葉狀腺腫)** ハ Mamma, Hauttalgdrüse (皮脂腺) ノ如ク, 既 = physiologisch = lappiger Bau ヲ有スル Drüse ヨリ entwickeln スルモノニシテ bindegewebiges

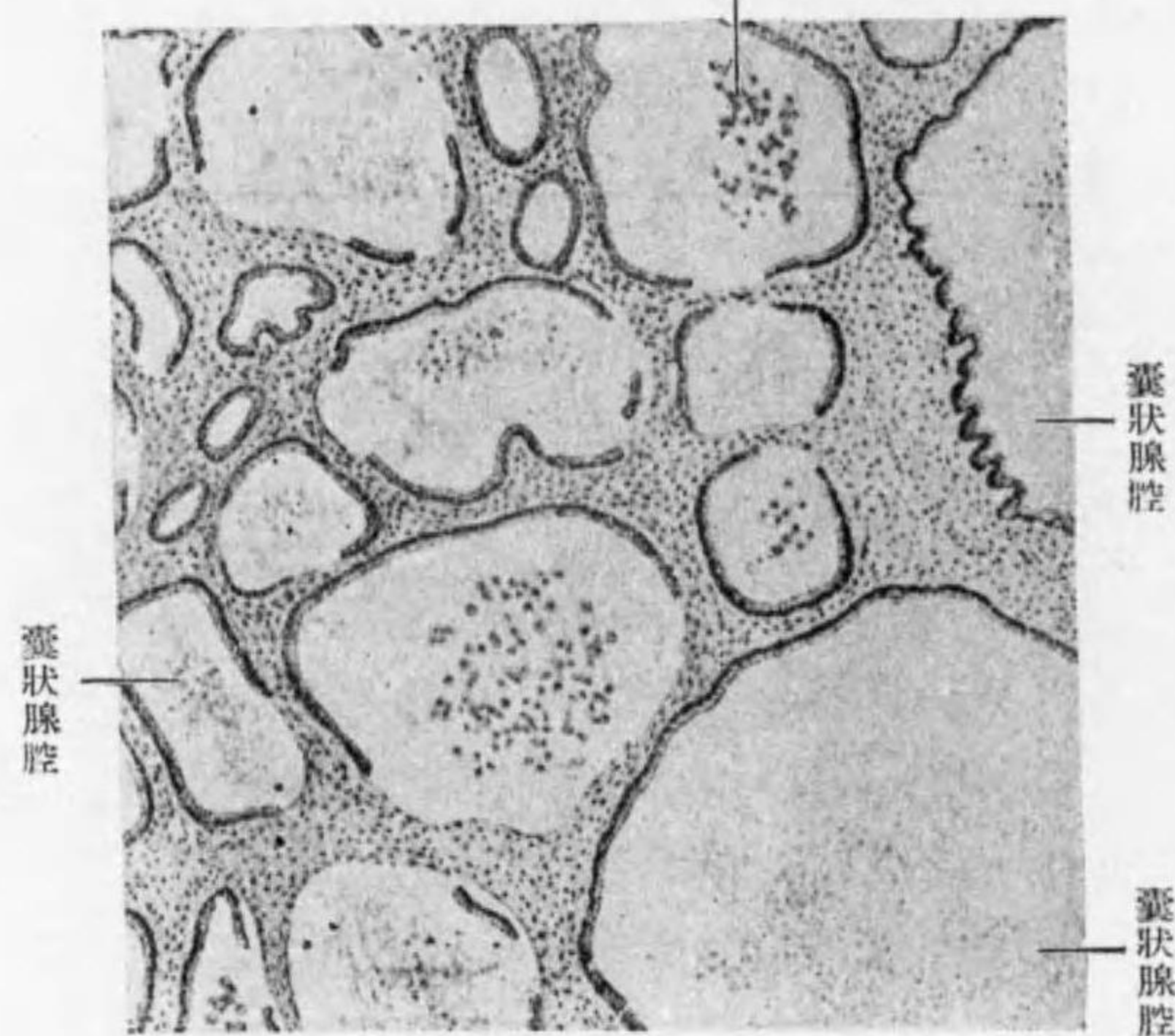
Interstitium (時トシテハ schleimige Degeneration ヲ伴フ) ノ中ニ, lappiger Pau ヲ有スル himbeerartiges Drüsengewebe vereinzelt ニ存シ, physiologisch ノモノニ比シテ, 其 Grösse, Verteilung unregelmässig ナリ。

Drüsenzellen ハ rundlich 又ハ kubisch ニシテ einreihig ナリ。DrüsenSchläuche ハ殆ド無キカ又ハ小ナルヲ常トス。

b). **Adenoma tubulosum (管狀腺腫)** ハ Adenom 中最モ多ク, 特ニ Mamma, Leber, Niere, Ovarium, Magen, Darm 等ノ Schleimhaut ニ entwickeln シ, Interstitium 内ニ tubulös ノ veräs-

第 百 三 圖

脱落セル變性上皮細胞



囊 狀 腺 腫

teln セル DrüsenSchläuche アリ, einschichtige Zylinderzellen 又ハ kubische Zellen ヲ有ス。DrüsenSchläuche ノ Dilatation deutlich ナラズ。

c). **Kystoadenom (囊狀腺腫)**。Adenoma acinosum 又ハ Adenoma tubulosum ヲリ übergehen シ或ハ初メヨリ zystisch ナルコトアリ。DrüsenSchläuche ノ Ausdehnung 著シク, zystisch トナリ, 多クハ verschiedene Grösse ノ Zyste ヲ multipel ニ生ズ (Multiples Kystom)。

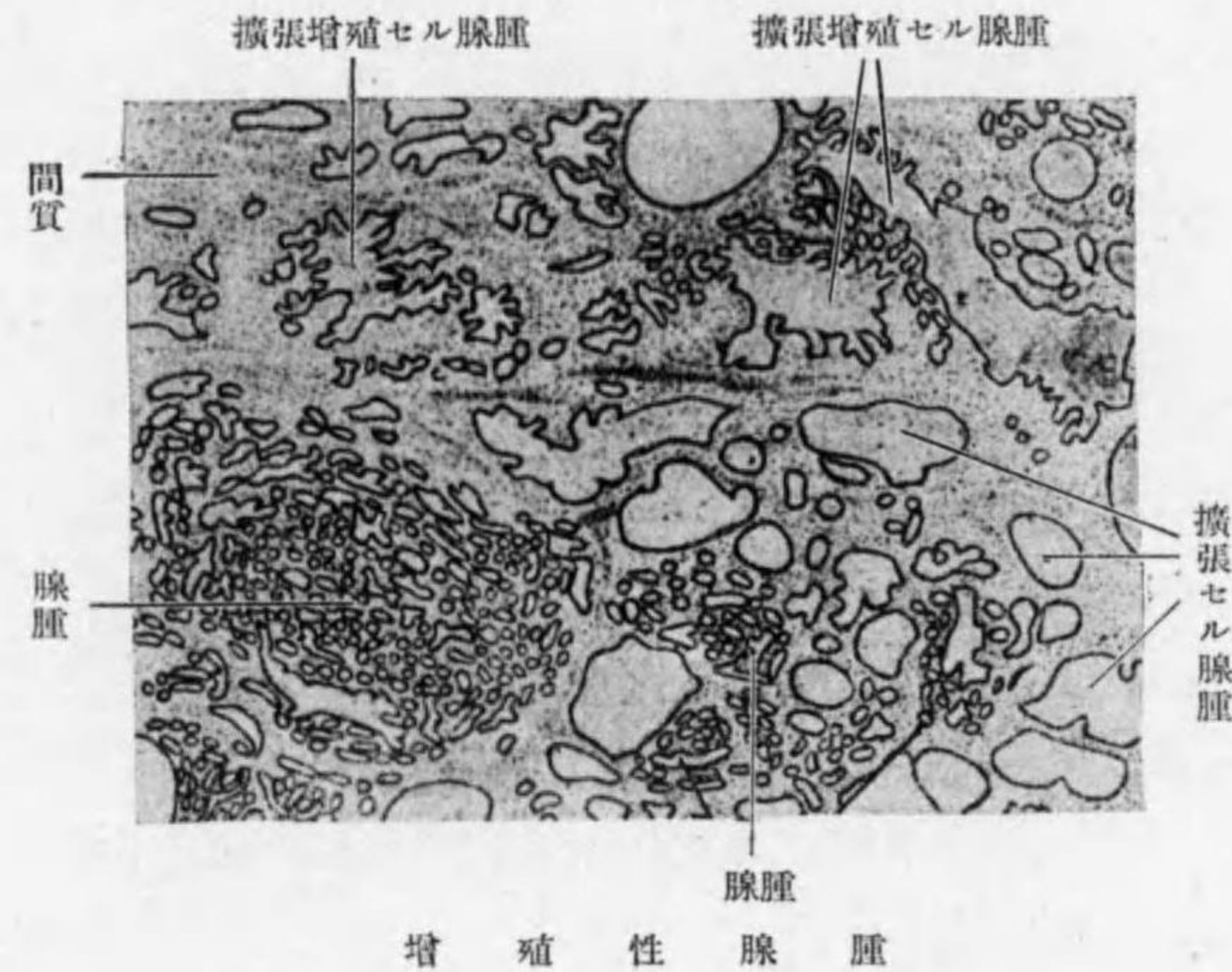
Zystenraum ノ innere Fläche ハ glatt ナルコトアリ, 又ハ papillös ノ Wucherung ヲ見ルコトアリ。之ニヨリテ α). **Kystoadenoma simplex**, β). **Kystoadenoma papilliferum** ノ 2 Arten ヲ分ツ。後者ニアリテハ papillöse Wucherung ノ kurz ナルコトアリ, 或ハ甚ダ deut-

lich ニシテ甚シキ場合ニハ wuchern セル papillöse Masse ニヨリテ Zystenraum ガ殆ド füllen セラルルコトアリ。Zyste ノ innere Fläche ノ Wand ノ Epithel ハ其發生部位ニヨリテ einfach ノ Zylinderepithel, Flimmerepithel, kubische Epithel 又ハ platten Epithel ヲ成ル。是等ノ Epithel ハ多クハ einschichtig ナルモ maligne Entartung ノ Neigung アルモノハ mehrschichtig トナル。

Inhalt ハ Zyste ニヨリテ serös, schleimig (mucinös), pseudomucinös, chylös 等種々アリ。Blutung ア塊時ハ rötlich 又ハ bräunlich トナル。

d). **Adenoma malignum oder Adenoma destruens (悪性腺腫或破潰性腺腫)**。Adenom ト Karzinom トノ中間ニ位スベキモノナリ。Adenom ノ Bau ハ gutartig ノモノハ physiolo-

第 百 四 圖



増 殖 性 腺 腫

gisches Drüsengewebe ニ比スレバ unregelmässig ナレドモ, 甚シク ungeordnet ナラズ。然ルニ若シ maligne Entartung ヲナス時ハ其 Bau 一層 kompliziert トナリ, 特ニ Drüsenzellen ハ einschichtig ナラズシテ zwei-oder dreischichtig, mehrschichtig トナル。Drüse ノ Membrana propria (固有膜) ヲ失ヒ, 或ハ Geschwulstzellen ガ strangartig ニ Interstitium ニ hineinwachsen スル Bild ヲ見ル。其他處々ニ Kernteilungsfigur (核分裂像) ヲ認ムルコトヲ得。

Adenom ハ又他ノ Geschwulst ト kombinieren シ Fibroadenom, Adenosarkom 等トナリ, 又 angeborene Mischgeschwulst ノ Bestandteil トシテ認メラルルコトアリ。

Symptome: 多クハ gutartig ニシテ Wachstum sehr langsam. Konsistenz 多クハ derb, enorm gross ニ到ラズ。Metastase ヲ bilden セズ。

Zystisch ノモノハ relativ gross トナリ易ク, Konsistenz モ weich ナリ。

Adenom ハ屢々 karzinomatöse Degeneration ヲ起シ易ク, 此際ニハ Wachstum plötzlich = rasch トナリ, Lymphdrüsenmetastase ヲ bilden スルニ到ル。

Diagnose: Fibrom, Chondrom, chronische Entzündung ニヨル Induration 又ハ Karzinom ノ Anfangsstadium 等トノ Differentialdiagnose schwer ナリ。時トシテハ histologische Untersuchung ニヨラザレバ Diagnose sicher ナラズ。

Therapie: Exstirpation。

XI. Angiom od. Haemangiom 血管腫 *Angioma*

多クハ angeboren。時トシテ erworben = Blutgefäss ヨリ entwickeln スル Geschwulst ニシテ häufig ニ見ラルルモノナリ。

Arten: Histologisch und klinisch =

- 1). Angioma simplex. (單純性血管腫),
- 2). Angioma cavernosum. (海綿狀血管腫),
- 3). Angioma racemosum. (蔓狀血管腫) ヲ分ツ。

Angiom ハ時トシテハ他ノ Geschwulst ト kombinieren シ來ル (z. B. Fibroangiom, Angiolipom 等)。

1). Angioma simplex (單純性血管腫)。

Lokalisation: Haut 及 subkutanes Gewebe = 最モ多ク, 特ニ其ノ三分ノ二ハ Gesicht = entwickeln ス。之ニ次ギ Kopf = 多シ。其他 Schleimhaut (Mundlippen, Augenlid, Wange etc.), intramuskulär, Mamma, Knochen, Orbita, Gehirn, Rückenmark, innere Eingeweide 等ニモ entstehen ス。

Bau: Kapillaren ガ甚ダシク wuchern シ且 verschlängern (迂曲) シテ一塊トナリ, zirkumskript ノ Tumor ヲ形成シテ Oberfläche 及 Schnittfläche = Blutfarbe ヲ zeigen ス。Umgebung = Bindegewebe ノ Kapsel deutlich ナル場合ト然ラザル場合トアリ。

Histologisch: Schnittpräparat ニテハ mehrere Kapillarlumen ガ ansammeln シ, 其 Endothelzellen ハ kubisch 又ハ etwas platt = テ, einschichtig ナリ。是等ノ Umgebung 及 Gefässlumen ノ間ニハ多少ノ Bindegewebe アリ, 特ニ其多キヲ Angiofibrom (纖維血管腫) ト云フ。

Symptome: a) oberflächliches Angiom ト b) Tiefes Angiom トハ多少其 Bild ヲ異ニス。

a). **Angioma cutaneum od. oberflächliches Angiom** (表皮性血管腫 或表在性血管腫) 之ニハ α). ganz flächenhaft ノモノト β). prominieren (隆出) セルモノトアリ。

α). **ganz flächenhaft ナルモノハ** sog. **Naevus vasculosa** (血管性母斑) ニシテ, 小ナルハ rötliche Flecke, 大ナルハ rötlich od. dunkelrötlich ノ landkartenartig (地圖狀) ノ Bild ヲ呈ス。Anschwellung 一般ニ gering ニシテ, Oberfläche glatt ナルヲ常トス, Begrenzung undeutlich ナリ。Glasplatte (硝子板) ヲ以テ drücken スレバ, rötliche Farbe ナクナル。

之ハ多クハ angeboren = 生ジ, 成長スルニ從ツテ mässig rasch = vergrössern ス。

此 typisch ノ Bild ニヨリ Diagnose leicht ニシテ, 他ニ differenzieren スベキモノナシ。

β). **prominieren セルモノハ**, 普通 Angioma simplex トシテ取扱ハルルモノナルガ, klein ニシテ fleckig ナルモノハ warzenartig (疣狀) ニシテ, gross ナルハ tumorartig トナル。併シ rein ノ Angioma simplex ハ daumenspitzzgross—taubeneigross 以下ニテ, Angioma cavernosum ノ如クニ大トナルコトナク, Wachstum mehr langsam ナリ。

Oberfläche rötlich oder dunkelrötlich ニシテ, himbeerartig (覆盆子狀) = uneben ナルガ, Angioma cavernosum ノ如クニ甚シク uneben ナラズ。

oberflächliches Angioma ハ Haut ト verwachsen シ, Unterlage = 對シテ verschieblich ナルヲ常トス。Begrenzung ハ多クハ scharf ナリ。

Konsistenz ハ weich ニシテ kompressibel ナルガ, Angioma cavernosum = 於ケルガ如キ Knoten ヲ betasten スルコトナシ。

b). **Tiefes Angiom** oder **Angioma subcutaneum** (深在性血管腫或皮下性血管腫) Hautfarbe blassdunkelrötlich oder bläulich, 時トシテハ normale Farbeヲ呈ス。

Hautト Verwachsung ナキコト多ク, Unterlageトモ Verwachsung ナシ。 Oberfläche glattニ見ユ。

Angioma cutaneum ヨリ grösser トナル。

其他 Begrenzung scharf ナルコト多ク, Konsistenz weich kompressibel ナル點ハ兩者同様ナリ。

Hautfarbe deutlich ナラザル時ハ Lipom, Lymphangiom 等ト täuschen セラルルコトアリ。

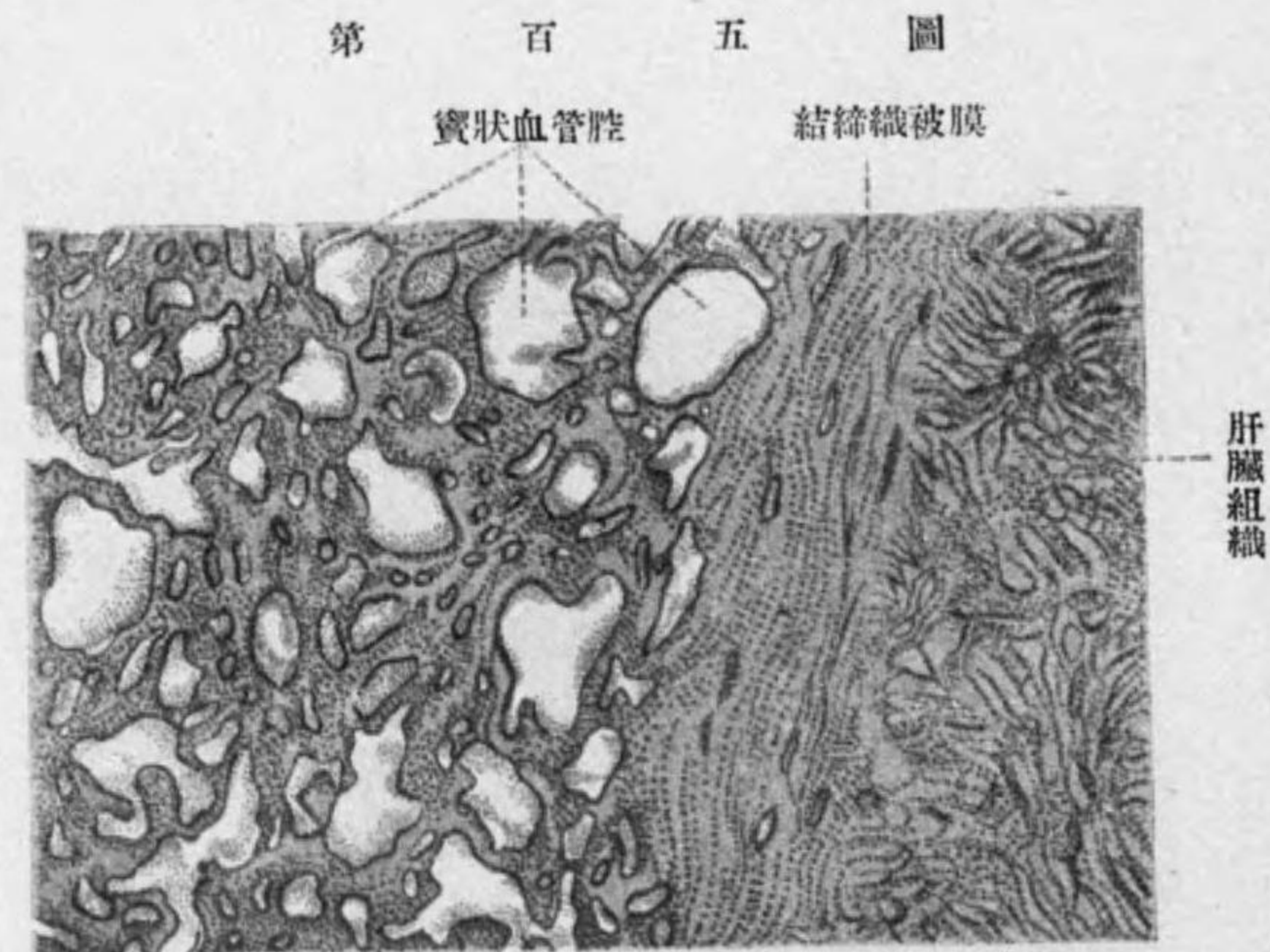
2). **Angioma cavernosum** (海綿狀血管腫或竇狀血管腫)

屢々 Angioma simplex ト kombinieren シ, 或ハ Angioma simplex ヨリ cavernosum ニ übergehen スルコトモアリ。

多クハ angeboren, seltenニ erworbenニ發生ス。

Lokalisation: Angioma simplex ト大體同ジク, Haut, subkutan, submucosaニ多ク, 特ニ Gesicht, Kopfニ häufigニ auftreten シ, 時トシテ Mundhöhle, 其他 Muskel, Knochen, innere Eingeweide (Leberニ多ク, 時ニハ Milz, Niere) 等ニモ entstehen ス。

Bau: Penisノ Corpus cavernosum (海綿樣體)ニ ähnlichニシテ, dilatierte Gefässräumeヨリ



肝臓ノ竇狀血管腫

成リ (verschieden gross), Blutニ füllen サレ, innere Flächeハ plattノ Endothelzellenニ decken セラル。

是等ノ Gefässräumeハ互ニ kommunizierenセルモノニシテ, 1-2ノ Arterien又ハ dilatierte Venenニ Zusammenhangヲ有スルヲ常トス。

此 Angiomハ Bindegewebeニ abkapselnセラルルコトト, 其 Kapselガ完全ナラズシテ, Begrenzung undeutlichナルコトトアリ, 從ツテ Wachstum expansiv (膨脹性)ナルコトト, infiltrativ (滲潤性)ナルコトトアリ。

dilatierte Gefässlumenノ中ニ時トシテハ **Thrombus**ヲ bildenシ, 後ニハ **organisieren** (結締織化)シ, Kalkガ ablagernスルコトトアリ (**Venenstein** 靜脈石)。或ハ dilatierenセル Gefässräumeガ Muttertumorト Verbindungヲ失ヒテ, Zysteヲ形成スルコトトアリ (**Blutzyste** 血囊腫)。

Symptome:

oberflächlichノモノト tiefノモノトニヨリ多少 Bildヲ異ニス。

a). **oberflächlich**ノモノハ knotig (結節狀), himbeerartig (覆盆子狀), lappig (分葉狀) 或ハ unregelmässig tumorartig (不同腫瘤狀)トナリ,

rötlich—dunkelrötlichニシテ, Oberfläche uneben höckrigナリ。 Hautハ dünnニシテ, 時トシテハ其上ニ Haarノ Wucherungヲ見ルコトトアリ。 gesunder Teilトノ Begrenzungハ多クハ deutlichナリ。

b). **tief**ノモノハ Hautfarbe bläulich—dunkelbläulichニ durchschimmernスルコト多ク, 時トシテハ leicht dunkelrötlichナルコトモアリ。 或ハ Hautfarbe ganz normalナルコトモアリ。 或ハ Tiefeニ於テハ leicht bläulich又ハ normalノ Hautfarbeヲ呈シ, 其上ニ rötlichノ Fleckeヲ見ルコトモアリ

第 百 六 圖



血 管 腫

リ (oberflächliches Angiom ヲ kombinieren セル場合), tiefes Angiom ニ於テハ Oberfläche ノ Haut glatt ナルコト多ク, Haut トノ Verwachsung ハ不定ナリ。Unterlage トハ Verwachsung ナキコト多シ。Begrenzung ハ scharf ナルコトアレドモ, 大ナルハ diffus ナルコトアリ。

Gesicht ニ於ケル Angiom ハ屢々著シキ Missbildung ヲ呈シ, 時トシテハ Makroglossie (巨舌), Makromelie (巨頰), Makrochilie (巨唇) ノ状ヲ呈シ, oberflächlich ノモノニ於テハ Verfärbung deutlich ナルモ, tief ノモノニ於テハ deutlich ナラズ。

其他 diffus ニ anschwellen シ Lappenelephantiasis (瓣狀象皮病) ノ Bild ヲ呈スルコトアリ。

Konsistenz weich kompressibel ナルコト typisch ナリ。時トシテハ其中ニ derb ノ Knötchen ヲ fühlen ス (Gefässräume ニ於ケル Thrombusbildung—Venenstein ニヨル)。

稍々大ナル Arterien ト kommunizieren スルモノニ於テハ時トシテ Pulsation ヲ認メ, 又ハ一種ノ Geräusch ヲ呈スルコトアリ。

Angiom ハ abführende Vene ヲ drücken シ, 又ハ其部位ヲ abhängen シ, Gesicht, Kopf ニ於テハ Bauchpresse ニヨリテ Venenstauung ヲ起サシムル時ハ mehr deutlicher トナルヲ常トス。他ノ Geschwulst ニ於テハ決シテ此ノ如キコトナシ。

Wachstum ハ langsam ナルコトト, rasch ナルコトトアリ, 又時トシテハ enorm ノ Grösse トナルコトアリ。Kopf ニ於テハ或ハ Schädelknochen ヲ usurieren シ, 或ハ又 Nerven ヲ drücken シテ Neuralgie ヲ發スルコトアリ。

其 Verlauf 中ニ Entzündung, Blutung ヲ起スコトアリ, 又 Thrombusbildung ニヨリテ多少 schrumpfen スルコトアルモ, 全ク heilen スルコトナシ。

其他 Muskel, Knochen, innere Eingeweide ノ Angiom ハ klinisch ニ Symptome ヲ現ハスコトハ ganz selten ニシテ, Sektion 又ハ Operation ニ際シテ zufällig ニ entdecken セラルルコト多シ。

Diagnose (單純性及海綿狀血管腫): eigentümlich ナルハ

(イ) Farbe (rötlich—dunkelrötlich—bläulich) (Druck ニヨリ ablassen ス)。
(ロ) Konsistenz (weich kompressibel), (時トシテ其中ニ Knötchen アリ)。
(ハ) Form (platt—uneben—unregelmässig). (ニ) Venenstauung ニヨリ vergrössern スルコト等ニヨリテ診断セラル。之ト differenzieren スベキモノハ

i). **Lymphangiom** (淋巴管腫)。Konsistenz ハ Angiom ニ ähnlich ナルモ, Hautfarbe 異ナル。併シ tief ナルハ Hautfarbe ニヨリテ differenzieren シ難シ。Venenstauung ニテ Lymphangiom ハ Veränderung ナキモ, 部位ニヨリテハ Angiom ニ於テモ undeutlich ナルコトアリ。

Diagnose schwer ノ場合ニハ, dünne Nadel ヲ以テ Probepunktion ヲ行フコトアリ。

ii). **Aneurysma** (動脈瘤)。Angiom ニ Pulsation アル時ハ鑑別ヲ要スルコトアリ。併シ イ). Lokalisation, ロ). Hautfarbe, ハ). Konsistenz, ニ). Form 等ニヨリテ differenzieren セラル。

iii). 其他 **weiches Lipom, Zyste, kalter Abszess** 等ガ tiefes Angiom ト誤ラルルコトアリ。Diagnose unklar ナル時ハ Probepunktion ニヨリテ nachweisen セラル。

Therapie: 其 Arten 及 Grösse ニヨリテ異ナル。

i). sehr klein ノ Angiom ニテハ rauhende Salpetersäure (發烟硝酸), Maclanin (澱粉ヲ 30% Kalilauge ニテ 24 stundenlang 溶シ leimartig (膠狀) トナシタルモノ), Kohlensäureschnee (雪狀炭酸) ヲ以テ wöchentlich 一二回 aetzen ス。glücklich ノ場合ニハ einige Male ニテ heilen スルコトアリ。

ii). Röntgentherapie, Radiumtherapie ハ稍々大ナル Angiom ニモ anwenden セラル, 併シ Erfolg sicher ナラズ。

iii). Arzneimittel ノ Injektion ハ grosses Angiom ニ用キラルルモノニシテ 70—80% Alkohol, 30—50% Chloralhydrat, Magnesium (5—10% Magnesium-glycerin) ヲ用フ。

Chloralhydrat は wöchentlich einmal, 初メハ 30% ノモノ約 0.5 cc ヲ少量ツツ Tumor ノ Peripherie ノ各所ニ injizieren シ, allmählich = Menge ヲ増シ, 三四回ノ後ニハ 50% ノモノヲ injizieren ス。Injektion ノ後ニ Entzündungserscheinung ヲ呈スルコトアリ, 此際ニハ一時 kalter Umschlag ヲ行ヒ, Entzündung ノ去ルヲ待チテ更ニ注射ヲ行フ。

iv). Magnesiumstift, elektrische Nadel ハ大ナル Angiom ニテ Operation ノ unmöglich ナル場合ニ用キラル, 之ニヨリテ Thrombusbildung ヲ起シテ heilen スルコトアリトノコトナレドモ, 弘ク行ハレズ。

v). Paquelin (烙白金), Thermokauter (電氣燒灼法) ハ往時用キラレシモ, 現今ハ餘リ用キラレズ。特ニ本法ハ後來大ナル Narbe ヲ作り易シ。

vi). Operation ニヨリテ exstirpieren スルハ最モ sicher ナレドモ, 大ナル Angiom ニ對シテハ行ヒ難キコトアリ, 或ハ Injektionstherapie ニテ一程度マデ verkleinern セシメタル後 Operation ヲ行フ。

併シ大ナル Angiom ニ對シテハ何レノ治療法モ效果ナシ。

3). **Angioma racemosum (蔓狀血管腫) (Rankenaneurysma)**。多クハ angeboren, selten = erworben = mechanischer Reiz ニヨリテ生ズ。本症ハ echte Geschwulst ニハアラズシテ Gefäss ノ abnorme Wucherung ニ外ナラズト稱セラル。

Lokalisation: Kopf, Gesicht ニ häufig, 時トシテハ Extremitäten ニモ生ズルコトアリ。sehr selten = Hirnarterien ニ發生セル例モアリ。

Bau u. Symptome: subkutan ノ Gefässe (A., V., Kapillaren) ガ著シク dilatieren シ rankenartig = verschlängern (迂曲) 或ハ verflechten (交錯) シ或ハ teilweise sackartig = erweitern シ, Haut ヲヨリ deutlich = 之ヲ beobachten セラル。Farbe violettblau—bläulich ニシテ上下ノ Begrenzung 屢々 undeutlich ナリ。



第百七圖 顔面ノ蔓狀血管腫

其上ノ Haut ハ teilweise dünn トナリ, 時トシテハ dilatierte Gefässe ト verwachsen スルコトアリ。

Konsistenz ハ weich ニシテ deutlich kompressibel ナリ。時トシテハ其中ニ Knötchen ヲ fühlen スルコトアリ。

A. ト kommunizieren セルガ爲, 多クハ **Pulsation** ヲ認メ, 時トシテハ **Geräusch** ヲ聽ク。

Extremitäten ニテハ zentral ノ Haupt-A. ヲ drücken スレバ, Rankenangiom verkleinern シ, Pulsation, Geräusch

モ undeutlich トナル。之ニ反シ Kopf, Gesicht ニテハ Kommunikationsäste 多キガ故ニ, 此 Symptome unklar ナリ。然レドモ Kopf

ヲ下垂シ, 若クハ Bauchpresse ニヨリテ Venenstauung ヲ起ス時ハ deutlicher トナル。

Wachstum ハ初メハ rasch ナルモ, 後ニハ langsam トナルコト多ク, 或ハ一程度ニ至レバ vergrößern セズ。

時トシテハ Entzündung 又ハ Blutung ヲ來シ, schwere Symptome ヲ呈スルコトアリ。

Subjektive Symptome ハ unbestimmt ナルガ, Kopf ニ於テハ Neuralgie, Kopfschmerz, Schwindel, Schlaflosigkeit 等アリ, Extremitäten ニテハ chronisches Geschwür ヲ bilden スルコトアリ。併シ概シテ symptomlos ナルコト多シ。

Diagnose: 其 eigentümlich ノ Bild ニヨリテ leicht ニシテ, 他ニ differenzieren スベキモノナシ。

Therapie: zuführende A. ノ Unterbindung ヲ行フコトアルモ sicher ナラズ。同時ニ dilatierte V. ヲ unterbinden シ, 是等ヲ exstirpieren スルヲ以テ sicher トナス。但シ本法ハ大ナル Angiom ニハ anwenden シ難シ。

第百八圖



手及前膊ノ蔓狀血管腫

Extremitäten ニテハ Gummirohr ヲ用キ一時 V.-Stauung ヲ起サシメテ、Magnesin ヲ injizieren スル方法アリ。

XII. Lymphangiom 淋巴管腫 *Lymphangioma*.

Haemangiom ニ比シテ selten, 多クハ angeboren ニ生ズ。

Arten: Histologisch ニ, 1). Lymphangioma simplex, 2). Lymphangioma cavernosum, 3). Lymphangioma cysticum ノ 3 Arten ヲ分ツ。併シ (3) ハ angeborene Missbildung ニシテ, echte Geschwulst ニアラズトモ稱セラル。

1). Lymphangioma simplex (單純性淋巴管腫)。

Angioma simplex ニ比シテ sehr selten ナリ。

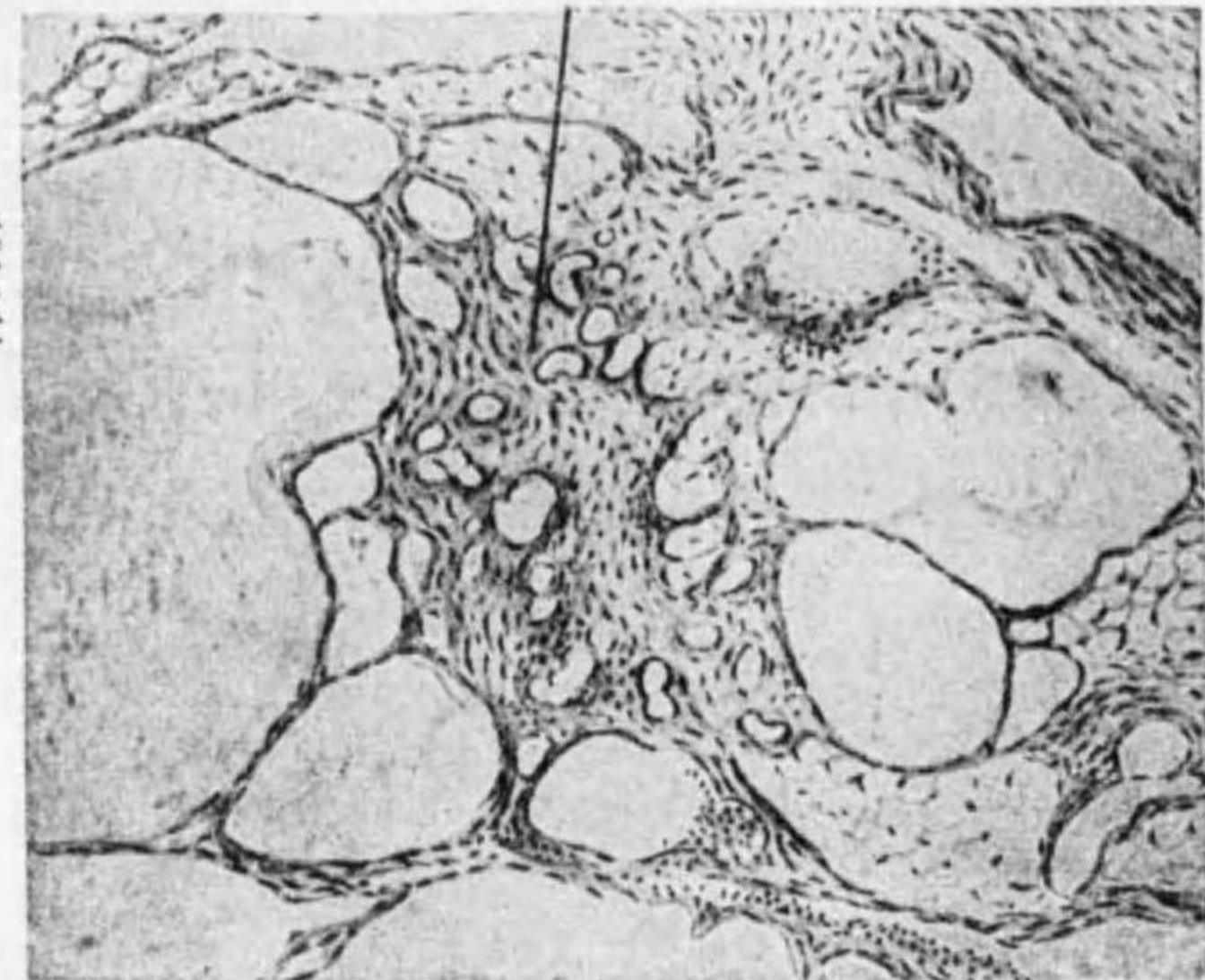
Körper ノ verschiedene Stelle ノ Haut, subkutan ニ entwickeln スル knotig ノ Geschwulst ニシテ, Angiom ノ如クニ weich, kompressibel ナルモ, 其ノ Oberfläche ニ Blutfarbe ヲ zeigen スルコトナシ, 併シ稀ニハ leicht gelblich 又ハ etwas transparent ニ見ユルコトアリ。Wachstum ganz langsam ナリ。

2). Lymphangioma cavernosum (海綿様淋巴管腫)。

Seitenhals, Augenlid, Ohrlapfen, Wange (Makromelie 巨頰), Zunge (Makroglossie 巨舌), Mundlippe (Makrochilie 巨唇) ヲ始メトシ Brust, Mamma, Bauchwand, Extremitäten 等ニモ生ズ。

Bau: Angioma cavernosum ニ 類似 ナリ。unregelmässig ニ verschlängern (蛇行), verflechten (交錯) セル Lymphgefäss ヨリ成ルモノナルガ, Schnittpräparat ニテ檢スレバ, verschie-

第九圖
海綿狀 間質



囊腫性及海綿様淋巴管腫

den gross ノ Lymphräume アリ, innere Fläche ハ platt ノ Endothelzellen ニ bedecken セラレ, Inhalt ハ Lymphsaft ナリ (selten ニ sekundär ニ 多少 ノ Blutzellen ヲ mischen スルコトアリ)。Lymphräume ノ Umgebung ニハ 多少 ノ Bindegewebe アリ, 特ニ Bindegewebe 多キ時ハ Fibrolymphangiom ト云フ。klein ノ Lymphangiom ハ Bindegewebekapsel ヲ有スルコトアルモ, 多クハ之ヲ fehlen シ, 従ツテ Begrenzung diffus ナリ。

Symptome: Angioma cavernosum ニ 多少 類似 ナリ。

Platte Anschwellung 又ハ deutliche Anschwellung トシテ auftreten シ, 多クハ Begrenzung diffus ナリ。Zunge, Lippe, Ohrmuschel 等ニ於テハ其ノ Volum 著シク大トナル。

Konsistenz weich, kompressibel ナルコトハ Angioma cavernosum ニ 類似 ナルモ, 之ニ於テハ Knötchen ヲ fühlen スルコトナシ。又

Hautfarbe ハ Angiom ニ於ケルガ如ク, eigentümlich ナラズ, normal ナルコト多シ, selten ニハ leicht gelblich 或ハ leicht transparent ナルコトアリ。

Begrenzung ハ undeutlich ナルコト多ク, 或ハ Bindegewebe ノ Zunahme ヲ伴ヒテ Elephantiasis (象皮病) ノ如クニ verdicken スルコトアリ。

Wachstum ハ langsam ナルガ, Entzündung ヲ起ス時ハ plötzlich ニ vergrössern シ, schwere Symptome (allgemeine Infektion) ヲ起シ, gefährlich トナルコトアリ。

第十圖



先天性海綿様淋巴管腫ニ因スル巨頰

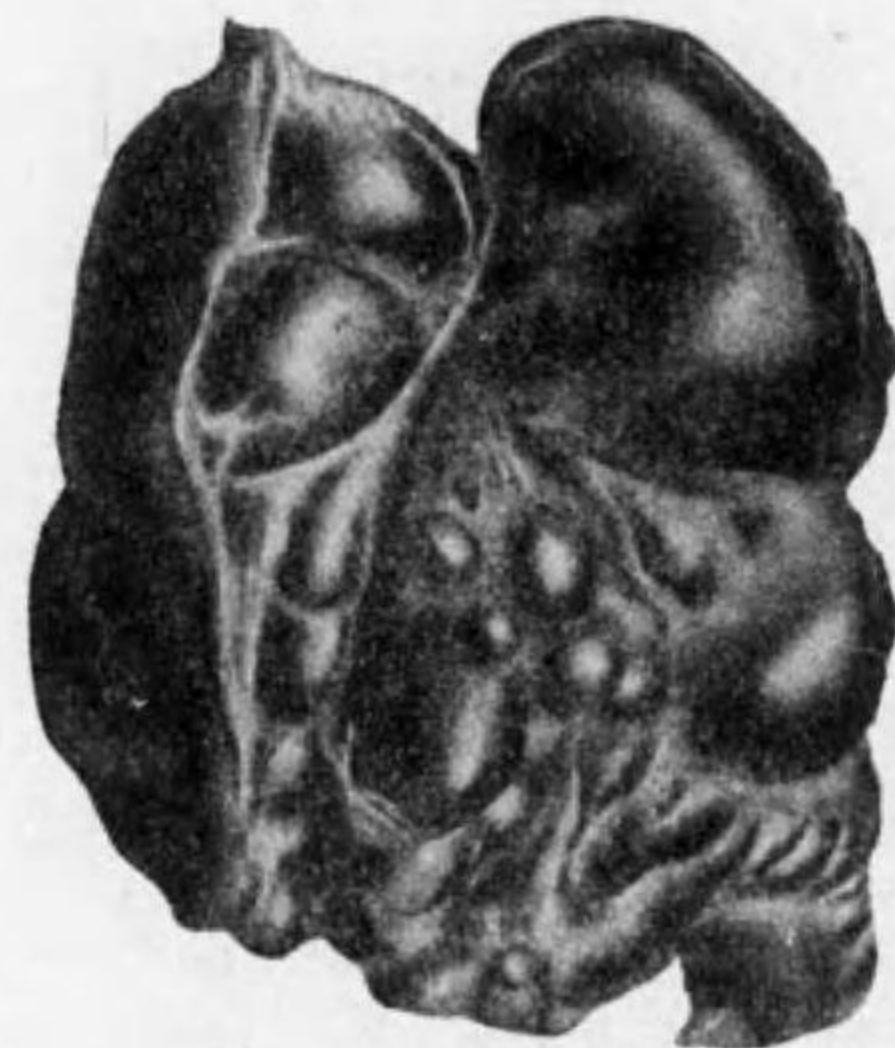
第十一圖



先天性囊腫性淋巴管腫

Diagnose (單純性及海綿様淋巴管腫): Konsistenz weich kompressibel ナルコト typisch ナリ。Angiom ガ tief ニアル時ハ其 Haut ノ Verfärbung deutlich ナラザルヲ以テ Diagnose schwer ナルコトアリ。併シ Lymphangioma cavernosum ハ diffus ナルコト多ク、又 Angiom ニテ著シク大ナル場合ニハ大抵多少ノ Verfärbung アリ、屢々 Knötchen ヲ觸ルルモ、Lymphangioma ニ於テハ此ノ如キコトナシ。其他 Probepunktion ニヨリテ

第百十二圖



同上別出標本 (表面)

第百十三圖



同上別出標本 (横断面)

モ區別セラル。

Therapie: Operative Behandlung アルノミ。併シ enorm gross ノモノハ Exstirpation schwer ナリ。Operation ニ際シテ infizieren スレバ schwere Phlegmone ヲ起ス。Injektionstherapie ハ效ナシ。時トシテ X線療法效果アリ。

3). Lymphangioma cysticum (囊腫性淋巴管腫)。

Angeboren ニ Seitenhals ニ生ズルコト最モ多ク、其他 Wange, Achselhöhle, Inguinalgegend, Extremitäten ノ Beugeseite ニ生ズルコトアリ。sehr selten ニハ Steissbein ノ前面, Mesenterium ノ Ansatzstelle ニ entstehen ス。

多クハ multilokulär ノ Zyste ニテ、sehr selten ニハ einzelne Zyste ナルコトアリ。Wand dünn ニシテ、Inhalt ハ klar ノ Lympfsaft ナルヲ常トス

ルモ sekundär ニ其中ニ bluten シ居ルコトアリ。Mesenterialansatz (腸管膜附着部) ノ Zyste ニテハ Inhalt chylös (乳糜狀) ナルコトアリ。

多クハ Begrenzung scharf, Konsistenz weich ニシテ fluktuieren シ, kompressibel ナラザルヲ常トス (grosses Lymphgefäss トノ Kommunikation ナキ爲)。

Grösse verschieden ニシテ、大ナルハ kindeskopfgross トナルコトアリ。**Wachstum** ハ langsam ナリ。併シ Eitererreger ノ Infektion アル時ハ rasch ニ vergrössern シ, entzündliche Zeichen deutlich トナル。

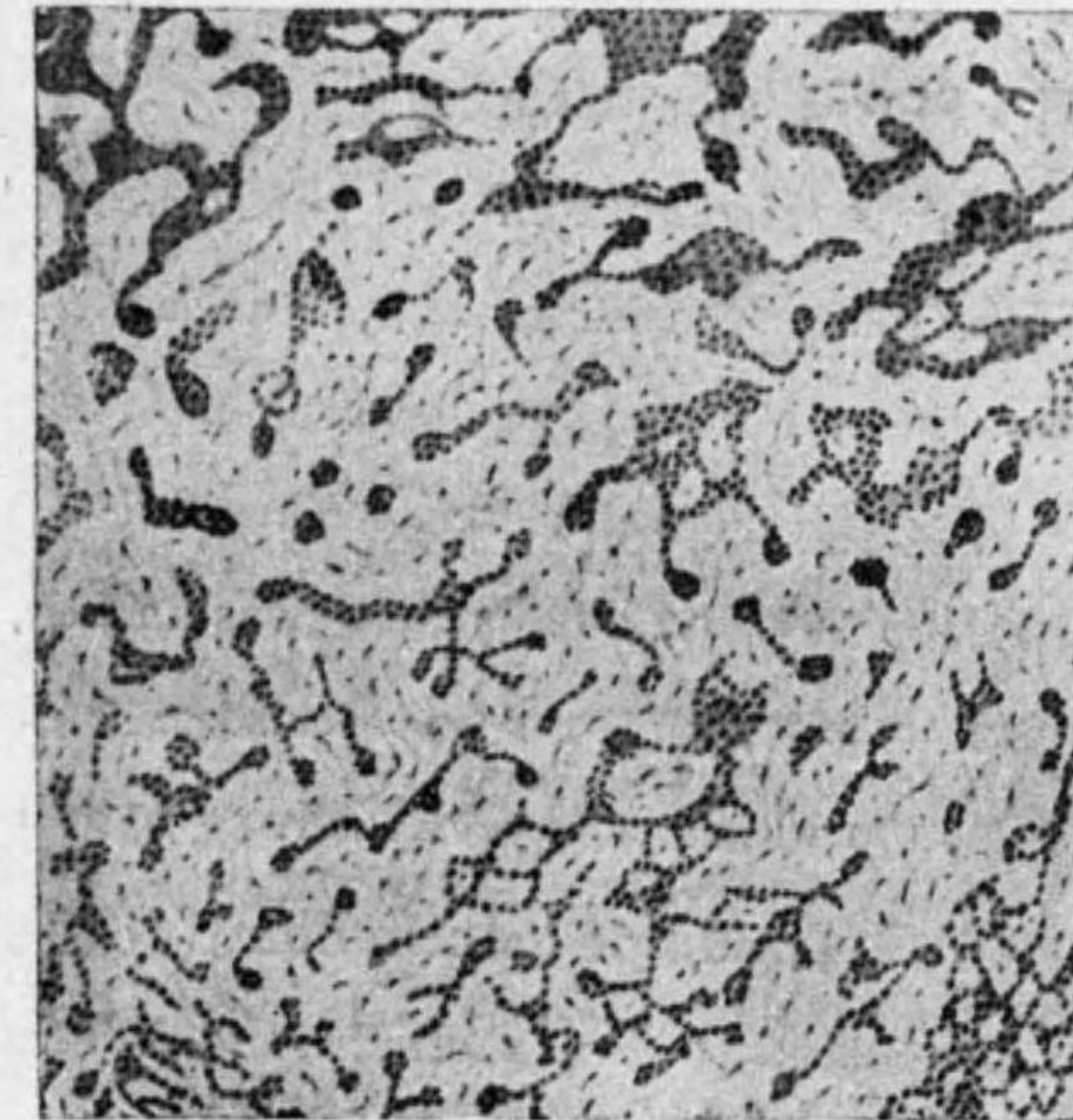
Diagnose: Kiemengangszyste, Blutzyste, Echinokokkus, Struma cystica (verirrte), weiches Lipom 等ト differenzieren スルヲ要ス。Probepunktion ニヨリテ確定セラル。**Lymphangioma cavernosum** トハ Kompressibilität 及 Begrenzung ニヨリテ區別セラル。

Therapie: Exstirpation。

XIII. Endotheliom 内被細胞腫 Endothelioma.

普通之ニ 1). Lymphangoendotheliom, 2). Haemangoendotheliom ノ 2 Arten ヲ分チ、尙ホ spezifisch ノモノトシテ 3). Peritheliom, 4). Psammom, 5). Zylindrom ヲ 附屬セシム。

第百十四圖



淋巴内被細胞腫

1). Lymphendotheliom (淋巴内被細胞腫)。

Endotheliom 中最モ häufig ノモノナリ、從ツテ普通單ニ Endotheliom ト云ヘバ之ヲ bedeuten ス。

Angeboren 又ハ erworben ニ Lymphgefäss 又ハ Lymphspalte ノ Endothelzellen ヲヨリ entwickeln ス。

此ノ **histologischer Bau** ハ Carzinoma simplex ニ ähnlich ニシテ、 Bindegewebiges Interstitium (結締織間質) 及 Zellalveolen (細胞胞巢) ヨリ成ル。併シ genau ニ untersuchen スレバ次ノ相異アリ。

	Carzinoma simplex	Endotheliom
i). Interstitium ト Alveolen-Zellen トノ關係	locker	dicht
ii). Zellalveolen ノ Ende	rundlich = 終ル,	spitzig = 終ル。
iii). Schichtungskörperchen (Zellstränge ノ 中間 = 生ズ, Lymphsaft ト abgestossene Endothelzellen ヨリ成ル)。	fehlen	Endotheliom = spezifisch ナリ。

rein ノ Lymphendotheliom ハ relativ selten ニシテ、 Mischgeschwulst 中ニ之ヲ見ルコト多ク、 屢々 Fibromyxendotheliom トシテ來ル。

此ノ **Geschwulst** ハ Parotisdrüse 又ハ Parotisgegend, Gesicht, Hals, Mundhöhle 等ニ來ルコト多シ。是等ハ多クハ Kiemenbogen (腮弓)ノ verirrter Keim ヨリ entwickeln ス。其他 subkutan, Gesichtsknochen, Schädelknochen, Peritoneum, Pleura, Mamma, Niere 等ニ entwickeln スルコトアリ。併シ何レモ sehr selten ナリ。

rein ノ Endotheliom ハ gutartig ノ lokalisierter Tumor ニシテ、 Oberfläche glatt, Konsistenz derb, Wachstum langsam, Metastase ヲ bilden スルコトナク、 Fibrom 又ハ gutartig ノ Adenom ニ ähnlich ナリ。

併シ Mischgeschwulst ノ ein Teil トシテ存シ、 sarkomatös 又ハ myxomatös ナル時ハ、 Oberfläche etwas uneben, Konsistenz etwas weich, Wachstum rasch ニシテ、 時トシテハ Metastase ヲ作り、 或ハ Umgebung ト verwachsen シテ、 Operation ノ後ニ Rezidiv ヲ起スコトアリ。

2). **Haemangioendotheliom (血管内被細胞腫)**。

Blutgefäss ノ Endothelzellen ノ Wucherung ニヨリテ生ズルモノニシテ、 其 Bau 稍々 Lymphangioendotheliom ニ ähnlich ナルモ Schichtungskörper-

chen ヲ有セズ。 Gefäßlumen 全ク Endothelzellen ヲ以テ füllen サルルコトモアレドモ、 屢々其中ニ Lumen アリテ Blut ヲ有ス。

Knochen, Muskel, Penis, Ovarium, Mamma, Subkutis ニ entstehen スルコトアルモ sehr selten ナリ。 gefäßreiches Sarkom ノ如キ Bild ヲ zeigen スレドモ稍々 derb ノ Konsistenz ヲ有シ、 Wachstum ハ langsam ニシテ Metastase ヲ作ラズ。

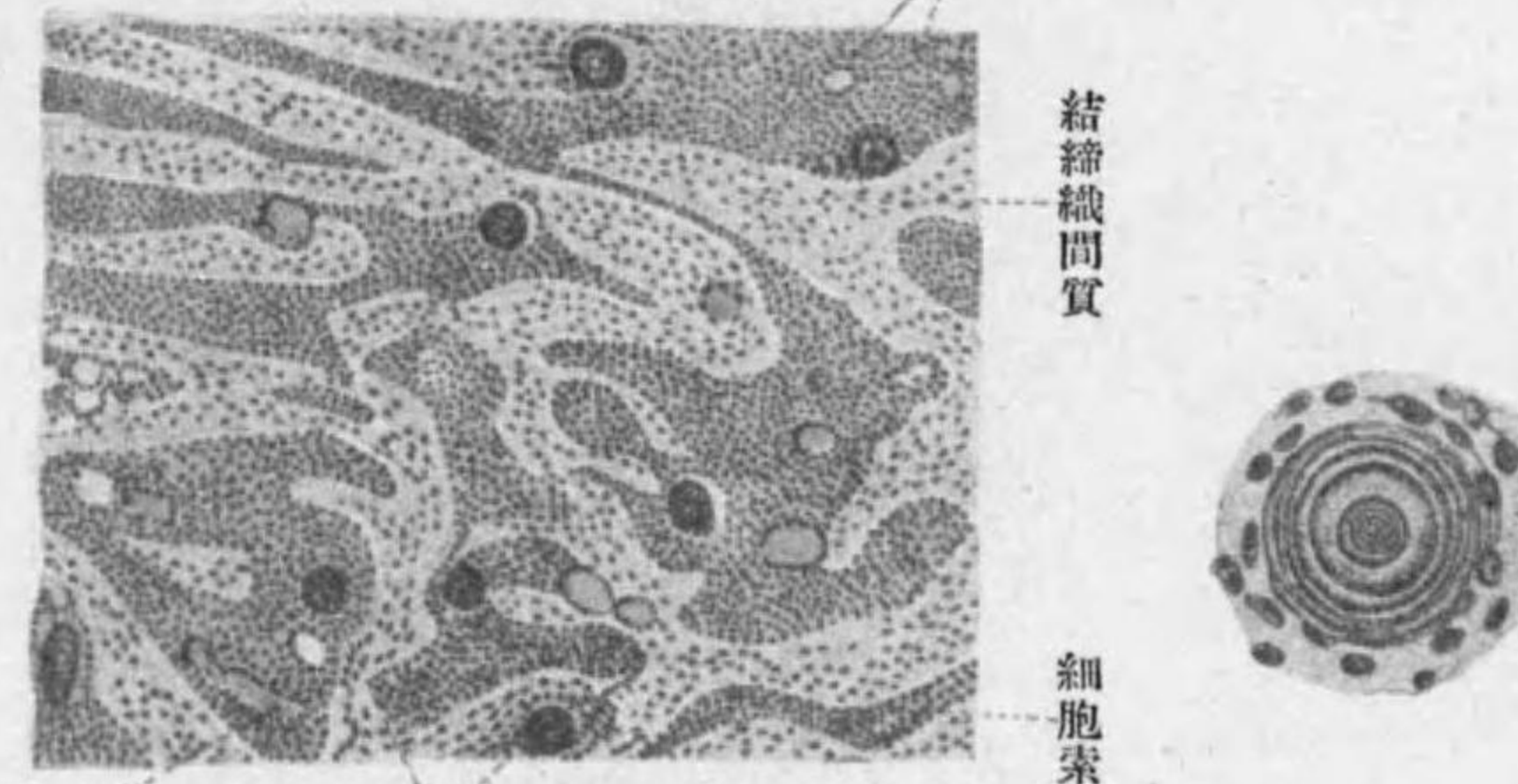
3). **Peritheliom (血管外被細胞腫)**。

元 **Alveolarsarkom** ト稱シタルモノニシテ kleine Gefäßlumen ヲ中心トシテ sogenannte Perithelzellen ガ schichtweise ニ anordnen (配列) ス。 klinisch ニハ relativ gutartig ノ Sarkom 又ハ Karzinom ノ Bild ヲ zeigen ス。 klinisch ニ此ノ Geschwulst ノ Diagnose ヲ下スコトハ殆ド不可能ニシテ、 histologische Untersuchung ニヨリテ甫メテ其 Diagnose ヲ sicher トナシ得ルノミ。

4). **Psammmom (腦砂腫)** (Duraendotheliom 硬腦膜内被細胞腫)。

第 百 十 五 圖

層狀 = 集簇セル細胞群



Dura mater ニ生ズル spezifischer Tumor ニシテ Endothelzellen ガ schichtweise ニ wuchern シ、 屢々其ノ中央ニ Kalkablagerung (石灰沈着) ヲ見ル。

zirkumskript ノ Tumor ニシテ kuglig 又ハ abgeplattet, gestielt 又ハ breitbasig ニ ansetzen シ、 Konsistenz derb ナリ。 Wachstum ハ langsam ニシテ spezifische Symptome ナキヲ常トスレ

ドモ、時トシテハ Wachstum rasch ナルコトアリ。甚シキハ Dura mater, Schädelknochen ヲ durchbrechen シテ外部ニ auftreten シ又ハ内部ニ wachsen シテ Hirnsymptome ヲ zeigen スルコトアリ。

5). Zylindrom (チリンドローム)。

此 Tumor ハ spezifisch ノモノニアラズ、Endotheliom, Sarkom, Karzinom 等ノ内部ニ於テ stellenweise ニ schleimige Degeneration ヲ來シ、interzellulär = Schleim ガ kuglig 又ハ zylindrisch トナリテ存スルモノヲ云フ、從ツテ之ハ特別ノ klinische Wert ヲ有セズ。

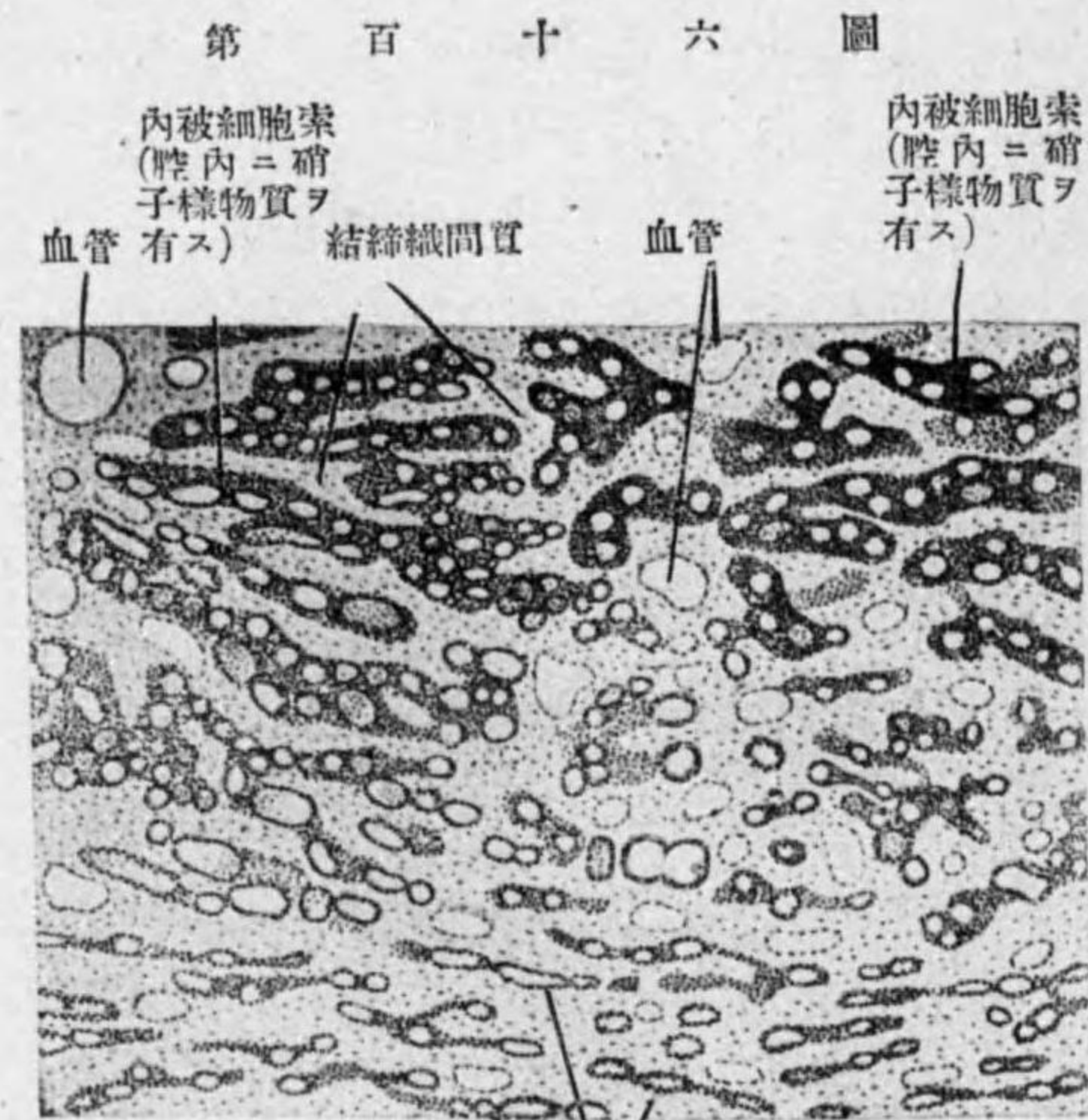
Diagnose: 以上ノ如ク Endotheliom ニハ verschiedene Arten アルガ、klinisch = spezifisch ノ Symptome ナキヲ以テ、他ノ derb ノ Geschwulst ト differenzieren スルコト schwer ニシテ、histologische Untersuchung ニヨリテ甫メテ sicher ノ Diagnose ヲ下シ得ルコト多シ。

Therapie: Exstirpation。

XIV. Sarkom 肉腫 Sarkoma.

Sarkom ハ junge Bindegewebsreihe ニ屬スル maligne Geschwulst ニシテ、ziemlich häufig ニ認メラルルモノナリ。多クハ junge Person ニ entwickeln シ、時トシテハ Trauma ガ veranlassender Moment トナルガ如キコトアリ。

Arten: 此 Einteilung ニハ種々アルガ、histologisch ニハ次ノ 3 Arten ヲ主ナルモノトス。



内被細胞ノ小ナルモノ
内被細胞腫(チリンドローム状)

- 1). Rundzellensarkom (圓形細胞肉腫)
- 2). Spindelzellensarkom (紡錘細胞肉腫)
- 3). Riesenzellensarkom (巨大細胞肉腫)

其他 eigentümlich ノモノトシテ Haut ニ生ズル

4). Melanosarkom (黒色肉腫) ナルモノアリ。又 Sarkom ハ主トシテ Bindegewebe ヲヨリ發生スルモノナルガ、時トシテハ Knochen 又ハ Lymphdrüse ヲヨリ entwickeln ス。此際ニハ夫々 typisch ノ Bild ヲ呈スルコトアリ。

又其他ノ Geschwulst トノ Kombination ニヨリテ Myxosarkom, Liposarkom, Gliosarkom, Karzinosarkom 等アリ。又 Angiosarkom ハ Peritheliom ノ別名ニシテ、之ハ Endotheliom ノ條下ニ述ベタリ。

A. Bindegewebe ヲヨリ entwickeln スル Sarkom。

- 1). Rundzellensarkom (圓形細胞肉腫)。

Lokalisation: relativ häufig ニ認メラルル、Haut, subkutan, submucosa, intramuskulär, Knochenmark, Hoden, Ovarium, Niere, Nebenniere, Darm, Gehirn 等ニ entwickeln ス。

Bau: 多クハ lokalisiert ナルガ、大ナルハ infiltrativ ナルコトアリ。



Konsistenz weich = シテ Schnittfläche ハ homogen, milchig weiss 又ハ markig = シテ時トシテハ其中 = Erweichung 又ハ käsige Degeneration ヲ來スコトアリ。

Histologisch: 主トシテ Rundzellen ヨリ成リ, 其間 = 僅カノ Interstitium アリ, 其 Faser ガ Sarkomzellen ノ間 = verästern シ Zellen ト innig ノ Beziehung アリ。

Zellen ハ Lymphozyten 又ハ夫レヨリ etwas grösser = シテ, Protoplasma 少ク, Kern gross = シテ, Farbstoff = ヨク färben ス。Zellen ノ Grösse = 從ツテ a) Grosszelliges-Rundzellensarkom, b) Kleinzelliges-Rundzellensarkom ヲ區別ス。後者ハ büsartiger ナリ。尙ホ是等ノ Zellen = ハ屢々 Kernteilungsfigur ヲ beobachten ス。

Rundzellensarkom = 於テハ, 通常 Interstitium = 乏シキモ, 時トシテ **Alveolarsarkom** (胞巢肉腫) ナルモノアリ, 恰カモ Carzinoma simplex = ähnlich = シテ, reichlich ノ Bindegewebsstroma (基質) ノ中 = Sarkomzellen ノ Gruppe ヲ見ルコトアリ。併シ之ハ Karzinom = 比スレバ, Kern ノ Chromatin reichlich = テ Bindegewebe トノ Zusammenhang innig ナリ。

Symptome: i). 若年者 = 屢々發生シ, 甚ダ稀ニハ先天性 = 發生スルコトアリ。

ii). **Form** Haut, subkutan, submukosa = 生ズルモノハ knotig (結節狀), platt (扁平), fungös (菌茸狀) 或ハ gestielt (有莖狀) ナルガ, Eingeweide 内 又ハ Tiefe = 生ズルモノハ 次第 = 該部ノ Anschwellung ヲ來シ, 遂ニハ tumorartig = 隆出ス。

iii). **Oberfläche** 大體 platt, 後ニハ不同ノ凹凸ヲ生ズ。

iv). **Haut** 初期ニハ normal = シテ Geschwulst ト癒着ナキモ, 後ニハ屢々 verwachsen シ, 遂ニハ自潰シテ kraterförmig (噴火口狀) トナリ, 若クハ腫瘤狀ノ Geschwür ヲ生ジ出血シ易シ。又成長速ナル Sarkom = 於テハ, Haut ノ下 = 擴張セル V. ヲ透視シ得ルコトアリ。其他 Haut dünn トナリテ bläulich 又ハ bräunlich (内部 = 出血アル場合) = 見ユルコトアリ。

v). **Konsistenz** elastisch etwas weich—etwas derb (Rundzellensarkom ハ Spindelzellensarkom ヨリモ weich = シテ Wachstum 速ナリ), Geschwulst 内 = Erweichung アル時ハ Fluktuation ヲ呈スルコトアリ。

vi). **Begrenzung** 多クハ deutlich ナルガ, 末期ニハ Umgebung = infiltrierend (滲潤性) = 成長シ, Begrenzung 多少不明トナルコトアリ。

vii). **Grösse** verschieden, 特 = Subkutis, Muskel, Eingeweide ノ Sarkom ハ巨大トナルコトアリ。

viii). **Wachstum** 多クハ rasch = シテ 1—2 年ノ間 = 著大トナル。

ix). **Metastase** 多クハ haematogen = Metastase ヲ作ル, 併シ Extremitäten 等ノ Sarkom ハ lymphogen = Metastase ヲ作り, regionale Lymphdrüse ノ Anschwellung ヲ來スコトアリ。

x). 末期ニハ **Kachexie** (惡液質) = 陥リ, Operation 後, 時トシテハ **Rezidiv** (再發) ヲ起スコトアリ(併シ Karzinom = 比シテ再發少シ)。

2). Spindelzellensarkom (紡錘細胞肉腫)。

Lokalisation: Periost = 最多ク其他 subkutan, submucosa, intramuskulär, Mamma 其他 verschiedene Eingeweide = entwickeln ス。又他ノ verschiedene Geschwülste ト kombinieren シ來ルコトアリ。

Bau: Rundzellensarkom = 比シテ gutartig = シテ lokalisieren シ, Konsistenz relativ derb, Schnittfläche ハ多クハ grauweisslich, etwas durchsichtig 或ハ bläsrötlich (gefässreich ナル程 rötlich ナリ)。時トシテハ Schnittfläche = Faserbündel ノ verflochten (交錯) スルヲ見ルコトアリ。

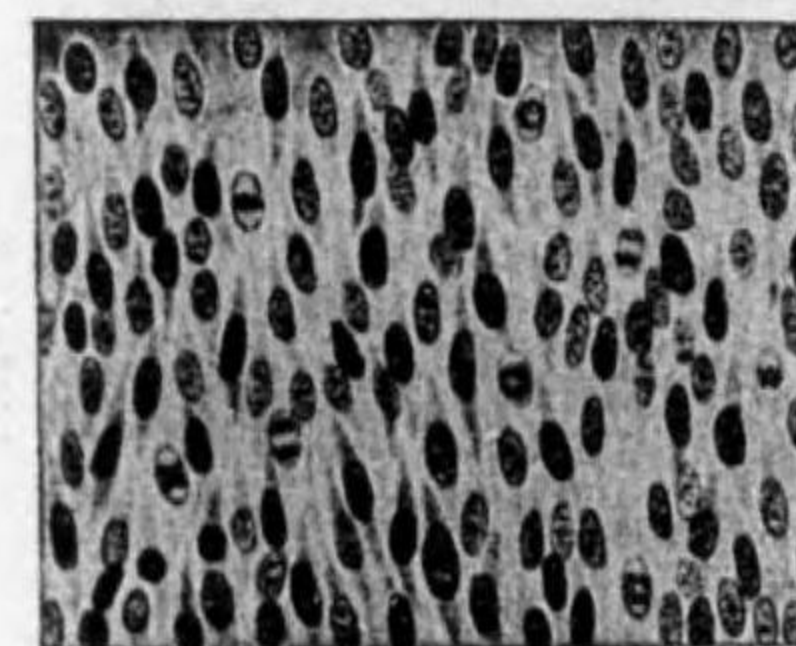
Histologisch: 主トシテ Spindelzellen ヨリ成リ, Zellkern ハ spindel-förmig (紡錘狀) = シテ, 其 beide Enden ハ Myom ノ Zellkern ノ如ク = 圓味ヲ有セズ, 多少 spitzig ナリ。

Zellen ハ時 = ヨリテ多少アリ, büsartig ナル程 zellreich = シテ kurz, dick, klein ナリ。gutartig ナルハ Zellen 少ク, schmal, länglich, grösser ナリ。

Interstitium ハ relativ spärlich ナルヲ常トスルモ, 時トシテハ至ツテ多キコトアリ, 之ヲ **Fibrosarkom** (纖維肉腫) ト云フ。

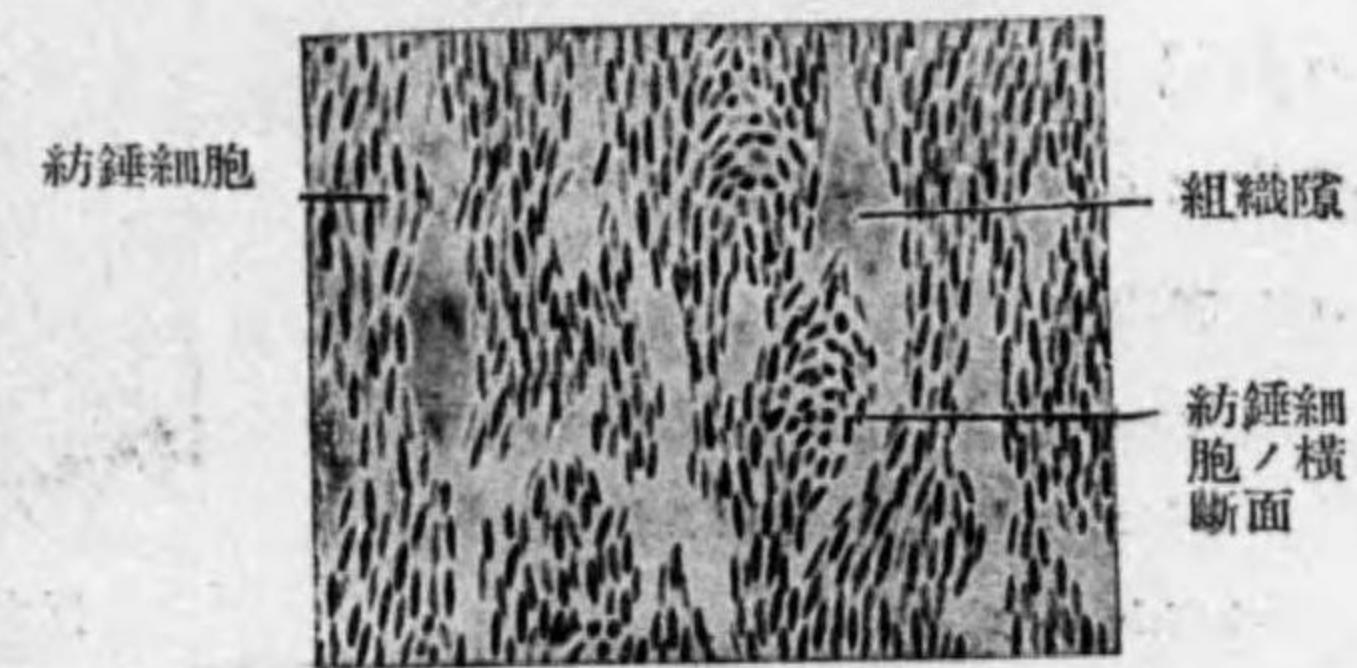
Spindelzellensarkom ノ Zellen ノ Grösse ハ同一ノ Geschwulst = 於テハ

第百十八圖



大紡錘細胞肉腫

第百十九圖



小紡錘細胞肉腫

略々同様ナルモ、時トシテハ著シク大小不同ニシテ、或ハ不正形ノ Rundzellen ヲモ混ズルコトアリ、之ヲ **Polymorphszellensarkom** (多形細胞肉腫) ト稱シ、比較的 böartig ナリ。

Symptome: 大體 Rundzellensarkom ト同様ナリ、併シ之ハ稍々良性ニシテ、Konsistenz etwas derb, Wachstum etwas langsam ニシテ Geschwulst ノ自潰稀ナリ。併シ Grösse ハ屢々巨大トナル。Metastase, Rezidiv 稍々少シ。

Diagnose (Rundzellensarkom 及 Spindelzellensarkom): Alter, Lokalisation, Wachstum, Konsistenz, Metastase 等ニヨリテ診断セラル。之ト differenzieren スベキモノハ、Karzinom, hartes Lipom, Gumma 等ナリ。

Rundzellensarkom ト Spindelzellensarkom ノ區別ハ前述ノ如シ、但シ場合ニヨリテハ histologische Untersuchung ニヨルニアラザレバ unklar ナルコトアリ。**Melanosarkom** トハ其 Farbe, Metastase ノ rasch ニ來ルコトニヨリテ區別セラル。

Therapie: 成ルベク早期ニ Exstirpation ヲ行フ。Extremitätenニ於テハ Amputation ヲ行フコトアリ。Metastase ヲ全ク除去シ得ル見込ナキ時ハ、Operation ハ無意義ナリ。

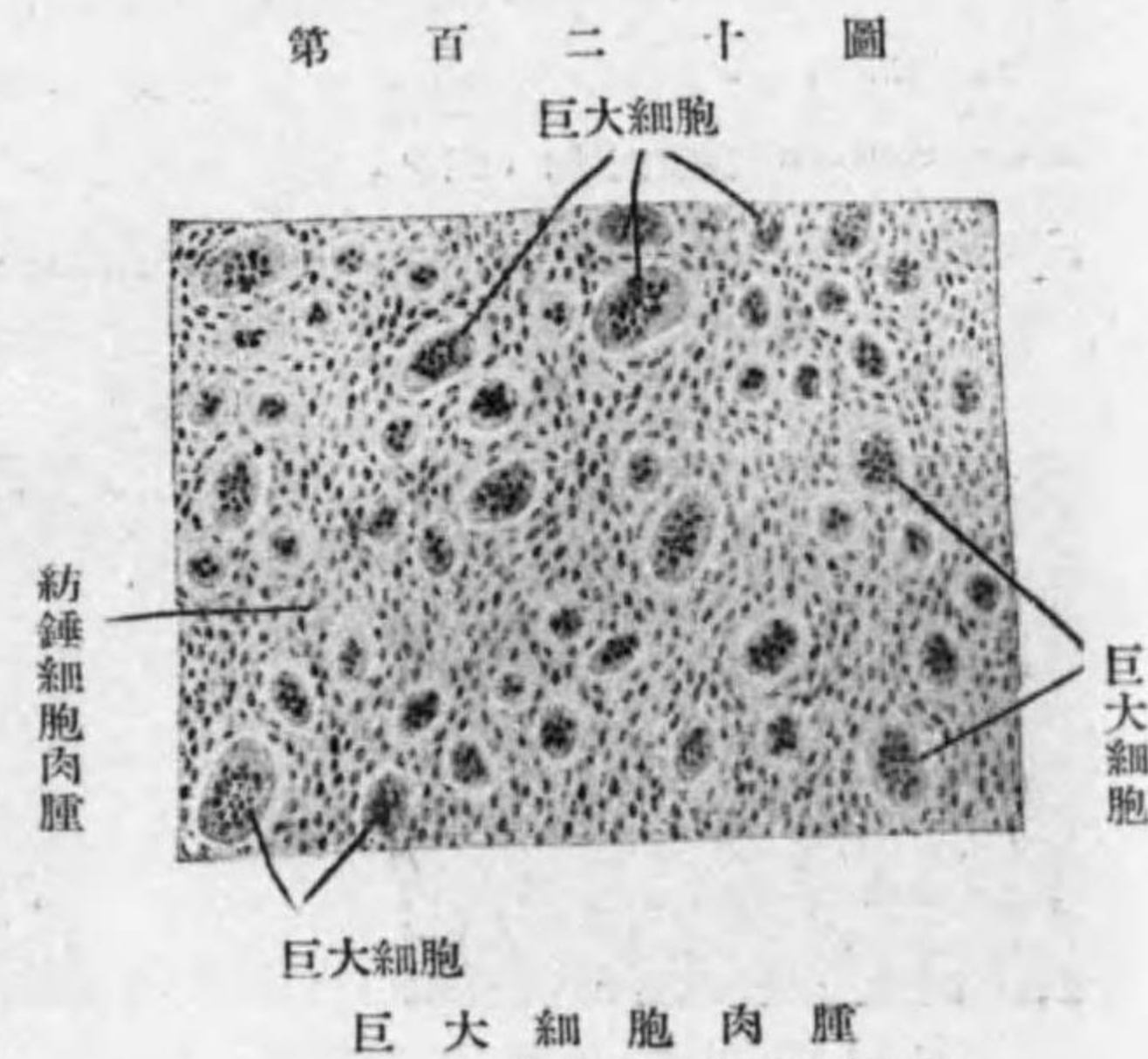
Röntgentherapie, Radiumtherapie 効果アルコトアリ (Karzinomニ於ケルヨリモ有效ナリ)。

3). Riesenzellensarkom (巨大細胞肉腫)。

時トシテ Knochenmarkニ發生スルコトアリ。sehr seltenニハ前記 Spindelzellensarkomノ發生スル場所ニモ認メラルルコトアリ。

Bau: 多クハ限局性腫瘍ニシテ、Konsistenz derb, Schnittfläche grau-weisslich ナリ。

Histologisch: 主トシテ kurze



Spindelzellen ヲリ成リ、其中ニ Grösse 不同ナル Riesenzellen アリ。Zellenkern ハ二三個一數個一十數個アリ(甚シキハ二百個以上アリ)、不同ニ配列ス。

Riesenzellensarkomニ於テハ其内部 erweichen シテ zystisch トナルコトアリ。**Knochenzyste** ノ大部分ハ之ニヨルモノナリ。

Symptome: Riesenzellensarkom ハ多クハ Knochenmarkニ生ジ Weichteilニハ sehr selten ナリ。然ルニ Knochenニ生ジタル場合ニハ、末期ニアラザレバ klinischニ之ヲ知り難キコト多シ。

Weichteilニ生ジタル場合ニハ ganz derbノ zirkumskriptノ Tumorニシテ、Wachstum ganz langsamニシテ Metastaseヲ作り難シ。他ノ harter Tumorト differenzieren スルコト ganz schwerニシテ、histologischニ Diagnoseヲ確定シ得ルノミ。

4). Melanosarkom (黒色肉腫)。

最モ böartigノモノニシテ、其 Farbeヲ以テ typischトナス(本病ノ所屬ハ Karzinomトナス人モアリ)。

Lokalisation: Hautpigmentヨリ發生スルモノニシテ、Hautニ最モ多ク(最モ屢々 Naevus, Pigmentwarzeヨリ生ズ)、seltenニハ Hautニ隣接スル Schleimhaut, Augenhintergrund(眼底)ヨリ發生ス。

第 百 二 十 一 圖



足 趾 黒 色 肉 腫

Bau: makroskopischニハ Oberflächeモ Schnittflächeモ schwärzlichナルヲ特異トス。併シ時トシテハ grau weisslichノ中ニ所々ニ schwärzlichノ Fleckeヲ有ス (Pigment少キ場合)。

Histologisch: Bindegewebeノ Interstitiumノ中ニ Pigmentzellen (rundlich, spindelförmig, polymorphニシテ、其 Grösseモ verschiedenナリ) アリテ、其中ニ bräunlichノ Melaninpigmentヲ含有ス。

是等ノ Zellen ハ Karzinom ノ如クニ gruppieren シテ Zellalveolen (細胞胞巢) ヲ形成シテ、 Interstitium ノ間ニ介在ス。併シ Karzinom ノ如クニ Interstitium トノ關係 locker ニハアラズ。

Symptome: i). **Alter** ハ若年者ニ發生スルコト多キモ、成人又ハ老人ニ發生スルコトモアリ。

ii). **Farbe** schwarz 又ハ schwarzbräunlich ノ rundlich, knotig, pilzförmig ノ Tumor ニシテ、容易ニ崩潰シテ blumenkohlartig (花椰子狀) 又ハ kraterförmig (噴火口狀) ノ Geschwür ヲ作り leicht blutend ナリ。

iii). 初メハ lokalisieren シ居ルモ、後ニハ Tiefe 及 Umgebung ニ infiltrierend ニ成長スルコトアリ。

iv). **Konsistenz** ハ etwas weich, 時トシテハ etwas derb ニシテ、Schmerz 等ナシ。

v). **Wachstum** 初メハ langsam ナルモ、後ニハ rasch トナル。

vi). **Metastase** ハ frühzeitig ヨリ生ジ、primärer Tumor 至ツテ小ナルニ關セズ、haematogen ニ身體ノ各所ニ黑色ノ Metastase ヲ作ル、又 lymphogen ニモ附近ノ Lymphdrüse ノ Anschwellung ヲ來シ、Schnittfläche schwärzlich トナル。其他 Primärherd ノ Umgebung ニ multipel ニ sekundäre Knoten ヲ生ズルコトアリ。

vii). Spätstadium ニハ Harn ヨリモ Pigment ガ排出セララルコトアリ、**Melanurie** (黑色尿) ト稱ス。

Diagnose: 其 Farbe ヲ typisch トシ Wachstum, Metastase ノ rasch ナルコトニヨリテ診斷セラレ、殆ド鑑別ヲ要スベキモノナシ、併シ Melanosarkom ニテモ Oberfläche ノ Farbe ガ deutlich ニ schwarz ナラザルコトアリ、注意ヲ要ス。

Prognose u. Therapie: 未ダ Metastase ノナキ初期ニ Exstirpation ヲ行ヘバ可ナルモ、屢々 Prognose schlecht ナリ。



第百二十二圖
足背黑色肉腫

Röntgentherapie, Radiumtherapie モ時トシテハ效果アルガ、之ガ爲ニ徒ラニ時日ヲ費シテ radikale Operation ノ時期ヲ失スベカラズ。

B). Knochenニ關係アル Sarkom.

最モ屢々見ラルルモノハ、

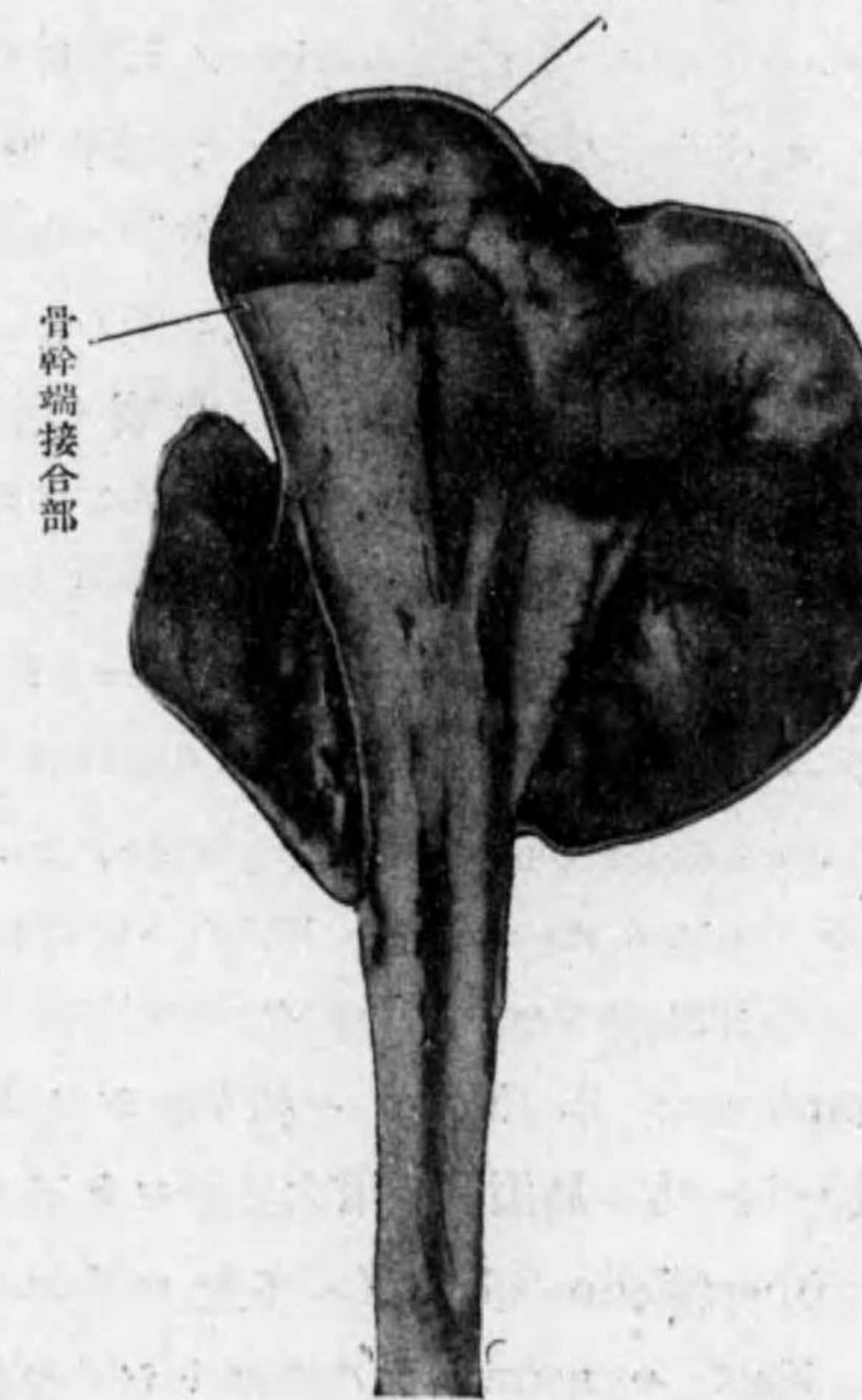
- 1). Osteosarkom od. Ossifizierendes Sarkom ニシテ、其他特殊ノ Sarkom トシテ、
- 2). Chondrosarkom (軟骨肉腫)
- 3). Riesenzellensarkom (巨大細胞肉腫) (Knochenzyste 骨囊腫)、
- 4). Chlorom (綠色腫)
- 5). Multiples Myelom (多發性骨髓腫) ヲ分ツ。

第百二十三圖



腓骨骨肉腫(骨膜性)

第百二十四圖
關節軟骨



骨幹端接合部

上膊骨上端骨肉腫

1). **Osteosarkom** od. **Ossifizierendes Sarkom** (骨肉腫或化骨性肉腫)。
Lokalisation: lange Röhrenknochen = 最も多ク (特ニ骨端ニ多シ), 其他 Becken, Skapula, Clavicula, Sternum, Kiefer, Rippen, Patella, Calcaneus 等ニ entstehen ス。

通常之ヲ a). **Periostales (peripherisches) Sarkom** (骨膜性肉腫),

b). **Myelogenes (zentrales) Sarkom** (骨髓性肉腫) トニ分ツ。

其他 Weichteil = 發生シタル Sarkom ガ Knochen = 癒着シ, Periost ヲ刺戟シテ Tumor ノ中ニ Knochen ノ増殖ヲ來シ, Osteosarkom ノ Bild ヲ呈スルコトアリ。

a). **Periostales (Peripherisches) Sarkom** (骨膜性肉腫)。

多クハ Spindelzellen, sehr selten = Rundzellensarkom ヨリ成ル。

初メハ Periost = zirkumskript ノ Knoten (限局性結節) ヲ生ジ, 成長スルニ從ツテ diffus ノ Anschwellung (瀰漫性腫脹) トナル。増大スルニ從ツテ腫脹ノ程度及範圍大トナリ, lange Röhrenknochen = 於テハ其全周ニ擴ガリ, keulenförmig (棍棒狀) = 肥大スルニ至ル。

本腫瘍 = typisch ナルコトハ, 腫瘍ノ増大著明トナルニ從ヒ, Periost ガ Geschwulst 内ニ増殖ヲ始メ, Geschwulst ノ中ニ Knochen ノ Neubildung ヲナスコトニシテ, Knochenneubildung ハ Geschwulst ノ Basis ヨリ Oberfläche ニ向ツテ radiär (放線狀) ニ増殖スルコト特異ナレドモ, 其程度ハ各場合ニヨリテ一定セズ。

或ハ Geschwulst ヲ切開シテ初メテ之ヲ認メ, 或ハ Geschwulst ノ殆ド全部ガ化骨セル爲ニ hart ノ Konsistenz アルニヨリ既ニ klinisch = 明ニ知り得ル場合モアリ, 又 Röntgenstrahlen = ヨル時ハ, 大體 Knochenneubildung ノ Zustand 及其 Grad ヲ知ルコトヲ得ベシ。

Symptome: i). **Form** ハ種々ニシテ Knochen 全體ガ腫脹セルコトアリ, 或ハ其一方ニ腫瘤狀ニ増大スルコトアリ。

ii). **Oberfläche** glatt 又ハ多少 uneben ナリ。

iii). Haut ハ normal ナルガ時トシテハ皮下ニ擴張セル V. ヲ認ム。増大甚シキ時ハ腫瘍自潰シテ aufgeworfen (繡花狀) ノ Geschwür トナル。

iv). **Begrenzung** Knochen = 對シテハ diffus ナルガ, 周圍及ビ表面ノ Weichteil = 對シテハ明ナリ。併シ末期ニハ周圍ニモ infiltrierend = 成長シ, 限界多少不明トナルコトアリ。

v). **Konsistenz** Geschwulst 其者ハ etwas derb ナルモ, Knochen-Neubildung ノ増加スルニ從ツテ其 Konsistenz hart トナリ, 甚シキハ殆ド全部ガ knochenhart トナルコトアリ。

vi). **Grösse** 種々ナリ, 時トシテハ巨大ナルモノヲ見ルコトアリ。

vii). **Wachstum** rasch ニシテ 1— einige Jahre ニテ巨大トナル。或ハ初メハ成長 langsam ニシテ, 後ニ至ツテ rasch トナルコトアリ。或ハ外傷後急ニ rasch = vergrößern スルコトアリ。

viii). **Metastase** haematogen = 生ズルヲ常トスルモ, 屢々 lymphogen ニモ附近ノ Lymphdrüse = Metastase ヲ生ズルコトアリ。

b). **Myelogenes (zentrales) Sarkom** (骨髓性肉腫)。

Spindelzellensarkom ナルコト多ク又ハ Rundzellensarkom (之ハ Knochenmark = 發生ス), 時トシテハ Riesenzellensarkom ヲ見ルコトモアリ。

i). 初メ Knochen ノ内部ニアル間ハ之ガ發生ヲ知り難キモ, 時トシテ Knochen ノ内部ニ不定ノ Schmerz ヲ訴フルコトアリ。

ii). Geschwulst 増大スルニ從ツテ次第ニ Knochen ヲ aufreiben シ Knochen ガ diffus = 腫脹セルガ如クニ思ハル。併シ Geschwulst ガ更ニ増大スル時ハ表面ノ Knochenschicht ガ aufreiben セラレテ dünn, weich トナリ, Fingerdruck = ヨリテ Pergamentknittern (羊皮紙様啞軋音) ヲ呈スルニ至ル。

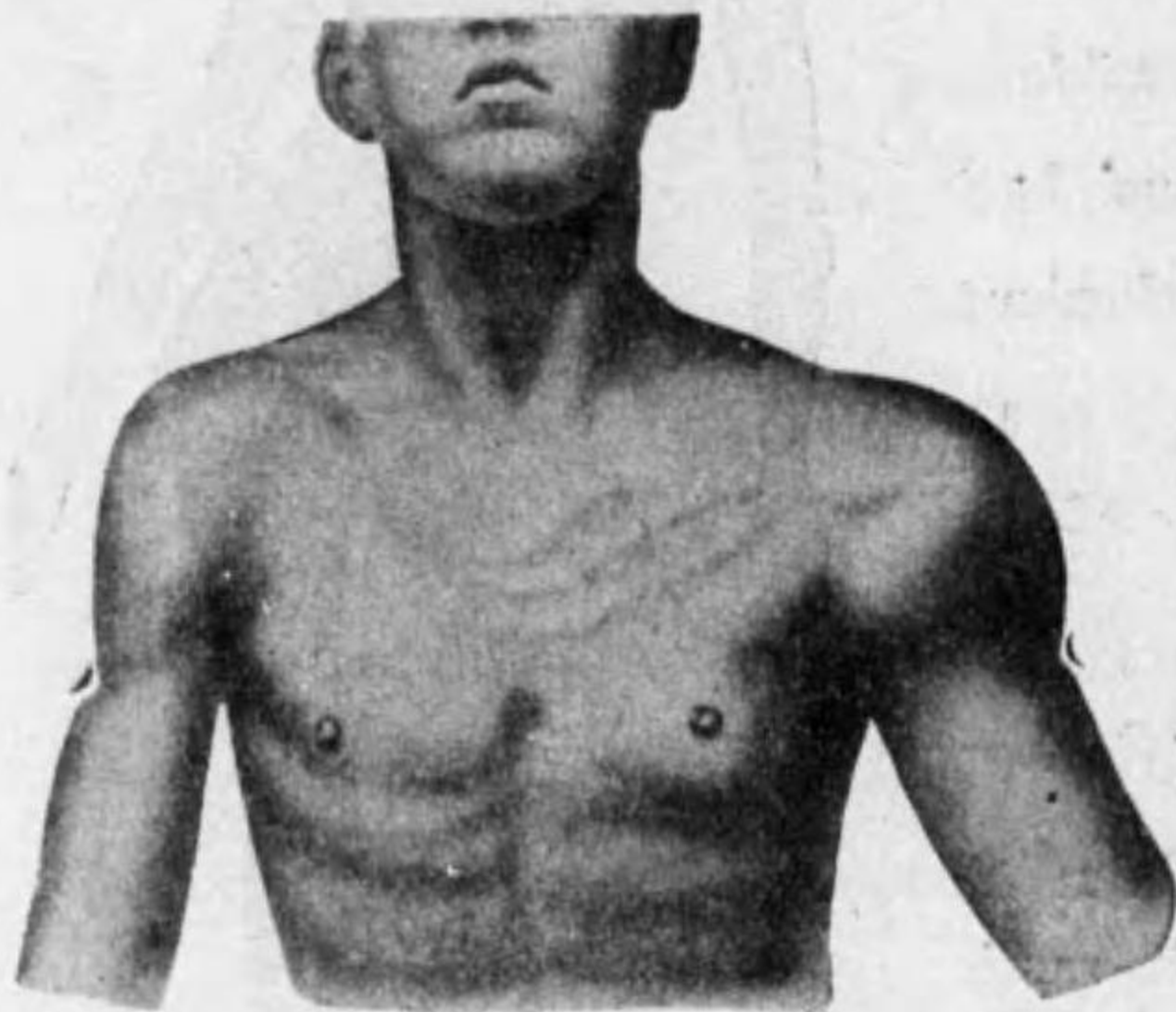
第百二十五圖



大腿骨下端ノ肉腫ニシテ膝關節内ニ穿破セルモノ

此 Symptome ハ Myelogenes Sarkom = wichtig ノモノニシテ Periostales Sarkom = ハナキモノナリ、併シ Knochenzyste 其他ニ於テモ同様ノ症状ヲ呈スルコトアリ。

第百二十六



上膊骨上端ノ骨肉腫(骨髓性)

第百二十七圖



同上 X 線寫眞

iii). Tumor 更ニ増大スレバ、遂ニハ Knochenschale (骨殻) ヲ破リテ骨ノ表面ニ現ハレ、著明ニ増大スルニ至ル (expansiv 又ハ infiltrativ)。

iv). Myelogenes Sarkom ハ Knochenmark ノ内部ニアル間ハ其中ニ Knochenneubildung 全クナキカ、或ハ輕微ニ留マルモ、既ニ骨表面ニ増大スル時ハ Periostales Sarkom ト同様ニ Knochenneubildung 著明トナリ、後ニハ兩者ノ區別困難トナル。

v). 其他 gefässreich ノ Sarkom ガ Knochen ノ Oberfläche ニ現ハルル時ハ、Geschwulst ニ Pulsation 及 Geräusch ヲ認ムルコトアリ(故ニ Knochenaneurysma 骨動脈瘤ノ稱アリ)。

vi). Knochenende ノ Myelogenes Sarkom ハ屢々 Gelenk 内ニ侵入シテ、Gelenksarkom (關節肉腫) トナルコトアリ、初メハ Geschwulst ノ状態明ナラズシテ、chronische Gelenkentzündung ノ状ヲ呈シ、初メハ serös、後ニハ haemorrhagisch ノ Exsudat ヲ生ズ。併シ一方ニハ次第ニ Geschwulst

ノ状態明カトナル。

vii). 其他 Myelogenes Sarkom ハ一般ニ Periostales Sarkom ニ比シテ bössartig ニシテ、Metastase, Rezidiv ヲ生ジ易シ。

viii). 又 'Sarkom 巨大ナル時ハ表面ノ Haut ニ Hitzegefühl ヲ感ズルコトアリ。時トシテハ不定ノ Fieber アルコトアリ(軟化物質ノ吸收ニヨル)。其他 Geschwulst ノ内部ニ Erweichungszyste (軟化性囊腫) ヲ形成シ、或ハ又 Geschwulst ノ發生ニヨリテ Knochen schwach トナリ、spontane Fraktur (特發骨折) ヲ起スコトアリ。

Diagnose: 著大ナルモノハ Diagnose leicht ナルモ、Anfangsstadium ニハ屢々 Diagnose schwer ナリ。zirkumskript ノモノハ Fibrom, Osteom,

Chondrom ト differenzieren スルヲ要シ、diffus ノモノハ Knochensyphilis, Knochentuberkulose, chronische Osteomyelitis ト differenzieren スルヲ要ス。

Diagnose schwer ナル場合ニハ暫時 Verlauf ノ監視ヲ要スルコトアリ。併シ多クノ場合ニハ Röntgenuntersuchung ニヨリテ Diagnose ヲ確定スルコトヲ得ベシ。

Myelogenes Sarkom ト Periostales Sarkom トハ同様ノ Symptome ヲ呈スルモ、屢々前記ノ相異點アリ。

Therapie: 成ルベク早期ニ Exstirpation ヲ行フ。Extremitäten ニ於テハ Amputation 又ハ Exartikulation ヲ行フコトアリ。Knochen ノ一部ノ切除法ヲ行フコトモアレドモ、Rezidiv ヲ起シ易シ。Metastase アル時ハ其

第百二十八圖



骨肉腫(別出標本)

全部ヲ除去スルヲ要シ、Lymphdrüsenmetastase ノミナレバ、Exstirpation möglich ナルモ、haematogene Metastase ヲ起シ居ル時ハ Operation ノ見込ナシ。

Röntgentherapie 及 Radiumtherapie モ應用セラル、併シ大ナル Geschwulst ニ於テハ erfolglos ナリ。

2). Chondrosarkom (軟骨肉腫)。

Lokalisation: Chondrom ノ發生スル何レノ場所ニモ生ズルモ、比較的 Rippe, Becken, Extremitäten ニ多シ。

Bau: Schnittfläche ハ大體 markig (髓様) ナルガ、稍々 opalbläulich (淡碧青色) ニシテ、屢屢淡赤色ヲ呈ス (Blutgefäss 多キ場合)。Konsistenz weich ニシテ、sehr morsch、時トシテハ Kalk ablagern シ、Osteochondrosarkom (骨軟骨肉腫) トナルコトアリ。或ハ erweichen シテ中ニ Caverne (空洞) ヲ生ズルコトアリ。

Histologisch: Grundsubstanz トシテ hyaline Substanz アリ。其中ニ rundlich, spindelförmig 或ハ polymorph ノ Knorpelzellen ガ multipel ニ集簇的ニ存在ス。尙ホ是等ノ Knorpelzellen ハ普通ノ Knorpel 乃至 Chondrom ニ比シテ小ニシテ、多クハ Knorpelzellen ノ Kapsel ヲ有セズ。

Symptome: 初期ニ於テハ多少 Chondrom ニ類似スルモ、遙ニ bösar-tig ナリ。成長 rasch ニシテ著明ノ Grösse ニ達ス。Form 及 Oberfläche 不同、Konsistenz elastisch etwas weich ナリ、軟部ノミナラズ Knochen ヲモ侵害シ、Metastase ヲ作ル。

Diagnose: Knochen ニ關係アリ。其 Form, Oberfläche, Konsistenz ニヨリテ大體診斷セラレ、X-Strahlen ニヨリテ確定セラル。他種ノ Sarkom ト鑑別ヲ要スルモ、治療法ニ至リテハ同一ナリ。

3). Chlorom (綠色腫)。

Sehr selten ノモノナリ、小兒ノ Schädelknochen, Gesichtsknochen, 時トシテハ Rippe, Sternum, Wirbelknochen, lange Röhrenknochen 等ニモ生ズ。

此ノ Tumor ハ Knochenmark ニ發生スル Sarkom ニ類似シ、Wachstum 可ナリ速ナレドモ、Metastase ヲ作ルコト甚ダ稀ナリ。本症ニ spezifisch ナルコトハ、grün—gelblich grün ノ Farbe ヲ有スルコトナリ(此 Pigment ハ Fett ヲリ發生スルモノナリト)。併シ之ハ Oberfläche ヲリハ明ニ認メ難ク、Schnittfläche ニ於テ之ヲ認ムルノミ。

4). Multiples Myelom (多發性骨髓腫)。

sehr selten ノ Tumor ニシテ多クハ老人ノ lange Röhrenknochen ニ發生ス。Knochenmarks-zellen ノ atypisches Wachstum (異常増殖) ニヨリテ、骨髓ノ所々ニ weich、ノ etwas rötlich、grauweisslich ノ Knoten ヲ生ズ。

此ノ Knoten ハ永ク限局シ居ルコト多キモ、時トシテハ互ニ融合シ或ハ軟化シ、之ガ爲ニ骨ノ抵抗力ヲ減ジ、Knochen ノ彎曲ヲ來シ、或ハ spontan ニ Fraktur ヲ起スコトアリ。

屢々 Harn ノ中ニ spezifisch ナル Jones-Eiweisskörper (ジョーンズ氏蛋白體) (尿ヲ 50—60°C ニ温ムレバ濁潤シ、夫レ以上温ムレバ再び透明トナル) ヲ出ス。

本病ノ Verlauf ハ chronisch ナルガ、時トシテハ intermittierendes Fieber ノ下ニ高度ノ Per-niciöse Anaemie (悪性貧血) ノ狀ヲ呈シ、突然死亡スルコトアリ。

本症ノ Diagnose ハ schwer ニシテ、多クハ Sektion ニヨリテ初メテ確定セラル。

C). Lymphdrüse ニ發生スル Sarkom。

Lymphdrüse ハ種々ノ原因ニヨリテ腫大シ、屢々 Lymphdrüse ノ Geschwulst ト誤ラルルコトアリ。併シ眞性ノ Geschwulst ニ屬スベキモノハ次ノ 2者ナリ。

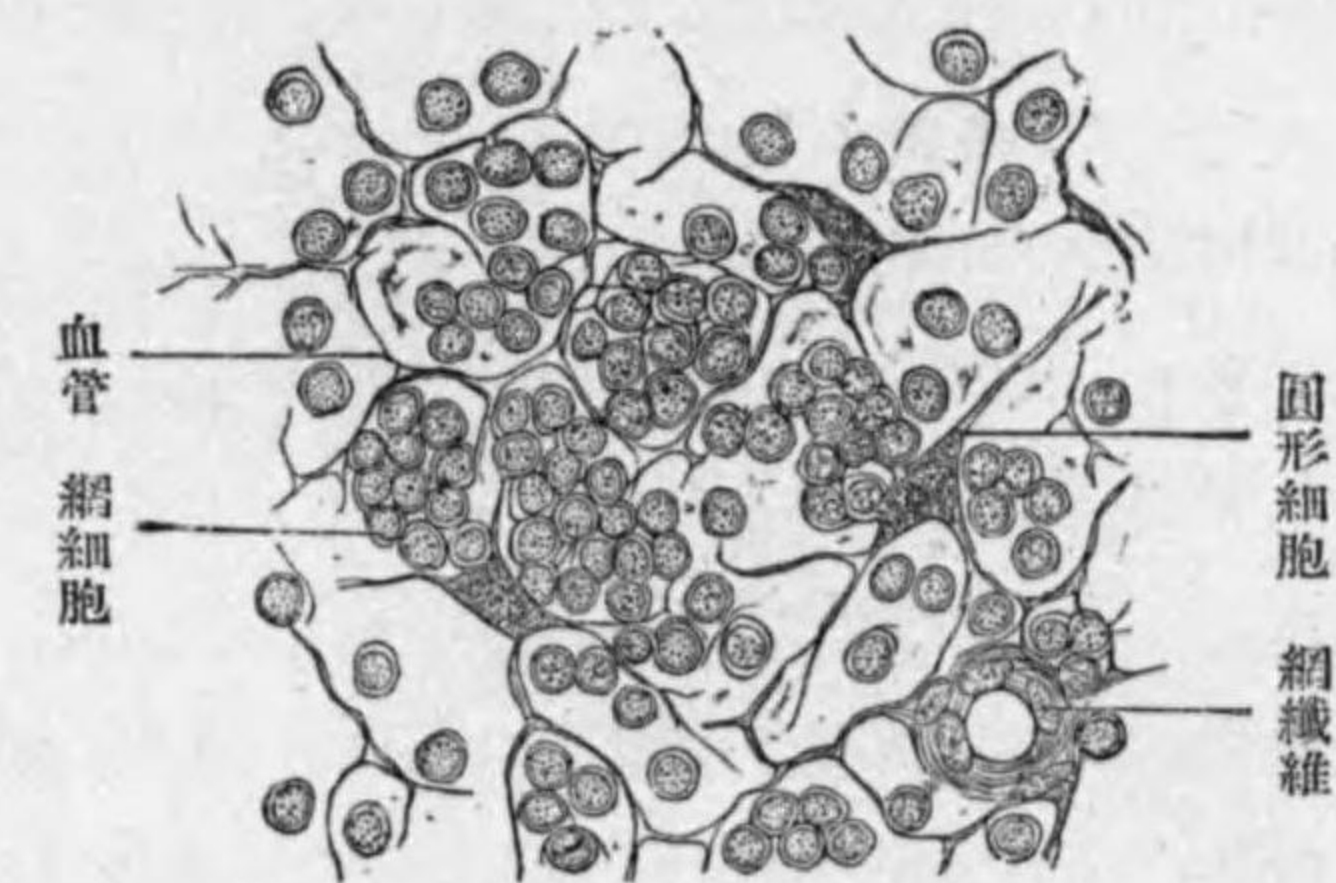
1). Bindegewebiges-Sarkom der Lymphdrüse (淋巴腺ノ結締織性肉腫)。Lymphdrüse ノ Bindegewebe ヲリ Spindelzellensarkom ヲ發生スルコトアリ。klinische Symptome ハ Lymphosarkom ト區別シ難ク、只 histologische Untersuchung ニヨリテ區別セラルルノミ。但シ此 Geschwulst ハ sehr selten ノモノナリ。

2). Lymphosarkom (淋巴肉腫)。之ハ前者ニ比シテ稍々多キモノナリ。

Bau: Lymphdrüsenparenchym (淋巴腺實質), Lymphocyten (淋巴球) ヲリ生ズルモ

ノニシテ、普通ノ Rundzellensarkom ニ酷似スレドモ、注意シテ檢スレバ Zellen ノ間ニ所々ニ Kapillaren ヲ有スル Reticulum (細網) アルヲ特異ト

第百二十九圖



淋巴肉腫

ス。然レドモ末期ニ於テハ區別困難ナリ。

Lokalisation: Halslymphdrüse (特ニ Submaxillardrüse ニ最モ多シ)。其他 Achselhöhle, Mediastinum, Bauchhöhle ノ Lymphdrüse, Tonsillén, Rachen, Magen, Darm ノ Follikel 等ニ發生スルコトモアリ。

Symptome: 若年者又ハ成人ニ發生ス。

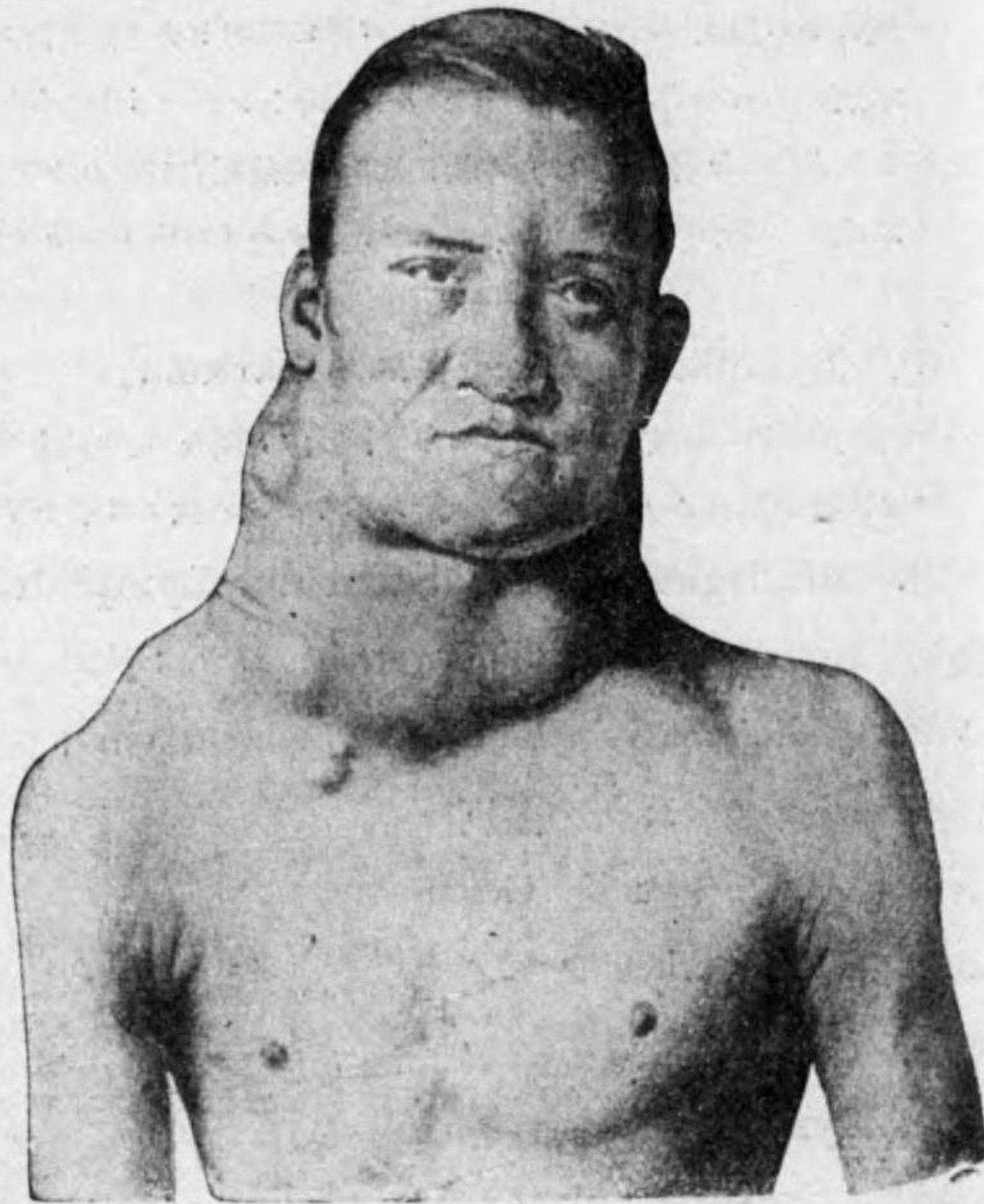
何等ノ原因ナクシテ Lymphdrüse ノ Anschwellung ヲ來ス。然レドモ自覺的症狀ナキヲ以テ一程度ノ大サニ達スルマデ、本病ノ發生ニ氣付カザルコト多シ。

初メハ一箇ノ Lymphdrüse ニ生ズルモノナレドモ、容易ニ附近ノ Lymphdrüse ニ Metastase ヲ生ジテ、多數ノ Lymphdrüse ノ Anschwellung ヲ來ス。Konsistenz ハ elastisch weich—etwas derb (Bindegewebe ノ

多少ニヨル) ニシテ、初メハ附近ト Verwachsung ナキモ、後ニハ Haut 竝ニ他ノ Lymphdrüse ト verwachsen スルコト多シ。

Wachstum rasch ニシテ、後ニハ Lymphdrüse ノ Kapsel ヲ破リテ、infiltrierend ニ成長シ、遂ニハ Haut ニ自潰シテ腫瘤狀ノ Geschwür ヲ形成ス。

又 Geschwulst ノ増大著シキ時ハ、Hals ニ於テハ Trachea, Oesophagus,



頸部淋巴肉腫

第 百 三 十 圖

Gefäss 等ノ Drucksymptome ヲ呈シ、Mediastinum ニ於テハ Nerven, Gefäss ノ Drucksymptome ヲ起ス。

其他 haematogen ニ Lunge, Milz, Leber, Haut 等ニ Metastase ヲ生ジ、次第ニ Kachexie ニ陥リテ sterben ス。

Diagnose: Hals ニ於テハ Malignes Lymphogranulom, Leukaemisches-u. Pseudoleukaemisches Lymphom, Lymphadenitis tuberculosa

等ト differenzieren セザルベカラズ (Lymphdrüse ノ條下参照)。

Prognose u. Therapie: 多クハ不良ナリ。早期ニ Operation ニヨリテ exstirpieren スレバ幸ニ retten スルコトアルモ、此ノ如キ機會ヲ得ルコトハ稀ニシテ、Operation ヲ行フモ Rezidiv ヲ起シ易シ。又既ニ他ニ Metastase アル時ハ Operation ヲ行フモ效果ナシ。Röntgentherapie, Radiumtherapie モ無効ナルコト多シ。

Myxosarkom, Liposarkom, Gliosarkom 等ニ就テハ夫々ノ條下参照。

第 百 三 十 一 圖



頸部及ヒ左腋窩淋巴肉腫

XV. Karzinom od. Krebs 癌腫 *Carcinoma or Cancer.*

Aetiologie: Geschwülste 中特ニ Karzinom ノ Ursache ニ就テハ verschiedene Theorie アルモ、未ダ unklar ナリ。併シ山極博士等ノ Experiment ニヨレバ、或 chronischer Reiz ニヨリテ Karzinom ヲ entwickeln セシムルコトヲ得。又 Karzinom ハ同種動物間ニ於テハ transplantieren スルコトヲ得。

Karzinom ハ 40—50 歳以上ノモノニ多ク auftreten ス。併シ selten ニハ 10—20 歳代ノモノニ entwickeln シタル例モアリ。又 Karzinom ニハ屢々 hereditäre Belastung ヲ認ム。

Lokalisation: Karzinom ハ epitheliale Geschwulst ナルヲ以テ、Knochen、Muskel、Bindegewebe、Nervensystem 等ニハ primär ニ entwickeln スルコトナシ。主ナル Entstehungsort ハ、

- 1). Haut (Gesicht, Kopf, Extremitäten 等).
- 2). Schleimhaut (Mundhöhle, Magen, Darm, Uterus 等).
- 3). Drüsige Organe (Mamma, Leber, Niere, Lunge 等).

其他 Karzinom ハ、

- i). Gutartige epitheliale Geschwülste (Papillom, Adenom).
- ii). Epitheliale Zyste (Dermoidzyste, Atherom, Kiemengangszyste).
- iii). Verirrte Keime (Nebenschilddrüse, verirrte Nebenniere, kryptogener Hoden).
- iv). Chronische Entzündungen, Geschwür, Fistel, Narbe 等ヨリ entwickeln スルコトモアリ。

Arten: Histologisch ニ Karzinom ヲ分チテ、

- 1). Kankroid od. Plattenepithelkrebs. (表皮癌或扁平細胞癌).
(Anhang): Basalzellenkrebs (基底細胞癌).
- 2). Carcinoma simplex od. Drüsenzellenkrebs od. Kubischenzellenkrebs (單純性癌或腺細胞癌或骰子形細胞癌)。Krebszellen ト Interstitium ノ多少ニヨリ、
 - a). Skirrhos od. bindegewebiges Karzinom (硬性癌或結締織性癌),

- b). Weiches Karzinom od. Medullarkarzinom (軟性癌或髓樣癌),
- 3). Adenokarzinom od. Zylinderzellenkrebs (腺癌或圓柱細胞癌),
- 4). Gallertkrebs (膠樣癌) 及 Schleimkrebs. (粘液癌) トス。

又 **klinische Befunde** ニヨリ Haut 及 Schleimhaut ニ於テハ

- 1). Ulzeröses od. wandständiges Karzinom (潰瘍性或壁在性癌),
- 2). Wucherndes od. papilläses od. knolliges Karzinom (腫瘤性或乳頭性或結節性癌),
- 3). Infiltratives oder tiefgreifendes Karzinom (滲潤性或深蝕性癌) ヲ分ツ。

其他 Spezifische Zustände ニヨリテ、

Schrumpfendes Karzinom (萎縮性癌),

Panzerkrebs (鎧狀癌),

Ulcus rodens (圓形潰瘍) 等ノ Nomenkulatur ヲ附スルコトアリ。

Bau: Krebs ノ histologische Arten ニヨリテ次ノ區別アリ。

- 1). **Kankroid od. Plattenepithelkrebs** (表皮癌或扁平細胞癌)。

Bau: rötlich weiss ノ Grundsubstanz ノ中ニ kleine Zellenalveolen (胞巢) ヲ認メ Gewebe ヲ drücken スレバ Karzinompropp (癌栓) 又ハ Karzinommilch (癌乳) (Krebszellenalveolen 又ハ其ノ Degenerationsmasse) ガ herauspressen サル。

Histologisch: Bindegewebe ヲ 間質
リ成ル Interstitium (時トシテハ schleimige Degeneration ヲ begleiten ス) ア
リテ其中ニ Krebszellen アリ、grup-
pieren シテ所謂 Alveolen ヲ bilden
スルヲ常トス (蜂巢胞子ノ潜居スル
ニ似タルヲ以テ此名アリ)。此 Alveo-
len ノ Grösse ハ ungleichmässig ナレ
ドモ一般ニ Carcinoma simplex ニ比
シテ大ナリ。

Alveolen ヲ bilden スル Zellen ハ

第 百 三 十 二 圖

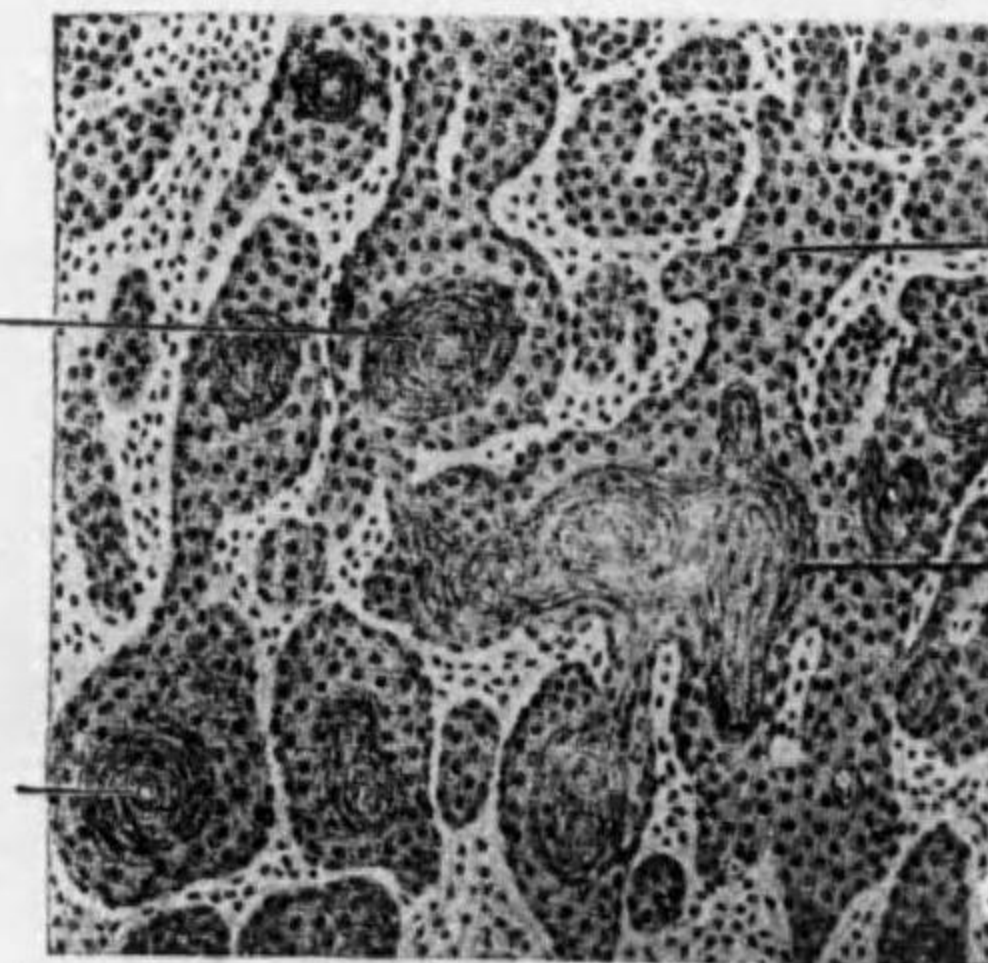


表 皮 癌

relativ gross ニシテ Kern ハ klein, 多少 Haut ノ Plattenepithelzellen ノ Bild ラ zeigen ス。即チ Rand ニ於テハ klein ニシテ Kern gross ナルモ Zentralteil ニ近キモノハ Zellen gross, Kern klein ニシテ Epithelzellen ニ ähnlich ナリ。又 Kankroid ニ spezifisch ナルコトハ, i). **Kankroid-perlen (癌珠)**, ii). **Riff-und Stachelzellen (棘細胞)**, iii). **Verhornung (角化變性)** ヲ有スルコトナリ(是等ハ總テ Epithelzellen ノ Eigenschaft ニ基ク)。然レドモ場合ニヨリテハ是等ノ Bild ガ unklar ナルコトアリ, 特ニ **Basalzellenkrebs (基底細胞癌)** ハ前述ノ (i) (iii) ヲ fehlen シ, Carcinoma simplex ニ ähnlich ナリ。

2). **Carcinoma simplex od. Drüsenzellenkrebs od. Kubischenzellenkrebs. (單純性癌或腺細胞癌或骰子形細胞癌)**

Bau: 其 Bild ハ Kankroid ニ ähnlich ナル場合ト, 若シクハ Sarkom ニ ähnlich ニシテ, Schnittfläche markig ニ aussehen スル Fall トアリ。

Histologisch: bindegewebiges Interstitium (結締織性間質) ト Krebszellenalveolen (癌細胞巢) トヨリ成ル。

Karzinomzellen ノ Grösse ハ verschieden ナルガ, 何レモ Protoplasma arm, Kern gross ニシテ, kubisch 又ハ unregelmässig rundlich ナリ。是等ノ Zellen ハ 2—3 乃至數層ニ anordnen (配列) シ, 特有ナルハ石垣狀ヲ呈ス。併シ Wachstum ノ rasch ナル部分ハ einschichtig ニシテ infiltrierend ニ Gewebe ノ間ニ eindringen スル Bild ヲ示ス。

Alveolen ノ Ende ハ abgerundet (圓味) ニ終ル, 之レ Endothelium ノ spitzig ニ enden スルト異ナル點ナリ。又 Endothelium ト異ナリテ Alveolen ト Interstitium ノ Verhältniss locker ニ

第 百 三 十 三 圖



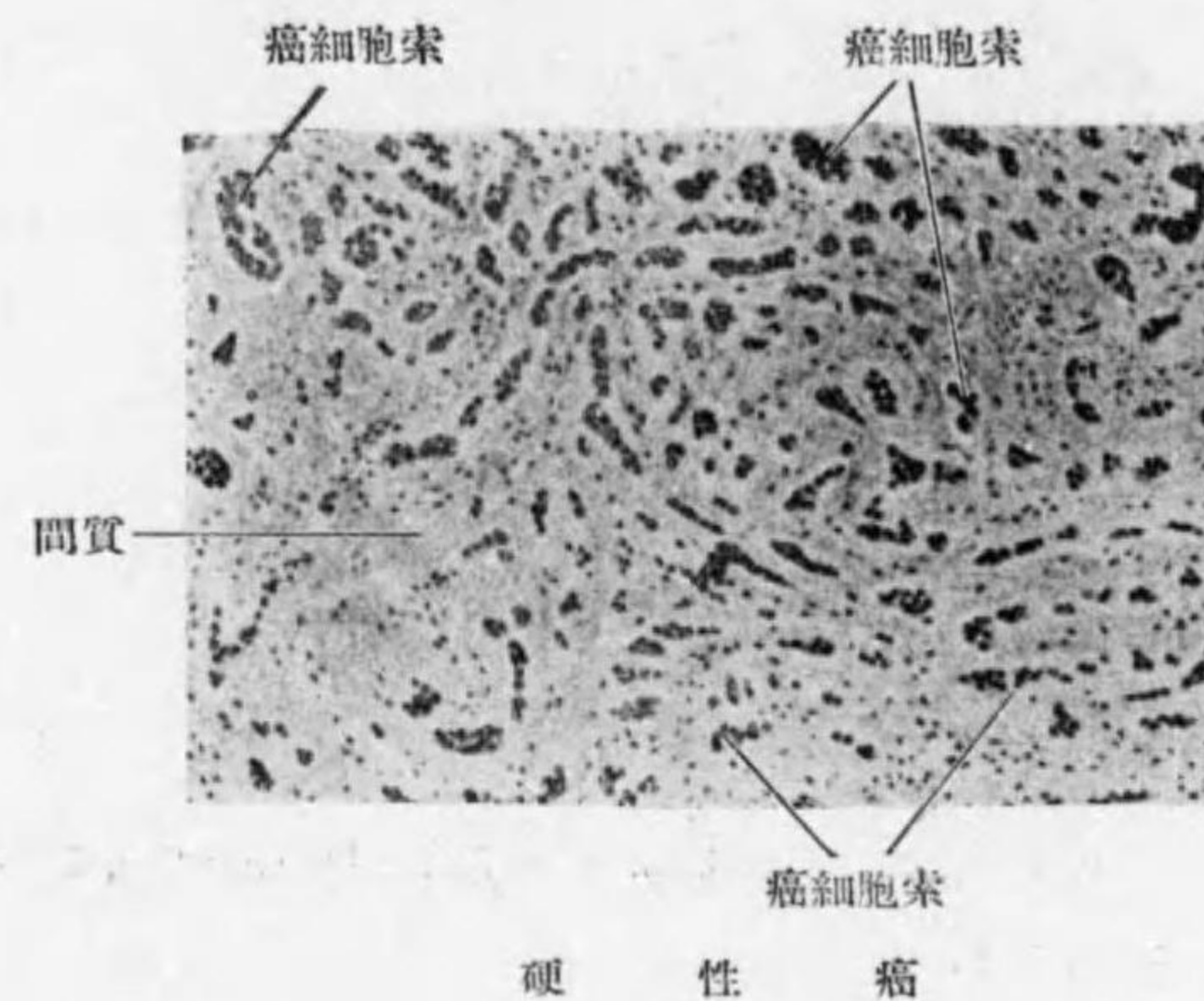
基 底 上 皮 癌

シテ Bindegewebe ガ Alveolen ノ 中ニ入ルコトナシ (Endothelium ノ 係下参照)。

Carcinoma simplex ニ於テハ Interstitium ト Zellen トノ多少ニヨリテ a). **Skirrhus** (bindegewebiges Karzinom, schrumpfendes Karzinom) ト, b). **Medullarkrebs** (weiches Karzinom) ヲ einteilen ス。前者ハ Alveolen ニ比シ Bindegewebe ノ多キモノ, 後者ハ Krebszellen ノ reichlich ナルモノヲ云ヒ, 殊ニ bösartig ナリ。又兩者ノ中間ニ相當スルモノヲ c). **Carcinoma simplex** (im engeren Sinne) ト稱ス。

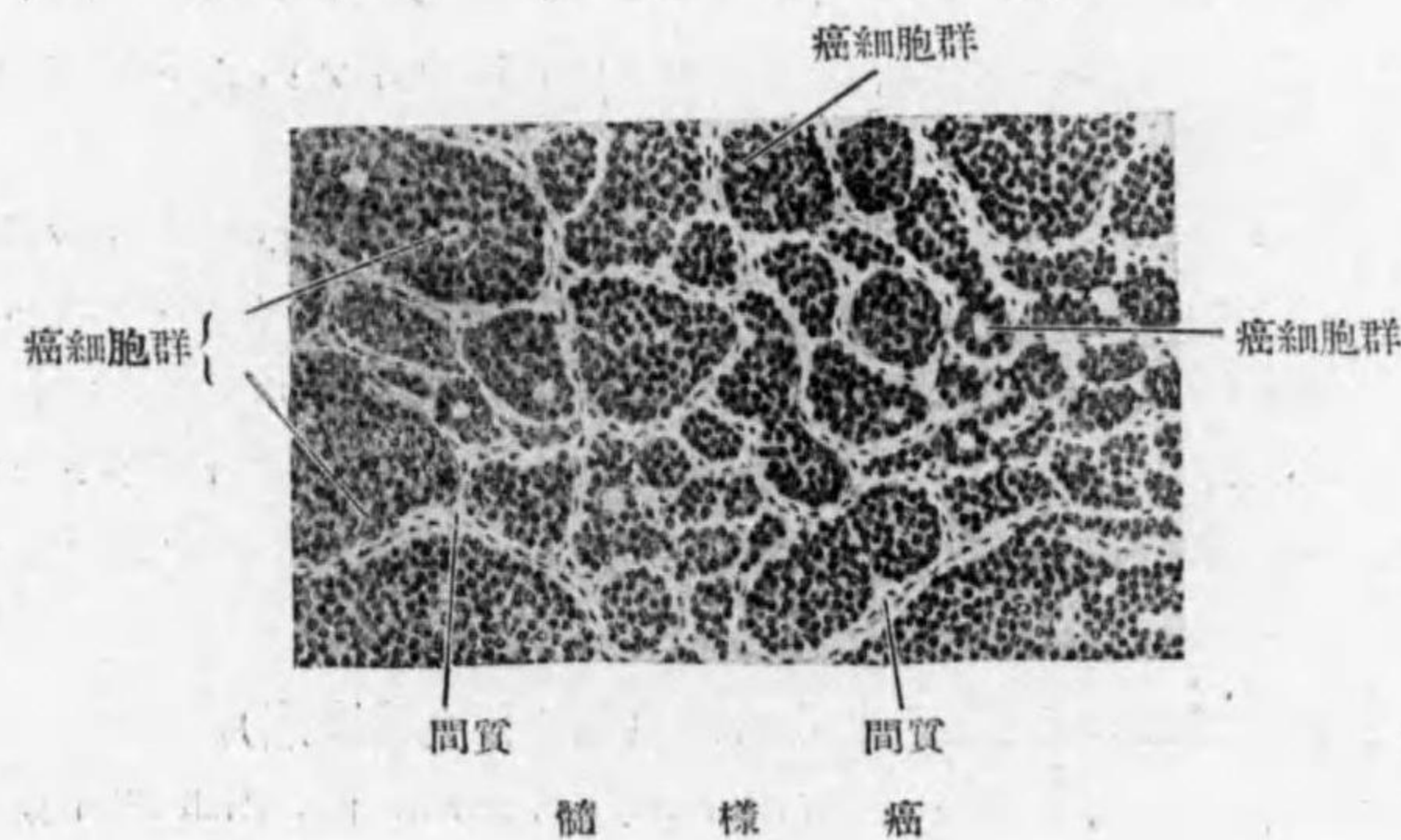
又 Interstitium ニハ屢々 schleimige Degeneration ヲ見ル, selten ニハ Interstitium ノ sarkoma-

第 百 三 十 四 圖



硬 性 癌

第 百 三 十 五 圖



髓 樣 癌

第百三十六圖

擴張セル腺腔間質



卵巣嚢腫性腺癌

tüse Veränderung が見ルコトアリ。其他 Karzinom 内ニ fettige Degeneration, Nekrose, Blutung Kalkablagerung 等ヲ見ルコトアリ。

3). Adenokarzinom od. Zylinderzellenkrebs (腺癌或圓柱細胞癌)。

Bau: Konsistenz relativ weich ニシテ、其 Schnittfläche ヲ見ルニ Interstitium relativ arm ニシテ其中ニ stellenweise ニ gelblichweiss ノ Flecke (Zellalveolen) アリ、之ヲ drücken スレバ Krebsmilch (癌乳) ヲ出ス。

Histologisch: Interstitium relativ spärlich ニシテ Karzinomzellen gross, Basis ノ Zellen ハ zylindrisch, zentralwärts ニ行クニ從ヒ polymorph kurz トナル。或ル場合ニハ Drüsenschläuche ノ全ク füllen セラルルモノアレドモ、屢々 Drüsenschläuche ヲ殘シ、其中ニ Detritusmasse (頽敗物) ヲ erhalten ス。Interstitium ト Krebszellen トノ Verhältniss ハ locker ニシテ Interstitium ニ屢々 schleimige Degeneration ヲ見ル。其他 Krebsparenchym ノ内ニ fettige Degeneration, Nekrose, Kalkablagerung 等ヲ見ルコトアリ。

4). Gallertkrebs und Schleimkrebs (膠様癌及粘液癌)。

Rektum, Magen, Coecum, Mamma ニ auftreten ス。Gallertkrebs トハ Krebszellen ガ gallertig

第百三十七圖



胃ノ膠様癌

又ハ schleimig = degenerieren セルモノヲ云ヒ、Schleimkrebs トハ其 Interstitium ノ schleimige Degeneration ヲナセルモノヲ云フ。是等ノ Degeneration ハ Drüsenkrebs ニモ見ラルルコトアレドモ多クハ Carcinoma simplex ニ來ル。一般ニハ Gallertkrebs ハ böartig ナリ。

Symptome: 其 Lokalisation 及 Karzinomarten ニヨリテ異ナル。

A). Karzinom der Haut (皮膚ノ癌腫)。

Haut ノ Karzinom ハ Gesicht ニ最モ多ク、其他 Kopf, Nacken, äussere Genitalien, Extremitäten, Nabel 等ニモ生ズ。

Haut ノ Karzinom ハ大抵 Deckepithel ヲリ entwickeln スルモ、sehr selten ニハ Talgdrüse ヲリ生ズルコトモアリ、又 normal ノ Haut ヲリ entwickeln スルコトモアレドモ Geschwür, Narbe, Fistel, dauernde chemische Reize ノ後ニ Karzinom ヲ生ズルコトアリ。其他 Adenom, Papillom, Warze, Hauthorn, Dermoidzyste, Atherom, Kiemengangszyste 等ヨリ Karzinom ヲ生ズルコトモアリ。

Haut ノ Karzinom ニハ klinisch ニ次ノ 3 Arten ヲ區別スルガ、是等ハ屢々 kombinieren シ來ル。

1). Flaches (plattes) Hautkarzinom od. Ulzeröses Karzinom (扁平皮膚癌或潰瘍性癌)。

Symptome: Haut ニ最モ häufig ニ見ラルルモノナリ。

初メハ derbes Knötchen トシテ entwickeln シ、間モナク崩潰シテ karzinomatöses Geschwür トナル。此 Geschwür ハ初メ Ulcus rodens (圓形潰瘍) ト稱セラレ、rundlich ニシテ Rand glatt ナルモ、dellenartige Induration (堤狀硬結) アリ。屢々周圍ノ Haut ニ narbige Schrumpfung (癥痕性收縮) ヲ見ルコトアリ。Geschwür ノ Grund ハ初メハ glatt, rötlich ニシテ注意シ

第百三十八圖



下腿癌腫性潰瘍

第百三十九圖



圓形潰瘍(扁平皮膚癌)

テ檢スレバ其中ニ grauweisslich ノ Punktchen 即チ **Karzinomproppf** (癌栓) ヲ見ル。多少出血性ニシテ Sekret 少ク, 惡臭甚ダシカラズ。Konsistenz ハ derb ニシテ, 初メハ周圍及底面ニ於ケル Infiltration 著シカラズ。Ulcerodens ノ **Verlauf** ハ ganz langsam ニシテ, 數年乃至十數年ニ及ブコト稀ナラズ。併シ時トシテハ中途ヨリ急ニ増大スルコトアリ。

Karzinomatöses Geschwür ノ進行シタル場合ニハ, 其 Form unregelmässig トナリ, Rand 亦 unregelmässig ニシテ, 所々ニ karzinomatöse Induration 著明トナリ, 益々周圍ニ蔓延ス。Grund モ unregelmässig, Farbe schmutzig トナリ, Karzinomzellen ノ Nekrose 多クナルガ爲ニ, **Karzinomproppf** ノミナラズ, **Karzinommilch** (癌乳) (壓ニヨリテ gelblich-weiss ノ小滴出ヅ) ヲ認メ, 所々ニ nekrotisches Gewebe ヲ見ル。Sekret モ多量トナリ特異ノ惡臭ヲ發ス。Grund 及 Umgebung ニ進行シテ Knochen, Knorpel 等 zerstören (崩潰) セラル。

Narbe, Fistel 等ヨリ發生セル場合ニハ, 初メヨリ unregelmässig ノ狀ヲ呈シ, Umgebung ニ次第ニ fortschreiten ス。

第百四十圖



下腿潰瘍ニ發生セル瘤狀皮膚癌ニシテ腓骨ヲ破潰セルモノ

第百四十一圖



第百四十二圖



癩痕ヨリ發生セル手背ノ癌腫

Metastase ハ Ulcus rodens ノ時期ニ於テハ全クナキカ或ハ其末期ニ見ラルルモ、既ニ崩潰著シキ場合ニハ、毎常 Lymphdrüse 等ニ Metastase ヲ作ル。後ニハ Kachexie ニ陥リテ sterben ス。Operation 後屢々 Rezidiv ヲナス。

Diagnose: 多クハ leicht, 併シ tuberkulöses Geschwür, gummöses Geschwür, Ulcus simplex ト鑑別ヲ要スルコトアリ (Geschwür ノ條下参照)。

Infiltratives Karzinom, Tumorbildendes Karzinom トノ區別ハ多クハ容易ナルガ、屢々是等ノ Übergang ニ屬スベキモノアリ。

2). **Tiefgreifendes od. Infiltratives Karzinom** (深蝕性或滲潤性癌)。比較的 Gesicht ニ多キモ、又其他ノ部位ニモ發生ス。

Symptome: 本症ニ於テハ Haut ノ Geschwulst 又ハ Geschwür ハ左程大ナラザルニ、Umgebung 及 Grund ニ於ケル karzinomatöse Infiltration 高度ニシテ、速ニ成長シ次第ニ Gewebe ノ Zerfall (崩潰) ヲ來ス。或ハ底部ト癒着シテ屢々 Schmerz ヲ發ス。

Geschwür ノ状態ハ畧ボ前者ト同様ナルモ、一般ニ bösartig ノ Bild アリ。即チ Grund uneben, schmutzig, Farbe blassrötlich ニシテ、屢々其ノ中ニ Karzinompropp 又ハ Karzinommilch ヲ認メ、或ハ nekrotisches Gewebe ニ bedecken セラレ、leicht blutend ナリ。深部ニ於テ A. ガ侵蝕セララル時ハ grosse Blutung ヲ起スコトアリ。

Sekret seröseitrig, 時トシテハ etwas blutig ニシテ eigentümlich ノ惡臭アリ。

Rand ニハ unregelmässig ノ karzinomatöse Induration (癌腫性硬結) アリ。Begrenzung scharf ナラザルコト多シ。

Konsistenz derb。

Verlauf: relativ rasch ニシテ、Lymphdrüsen-Metastase ヲ作り易ク、時トシテハ haematogene Metastase ヲ作り、Operation 後 Rezidiv ヲ起シ易シ。

Diagnose: 前者ニ畧ボ同ジク、多クハ Diagnose leicht ナリ。

3). **Papillöses od. tumorbildendes Karzinom** (乳嘴腫性或腫瘤性癌)。

Haut ニ於ケル Tumorbildung 著明ナル Karzinom ヲ云フ。之ハ Papillom, Warze, Atherom, Dermoidzyste 等ヨリ發生シ、或ハ normal ノ Haut ヲヨリ發生スルコトモアリ。

Symptome: Form knotig (結節狀), knollig (磊塊狀), fungös (菌茸狀), papillös (乳嘴狀), blumenkohlartig (花椰菜狀), aufgeworfen (翻花狀) 等ニテ gestielt (有莖) ナルコトト或ハ breitbasig (廣底) ナルコトトアリ、多少ナガラ底部及周圍ニ derb ノ karzinomatöse Infiltration アリ。

Oberfläche uneben, 前記ノ如キ種々ノ状態ヲ呈ス。厚キ Hornschicht (角層) 又ハ Sekret ノ乾燥ニヨル Kruste (痂皮) ニ bedecken セラレ、一部 grauweisslich 又ハ leicht rötlich ナリ。

Konsistenz ハ derb ニシテ壓痛ナシ。**Sekret** ハ少量ナルモ、Oberfläche geschwürig トナル時ハ惡臭アル Sekret ヲ生ズ。

Infiltrierende Form ヲヨリモ gutartig ナルガ、屢々 lymphogene Metastase ヲ作り、Operation 後 Rezidiv ヲナスコトアリ。

Diagnose: Haut ノ Fibrom, Sarkom, Papillom 等ト鑑別ヲ要スルコトアルモ、Alter, Wachstum, Konsistenz, Oberfläche, Infiltration 等ニヨリテ容易ニ診斷セラル。

B). **Karzinom der Schleimhaut** (粘膜ノ癌腫)。

a). Epitheliale Schleimhaut 例ハ Mundlippe, Mundhöhle, Highmoresche Höhle, Oesophagus, Vagina, Penis 等ニ於テハ Kankroid (表皮癌) ヲ生ジ、

b). Zylinderepithelschleimhaut 例ハ Magen, Darm, Gallenblase ニ於テハ Carcinoma simplex (單純性癌), Adenokarzinom (腺癌), Gallertkrebs (膠樣癌) ヲ生ズ。

Schleimhaut ノ Karzinom モ Haut ニ於ケルト同様ニ、

1). Ulzeröses od. wandständiges Karzinom (潰瘍性或壁在性癌)

2). Tiefgreifendes od. infiltrierendes Karzinom (深蝕性或滲潤性癌)

3). Papillöses od. tumorbildendes Karzinom (乳嘴性或腫瘤性癌) ノ 3-Arten

ヲ區別ス。其状態ハ何レモ Haut ニ於ケルト同様ナリ。Oesophagus, Magen,

Darm 等ニ於テハ klinischニ Geschwulstヲ nachweisenシ難ク、屢々 **Stenose (狭窄)**ノミヲ主症状トスルコトアリ。又該 Stenoseハ前記ノ tumorbildende Formニ於テ著シク、其他ノ

Formニ於テハ deutlich ナラザルコト多シ。併シ Karzinomノ Schrumpfung (萎縮)ニヨリ其 Stenoseヲ起スコトモアリ (詳細ハ Spezielle Chirurgieヲ参照)。

C). **Karzinom der Parenchymatösen Eingeweide (實質性臓器ノ癌腫)**。

Mamma, Leber, Pankreas, Niere, Ovarium, Uterus, Prostata, Hoden, Schilddrüse 等ニ屢々 Karzinomヲ發生ス。是等ノ場合ニハ Eingeweideノ一部或ハ全部ノ Vergrößerungヲ來ス。併シ Skirrhusニヨリテハ反ツテ Eingeweideノ一部ニ Schrumpfungヲ來スコトアリ、前者ニ於テハ klinischニ知ラルルモ後者ニ於テハ不明ナルヲ常トス (Spezielle Chirurgie 参照)。

Karzinomノ Prognose: Karzinomノ Prognoseハ概シテ ungünstigナルガ、i). oberflächlichノ Karzinom, Operationノ möglichナル Eingeweideノ Karzinomハ Operationニヨリテ Lebenヲ rettenスルコトヲ得。併シ letztes Stadium及ビ allgemeine Metastaseヲ起シタル場合ニハ全ク不良ナリ。

第百四十三圖



乳癌ノ末期

ii). Kankroid, Carcinoma simplexハ比較的 gutartigニシテ、Medullarkarzinom, Adenokarzinom, Gallertkrebsハ böartigナリ。

iii). 若年者ノ Karzinomハ老人ニ比シテ Wachstum raschニシテ Metastaseヲ作り易ク、從ツテ悪性ナルコト多シ。

Karzinomノ末期ニハ Kachexieニヨリテ sterbenスルカ、或ハ lebenswichtigナル Organノ侵サレタル爲ニ sterbenス。或ハ karzinomatöses Geschwürヨリスル Blutungニヨリテ sterbenスルコトアリ。

Karzinomノ Therapie: 現今ノ程度ニ於テハ出來ルダケ早期ニ operativニ Exstirpationヲ行フヲ以テ sicherトナス。此際ニハ Karzinomヨリ少クとも 1 cm以上距リタル gesunder Teilヨリ exstirpierenセザルベカラズ。又 Lymphdrüsenmetastaseアル時ハ、其全部ヲ除去セザルベカラズ。

Radiumtherapie, Röntgentherapieモ應用セラル。特ニ Röntgenノ Tiefentherapieハ Oberflächeノ Karzinomニ有效ナリ。

Formalin, Chlorzink, Sublimat 等ノ Injektionstherapieアルモ、何等ノ效ナシ。

Serumtherapie, Karzinolysin (Karzinomgewebeヲ種々ノ操作ニヨリテ破潰シテ Emulsionトナシタルモノ) 等モ未ダ充分ニ目的ヲ達スルニ到ラズ。innerlichニハ Jodkalium, Arsenikpräparatヲ用フルモ、Trostmittelニ過ギズ。

Karzinomgewebe zerfallenシテ惡臭ヲ發スル時ハ 0.01% Kaliumpermanganatlösung (過満俺酸加里液)ノ Umschlagヲ行フ。

XVI. Mischgeschwulst 混合腫瘍 *Mixed tumor.*

Mischgeschwulstハ Geschwulstト angeborene Missbildungノ中間ニ位スルモノニシテ、之ヲ分チテ 1). Einfache Mischgeschwulst, 2). Teratoider Tumor, 3). Teratomノ3 Artenトス。

1). **Einfache Mischgeschwulst (單純性混合腫瘍)**。

各種ノ腫瘍成分 (例ヘバ Fibrom, Myxom, Endotheliom, Lipom, Chondrom, Osteom 等)ヨリ成ル。

Lokalisation: Speicheldrüse, Gesicht, Mundhöhle, Halsgend, Nierenggend, Bauchhöhle, Hoden, Ovarium, Uterus, Harnblase, Mamma, Lunge, Leber 等ニ發生ス。

Symptome: angeboren 又ハ Pubertätszeit ニ發生シ, 或ハ中年後ニ發見セラル。腫瘍成分ノ種類ニヨリテ Wachstum rasch 或ハ langsam ナリ。

Form kuglig, oval, unregelmässig 等。

Oberfläche glatt od. uneben。

Grösse verschieden。

Konsistenz Tumor ノ Arten ニヨリテ異ルガ, 大體ニ於テ derb ニシテ, typisch ナルハ 其中ニ weich (myxomatös), knorpelhart (chondromatös) ノ所アリ。

Verwachsung ハ無キヲ常トスルモ böartig ノモノハ Verwachsung ヲ生ズルコトアリ。

其他 böartig ノモノハ Metastase, Rezidiv ヲナスコトモアリ。

Diagnose: Entstehungsalter, Lokalisation, Oberfläche, Konsistenz, Verlauf 等ニヨリテ診斷セラル。屢々之ト differenzieren スベキ Krankheit ハ Halslymphdrüsentuberkulose ナリ。

2). Teratoide Geschwulst (類畸形腫)。

Einfache Mischgeschwulst ト Teratom トノ中間ニ位スルモノナリ。之ハ Entwicklung ノ不完全ナル embryonale Anlage (胎兒性基礎) ヲリ發生スルモノニシテ, embryonales Teratom od. zystisches Embryom (胎兒性畸形腫或囊腫性胎兒腫) ノ名アリ。

Lokalisation: Hoden, Ovarium ニ最多ク, 其他 Mundhöhle Nasenhöhle,

第百四十四圖



耳下混合腫瘍

Schädelhöhle, Mediastinum, Bauchhöhle, Steissbein, Kreuzbein 等ノ附近ニ發生ス。

Bau: a) solid 又ハ b) multikammerig (多房性) ノ Tumor ニシテ, 其中ニ Bindegewebe, Schleimgewebe, Knorpel, Knochen, Nerven, Gliagewebe, Mundhöhle, Rachen, Darm, Trachea 等種々ノ Gewebe 及 Organ ヲ含有ス。併シ Teratom ノ如ク Foetus (胎兒) ノ Bau ヲ有セズ。

Komplizierte Dermoidzyste (複雜性皮膚様囊腫) モ本腫瘍ニ屬スルモノナリ (Dermoidzyste ノ條下ニ述ブ)。

Symptome: angeboren ニ上記ノ場所ニ發生シ, Form 及 Oberfläche 及 Konsistenz unregelmässig ナルコト typisch ナリ。

Wachstum relativ langsam ナルモ, 時トシテ karzinomatöse oder sarkomatöse Veränderung ヲナシ Wachstum rasch トナルコトアリ。

Diagnose: 上記ノ Symptome ニヨリテ診斷多クハ容易ナリ。Differentialdiagnose ハ其 Lokalisation ニヨリテ異ル。

3). Teratom (畸形腫)。

Teratoide Geschwulst ト Doppelmissbildung (複畸形) (Foetus in foetu, Parasit od. fötale Inkulsion) トノ移行ニ屬シ, Doppelmissbildung ノ一部ガ tumorartig ニ變化シタルモノナリ。

Lokalisation: angeboren ニ Mundhöhle, Halsteil, Steissgend 又ハ Brusthöhle, Bauchhöhle 等ニ發生ス。

Bau: Oberfläche ニアルモノハ Haut ニ包マレ, Körperhöhle ニアルモノハ Amnion (羊膜) ニ包マレ, 其腫瘤附着部ニ大ナル Gefäss ヲ認ム。

Teratom ト Teratoide Geschwulst ノ間ニハ scharf ノ Unterschied ナキモ, Teratom ニ於テハ一層 entwickeln シタル embryonales Gewebe ヲ認ム。即 Schädelknochen, Kieferknochen, Zahn, Becken, Extremitäten, Mesenterium ヲ有スル Darm, Magen ニ類似ノモノ, Lungengewebe, Nierengewebe, Schilddrüse, Pankreasgewebe, zentrales Nervensystem, periphere N., Bronchien, Augengewebe 等ヲ含有ス。

Symptome: 前記ノ場所ニ angeboren ニ Tumor ヲ生ジ、其 Form 及 Oberfläche unregelmässig ニシテ、Konsistenz 不同ナリ。

Wachstum ハ langsam ナルガ、次第ニ成長シテ著シク大ナルコトアリ。此ノ如キ Missbildung ヲ有スル Kind ハ Entwicklung schlecht ナルヲ常トスルモ、時トシテハ普通ノ如クニ成長スルコトモアリ。

Diagnose: Körperoberfläche ニアルモノハ Diagnose leicht ナレドモ、之ニ反シ Brusthöhle ニアルモノハ Diagnose schwer ナリ、此際ニハ Röntgenuntersuchung ニヨリテ證明セラル。

Teratoide Geschwulst トハ entwickeln シタル Knochen ノ證明ニヨリテ區別セラルルモ、多クハ Operation 後ニ決定セラル。

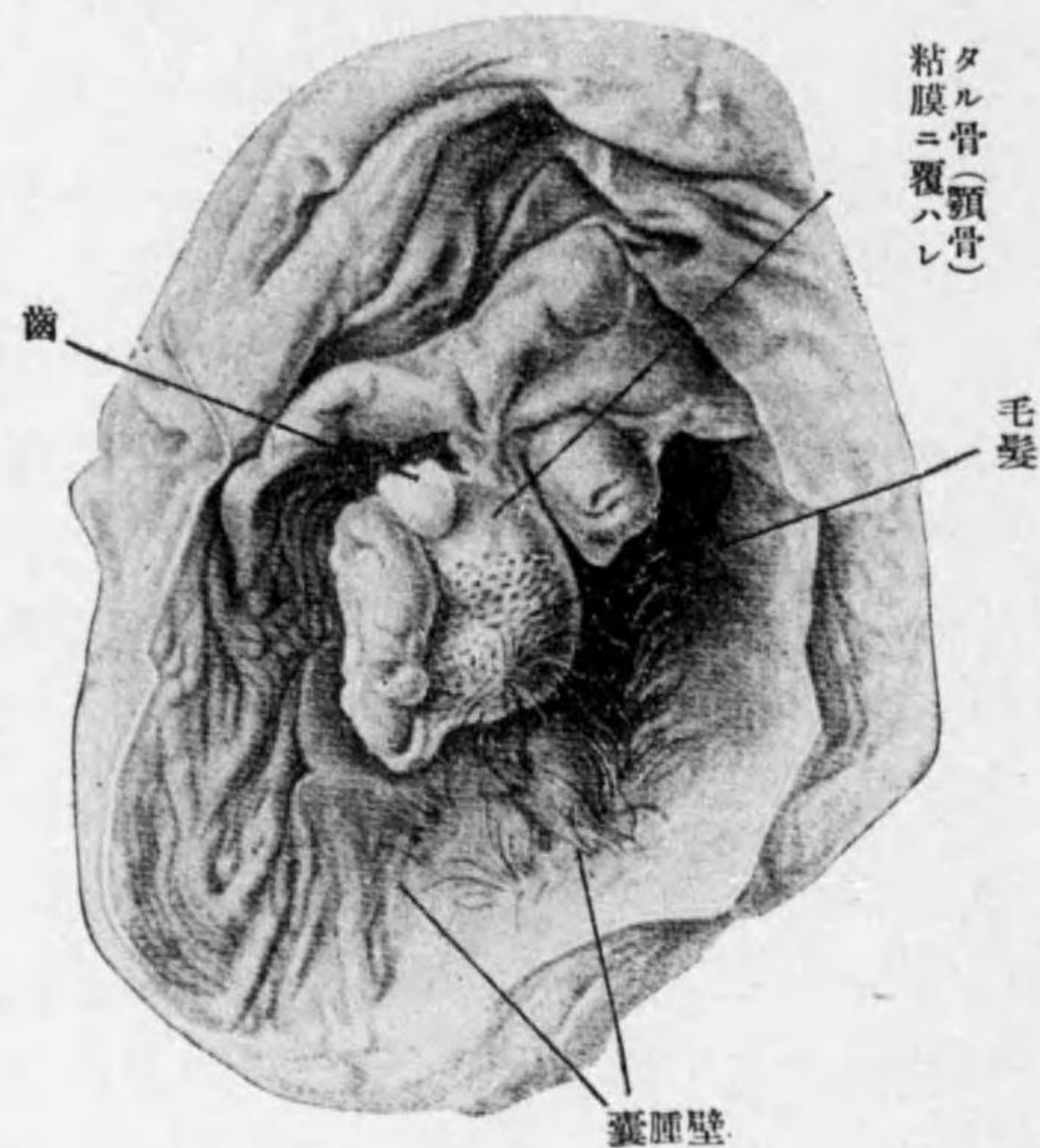
Therapie: Operation ニヨリテ exstirpieren ス。但シ巨大ナルモノハ Operation 不可能ナルコトアリ。又 bösartige Entartung ヲナシタルモノハ Rezidiv ヲ起シ易シ。

(Anhang): Tumoren mit spezifischen Namen (特殊ノ名ヲ有スル腫瘍類)

1). **Epulis (齒齦腫) Epulis.**

特殊ノ Geschwulst ニアラズシテ Gingiva ニ發生スル bindegewebige Tumoren ニ外ナラズ。比較的多キハ Fibrom, Fibrosarkom, Spindelzellen-

第 百 四 十 五 圖



卵巢畸形腫

sarkom ニシテ、selten ニハ Riesenzellensarkom ナルコトモアリ。

是等ノ Geschwülste ハ Unterkiefer ノ Alveolarrand (齒槽緣) ニ最モ多ク、時トシテハ Oberkiefer ニモ發生ス。

Begrenzung 稍々不明ナル Geschwulst ニシテ、Oberfläche 小ナルハ glatt ナルモ、大ナルハ uneben ナリ。Schleimhaut ノ Farbe ハ bläss rötlich 又ハ rötlich ナルコト多シ。

Gutartig ノモノハ Konsistenz derb ニシテ、Wachstum langsam ナリ。之ニ反シ **bösartig** ナルハ Konsistenz etwas weich ニシテ、Wachstum 稍々 rasch ナリ。Metastase ヲ作ルコトハ selten ナルモ、Operation 後 Rezidiv ヲ起スコトアリ。

Therapie: Kieferknochen ノ一部ト共ニ radikal ニ exstirpieren セザレバ Rezidiv ヲ起シ易シ。Röntgentherapie 及 Radiumtherapie モ時トシテハ效果アリ。

2). **Odontom (齒牙腫) Odontoma.**

Zahn ニ發生スル spezifische Geschwulst ニシテ、Zahn ノ Entwicklungsstörung ニ屬スベキモノナリ。之ニ a) Weiches Odontom ト、b) Hartes Odontom ノ 2 Arten ヲ分ツ。

a). **Weiches Odontom (軟性齒牙腫)**。齒牙發生ノ初期ノ Gewebe (Zahnpulpa 齒髓, Periodontium 齒牙周圍組織) ヲヨリ發生スルモノニシテ、Kieferknochen ノ内部ニ生ジ、次第ニ Knochen ヲ aufreiben シテ Knochen 自個ガ肥厚セルガ如クニ見ユ。更ニ vergrößern スル時ハ Knochenrinde (骨皮質) ガ dünn トナリ、遂ニハ Pergamentknittern ヲ呈スルコトアリ、然レドモ此ノ如キ場合ハ比較的 selten ナリ。hartes Odontom ニ比シテハ Wachstum 少シク rasch ナルモ、一般ニ langsam ナリ。多クハ Odontom 發生部ノ

第 百 四 十 六 圖



エ プ リ ス

Zahn が fehlen ス。

b). **Hartes Odontom** (硬性齒牙腫)。完成セル Zahngewebe 即チ Dentin (琺瑯質), Schmelz (象牙質), Zement (石灰質) ヨリ成ルモノニシテ 2 Arten アリ。

i). **Kieferknochen** ノ内部ニ生ズル象牙様硬度ノ結節ニシテ, 屢々 Bindegewebe ノ Kapsel ヲ有シ, 恰モ Fremdkörper ノ如キ觀ヲ呈スルコトアリ。

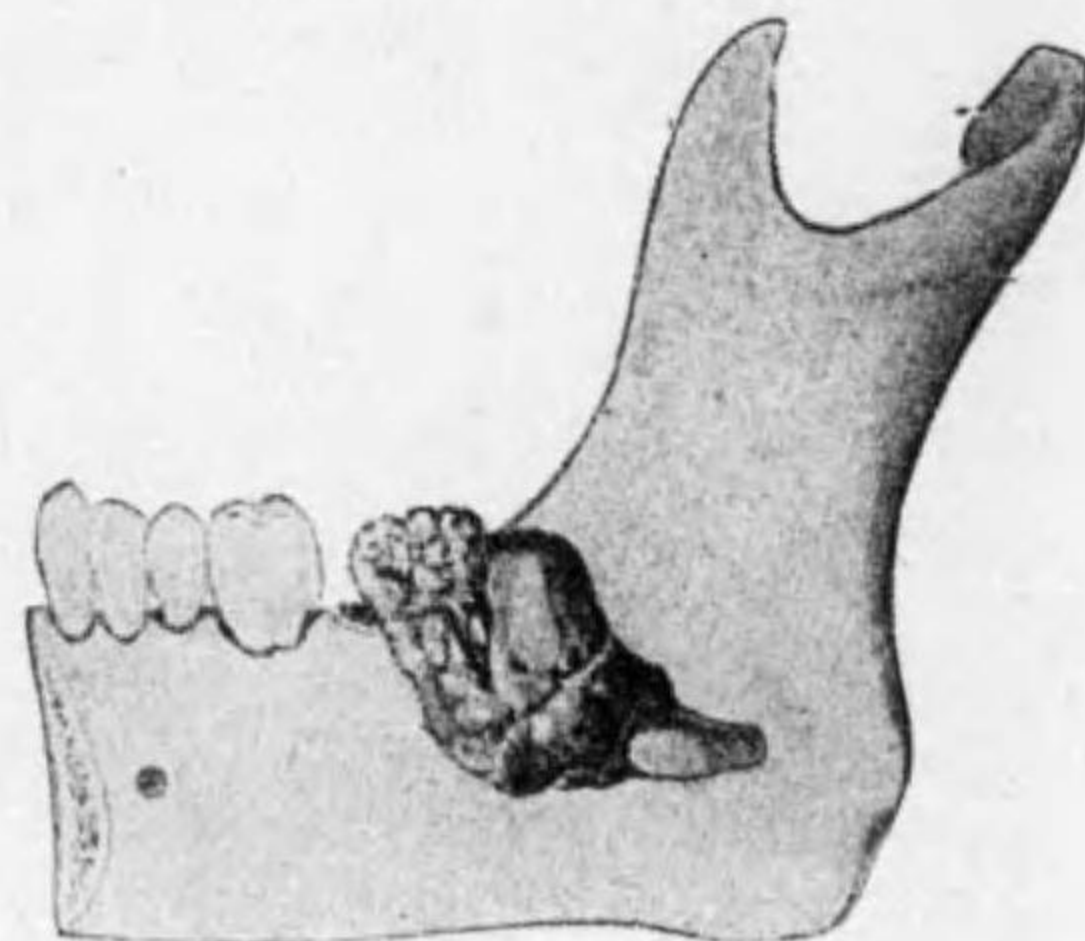
時トシテハ Kiefer 内部ノ Odontom ガ原因トナリテ, Knochennekrose ヲ起シ, chronische Fistel ヲ生ズルコトアリ。

本症ノ Diagnose ハ甚ダ困難ニシテ, Röntgenuntersuchung ニヨリテ辛クジテ診断セラル。

第百四十七圖

ii). **Wurzelodontom** (齒根齒牙腫)。普通ニ發育シタル Zahn ノ Wurzel ニ生ズル hartes kleines Knötchen ニシテ, 多クハ Kieferknochen ノ内部ニアリテ, 抜齒後偶然發見セラルルコト多シ。

Therapie: Operation ニヨリテ 摘出ス, 併シ Wachstum langsam ノモノハ其儘ニ置クモ差支ナシ。



オドントーム

3). **Adamantinom** (琺瑯腫) *Adamantinoma*.

齒牙發生時ニ於ケル Zahnschmelz (琺瑯質) ヨリ成ルモノニシテ, 之ニ

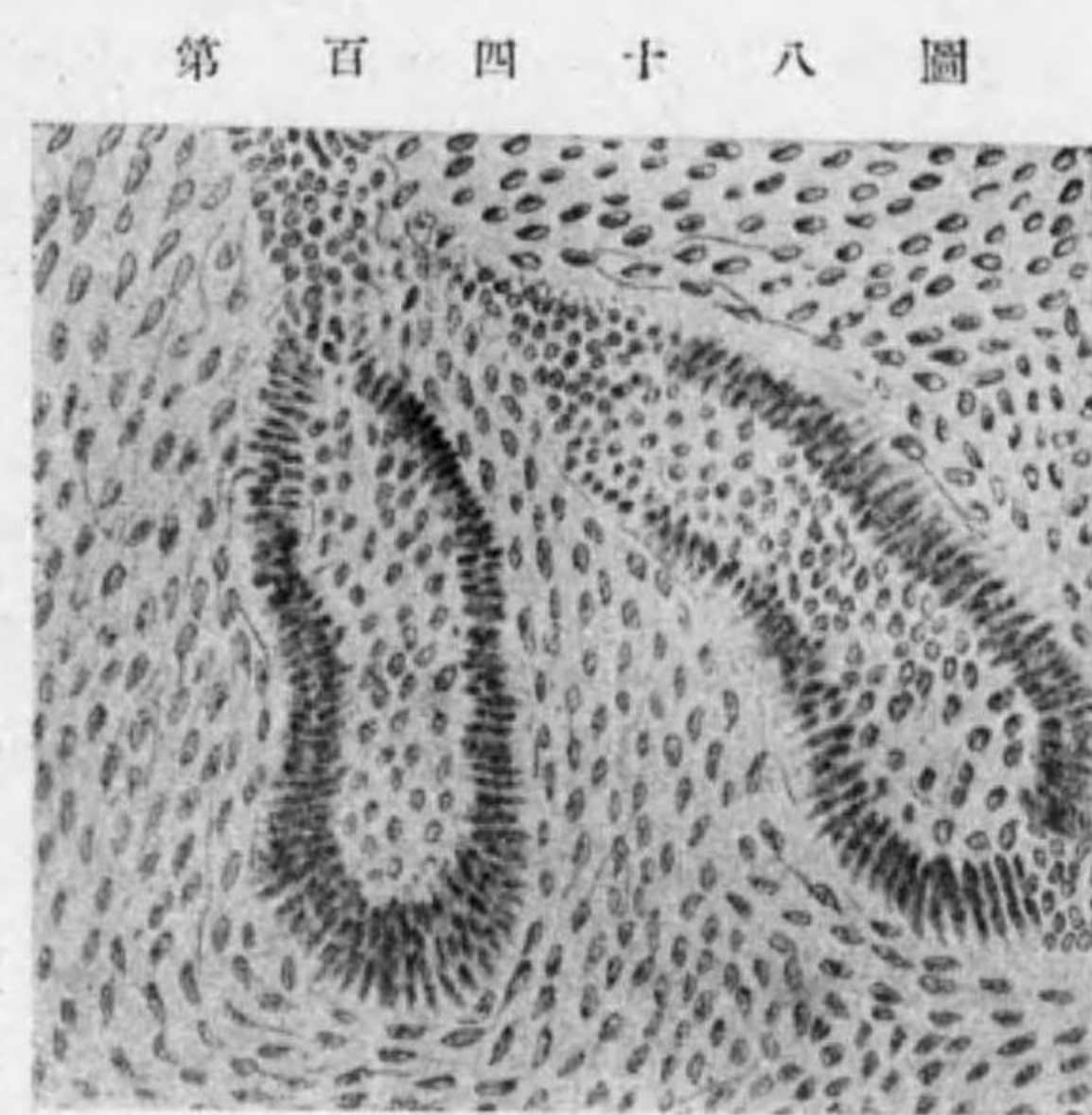
a). **Adamantinoma solidum** od. **Adamantinoma** im engeren Sinne (實質性琺瑯腫)

b). **Adamantinoma cysticum** od. **Multiple Kieferzyste** (囊狀琺瑯腫或多房性顎骨囊腫) ヲ分ツ。併シ屢々兩者ノ Uebergang ニ屬スベキモノアリ。

多クハ Unterkiefer ニ發生シ, 次第ニ Knochen ヲ膨隆セシム。其 Auf-

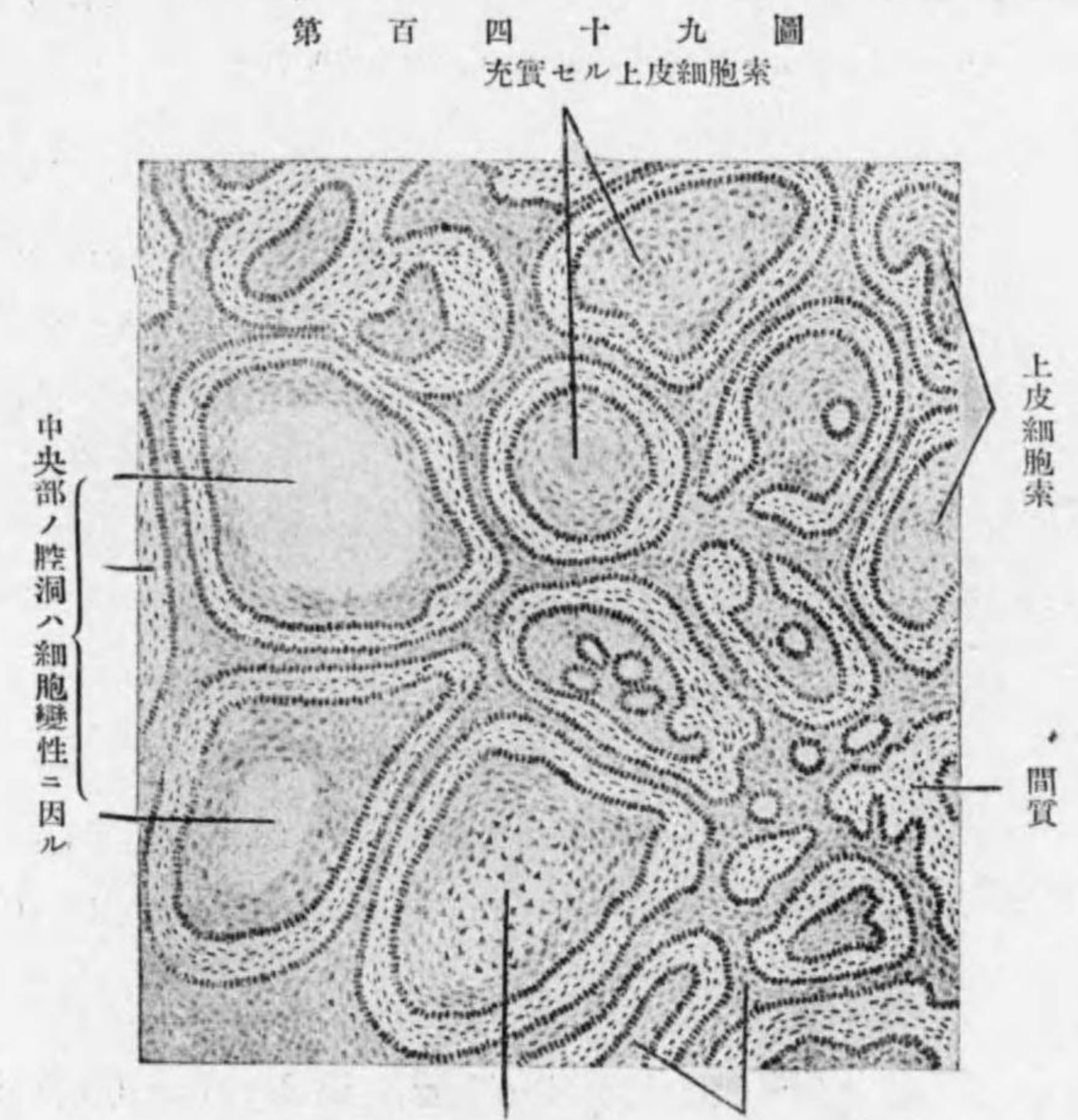
treibung 著明トナル時ハ, 骨質次第ニ dünn トナリテ Pergamentknittern ヲ呈シ, 甚ダシキハ Knochen 消耗シテ遂ニハ Geschwulst 外部ニ現レ, etwas weich ノモノトシテ觸レ, 或ハ Fluktuation ヲ示スコトアリ。

本腫瘍ハ Karzinom 又ハ Sarkom ト異ナリテ, lokalisiert ノ Tumor 乃至 Zyste ニシテ, 多クハ Kieferknochen ヨリ鈍性ニ分離スルコトヲ得ベシ。Wachstum 一般ニ langsam ニ



第百四十八圖

實質性琺瑯腫



第百四十九圖
充實セル上皮細胞索

中央部ノ腔洞ハ細胞變性ニ因ル

上皮細胞索

間質

上皮細胞索 上皮細胞索
(邊緣圓柱狀, 内部ハ不正骰子形乃至扁平, 中央ニテハ星芒狀ヲ呈ス)
囊腫性及充實性琺瑯腫

シテ、時トシテハ可ナリ著大トナルコトアレドモ、Metastaseヲ作ルコトナシ。

Bau: 本症ハ Bindegewebe ノ Grundsubstanz 中ニ solid 又ハ zystisch ノモノアリ、solid ノモノニ於テハ Basalzellen (基底細胞) ハ Zylinderzellen ヨリ成リ、内部ノ Zellen ハ kubisch—unregelmässig ノ形ヲ有シ Lumen ナシ。

Zystisch ノモノニ於テハ其底部ニハ Zylinderzellen アリ。其内部ニ unregelmässig kubisch 又ハ platt ノ Zellen アリ、内部ニ Lumen ヲ有シ、schleimig—dunkelbräunlich ノ Inhalt ヲ藏ス。

屢々是等ノモノノ中ニ不完全ナル Zahn ヲ見ルコトアリ。

Diagnose: Kiefer ノ種々ノ Tumor, Zyste 等ト鑑別ヲ要ス。

Therapie: Anfangsstadium ニハ leicht ニ Eukleation (剝出) ヲナスコトヲ得。後ニハ Knochen ト共ニ exstirpieren セザルベカラズ。

4). **Hypernephrom** od. **Grawitzscher Tumor** (副腎腫瘍) *Supranephroma*.
Nebenniere ヨリ發生スル特殊ノ Geschwulst ナリ。該 Geschwulst ハ正常位ニアル Nebenniere ヨリ發生スルコトモアレドモ、屢々 **Verirrte Nebennierenkeim** (迷芽性副腎) (Niere, Mesenterium, Retroperitonealteil, Leber, Pankreas 附近等) ヨリ發生ス。

Hypernephrom ニハ、

a). Gutartige Form (Adenom ニ屬ス)。

b). Bösartige Form (Karzinom ニ屬ス)。

ノ 2 Arten アリ、夫々 spezifisch ノ Bild ヲ呈ス。

Klinisch ニハ Nierentumor 又ハ Bauchtumor ノ Bild ヲ呈シ、bösartig ノモノハ Wachstum rasch ニシテ、haematogene Metastase ヲ作ル (病理書及外科各論參照)。

5). **Syncytiom** oder **Chorioepithelioma malignum** (悪性脈絡膜腫) *Deciduoma or chorion epithelioma malignum*.

Uterus 内ノ Plazenta ヨリ entstehen スル epitheliale maligne Geschwulst

ニシテ Syncytiumzellen 又ハ *Langhanszellen* ヨリ發生ス、leicht ニ出血シ haematogene Metastase ヲ作ル。frühzeitig ニ Uterus ノ Exstirpation ヲ行ヘバ heilen スルモ、然ラザレバ Prognose schlecht ナリ (病理書及婦人科書參照)。

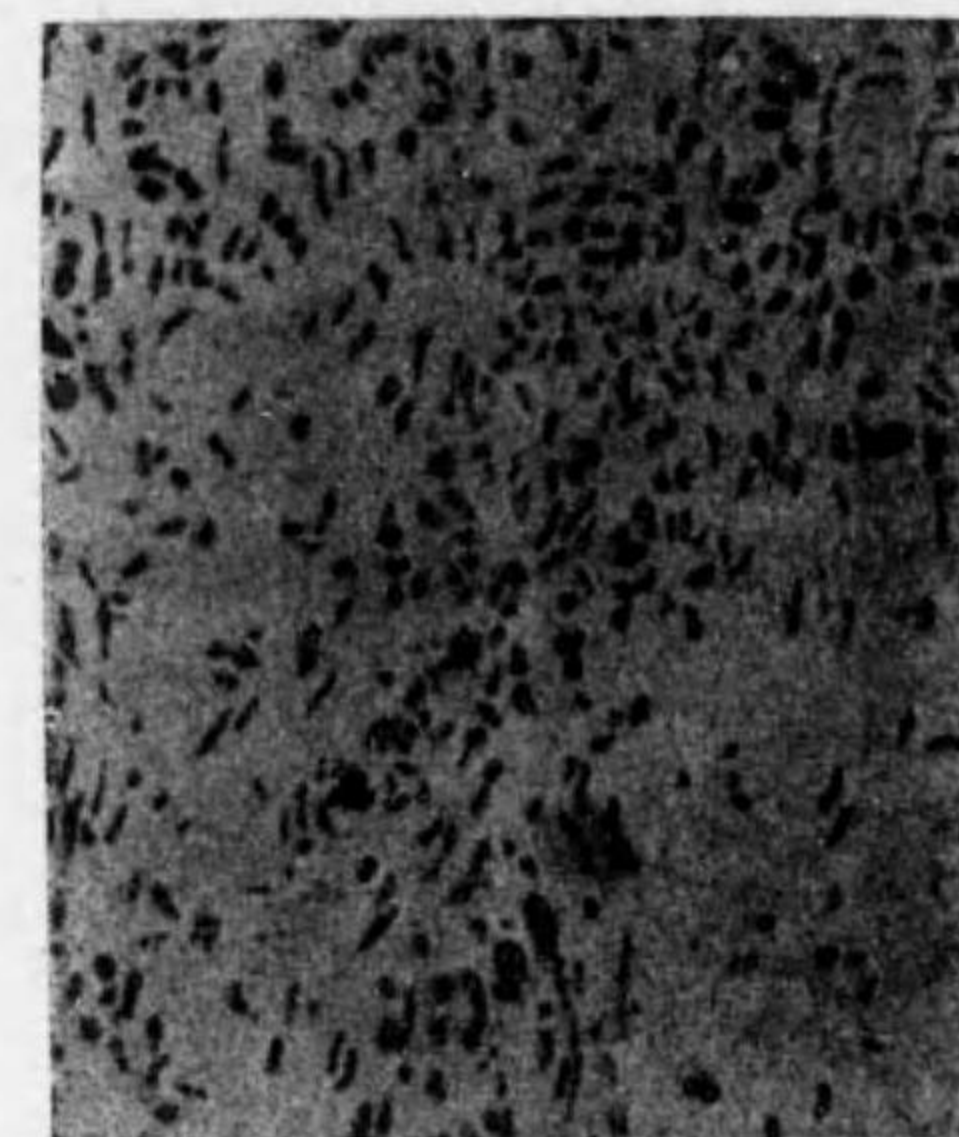
6). **Krukenberg'scher Tumor** (クルッケンベルグ氏腫瘍) *Krukenbergstumor*.

本病ハ初メ Ovarium ニ發生スル特異ノ Geschwulst トシテ報告セラレシガ、其後ノ研究ニヨレバ一種ノ infiltrierender Gallertkrebs (滲潤性膠様癌) ニシテ、其間質ガ sarkomatöse Entartung ヲナセルモノト見做サルルニ至レリ。本症ハ Ovarium ニ原發スルモノアレドモ、多クハ Magen 及 Darm ノ Karzinom ガ Ovarium ニ Metastase ヲナスニヨル。

Klinisch ニハ Ovarialtumor 又ハ Bauchtumor ノ Bild ヲ呈シ、sicher ノ Diagnose ハ histologische Untersuchung ニヨラザルベカラズ。

Histologisch ニハ間質ハ zellreich ノ Sarkom 又ハ Fibrosarkom ノ Bild ヲ呈シ、其間ニ Karzinomalveolen (癌胞巢) アリ、特ニ其 Karzinomzellen 中ニ schleimige Degeneration アルニヨリテ、一種固有ナル **Sieglingszellen** (印環細胞) ナルモノヲ認ム。(病理學書及婦人科書參照)。

第百五十圖



クルッケンベルグ氏腫瘍

第百五十一圖



印環細胞

7). **Polyp** (ポリープ) *Polyp*.

Dünner Stiel (細莖) ヲ以テ Haut, Schleimhaut 等ニ附着セル tumorartig ノモノヲ云フ。

a). **Haut** = 發生スルモノハ多クハ echte Geschwulst ニシテ, Fibrom, Lipom, Papillom 等ヨリ成ル。是等が大ナル場合ニハ Geschwulst ノ Beschaffenheit spezifisch ナルモ, klein ナル時ハ klinisch ニ Diagnose ヲ下スコト schwer ニシテ histologische Untersuchung ニヨラザルベカラズ。

b). **Schleimhaut** = 於テハ Nase, Kehlkopf, Mund, Magen, Darm, Rectum, Uterus, Harnblase 等ノ Schleimhaut ニ生ズルモノニシテ, 之ニ次ノ種類アリ。

i). Echte Geschwulst トシテ Fibrom, Lipom, Myxom, Adenom, Myom 等ヲ生ズ。

ii). 又 entzündlicher Reiz ニヨリテ Bindegewebe, Schleimgewebe, Granulationsgewebe 等ヨリ成ル Polyp ヲ生ズルコトアリ。

c). **Serosa** = ハ Uterus, Ovarium, Peritoneum 等ニ Myom, Fibrom 等ヨリ成ル Polyp ヲ生ズルコトアリ。

以上ノ Polyp ガ selten ニ Karzinom, Sarkom 等ニ entarten スルコトアリ。

VI. Abschnitt.

Zyste 囊腫 Cyste.

Zyste トハ flüssig (流動性) 又ハ halbflüssig (半流動性) ノ Inhalt ヲ藏シ, Kapsel ニヨリテ abkapseln (包裹) セラルルモノヲ云フ。而シテ其内面ニ Epithel (上皮) ヲ有スルモノヲ A) **Wahre Zyste** (眞性囊腫) ト稱シ, 然ラザルモノヲ B) **Falsche Zyste** (假性囊腫) ト云フ。

Zyste ニハ數多ノ種類アリ。即チ

I). Angeborene epitheliale Zyste (先天性上皮囊腫).

- 1). Dermoidzyste (皮膚様囊腫). (第 247 頁参照).
- 2). Kiemengangszyste (腮間囊腫) (Spez. Chirurgie ノ Hals ノ條下参照)
- 3). Zyste des Ductus Thyreoglossus (甲狀舌骨囊腫) (Spez. Chirurgie ノ Hals ノ條下参照).
- 4). Urachuszyste (尿管囊腫). (Spez. Chirurgie ノ Nabel ノ條下参照).
- 5). Dottergangszyste (卵黄管囊腫) (同上).

II). Odontogene Zyste (齒牙性囊腫)

- 1). Follikuläre Zahnzyste (濾胞性齒囊腫) (Spez. Chirurgie ノ Kiefer ノ條下参照).
- 2). Zahnwurzelzyste (齒根囊腫) (同上).
- 3). Multilobuläres Kieferkystom (多房性顎骨囊腫) (同上).

III). Exsudations-Zyste (滲出性囊腫).

- 1). Hydrocele (陰囊水腫) (Spez. Chirurgie ノ Hoden ノ條下参照).
- 2). Herniazyste (ヘルニア囊腫) (Spez. Chirurgie ノ Hernia ノ條下参照).
- 3). Seröse Zyste (漿液囊腫). (Spez. Chirurgie ノ Schädel ノ條下参照).
- 4). Bursitis (粘液囊炎) (Allg. Chirurgie ノ Bursa ノ條下参照).
- 5). Tendovaginitis (腱鞘炎) (Allg. Chirurgie ノ Sehnscheide ノ條下参照).

IV). Dilatations-und Retentions-Zyste (擴張性或滯溜囊腫)

- a). Ausführungsgang ノ Störung ニヨルモノ。

- 1). Hydrops der Gallenblase (膽囊水腫) (Spez. Chirurgie / Leber / 條下参照).
- 2). Hydrops der Appendix (蟲様突起水腫) (Spez. Chirurgie / Appendicitis / 條下参照).
- 3). Hydrops der Tuben (喇叭管水腫) (婦人科書参照).
- 4). Hydronephrose (腎水腫) (Spez. Chirurgie / Niere / 條下参照).
- b). Drüsen 及 Ausführungsgang / Störung ニヨルモノ。
 - 1). Atherom (粉瘤) (第 249 頁参照).
 - 2). Ranula (蝦蟇腫) (Spez. Chirurgie / Mundhöhle / 條下参照).
 - 3). Speichelzyste (唾液囊腫) (同上).
- c). Drüse 内ノ Störung ニヨルモノ
 - 1). Leberzyste (肝臓囊腫) (Spez. Chirurgie / Leber / 條下参照).
 - 2). Pankreaszyste (膵臓囊腫) (Spez. Chirurgie / Pankreas / 條下参照).
 - 3). Nierenzyste (腎臓囊腫) (Spez. Chirurgie / Niere / 條下参照).
 - 4). Milchzyste (乳囊腫) (Spez. Chirurgie / Mamma / 條下参照).
 - 5). Struma cystica (囊腫性甲状腺腫) (Spez. Chirurgie / Struma / 條下参照).
 - 6). Spermatocele (精液囊腫) (Spez. Chirurgie / Nebenhoden / 條下参照).
 - 7). Ovarialzyste (卵巣囊腫) (Gynaekologie 参照).

V). Zysten aus Gefässsysteme (脈管ニ發生スル囊腫)

- 1). Blutzyste (血囊腫) (Spez. Chirurgie / Hals / 條下参照).
- 2). Lymphzyste (淋巴管腫) (Allg. Chirurgie / 第 204 頁及 Spez. Chirurgie / Hals / 條下参照).
- 3). Chyluszyste (乳糜囊腫) (同上).

VI). Traumatische Zyste (外傷性囊腫)

- 1). Traumatische Epithelzyste (外傷性上皮囊腫) (Allg. Chirurgie / 第 252 頁及 Spez. Chirurgie / Finger / 條下参照).
- 2). Traumatische Blutzyste (外傷性血囊腫) (Allg. Chirurgie / Haematom / 條下参照).
- 3). Pneumatocele Capitis (頭部氣腫) (Spez. Chirurgie / Kopf / 條下参照).
- 4). Haematocele (陰囊血腫) (Spez. Chirurgie / Hoden / Scheidenhäute / 條下参照).
- 5). Haematom der Tuben (喇叭管血腫) (婦人科書参照).

VII). Erweichungs-Zyste (軟化性囊腫)

- 1). Ganglion (ガンダリオン) (Allg. Chirurgie / Sehnen / 條下参照).
- 2). Apoplektische Zyste (卒中性囊腫) (内科書参照).
- 3). Pankreaserweichungszyste (Allg. Chirurgie / Pankreas / 條下参照).

VIII). Zyste nach Geschwülste (腫瘍ニ因ル囊腫)

- 1). Erweichungszyste (軟化性囊腫) (Sarkom, Karzinom 等ニ見ラル).
- 2). Dilatationszyste (擴張性囊腫) (Adenom, Lymphangiom, Angiom 等ニ見ラル).

IX). Parasiten-Zyste (寄生蟲性囊腫)

- 1). Echinokokkuszyste (胞蟲囊腫) (Allg. Chirurgie / 第 253 頁参照).
- 2). Cysticercus cellulosae (囊蟲腫) (Allg. Chirurgie / 第 255 頁参照).

次ニ主ナル Zyste ノ數種ヲ記載スベシ。

1). Dermoidzyste. (皮膚様囊腫) Dermoidzyste.

之ニハ a). Einfache Dermoidzyste ト, b). Komplizierte Dermoidzyste トノ 2 Arten アリ。

a). Einfache Dermoidzyste (單純性皮膚様囊腫)。

Embryonale Zeit (胎生時)ノ早期ニ於テ身體表面ノ裂隙, 陷凹等ノ閉鎖スル部位ニ於テ, Hautkeim ノ一部ガ abschnüren (絞斷) セラレタル爲ニ生ズ。Kopf, Gesicht ニ最モ多ク, 各一定

第 百 五 十 二 圖

ノ Entstehungsort (發生部位) アリ。其他 Hals, Mediastinum, Bauch, Sakral-gegend, Hoden, Ovarium, Schädelbasis 等ニ發生ス。

Bau: 多クハ einkammerig (單房性) ナルガ, selten ニハ mehrkammerig (多房性)ノコトアリ。

Wandノ外部ニ bindegewebige Kapsel (結締織性被膜) アリ, 内壁ニハ äussere Haut (外皮)ニ類似セル Epithel-



顔面皮膚様囊腫

schicht (上皮層), Papillarkörper (乳頭), Talgdrüse (皮脂腺), 時トシテハ Haar 等ヲ有ス (Talgdrüse, Haar ノナキモノヲ **Epidermoid 上皮様囊腫** トモ稱ス)。但シ之ハ klinisch ニハ他ノ Dermoidzyste トハ全ク區別シ難シ, 之ハ上皮迷入ノ時期ガ遅カリシ際ニ起ルモノナルベシト。

Inhalt gelblichweiss, ノ breiige Masse (帶黄色糜粥狀) ニシテ, Talgdrüse ノ Sekret, abschuppen (脱落) シタル Epithel ヨリ成リ, 多量ノ Fetttropfen, Fettkrystall 及 Cholestearin-Krystall ヲ有ス, 時トシテハ Inhalt ガ ölig (油狀) 又ハ wässrig (水様) トナリ或ハ出血後 dunkelbräunlich ニ着色スルコトアリ。其他屢々此中ニ Haar ヲ混ズ。時トシテハ vereitern スルコトアリ。

b), **Komplizierte Dermoidzyste** (複雑性皮膚様囊腫)。

Ovarium, Hoden ニ最モ多ク, 其他前記ノ場所ニモ發生ス。其大體ノ状態ハ einfache Dermoidzyste ト同様ナルモ, 内容トシテハ前記ノ物質以外ニ Knochen, Zahn, Kiefer, Extremitäten ノ一部等ヲ含有ス。

Symptome: 前記ノ如ク Dermoidzyste ハ一定ノ發生部位アリ, angeboren 又ハ Pubertätsalter ニ發生ス。

Form kuglig 或ハ plattkuglig, selten ニ mehrkammerig ナルコトアルモ, 多クハ einkammerig ニシテ **Oberfläche** glatt ナリ。

Konsistenz teigig weich od. etwas derb, selten ニハ Inhalt ノ變化ニヨリ Fluktuation ヲ呈ス。Knochen, Zahn 等アレバ特ニ固キモノヲ觸ル。

Verwachsung ハ Oberfläche ノ Haut トハナキモ, 多クハ tief ニ癒着ス。

Wachstum ハ一般ニ langsam。

Grösse ハ nussgross 内外ノモノ多ク, 時トシテハ hühnereigross, selten ニハ faustgross 以上トナルコトアリ。

selten ニ karzinomatöse Entartung ヲナス, 其際ニハ Wachstum rasch トナリ, Umgebung ニ derb ノ Infiltration ヲ生ズ。

Diagnose: 最モ屢々 **Atherom** ト鑑別ヲ要ス (次頁参照)。

其他種々ノ Zyste, Lipom, Gumma, Senkungsabszess 等ト differenzieren セザルベカラズ。

第百五十三圖



耳前粉瘤

第百五十四圖



頭部多發性粉瘤

Therapie: totale Exstirpation ヲ行フ。Wand ノ一部ニテモ殘レバ Rezidiv ヲナス。

2). **Atherom** (粉瘤) *Atheroma.*

Haut ニ屢々發生スル Zyste ニシテ, *Virchow* ハ 15 歳以下ニハ發生セズト稱セリ。併シ selten ニハ尙ホ少シク若年ナルモノニモ見ラルルコトアリ。Mann ニハ Frau ヲリモ多シ。

Lokalisation u. Entstehung: Kopf, Gesicht ニ最モ多ク, Nacken, Rücken, selten ニ Extremitäten, Penis 等ニモ發生ス。

本症ハ **Komedo** (面皰) (俗稱にきび) ノ増大ニヨルコトト, 或ハ初メヨリ Atherom トシテ entstehen スルコトトアルガ, 要スルニ本症ハ Haut ノ Retentionszyste ニシテ, Haarbalg (毛囊) 又ハ Talgdrüse (皮脂腺) ノ Mündung ガ überflüssig ニ abschuppen シタル Epithel 又ハ Schmutz ニヨリテ verstopfen セラレ, 又ハ Talgdrüse ノ Sekretion 高度ナル爲ニ Retention ニヨリテ Zyste ヲ bilden スルニ至ル。

Talgdrüse ノミノ Retention ニヨル時ハ klein ナルモ, Haarbalg ノ Mündung ニ Störung アル時ハ grösser トナル。

Bau: Kapselwand ノ外面ニハ dünne Bindegewebskapsel アリ, 内面ニハ einige—mehrere Schicht ノ Epithel アリ。サレド Dermoidzyste ノ如クニ *Malpighische Schicht* 及 Papilla ヲ有セズ。併シ Druckatrophie ニ陥リタル Talgdrüse, Haarbalg ノ Rest ヲ見ルコトアリ。時トシテハ其中央ニ atrophisch ノ Haar ヲ見ル。

Inhalt ハ Atherombrei (粉瘤糜粥)ト稱セラレルモノニシテ, gelblichweiss 又ハ grauweisslich ノ breiige Masse ニシテ, 時トシテハ悪臭ヲ發ス。或ハ Inhalt dick トナリ, 甚シキハ Wand ニ Kalkablagerung ヲ來ス。或ハ Vereiterung 又ハ Verjauchung ヲ伴ヒ, 時トシテハ Wand ノ karzinomatöse Entartung ヲ見ルコトアリ。

Symptome: Dermoidzyste ニ類似スレドモ, Lokalisation 一定セズ, 又 angeboren ニ發生セズ。

Form kuglig 又ハ plattkuglig ニシテ毎常 einkammerig ナリ。

Zahl einzeln ノコト多キモ, selten ニハ multipel。

Oberfläche glatt。Haut ノ中央ニ atrophisch ノ Haar 或ハ dunkelrötlich—schwärzlich ノ Punktchen ヲ見ルコトアリ。

Konsistenz teigig weich 或ハ teigig etwas derb, vereitern スレバ Fluktuation ヲ呈スルコトアリ。Kalkablagerung アレバ derb トナル。

Verwachsung Haut ト verwachsen シ, Unterlage トハ verwachsen セズ。

Wachstum langsam。

Grösse kirschgross—nussgross—hühnereigross—faustgross。

Karzinomatöse Entartung ヲナセバ, Wachstum rasch トナリ, derbe Infiltration ヲ生ジ, 遂ニハ spontan ニ durchbrechen スルコトアリ。

Diagnose: 特ニ Dermoidzyste ト differenzieren セザルベカラズ。

	Dermoidzyste	Atherom
Entstehungsalter	angeboren 又ハ Pubertätszeit	多クハ十四五歳後, 壯年者ニ多シ。
Lokalisation	毎常一定ノ部位ニ生ズ。	一定セズ。
Oberflächliche Haut	normal	時トシテハ其中央ニ atrophische Haar 又ハ dunkelrötlich ノ Flecke アリ。
Verwachsung	Haut ト Verwachsung ナク Unterlage ニアリ。	Haut ト verwachsen シ Unterlage ニナシ。
Inhalt	兩者同様ナルモ, Haar, Knochen アルハ Dermoidzyste ナリ。	
Konsistenz	兩者同様ナルモ, 内部ニ Knochen ヲ觸ルルハ Dermoidzyste ナリ, 併シ Atherom ノ Wand ニ Verkalkung ヲ來スコトモアリ。	
Wand(histologische Untersuchung)	Atherom ヨリモ厚ク mehrschichtig ニシテ Papille, Talgdrüse, Schweißdrüse, Haar 等 アルコトアリ。	Wand dünn ニシテ einige Schicht ノ platte Epithel ヨリ成リ, 同左ノ附屬器ナシ。

其他各種ノ Zyste, Lipom, Angiom, Lymphangiom, Gumma, Senkungsabszess 等ト differenzieren セザルベカラズ。

Therapie: Exstirpation。Wand ノ一部ニテモ残留スレバ Rezidiv ヲ起ス。

3). Cholesteatom. (眞珠腫) Cholesteatoma.

Sehr selten ノモノナルガ Ektoderma (外胚葉)ノ迷入ニヨリテ生ズルモノニシテ, Dermoidzyste ト多少其 Entstehung ヲ同フスルモ, 其 Inhalt eigentümlich ナリ。

外層ニハ Bindegewebe ノ dünne Kapsel アリ。内層ニハ mehrschichtig ノ Epithel アリ。其中ニ weisslich ノ perlmutterartig (眞珠様)ノ glänzend ノモノガ geschichtet, konzentrisch (層狀濃縮性)ニ充滿シ, Perle (眞珠)ノ如キ外觀ヲ呈ス (此 Inhalt ハ Fett ノ變化シタルモノ, 特ニ大部分ハ Cholesterin ヨリ成ルヲ以テ Cholesteatom ノ名アリ)。

本症ハ Mittelohr (Cavum tympani 又ハ Vestibulum)ニ比較的多ク, 其他 Pia mater, selten ニハ Nabel, Urethra ノ内部ニ發生スルコトアリ。

本症ハ長ク何等ノ Symptome ヲ呈スルコトナク chronisch = wachsen シ、甚シキハ hüh-
nereigross 又ハ夫レ以上ニ及ビ Knochen = 接スルモノハ Knochen ノ Druckatrophie ヲ來シ或ハ
Zerstörung ヲナスコトアリ。klinisch = 此 Diagnose ヲ確定シ得ルハ外部ニ自潰シタル時ノミナ
リ。其他發生部位ニヨリテ多少 Symptome ヲ異ニス。

Therapie: Kapsel ト共ニ exstirpieren ス。

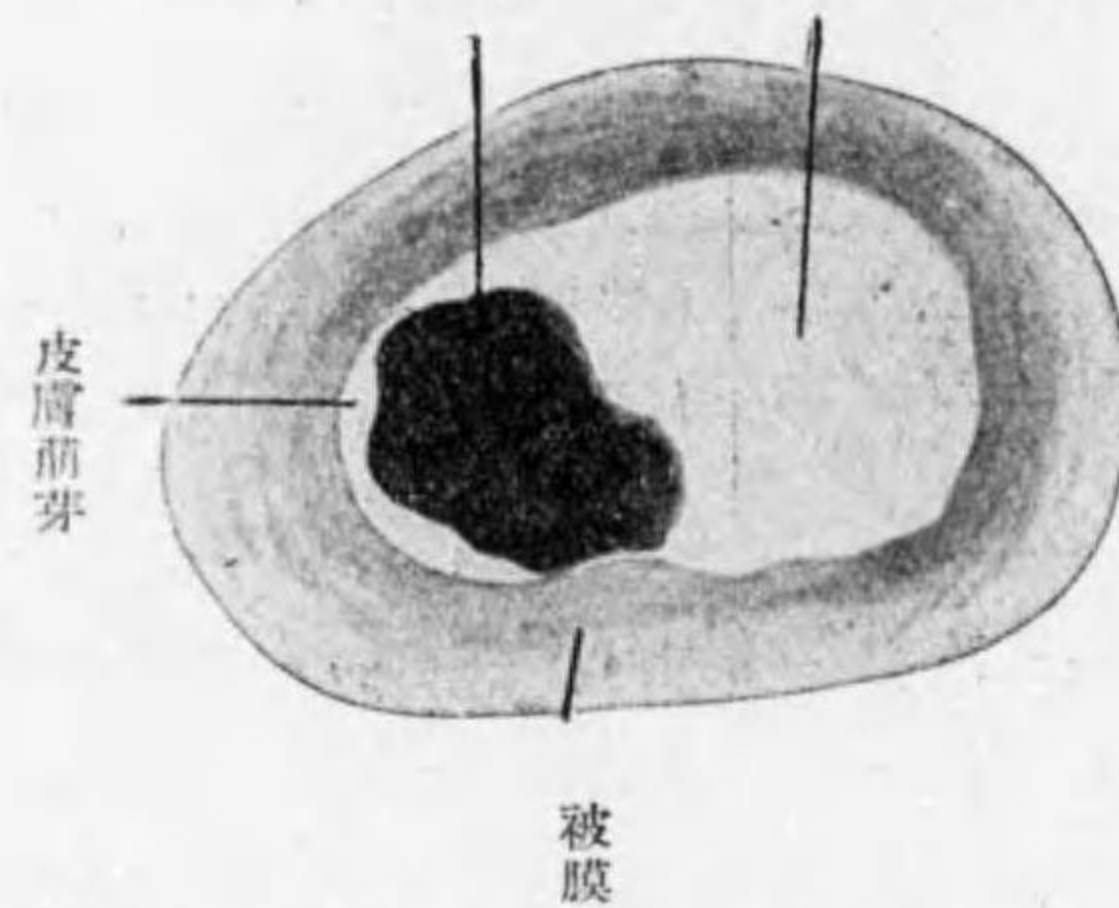
4). Traumatiscche Epithelzyste. (外傷性上皮嚢腫) Traumatic epitheliale cyste.

Finger 又ハ Handteller ノ beuge Seite, selten = Zehe, Fusssohle = 生ズ。

Verletzung ノ際ニ Epithel ノ一薄片ガ subkutan = 迷入シタル爲、其 Wucherung ノ結果

第百五十五圖

銃丸 嚢腫糜粥狀内容



銃丸ニヨル外傷性上皮嚢腫

第百五十六圖



示指外傷性上皮嚢腫

Zyste ヲ作ルニ至ル。kirschgross (櫻實大) 内外ノ Zyste ニシテ、内壁ニハ mehrschichtig ノ
Platteneithel アリ、其中ニ Dermoidzyste ノ如キ breiige Masse (糜粥狀物) 及ビ脱落シタル
geschichtet ノ Epithel アリ、mikroskopisch ニハ Malpighische Schicht = 類似スルモノヲ見ルコ
トアリ。其他時トシテハ Kalkablagerung ヲ來シ、或ハ Verletzung ノ際ニ入りタル Nadel-
stückchen, Geschoss ノ Stückchen (彈片) 等ヲ含有スルコトアリ。

此 Zyste ハ subkutan = 存シ、時トシテハ其上ノ Haut = kleine Narbe ヲ見ル。Haut ト
verwachsen シ、Unterlage ニハ verschieblich, Konsistenz relativ derb, Druckschmerz ヲ有スルコ
トアリ。selten = 生ズ。

Diagnose: ganz leicht。

Therapie: Exstirpation。

5). Echinokokkus od. Blasenwurm. (エヒノコックス或胞蟲嚢腫) Echi- nococcus.

Taenia echinococcus ハ Hund ノ Darmkanal 内ニ生活シ、Menschen ノ
體內ニ於テハ entwickeln セズシテ、Blasenwurm トシテ存スルノミ。

Taenia echinococcus ハ 4—5 mm ノ長サニテ、3—4 節ノ Proglottiden (蟲節) ヲヨリ成リ、其末
節ハ全長ノ半分以上ヲ占メ、多數ノ Eier ヲ藏ス。Kopf = 他ノ Taenia ト同ジク Saugnäpf-
chen (吸口) 及 Hakenring (鈎環) ヲ有ス。

Menschen ノ Infektion ハ愛犬者ニ多ク、時トシテハ不潔ノ Gemüse ヲ食用シタル爲ニ生ズ。

Taenia ノ Eier ガ Magen 内ニ入ル時ハ、其 Eischale (卵殼) ガ溶解シテ Embryo ガ frei ト
ナリ、Dünndarm = 出デ、Schleimhaut ヲ穿孔シテ Lymphbahn 又ハ Blutbahn ヲヨリ Leber =
入り、次デ Lunge 其他 ganzer Körper = 至リテ病竈ヲ作ル。Gewebe 内ニ入りタル Embryo
ハ次第ニ小ナル Blase ヲ作り、約半年ニシテ (榛實大) トナリ、Cuticula (小被膜) ニヨリテ包圍
セラル。

Blaseninhalt ハ wasserklar ノ液體ニシテ、Eiweiss frei ナルコト eigentümlich ナリ (從ツテ之
ヲ kochen スルモ gerinnen セズ)。其他此中ニ Kochsalz, Oxalat, Toxalbumin 等ヲ含有ス。本
病ノ經過中 Urticaria (蕁麻疹) ヲ起スコトアルガ、之ハ Blasenruptur ニテ Toxalbumin ガ resor-
bieren セラントル爲、其中毒症狀トシテ起ルモノナルベシト云フ。其他此 Inhalt 中ニ Taenia
ノ Kopf, Häkchen 等ヲ證明シ得ルコトアリ。

Blase ノ内ニハ多クハ Tochterblase ヲ生ジ multilokulär トナルモ、時トシテハ unilokulär ナ
ルコトアリ。

Symptome: 其 Lokalisation ニヨリテ異ル。

a). **Oberflächlich ノ Echinokokkus:** Rumpf, Hals, Lenden, Bauch-
wand, Hand, Fuss 等ノ皮下又ハ筋肉内ニ發生ス。multilokulär ノ Zyste ニ
シテ、Wachstum langsam ナルガ、時トシテハ可ナリ著大トナルコトアリ。
Konsistenz weich, fluktuiert ナルガ、selten ニハ Hydatidenschwirren (胞蟲
震顫) ヲ認ムルコトアリ。多クハ subjektive Symptome ヲ fehlen ス。sicher
ノ Diagnose ハ Probepunktion ニヨル (前述)。

b). **Knochen ノ Echinokokkus:** selten ナレドモ、時トシテハ lange
Röhrenknochen, Becken, Wirbel, Schädel 等ニ發生スルコトアリ。

次第ニ Knochen ノ Anschwellung ヲ來シテ、遂ニハ Pergamentknittern

(羊皮紙様呻吟音)ヲ呈スルコトアリ。selten ニハ之ガ爲ニ spontane Fraktur
ヲナス。

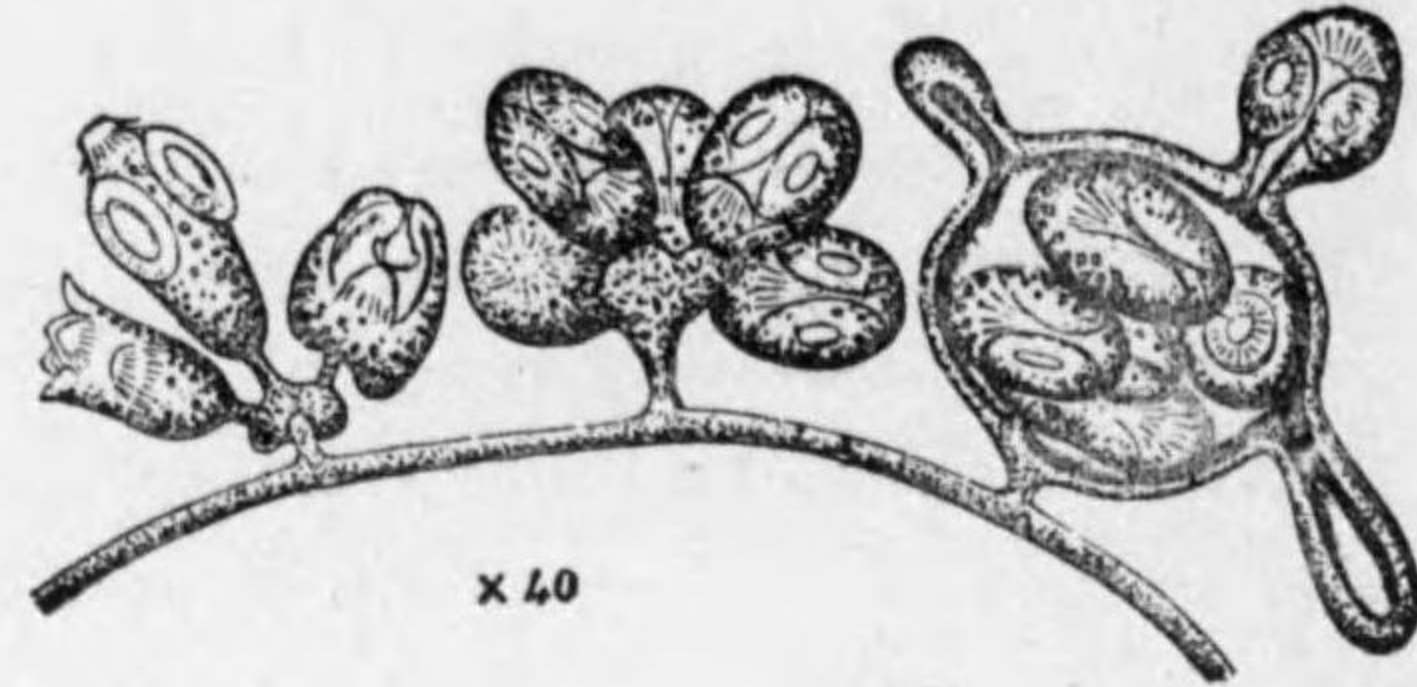
Diagnose ハ Röntgen-
bild 及 Probepunktion ニ
ヨリテ確定セラル。

c). Innere Organノ
Echinokokkus: 比較
的 Leber, Lunge ニ多ク,
其他 Niere, Milz, Bauch-
höhle, Mamma, Schild-
drüse, Gehirn 等ニモ發
生スルコトアリ。

以上ノ部位ニ發生ス
ルヤ該部ハ次第ニ an-
schwellen シ, Konsistenz
weich ニシテ, 多クハ
Fluktuation deutlich ナ
リ。併シ Druckschmerz,
Fiebersteigerung ナク,
時トシテハ Urticaria (蕁
麻疹)ヲ發生ス。

Eingeweideノ Echino-
kokkus ハ sehr selten ニ
ハ spontan ニ heilen ス
ルコトアレドモ, 多クハ
次第ニ vergrößern シ
Schwächeヲ起シ, 或ハ spontan ニ durchbrechen シ又ハ vereitern シテ急ニ
schwere Symptomeヲ呈スルコトアリ。

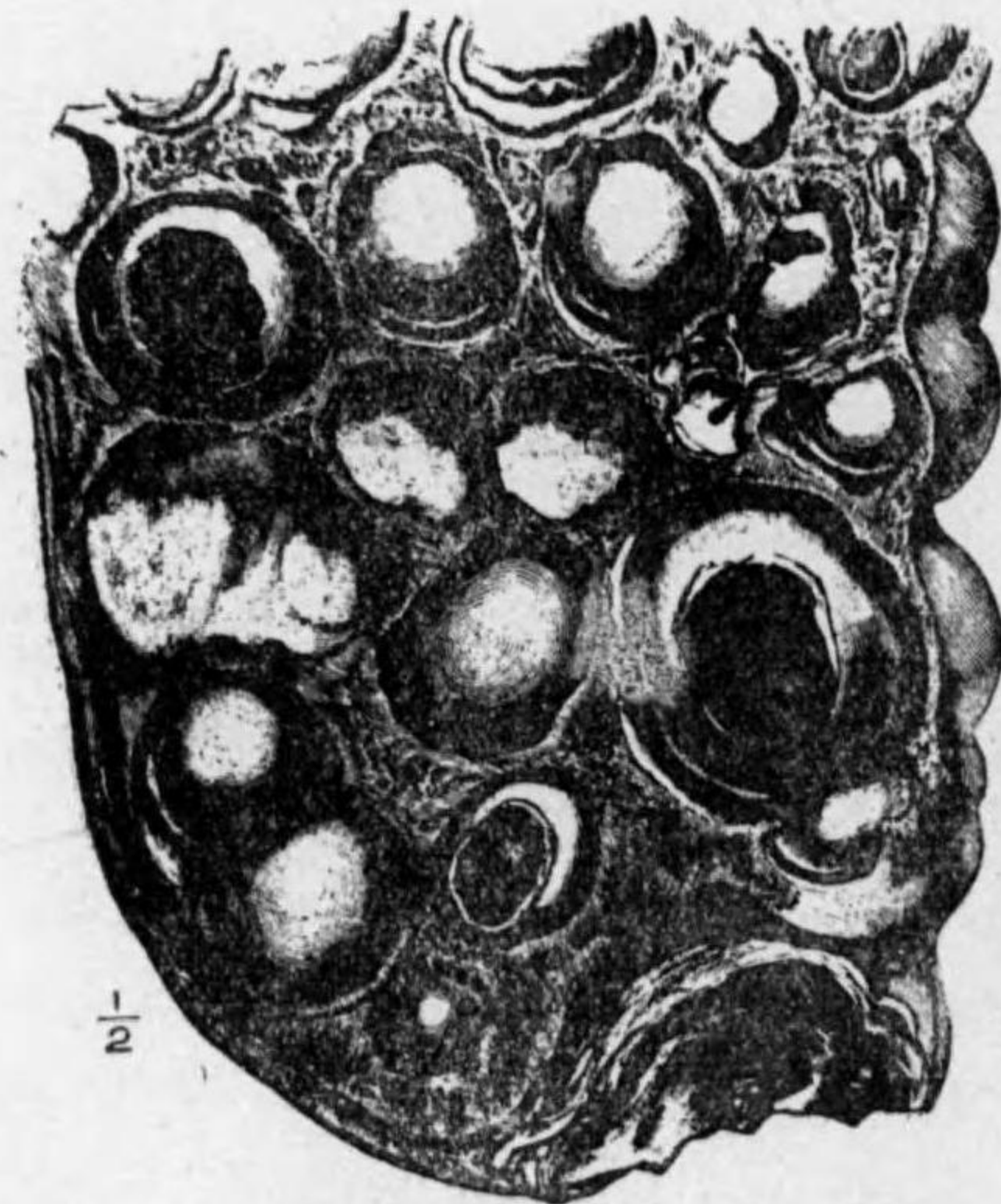
第 百 五 十 七 圖



x 40

エ ヒ ノ コ ッ ク ス

第 百 五 十 八 圖



1/2

肝臟内エヒノコックス

Diagnose: Probepunktion 又ハ Operation ニヨリテ診斷確定セラルルコ
ト多シ。

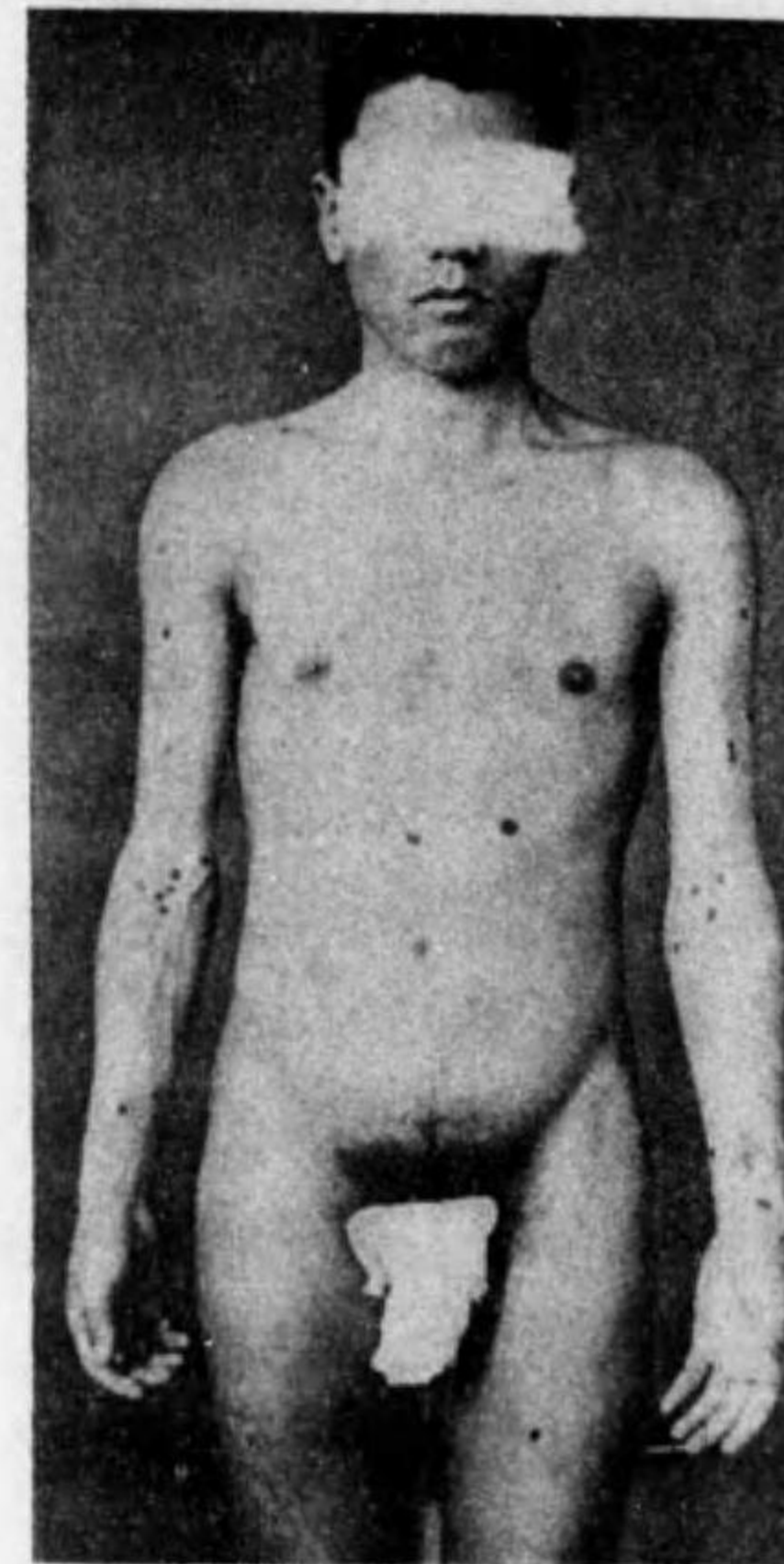
Therapie: Echinokokkusblase ノ totale, Exstirpation 最モ sicher ナリ。
若シ之ヲ行ヒ難キ時ハ成ルベク大キク切開シテ Inhaltヲ出シ, Drainage
ヲ施ス。

6) **Cysticercus cellulosa.** (囊蟲腫) *Cysticercus cellulosae.*

Taenia solium (有鉤絛蟲)ノ Finne (囊蟲)ニ因スルモノニシテ, 最モ多ク豚ニ寄生シ, 時
トシテハ猪鹿類ニモ寄生ス。

Finne (囊蟲)ヲ含有スル肉類ヲ充分ニ煮沸セズシテ食シタル場合又ハ不潔ノ飲食物ヨリ in-
fizieren スルコトアリ。

第 百 五 十 九 圖



囊 蟲 腫 (著者)

第 百 六 十 圖



同 左 擴 大 (著者)

身體皮下ノ各所ニ發生セル囊蟲腫(黒點ヲ附セルハ囊蟲腫ノ存在部位ヲ示ス)

此 Parasiteneier ガ人體ノ胃内ニ入ル時ハ、其 Hülle ヲ失ヒテ Embryo ハ Darmkanal ニ至リ、Lymphbahn 又ハ Blutbahn ニヨリテ體内ニ入リ subkutan, Muskel, Gehirn, Rückenmark, Auge 等ニ至リ、次第ニ erbsengross—kirschgross ノ Zyste ヲ作ル、屢々此 Zyste ガ multipel ニ發生スルコトアリ。時トシテハ Zyste 内ノ Taenia ガ sterben シ Kalkablagerung ヲ來スコトアリ。

Symptome: 其 Lokalisation ニヨリテ異ル。

a). Muskel, subkutan ニ於テハ haselnussgross (榛實大) ノ rundlich 又ハ oval ノ derbe Knoten トシテ觸レ、Umgebung ニ Verwachsung 少ク、Muskel ニ於テハ之ト Zusammenhang ヲ有シ、Muskel ノ Ermüdung ヲ來シ易ク、時トシテハ Muskelschmerz ヲ發ス。

b). Gehirn 及 Rückenmark ニ於テハ葡萄狀ニ連絡セル Blase ヲ作り、Gehirn ニ於テハ Rindenepilepsie (皮質性癲癇) ノ原因トナルコトアリ。

c). Auge ニ於テハ Glaskörper 又ハ Netzhaut ノ内部ニ生ジ、視力ノ Störung ヲ來スコトアリ。

Diagnose: schwer ナリ、Operation 又ハ Sektion ニヨリテ初メテ發見セラルルコト多シ。

Therapie: Exstirpation。

(其他ノ囊腫ニ就テハ Spezielle Chirurgie ヲ参照スベシ)。

VII. Abschnitt.

Haut-Chirurgie 皮膚外科

I. Furunkel 癰 *Furuncle or Boil.*

Aetiologie: Haarbalg, Talgdrüse ニ Eitererreger (最も多キハ Staphylokokken, 時トシテハ Streptokokken 等) ノ infizieren シタル爲ニ起ル。

Lokalisation: Gesicht, Nacken, Rücken, Gesässgegend, Achselhöhle, Extremitäten 等ニ多シ、併シ Handteller, Fusssohle ニハ發生セズ。

Diabetes アル時ハ屢々 multipel ニ發生シ heilen シ難シ。又 Kachexie ニ陥リタル時又ハ Typhus abdominalis ノ Rekonvaleszenz-Stadium (回復期) ニモ multipel ニ發生ス、此ノ如キヲ **Furunkulosis** (癰腫質) ト稱ス。

Symptome: Furunkel ノ發生ニ 2 Arten アリ。

a). Haarbalg ノ Einmündungsstelle (開口部) ニ傳染アリタル場合。此際ニハ **Folikulitis acuta** (毛囊炎) トシテ始マルモノニシテ、初メ nadelkopfgross (帽針頭大) ノ rötlich ノ schmerzhaftes Knötchen ヲ生ジ、漸次増大シテ Furunkel トナル。

b). Haarbalg ノ深部又ハ Talgdrüse ノ傳染ニヨルモノハ Haut ノ深部ニ schmerzhaft Induration (有痛性硬結) ヲ生ジ、次第ニ表面ニ現ハル。

Furunkel ハ platt konisch (扁平圓錐狀) ノ entzündliche Anschwellung ニシテ Grösse ハ五十錢銀貨大内外ナルモノ多ク、Oberfläche ニ Rötung アリ。比較的 lokalisieren ス。其中央ノ一部分特ニ spitzig ニ突出シ、時トシテハ中央ニ Haarchen ヲ認メ、二三日ニシテ中央部ニ **Eiterpfropf** (膿栓) ヲ生ズ。

Konsistenz ハ初メハ infiltrativ derb (滲潤性靱) ナルモ、次第ニ軟化シテ Fluktuation ヲ生ズ、Oberfläche ヨリ gelblich ノ Eiter ヲ透見シ得ルニ至リ、

遂ニハ自潰排膿シ、erkrankter Haarbalg (俗ニおできノ根ト稱ス)ノ排出サルルニ及ンテ Heilungニ赴ク。

Allgemeine Symptome トシテ屢々 Fiebersteigerungヲ伴ヒ、Inzision 又ハ spontane Durchbrechungニヨリテ排膿スル時ハ Fieber 下降ス。

Komplikation: Furunkelニハ屢々 Phlegmoneヲ伴フ、特ニ Gesichtsfurunkel (面疔)ニ於テハ著明ノ Phlegmoneヲ併發シテ、生命ニ危険ヲ及ボスコトアリ。其他 Lymphadenitis acuta (急性淋巴腺炎)、Lymphangitis acuta (急性淋巴管炎)ヲ併發スルコトアリ。

Diagnose: 多クハ leicht ナリ、時トシテハ Abszessト區別ヲ要ス、特ニ中央ノ Eiterpfropfニ注意スベシ。

Prognose: 多クハ gut、但シ Gesichtsfurunkelハ危険ナルコトアリ。

Therapie: i) 初期ニ於テハ 1—2 回 10% T. jodiヲ塗布スルコトニヨリテ einfachニ heilenスルコト多シ。

ii) Pflöckchen Pasta, 10% Tanninsäure-Salbe, Karbunkensalbeヲ貼附スルコトアリ。

iii) Pfropfノ中央部ニ靜ニ reinノ Karbolsäure, 5% Chloramin-T.ノ數滴ヲ微小ノ注射針ニテ注射シ、或ハ 3% Karbolsäureニテ spülenス。

iv) Infiltration starkナル時ハ feuchter Umschlagヲ行ヒ、其 Eiterungヲ待チテ Inzisionヲ行フ。

v) 其他 heisser Umschlag, Saugtherapie 等行ハル。

vi) Furunkel erweichenセル時ハ Druckニヨリテ Eiterヲ entleerenスルモ、特ニ Gesichtニ於テハ餘リ強ク drückenスベカラズ、之ガ爲ニ周圍ニ Phlegmoneヲ起シ易キヲ以テナリ。又 Druckニヨリテ Eiterヲ ausdrückenスルモ俗ニおできノ根ト稱セラルル erkrankter Haarbalgノ nekrotischトナリタルモノガ出ヅルニアラザレバ heilenセズ。併シ之ハ多クハ Erweichung後 2—3 日以内ニ出ヅ。

viii) 内服藥トシテハ Etainoxyl (1—2 gr.) (錫製劑)ヲ用フル人アリ。

II. Karbunkel 瘰癧 Carbuncle.

Lokalisation: 特ニ Nacken, Rückenニ多ク、又 Lippe, Wange 其他ニモ發生ス。

比較的壯年後ニ多ク、又 Diabetikerニ多シ、此際ニハ Prognose schlechtナルコト多シ。

Symptome: Karbunkelトハ Furunkelガ一局部ニ gruppieren (群生)シ、其 Infiltration 互ニ癒合シテ大ナル Induration (硬結)トナレルモノヲ云フ。

周圍ヨリ著明ニ anschwellenシ、Oberfläche rötlichニシテ、其中ニ蜂巢狀ニ multipelニ Pustel (膿疱)アリ、次第ニ Nekrose (壞疽)ヲ起ス、Schmerz heftigナリ。

Allgemeine Symptome トシテ Fiebersteigerung 及種々ノ Fiebersymptomeアリ。

屢々 Phlegmoneヲ伴ヒ、之ガ蔓延ニヨリテ sterbenスルコトアリ、或ハ之ヨリ allgemeine Infektionヲ起シテ危険ナルコトアリ。

Diagnose: relativ leichtナリ。他ノ原因ニヨル Phlegmoneト鑑

別ヲ要ス。Karbunkelニ於テハ Induration 比較的 lokalierenシ、Oberflächeニ mehrere Pustelアルコトニヨリテ區別セラル。

Milzbrand-Karbunkelトハ Blaseノ有無、B.ノ證明ニヨリテ區別セラル。

Prognose: 前記ノ如ク時トシテ不良ナルコトアリ。

Therapie: Anfangsstadiumニハ Ruhe 及 feuchter Umschlagヲナシ、Eiterung 明カナレバ Kreuzschnitt (十字切開) 又ハ Resektion (切除)ヲ行フ。

第百六十一圖



項部瘰癧

1% Rivanol, Yatren, Presojod 等ノ滲潤部内注射又ハ静脈内注射。

其他 heisser Umschlag, Autovaccin ノ Injektion, Etainoxyl (1—2 gr.) ノ内服等行ハル。

Saugtherapie ハ屢々 wirksam ニシテ治癒日數比較的少シ。

Diabetes アレバ其 Behandlung ヲ行フ (Diätkur 及 Insulin ノ Injektion 等)。

III. Phlegmone 蜂窩織炎 Cellulitis.

Phlegmone トハ diffuse akute eitrige Entzündung ヲ意味スルモノニシテ, subkutan ニ最モ多キモノナレドモ, 時トシテハ Fascia ノ下, Muskel, Periost, Sehnen Scheide ヲ侵スコトモアリ。Finger, Zehe ノ Phlegmone ハ屢々見ラレルモノニシテ, 之ヲ特ニ **Panaritium** (癰疽) ト稱ス。

Aetiologie: 本病ハ subkutanes Bindegewebe ノ中ニ Eitererreger (主トシテ Staphylokokken, 時トシテハ他ノ B.) ガ infizieren シタル爲ニ起リ, **Infektionswege** ニハ二三アリ。

a). **Primäre Phlegmone** (原發性蜂窩織炎)。Wunde ヨリ侵入スル場合最モ多シ, 而モ Wunde ハ必ズシモ大ナルモノト限ラズシテ, Kratzwunde, Nadelstich, Hautriss 等ノ kleine Verletzung ヨリ schwere Phlegmone ヲ起スコトモアリ。

b). **Sekundäre Phlegmone** (續發性蜂窩織炎)。Furunkel, Karbunkel, Lymphadenitis acuta, Mastitis acuta, Osteomyelitis und Periostitis acuta 等ノ際ニハ, 多クハ sekundär ニ Phlegmone ヲ併發ス。

c). **Metastatische Phlegmone** (轉移性蜂窩織炎)。Infizierte Wunde 又ハ種々ノ eitrige Krankheiten ニ際シテ, Lymphbahn 又ハ Blutbahn ニヨリテ, B. ガ距リタル場所ニ運バレテ新タニ Phlegmone ヲ起スコトアリ。時トシテハ Haut ノ kleiner Riss 其他ヨリ B. ガ侵入シ, 其 Eingangspforte 不明ニシテ metastatischer Herd ノミ明ナルコトアリ。

Symptome: a). **Lokale Symptome** トシテ Anschwellung, Schmerz,

Rötung, Hitze deutlich ナリ, 就中 Anschwellung 及 Rötung ハ diffus ニシテ, 特ニ其中央部ニ於テ deutlich ナルガ, Begrenzung undeutlich ナリ。併シ後ニハ屢々 lokalisieren スルニ至ル。

Konsistenz 初メハ spannen (緊張) シテ可ナリ derb (硬靱) ナルガ如ク思ハレルモ, 後ニハ次第ニ erweichen シ, 遂ニハ weich トナリ Fluktuation ヲ呈スルニ至ル (**Abszessbildung** 膿瘍形成)。

Phlegmone heftig ナル時ハ, 屢々 Oedem (浮腫) ヲ kombinieren シ (Fingerdruck ニヨリテ一時跡ヲ留ム), 甚シキ場合ニハ Gewebe ノ Nekrose ヲ起ス。

Phlegmone ハ之ヲ i) Zirkumskripte Phlegmone (限局性蜂窩織炎) ト ii) Diffuse Phlegmone (瀰漫性蜂窩織炎) ノ 2 Arten ニ區別ス, 後者ハ特ニ böartig ニシテ, Abszess ヲ bilden スルコト稀ニシテ rasch ニ verbreiten シ, Prognose schwer ナリ。前者ハ比較的 gutartig ニシテ lokalisieren シテ Abszess ヲ作り易シ。

b). **Allgemeine Symptome** トシテ屢々 Frösteln 竝ニ Temperatursteigerung アリ, 時トシテハ hohes Fieber アルコトアリ。Fieber ハ kontinuierlich ニ持續スルコト多ク, 病狀ノ鎮靜ニ伴フテ下降ス。

Diagnose: 多クハ leicht ナルガ, Erysipelas, Gasgangraen, Myositis, Periostitis 等ト differenzieren スルヲ要ス。

Prognose: Gesicht, Kopf, Nacken ノ Phlegmone ハ屢々 Lebensgefahr アリ, 又 diffuse Phlegmone モ ernst ナリ。其他 allgemeine Injektion ヲ起ス時ハ gefährlich ナリ。

Therapie: 初期ニハ feuchter Umschlag 及 Ruhe ヲ必要トシ, lokalisieren シテ Abszess ヲ bilden シタル時ニ初メテ Inzision ヲ行フ。Abszess ヲ bilden セザル内ニ Inzision ヲ行フ時ハ, 反テ Entzündung ノ verbreiten スル Gefahr アリ。

Vaccintherapie, Serumtherapie ハ效果大ナラズ。

Stauungstherapie ハ時トシテ效果アリ。

近來 1% Rivanol, Yatren, Presojod ノ注射ヲ行フコトアリ。

Extremitäten ノ böartig ノ Phlegmone ニ於テハ Amputation ヲ行フコトアリ。

其他 allgemeiner Zustand ニ注意シ, Herzmittel 等ヲ與フ。

IV. Holzphlegmone 木様蜂窩織炎 *Ligulous phlegmon.*

Aetiologie: 主トシテ Seitenhals (側頸部) ノ皮下結締織及筋肉間ニ來ル chronische Entzündung ニシテ, Aetiologie 未ダ確定セザルモ恐ラクハ Virulenz ノ schwach ナル Streptokokken 又ハ Staphylokokken ニヨルモノナルベシト云フ。

Symptome: Seitenhals ノ上方ニ chronisch ニ diffuse Anschwellung ヲ來シ, Konsistenz 甚ダ derb ニシテ恰モ木様ナルヲ以テ此名アリ。

Begrenzung 多クハ diffus ナルモ, 時トシテ可ナリ scharf ニシテ Tumor ト誤ラレルコトアリ。

初期ニ leicht ノ Fieber アルコトアレドモ, 多クハ Fieber ナク, 又 schmerzlos ナリ, Eiterung ヲ起スコトハ極メテ selten トス。

Prognose: 之ガ爲ニ sterben スルコトナシ, 併シ長時ニ互リテ存スレバ衰弱ヲ來ス。

Diagnose: Aktinomykose トノ Differentialdiagnose schwer ナルコト多キモ, 本病ノ Verlauf ハ之ニ比シ一層 chronisch ニシテ, Erweichung 甚ダ稀ナリ。確實ナル區別ハ Druse ノ有無ニヨル。

其他 Geschwulst, Gumma 等トモ鑑別ヲ要スルコトアリ。

Therapie: Röntgentherapie 可ナリ。其他 warmer Umschlag ヲ行フ, 或ハ Inzision ヲナシタル後 feuchter Umschlag ヲ行フ。

V. Abszess 膿瘍 *Abscess.*

Abszess トハ Eiterung ノ一局部ニ lokalisieren セルモノヲ云ヒ, 之ニ akuter Abszess ト chronischer Abszess トヲ分ツ。

A). Akuter Abszess od. heisser Abszess (急性膿瘍或熱性膿瘍)。

Aetiologie: 各種ノ Eitererreger ニヨリテ起ルモノニシテ, Staphylokokken ニヨルコト最モ多ク, Streptokokken 之ニ次グ。selten ニハ Typhus abdominalis, Pneumonie 等ノ akute Infektionskrankheiten ニ續發スルコトアリ。其 Entstehung ニ次ノ 3 Arten アリ。

i). **Primärer Abszess (原發性膿瘍)。** Haut ニ屢々發生スル Furunkel ハ一種ノ primärer Abszess ナリ。又身體内ニ入リタル Fremdkörper ノ周圍ニ primär ニ Abszess ヲ作ルコトモアリ。

ii). **Sekundärer Abszess (續發性膿瘍)。** 各種ノ eitrige Krankheiten ニ續發スルモノヲ云フ。特ニ Phlegmone ノ後ニ起ルコト多ク, 其他 Lymphadenitis, Lymphangitis, Myositis 等ノ後ニ Eiterung ガ lokalisieren シテ Abszess トナルコトアリ。

iii). **Metastatischer Abszess (轉移性膿瘍)。** 體內ニアル Eiterherd ヲリ, 或ハ Haut ノ Riss 又ハ Schleimhaut 等ヨリ B. ガ Lymphbahn 又ハ Blutbahn ニヨリテ他ニ運バレ, subkutan 又ハ verschiedene Organe ニ至リテ Abszess ヲ bilden スルコトアリ。又 Pyaemie ニ於テハ metastatischer Abszess ヲ多數ニ形成スルコト多シ。其他 Neugeborene ニ於テハ Pyaemie ヲ起スニ至ラズシテ Abszess ヲ multipel ニ發生スルコトアリ。

Lokalisation: 種々ノ場所ニ發生スルガ, subkutan ニ最モ多ク, 其他 Muskel, Knochen, Lymphdrüse 等ニモ生ジ, innere Eingeweide ニハ Leber, Niere, Milz, Lunge, Gehirn 等ニ發生ス。

Symptome: 其 Lokalisation ニヨリテ Symptome ヲ異ニス。

1). Subkutaner Abszess (皮下膿瘍)。

a). **Lokale Symptome:** Anschwellung, Schmerz, Rötung, Hitzegefühl アリ。初メハ Infiltration stark ニシテ spannen (緊張) シ居ルモ, 間モナク erweichen シテ Fluktuation 著明トナル。Abszess ノ初メニハ Umgebung ニ Phlegmone ヲ伴ヒ, Begrenzung diffus ナルモ, 後ニハ lokalisieren シ, Begrenzung 可ナリ deutlich トナルコトアリ。

b). **Allgemeine Symptome:** 多クハ Fiebersteigerung アリ, 甚シキハ Frösteln 又ハ Schüttelfrost ニ次デ hohes Fieber ヲ發スルコトアリ。體溫高キ時ハ種々ノ Fiebersymptome ヲ伴フ (Eiterung ノ條下参照)。又 Blut ニハ Leukozytose (白血球增多症) ヲ起ス。

2). **Abszess der inneren Eingeweide und der tiefen Gewebe (内臓器及深部ノ膿瘍)。**

Lokale Symptome ハ前者ノ如クニ deutlich ニアラズ, 僅ニ dumpfer Schmerz ノミナルコトアリ。又部位ニヨリテハ Schmerz deutlich ナラザルコトアリ。allgemeine Symptome トシテハ Fiebersteigerung, Fiebersymptome 及 Leukozytose アリ。之ニヨリテ Abszess ヲ疑フ。

其他 Lokalisation ニヨリテ種々ノ Symptome ヲ呈スルコトアリ。

Ausgang u. Prognose: i) Abszess ヲ放置スレバ次第ニ vergrößern シ, 遂ニハ spontan ニ durchbrechen スルコト多シ。Haut ニ durchbrechen スル時ハ之ニヨリテ spontan ニ heilen ス。一時其處ニ Fistel ヲ遺スコトアルモ, chronische Entzündung ニヨルモノト異リテ, 比較的速ニ heilen ス。

ii) Innere Eingeweide ノ Abszess ノ自潰ハ時トシテ危険ナルコトアリ。例ヘバ Lungenabszess ガ Pleura ニ durchbrechen シテ Pyothorax (膿胸) ヲ起シ, Leberabszess ガ破レテ eitrige Peritonitis (化膿性腹膜炎) ヲ起スコトアリ。

iii) Abszess ハ selten ニハ自然ニ resorbieren セラレテ治スルコトアリ。或ハ Bindegewebe ニヨリテ abkapseln (包裹) セラレ, relative Heilung (比較的治癒) ノ狀ヲ呈スルコトアリ。

iv) Subkutan ノ Abszess ハ Prognose günstig ナルモ, Pyaemie ニヨルトキハ不良ナリ。

v) Innere Eingeweide ノ Abszess ハ其 Lokalisation ニヨリテハ不良ナルコト多シ。

Diagnose: 多クハ leicht ナリ。Furunkel, infizieren シタル Atherom ト differenzieren スルヲ要ス。

Therapie: 成ルベク速ニ Inzision ヲ行フ。或ハ Punktion ニヨリテ排膿シタル後 10% Jodoformglycerin, 1% Rivanol, Presojod, Yatren 等ヲ注入スルコトアリ。

B). **Chronischer Abszess (慢性膿瘍)。**

本症ハ chronische Infektionskrankheiten ニ因スルモノニシテ, 特ニ Tuberkulose ニ因スルモノヲ kalter Abszess (寒性膿瘍) ト稱ス。Gumma ノ Erweichung ニヨリ又ハ Aktinomykose ニヨリテモ chronisch ノ Abszess ヲ作ルコトアルモ, 是等ハ kalter Abszess トハ稱セズ。

是等ノ Abszess ハ akuter Abszess ノ如クニ akute Entzündung ヲ呈セズ。併シ末期ニ於テハ其 Oberfläche ニ lokalisiert ノ Rötung, leichter Schmerz ヲ生ジ, Haut 次第ニ dünn トナリ, Eiter durchschimmern シ, 遂ニハ自潰スルコトアリ。又 Eiter 其他ノ Beschaffenheit ハ各自 spezifisch ナリ。例ヘバ

i). Tuberkulose ニ於テハ Eiter dünn weisslichgelb ニシテ verkaeste Masse ヲ混ジ, 其 Fistel 永ク治癒セズ, verkaeste Masse ハ morsch (脆弱) ナリ。

ii). Gumma ニ於テハ zäh, gelblich ニシテ, 自潰後該部ニ特有ナル speckige Masse (豚脂様物) ヲ認メ, 次第ニ seicht ノ Geschwür ヲ形成シテ heilen ス。

iii). Aktinomykose ニ於テハ Eiter 中ニ typisch ノ Druse ヲ有シ, Umgebung ニ brettharte Induration (板狀滲潤) アリ, 次第ニ周圍ニ verbreiten ス。

其他 chronischer Abszess ニハ Fiebersteigerung selten ニシテ, Leukozytose ヲ起サズ。但シ Eiterkokken ノ Mischinfektion アル場合ニハ此限りニアラズ。

Diagnose, Prognose, Therapie ハ各條下ヲ参照スベシ。

VI. Elephantiasis. 象皮病 *Elephantiasis*.

Aetiologie: 本病ハ之ヲ A) Primär ト B) Sekundär トニ分ツ。

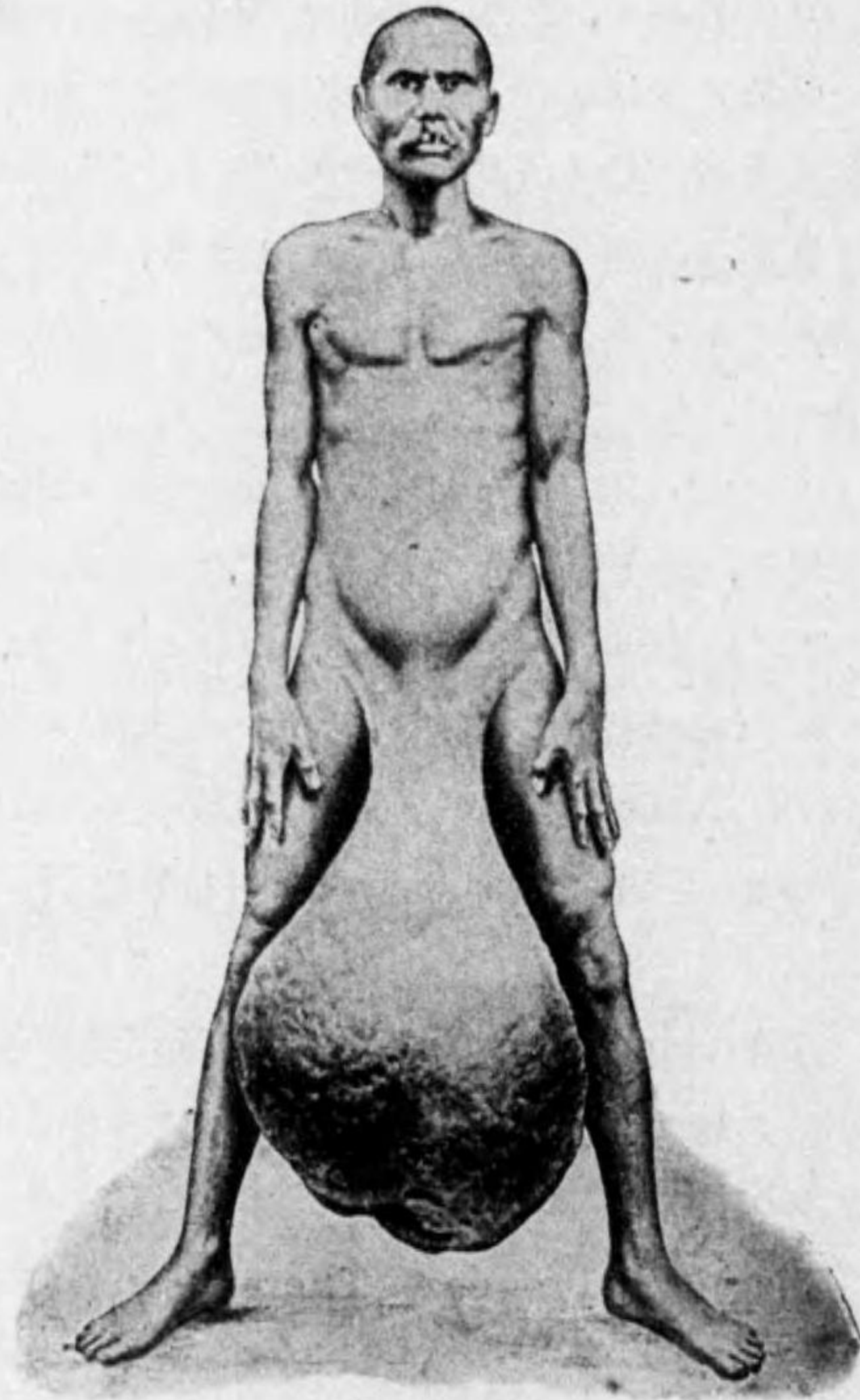
A). **Primäre Elephantiasis:** Parasiten ニヨルモノニシテ, 屢々一種ノ風土病トシテ存ス。此種ノ Elephantiasis ニハ Aetiologie unklar ノモノモアレドモ, 大部分ハ *Filaria sanguinis hominis* (フィラリア蟲或住血絲狀蟲) ニヨル。本病ハ熱帯地方特ニ中央亞米利加, 「アラビヤ」, 印度, 布哇等ニ多ク, 本邦ニハ九州, 伊豆等ノ地方ニ風土病トシテ存ス。Filaria ノ寄生アル時ハ, 多クハ Chylurie (乳糜尿) ヲ見ルモノナレドモ, 時トシテハ之ナクシテ Elephantiasis ヲ起スコトアリ。

B). **Sekundäre Elephantiasis:** 種々ノ原因ニテ Lymphgefäss 又ハ Venen ノ Stauung ニヨリテ起ル。即チ

i). wiederholend ニ來ル Erysipelas, Lymphangitis, Phlebitis ニヨリテ起ル (併シ此中ニハ Filaria ニヨル Elephantiasis ノ初期ノ Symptome ト見做スベキモノモアリ)。

ii). Geschwulst, Zyste 等ニヨリテ grosse Venen 又ハ Lymphstamm ガ drücken セラレテ其 Stauung ヲ起シタル爲。

第百六十二圖



陰囊象皮病

iii). Operation ニヨリテ Lymphstamm ノ Störung ヲ起シタル爲。

iv). Extremitäten ノ chronische Entzündung (Syphilis, Osteomyelitis), chronisches Geschwür アリタル爲ニ sekundär ニ本病ヲ起スコトアリ。

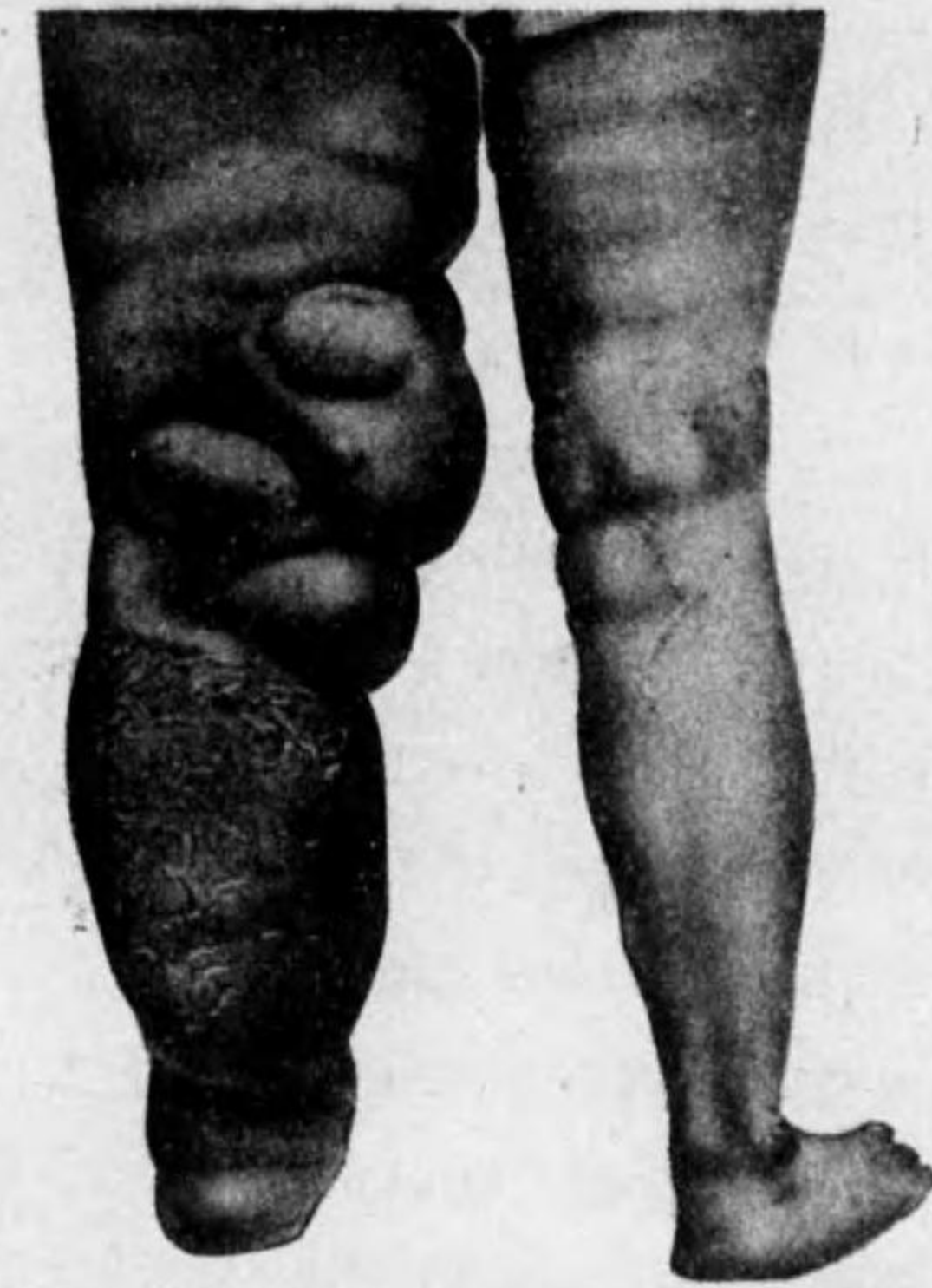
Lokalisation: untere Extremität, Vorhaut, Skrotum, Schamlippe ニ最モ多ク, 時トシテハ obere Extremität, selten ニハ Ohr, Wange, Lippe, Mamma 等ニ來ルコトアリ。Gesicht, Rumpf ニハ殆ド發生セズ。

Pathologie: Lymphgefäss 又ハ Vene ノ chronische Stauung ニヨリ, 其 Umgebung ニ漸次 Bindegewebe ノ Wucherung (増殖) ヲ來シ, 次第ニ verdicken シテ遂ニハ 1—3 cm. ノ厚サトナルコトアリ。其他 Haut ニ Pigmentablagerung 又ハ Hornschicht (角質) ノ増殖ヲ來スコトアリ。

Symptome: a). **Primäre Elephantiasis** ニ於テハ屢々 akute Anfallsymptome (急性發作症狀) ヲ以テ始マルコトアリ, 即チ何等ノ原因ナクシテ Frösteln ニ次デ Fiebersteigerung アリ。又 untere Extremität 又ハ äussere Genitalien ノ Anschwellung, Rötung, Hitze, leichter Schmerz 等アリ。是等ノ Symptome ハ數日ニシテ消散スルモ, 其跡ニ少シク Bindegewebe ノ Verdickung (肥厚) ヲ遺ス。此ノ如キ Anfall ガ wiederholend ニ起リ, 次第ニ Verdickung ヲ増シテ Elephantiasis ノ Bild ヲ呈スルニ至ル。併シ或場合ニハ是等ノ akuter Anfall 著明ナラズシテ, 次第ニ Elephantiasis ヲ起スコトモアリ。

b). **Sekundäre Elephantiasis** ハ何レモ chronisch ニ發生ス。

第百六十三圖



下肢象皮病

Elephantiasis ハ其名ノ示スガ如ク, Haut ガ象皮様ニ verdicken スル Krankheit ニシテ, 多クハ diffus ニ verdicken セルモ, 時トシテハ lappenartig (瓣狀) ナルコトアリ, 或ハ溝ヲ以テ分界セララルガ如キコトアリ。Konsistenz ハ derb ニシテ, normal ノ Haut ノ如クニ指ヲ以テ aufheben (撮舉) シ難キヲ常トス。

其 Grad ハ verschieden ニシテ Extremitäten ニ於テハ普通ノ數倍トナリ, 其狀恰モ象ノ足ノ如クニ見ユルコトアリ (Fig. 163)。Skrotum ハ特ニ著大トナリ, 大サ軀幹大以上トナルコトアリ (Fig. 162)。

其他 Haut ニハ Pigment-Ablagerung (色素沈着), Hornschicht ノ Wucherung (角質増殖) アリ, 或ハ Lymph ガ stauen シテ Blase ヲ作リ, 之ガ破潰シテ Lymphorrhoe (淋巴漏) ヲ來シ, 或ハ Haut ニ Ekzem (濕疹), Rhagaden (皸裂), Geschwür 等ヲ生ズルコトアリ。

Verlauf u. Prognose:
Verlauf chronisch ニシテ發病後數ヶ月乃至數年ニシテ著大トナル。併シ時トシテハ短時日ノ間ニ著シキ大サニ達シ, 或ハ一程度ノ大サニ留マリテ増大セザルコトモアリ。

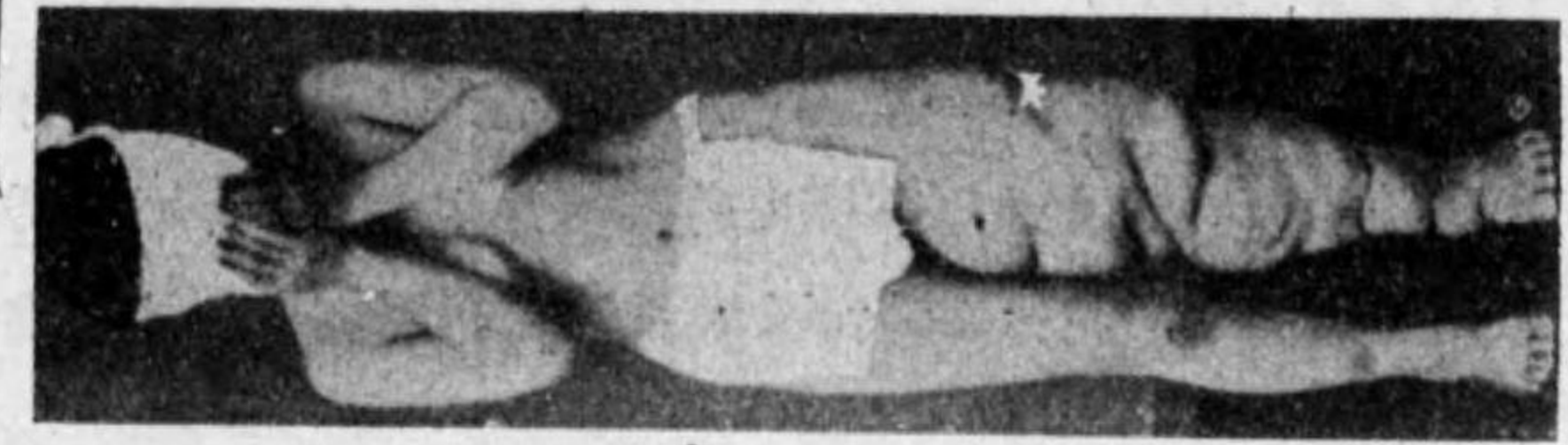
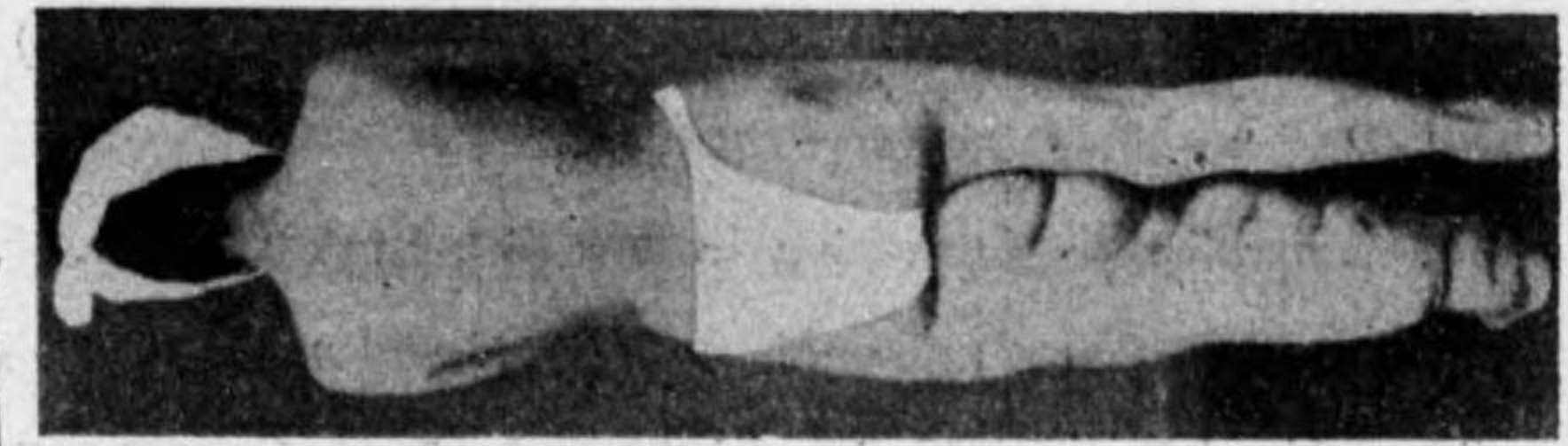
Elephantiasis 其者ニヨリテハ決シテ Leben ヲ失フコトナク, 又 Ernährung モ著シク stören セラレズ。又偉大ナル Elephantiasis



下腿潰瘍ニヨル象皮病

第百六十四圖

測定(種)	部位	時	I 手		II 手	
			右	左	右	左
寫眞	I	20/V 1924	42.0	72.0	34.5	54.0
	II	7/V 1924	4.30	40.5	35.0	41.0
			20.5	55.0	33.0	55.0
			21.5	34.0	32.0	34.0
			23.5	24.0	24.0	24.0
			23.5	25.0	23.5	25.0



木村氏法ニコンドレーン氏法、瓣狀切除法ヲ適用セルモノ(木村氏)。

ヲ有スルニ關セズ, 案外日常ノ働作ニ不自由ヲ感ゼザルヲ常トス。

Diagnose: 多クハ leicht ナリ。Partielle angeborener Riesenwuchs (部分的先天性巨大症) ハ angeboren ニ生ズルモノニシテ Knochen モ亦巨大ナルニヨリテ區別セララル。Lymphangiom, Haemangiom, Fibroneurom モ稍々本病ニ類スルコトアレドモ, 容易ニ區別セララル。

Therapie: i). 初期ニハ elastischer Verband (彈力帶) ヲ以テ Druckverband ヲ行ヒ、或ハ Massage ヲ行フ。

ii). *Handley* ハ Operation ニヨリ長キ絹絲ヲ皮下ニ挿入シ (例ヘバ下腿ノ下ヨリ下腹部マデ) Lymph ノ誘導法ヲ圖リシガ效果 sicher ナラズ。

iii). *Kondolen* ハ Fascia ヲ切除シテ、Lymph ヲ Muskelschicht ノ方ニ誘導セシガ、前者ヨリモ Erfolg アリ。

iv). 我ガ木村博氏ハ患部ニ健康皮膚瓣ノ Umlagerungstransplantation (轉換移植法) ヲ行ヒテ、移植皮膚瓣ニヨリテ Lymph ノ誘導法ヲ圖リシガ效果最モ大ナリ、特ニ *Kondolen* 氏法及肥厚部切除法ヲ兼スル時ニ效果顯著ナリ。

v). Skrotum, Schamlippe ニ於テハ Resektion (切除法) ヲ行ヒ、untere Extremität ニ於テハ spindelförmig ノ Resektion ヲ行フ。本法ニ木村氏法ヲ併用スル時ハ特ニ Erfolg. アリ。

vi). Untere Extremität ニテハ Lymphorrhoe 煩ハシキ場合又ハ Entzündung ヲ起シタル場合ニハ Amputation (切斷術) 又ハ Exartikulation (關節離斷術) ヲ行フコトアリ。

VII. Syphilis der Haut und des subkutanen

Bindegewebes. 皮膚及皮下ノ微毒

Syphilis of the skin and subcutaneous cellular tissue.

Haut ハ Syphilis ノ各期ニ侵サル。即 I Stadium ニハ **harter Schanker** ヲ生ジ、II Stadium ニハ **Exanthem** ヲ生ジ、III Stadium ニハ **Gumma** ヲ bilden ス。前二者ニ就テハ既ニ記述セルヲ以テ、茲ニハ主トシテ III Stadium ノ Gumma ニ就テ述ベシ。

Haut ノ Gumma ハ屢々見ラルルモノニシテ、之ニ 2 Arten アリ。

1). **Hautgumma (皮膚護謨腫)**。Gesicht, Kopf, Skapulargegend, Glutealgegend, untere Extremität 等ニ多ク發生ス。

初メハ Haut ニ erbsengross (豌豆大)—hanfkorngross (棒實大) ノ relativ derb ノ多數ノ Knötchen (小結節) (Gummata 小護謨腫) 生ジ、初メハ

Begrenzung deutlich ナルモ、後ニハ undeutlich トナル。Haut ノ Farbe ハ初メハ rötlich ナルモ、後ニハ dunkelrötlich トナリ、遂ニハ bräunlich ノ Pigment ヲ殘シテ resorbieren セラル。

併シ selten ニハ erweichen シテ Haut ニ durchbrechen シテ Geschwür ヲ作ルコトアリ (之ハ次ノモノニ比シテハ小ナルモ、其大體ノ性狀同様ナリ)。

此 Knötchen ハ通常多數ニ發生シ、一方ハ resorbieren セラルルニ反シテ他方ニ新タニ發生シ、一局所ヨリ他方ニ向ツテ蛇行狀ニ蔓延スルコトアリ、之ヲ **Serpiginöses Knotensyphilid (蛇行狀結節微毒疹)** ト稱ス。

2). **Subkutanes Gumma (皮下護謨腫)**。通常 1 個又ハ 2-3 個ノ大ナル Knoten ヲ生ジ多發スルコトハ selten ナリ。Grösse ハ一般ニ Hautgumma ヲ大ニシテ nussgross—hühnereigross ナルモノ多ク、或ハ夫レ以上トナル。

初メハ subkutan ニ存シ、其 Anschwellung 不明ナルモ、増大スルニ從ツテ Oberfläche ノ Anschwellung 著明トナリ、Haut ハ初メ normal ナルモ、Haut ヲ侵スニ從ツテ rötlich—dunkelrötlich—bräunlich トナル。

Konsistenz elastisch weich ニシテ、次第ニ erweichen シ、其儘 resorbieren セラルルカ、或ハ spontan ニ durchbrechen シテ gelblich zäh ノ護謨汁様ノモノヲ排出ス。

Begrenzung 初メハ deutlich ナルコトアルモ、後ニハ diffus トナル。

Gumma ノ自潰後ハ sinuös (洞狀) ニシテ、多量ノ speckige Masse ヲ藏ス。併シ間モナク speckige Masse 吸收セラレテ扁平トナリ、gummöses Geschwür ヲ形成ス。Granulationsfläche ハ dunkelrot ニシテ比較的硬ク、周圍ニ屢々 derb ノ Induration (硬結) ヲ有ス (詳細ハ Geschwür ノ條下參照)。

Gummöses Geschwür ハ次第ニ縮小スルヲ當トスルモ、時トシテハ増大スルコトアリ。其他 gummöses Geschwür ノ Umgebung ノ Haut ニハ Pigmentablagerung deutlich ナリ。

Diagnose: Gumma ノ初期ニ於テハ Lipom, Sarkom, kalter Abszess,

Atherom, chronische Lymphadenitis 等ト鑑別ヲ要ス。疑ハシキ場合ニハ Wassermannsche Reaktion, antiluetische Kur ヲ試ムベシ。

Geschwür ニ就キテハ後項ヲ参照スベシ。

Therapie: (Syphilis ノ條下参照)。

VIII. Tuberkulose der Haut 皮膚ノ結核

Tuberkulose of skin.

Haut ノ Tuberkulose ニハ種々アレドモ、爰ニハ chirurgisch ニ必要ナルモノヲ述ブレバ、

I). Tuberkulöses Geschwür der Haut (皮膚ノ結核性潰瘍). *Tubercular ulcer of skin.*

Aetiologie: Haut ノ tuberkulöses Geschwür ハ primär ナルモノナク、多クハ sekundär ノモノナリ、即チ Lymphadenitis tuberculosa, Knochentuberkulose, Gelenktuberkulose, Fistula ani 等ガ Haut ニ durchbrechen シタル後ニ該部ニ tuberkulöse Fistel 又ハ Skrofuloderma ヲ bilden スルコトモアレドモ、時トシテハ Geschwür ヲ生ズルコトモアリ。或ハ Skrofuloderma ト kombinieren シ來ル。

Symptome: Form, Grösse, Zahl ハ一定セザレドモ、甚シク大トナルコトナク、又多クハ 1—3 個ナリ。

Granulationsgewebe blassrötlich 又ハ schlaff oedematös ニシテ、blutend ナラズ。

Rand ハ unregelmässig ニシテ Induration, Epidermisierung (上皮形成) ナク、屢々 unterminieren (縁下掘鑿) ス。Sekret ハ dünneitrig ニシテ、時ニヨリテ多少アリ、Schmerz ナキヲ常トス。

Prognose: spontan ニ heilen スルコトハ selten ニシテ、chronisch ニ vergrössern スルコト多シ。又屢々 Lunge 等ノ Komplikation ヲ伴フガ故ニ、之ガ爲ニ sterben スルコトアリ。

Diagnose: 多クハ Geschwür ノ Ursache タルベキ tuberkulöse Krank-

heit アルヲ以テ、之ガ Diagnose leicht ナリ。他種ノ Hauttuberkulose トハ種々ノ點ニ於テ相異アリ。其他ノ Geschwür ト誤ラレルコトモ selten ナリ (Geschwür ノ條下参照)。

Therapie: 先ヅ Grundkrankheit ニ對シテ behandeln スルヲ要ス。Geschwür 其者ニ對シテハ充分ニ auskratzen 又ハ kauterisieren シ、Sonneneinstrahlung, Röntgenbehandlung 等ヲ行フ。其他 allgemeine Ernährung ヲ佳良ナラシムルニ努ム。

II). Lupus vulgaris. (尋常性狼瘡) *Lupus vulgaris.*

Symptome: 本症ハ chronisch ニ verlaufen スル Krankheit ニシテ數歲乃至十數歲ノ虛弱ナルモノニ多シ。

Gesicht, 特ニ Wange, Nase 等ニ多ク Schleimhaut 亦侵サル、其他 Hals, Extremitäten, Rumpf ニモ發生ス。

本病ニ必要ナル變化ハ次ノ三者ガ共ニ發生スルコトナリトス。

i). **Lupusknoten (狼瘡結節)**。miliar-gross (粟粒大)—stecknadelkopfgross (帽針頭大) ノ blass rötlich—bräunlich ノ weich ノ Knötchen ガ zerstreut (散在性) 或ハ gruppierend (集簇性) ニ存在ス。

ii). **Lupusgeschwür (狼瘡潰瘍)**。Knötchen ガ zerfallen シテ生ズ、ganz seicht klein ノ Geschwür ニシテ blass rötlich ナリ。

iii). **Lupusnarbe (狼瘡癍痕)**。Geschwür ノ後ニ生ズルモノニシテ dünn ノ Narbe ナリ。

以上ノモノハ時ニヨリ多少アリ。種々状態ヲ異ニスルモ、一般ニ進行部ニハ Knötchen 著明ニシテ、陳舊ナル場所ニハ Geschwür—Narbe 存ス。

第百六十六圖



狼瘡

Lupus は次第ニ周囲ニ蔓延シ、Haut ノミナラズ、Knorpel、Knochen ヲモ侵シ、Gesicht ニ於テハ Nase、Ohrmuschel ノ Defekt ヲ來スコトアリ。

Lupus ニハ以上 3 者ノ多少或ハ其他ノ變化ニヨリテ數多ノ種類アリ。即チ

i). **Lupus nodosa** (結節狀狼瘡)。Lupusknoten ガ gruppieren シテ著シク wuchern セルモノ。

ii). **Lupus exfoliativus** (落屑性狼瘡)。Epidermis ノ Abschuppung 著シキモノ。

iii). **Lupus maculosus** (斑狀狼瘡)。Narbenteil ニ gelblich braun 或ハ rötlich braun ノ斑點ヲ生ズルモノ。

iv). **Lupus exulcerans** (潰瘍性狼瘡)。Geschwür ノ deutlich ナルモノ。

v). **Lupus hypertrophicans** (肥大性狼瘡)。數多ノ Lupusknoten 集リテ、其 Umgebung ニ Bindegewebe ノ Wucherung、Oedem ヲ伴ヒ著明ニ隆起セルモノ。

vi). **Lupus teleangiectodes** (毛細管擴張性狼瘡)。狼瘡部ノ Blutgefäss 多クシテ且 Ektasie ノ deutlich ナルモノ。

vii). **Lupus disseminatus** (播種性狼瘡)。Kör-

第百六十七圖



狼瘡

per ノ所々ニ disseminiert ニ發生セルモノ。

viii). **Lupus serpiginosus** (蛇行性狼瘡)。Lupusgeschwür ノ蛇行狀ニ進行スルモノ等ナリ。

以上ノ mehrere Typus ハ屢々混合シテ來ルコトアリ。

Verlauf: ganz chronisch ニシテ數年ニ亙ルコト多シ。時トシテハ後來 Lupusnarbe ヲリ Kankroid ヲ發生スルコトアリ。

Prognose: Lupus 其者ノ爲ニ sterben スルコトナキモ、他ノ Komplikation 特ニ Lungentuberkulose 等ノ爲ニ sterben ス。

Diagnose: 多クハ leicht。Lupusknoten、Lupusgeschwür、Lupusnarbe ノ 3 者ニ注意スベシ。其他 Lokalisation、Verlauf、allgemeiner Zustand 等ヲ顧慮スベシ。syphilitisches Geschwür、karzinomatöses Geschwür 等ト鑑別ヲ要ス。

Therapie: 種々ノ Therapie アリ。

1) **Operation.** Krankheitsherd ヲ gesunder Teil ヲリ resezieren シ、小ナレバ其儘 Naht ヲ行ヒ、大ナレバ Hauttransplantation ヲ行フ。或ハ Löffel (銳匙) ニテ auskratzen シ、又ハ Paquelin ニテ kauterisieren ス。

2) **Physikalische Therapie.** Röntgentherapie 最モ有效ナリ。其他 Sonnenlichttherapie、Ultraviolettstrahlentherapie、elektrische Aetzung 等行ハル。Heilung ノ後 Narbe 大トナレバ Hautplastik ヲ行フ。

3). **Medikamentöse Behandlung.** 30% Resorcinsalbe、10% Gallussäuresalbe (沒食子酸軟膏) 等ヲ用フ。

4). 其他 **allgemeine Behandlung** ニ注意ス。Tuberkulinbehandlung ハ效果ナシ。

III). Skrofuloderma. (皮膚腺病) Skrofuloderma.

Aetiologie: 本病ハ獨立セル Krankheit ニアラズシテ種々ノ tuberkulöse Erkrankungen ニ續發ス。例ヘバ

i). Lymphadenitis tuberculosa ニ續發スルモノハ Halsteil ニ最モ多ク、次

アキセルhöhle, Inguinalgegend ニモ認メラル。

ii). Knochentuberkulose ニ續發スルモノハ Fussgelenk, Handgelenk 等ノ附近ニ多シ。

iii). Fistula ani tuberculosa ニ續發スルモノハ Anus ノ Umgebung ニ來ル。

Symptome: 以上ノ Krankheit ノ存スル附近ノ subkutan ニ weiche Induration (軟性硬結) ヲ生ジ, 次第ニ増大軟化シテ Haut ヲ侵シ, rötlich トナリ, Fluktuation ヲ生ジ, 遂ニハ自潰シテ tuberkulöser Eiter ヲ排出シ, 破潰部ハ次第ニ大トナリ, Granulation ハ schlaff (弛緩性) 又ハ oedematös (浮腫狀)トナル。Rand ニハ Unterminierung (縁下掘鑿) 著明ナリ。

本病ノ Verlauf ハ chronisch ニシテ, Heilung ノ傾向甚ダ少シ。

Diagnose: leicht ナリ。同時ニ primär ノ Krankheit アルニ注意スベシ。

Hautgumma, Aktinomykose 等ト鑑別ヲ要ス。

Therapie: 先ヅ primäre Krankheit ヲ治癒セシムルヲ要ス。lokal ヲ充分ニ auskratzen シ或ハ Paquelin (烙白金) ヲ以テ燒灼ス。其他 Röntgenbehandlung, Sonnenlichtbehandlung 等ヲ行フ。

IV). Leichentuberkel. (屍體結節) *Cadaveric tuberculosa.*

Sektion 等ニ際シ Leiche ノ Tuberkel-B. ガ kleine Wunde ヨリ入りタル爲ニ起ルコト多キモ, 時トシテハ發病ノ Moment unklar ナルコトアリ。

之ハ Finger ニ好發スル klein ノ Knötchen (小結節) ニシテ, Oberfläche erosieren シ, kleine Menge ノ Eitersekretion アリ, 少シク Schmerz アリ, 或ハ Oberfläche 殆ド normal ノ Haut ニ bedecken セラルルコトアリ。多クハ lokalisiert ニシテ, Umgebung ニ Infiltration ナシ。

Verlauf: ganz chronisch ニシテ, spontan ニ heilen スルコトナシ。

Diagnose: Warze (疣贅)ト differenzieren スルヲ要ス。併シ之ハ Epidermis ノ Hornschicht (角質層) ノ abnorme Wucherung ニヨルモノニテ,

Farbe etwas weisslich, ganz derb, Verlauf 一層 chronisch ニシテ, 全ク Schmerz ナシ, 特ニ之ガ multipel ニアル時ハ Diagnose leicht ナリ。

Therapie: Exstirpation。

其他 *Tuberculosis cutis propria* (固有皮膚結核), *Tuberculosis cutis verrucosa* (疣狀皮膚結核), *Erythema induratum* (硬結性紅斑), *Acne tuberculosa* (痤瘡性結核疹) 等アリ, 是等ハ皮膚科書ヲ參考スベシ。

IX. Ulcus od. Geschwür 潰瘍 *Ulcer*

Ulcus トハ Haut 又ハ Schleimhaut ニ Defekt (缺損) アリ, Granulationsgewebe ヲ生ズルモ, 其 heilen シ難キモノヲ云フ。

Aetiologie: 種々アリ。

i). **Entzündung** 例ヘバ Tuberkulose, Syphilis, weicher Schanker, eitrigte Entzündungen ノ後等。

第百六十八圖



譚誤腫性潰瘍

第百六十九圖



糖尿病性潰瘍

ii). **Verletzungen** 例へバ Wunde, Verbrennung, Erfrierung, Aetzung, Röntgenverbrennung 等。

iii). **Zirkulationsstörung** 例へバ Varix (静脈瘤), Decubitus (褥瘡) 等。

iv). **Geschwülste** 特ニ Karzinom, Sarkom ノ zerfallen セルモノ。

v). **N. ノ Störung** ニヨルモノ, 例へバ Tabes dorsalis (脊髄癆), Rückenmark ノ Verletzung 等ニヨリ trophische N. (栄養神経) ノ Störung ヲ來シ, Geschwür ヲ作ルコトアリ。

以上ノ内 Wunde, Verbrennung, Aetzung ニ因ルモノ及ビ eitrige Entzündung ノ後ニ生ズル Geschwür ハ大體同型ニシテ, 他ノモノニ比シテ heilen シ易シ, 是等ヲ總稱シテ **Ulcus simplex** (單純性潰瘍) ト稱ス。又 Unterschenkel ニ於ケル Geschwür ハ原因ノ如何ニ關セズ Heilung 特ニ chronisch ナリ, 之ヲ **Unterschenkelgeschwür** (下腿潰瘍) ト稱ス。

Symptome: Geschwür ノ Aetiologie, Lokalisation, allgemeiner Zustand 等ニヨリテ種々ナリ。是等ニ就テハ別表ノ鑑別表ニ詳記セルヲ以テ, 茲ニハ二三特種ノ點ニ就テノミ述ベン。

i). 一般ニ 良性ノ Geschwür ハ Granulation frisch rot ニシテ, 多少 blutend ナルモ fest (硬固) ニシテ, körnige Unebenheit (顆粒狀凹凸) deutlich ナリ。而シテ Umgebung ノ Haut トノ Grenze (境界) platt, 且ツ Epithel ノ 増殖盛ニシテ比較的速ニ heilen ス。

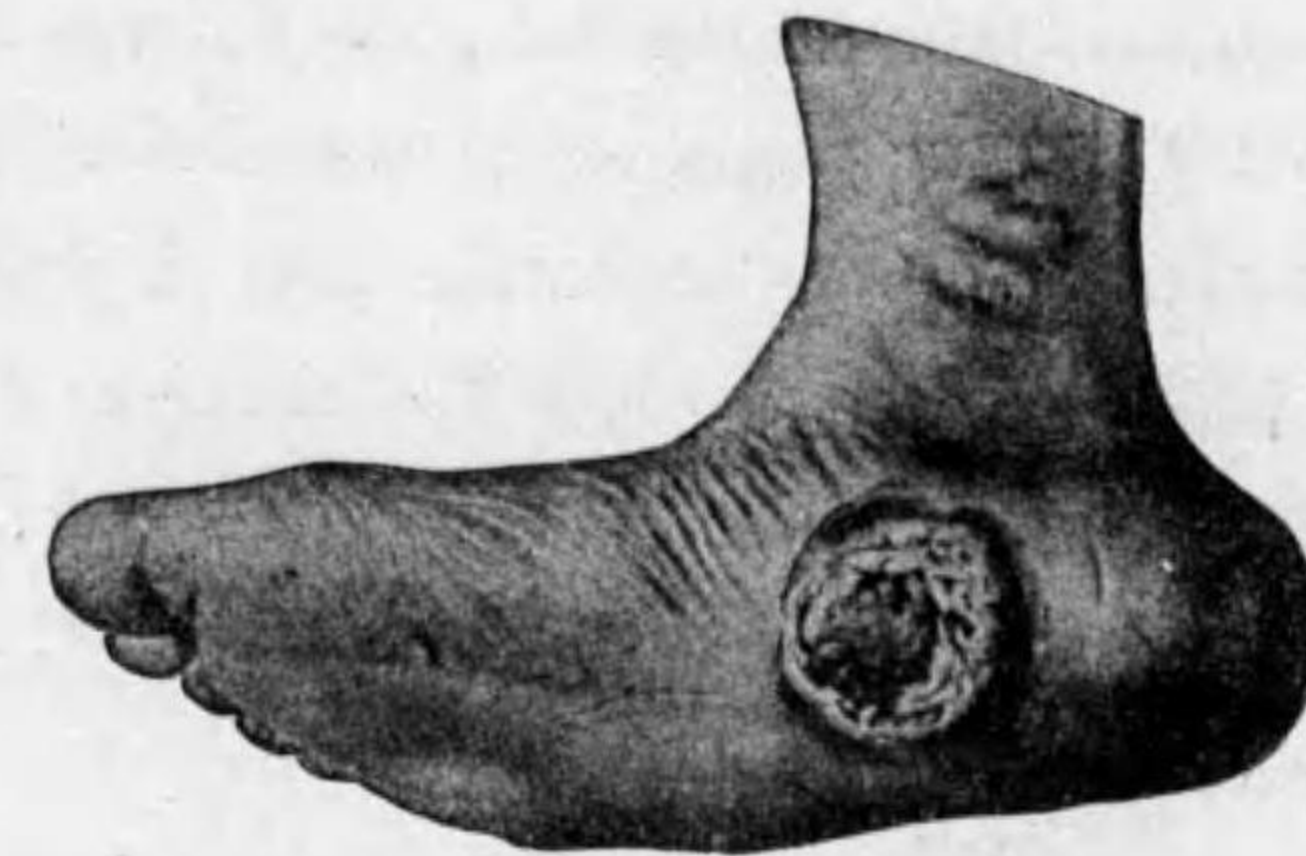
ii). heilen シ難キ Geschwür

第百七十圖



静脈瘤性潰瘍

第百七十一圖



脊髄癆性潰瘍

ハ Granulationsgewebe bläulich 又ハ oedematös schlaff (弛緩性) 又ハ fungös (菌茸狀) ニシテ, 或ハ Granulationsgewebe ノ上ニ nekrotische Masse アリテ schmutzig ナリ。Geschwürgrund ト Umgebung ノ Grenze scharf ニシテ, Epithel ノ Wucherung 甚不良ナリ。特ニ chronisches

Geschwür ニ於テハ, Granulationsgewebe ノ下ニ厚キ Narbengewebe ヲ生ジ, Rand モ derb トナル, 之ヲ **kallöses Geschwür** (胼胝性潰瘍) ト云フ。

iii). Weicher Schanker, tuberkulöses Geschwür, syphilitisches Geschwür ノアルモノハ, Geschwür ノ一方ニ向ツテ比較的速ニ vergrößern ス。其増大ノ状態ニヨリテ **phagedaenisches Geschwür** (蠶蝕性潰瘍), **serpiginöses Geschwür** (蛇行性潰瘍) 等ノ名アリ。

iv). 時トシテ Geschwür ニ a). **Eretisches od. irritables Geschwür** (過敏性感受性潰瘍), b). **Torpides od. atonisches Geschwür** (弛緩性或無力性潰瘍) ヲ分ツコトアリ。前者ハ nervös ノ人又ハ anaemisch ノ人ニ多ク, Geschwür 特ニ schmerzhaft ナルモノヲ云フ。後者ハ tuberkulös ノモノニ多ク, Schmerz ナキモ heilen シ難シ。併シ現今是等ノ區別ハ弘ク用キラレズ。

v). **Dekubital-Geschwür** (褥瘡) ハ長ク Bett ニ liegen セル schwere Kranke ニ見ラルルモノニシテ, 特ニ Rückenmark ノ Verletzung 後ニ起リ易シ, Steissgegend, Sakralteil, Skapula, Fusssohle, Trochantergegend (大轉子部) 等直接 Bett ニテ drücken セラルル個所ニ生ズ。此發生ニハ單ニ Druck ニヨル Zirkulationsstörung ニヨルノミナラズ, allgemeine Schwäche モ關係シ, 特ニ Rückenmark ノ Verletzung ニアリテハ trophische N. ノ關係モ重

大ナルモノトス。

初メハ Haut dunkelrötlich トナリ, 次デ Nekrose ヲ起シ, abfallen シテ 遂ニ Geschwür ヲ形成ス。此 Geschwür ハ rötlich 又ハ blasserötlich ニシテ, schmutzig ノ nekrotische Masse 附着シ, 次第ニ Geschwür 増大シ, Heilung ノ傾向ナシ。時トシテ可ナリノ Schmerz ヲ訴フ。

vi). **Röntgeschwür** ハ前者ノ如ク, Granulationsgewebe blasserötlich 又ハ graugelblich ニシテ, 治癒ノ傾向ナク, spontaner Schmerz (自發痛) 甚シキコト特異ナリ。

vii). Weicher Schanker 及 Harter Schanker ハ夫々 typisch ノ Bild ヲ有ス (其條下参照)。

Diagnose: 主ナル Geschwür ノ鑑別ハ別表ヲ参照スベシ。

Therapie: 其 Aetiologie ニヨリテ異ル。

a). **Ulcus simplex ノ Therapie:** granulierende Wunde ノ Behandlung ヲ参照スベシ。

b). **Spezifisches Geschwür ノ Therapie:**

i). Syphilitisches Geschwür ニハ antiluetische Kur。

ii). Tuberkulöses Geschwür ニハ Excision, Röntgentherapie, Sonnenlichtbehandlung ヲ行ヒ, 特ニ primäre Krankheit ニ向ツテ behandeln セザルベカラズ。

iii). Karzinomatöses Geschwür ニハ radikale Entfernung, Röntgentiefentherapie。

iv). Varix (静脈瘤) ニヨルモノハ, 先ヅ Varix ノ Behandlung 必要ニシテ, Ulcus simplex ニ對スル Therapie ヲ行ヒ, 特ニ Zirkulation ヲ佳良ニスルコトニ努ムベシ。

v). Dekubitalgeschwür ニ對シテハ先ヅ Prophylaxis 必要ナリ。即チ始終體位ヲ wechseln シ, Druckstelle ヲ Alkohol ヲ以テ reiben スベシ。

既ニ Geschwür ヲ生ジタル時ハ, 成ルベク局所ノ Druck ヲ避ケ, Dermatol ノ撒布, Borsalbe ノ貼附ヲ行フ, 特ニ permanentes Bad 佳良ニシテ, 其他

		Kazinomatöses Geschwür 癌腫性潰瘍	Neuropathisches Geschwür 神経病性潰瘍
1) 發生部位	全	全身!	足ニ多シ
2) 數	單	單	單
3) 形 狀	不	圓形ナルコト多シ	略々圓形ナルコト多シ
4) 大 小	不	不 定	不定(過大ナラズ)
5) 底部 a) 凹 凸	粗	顆粒狀凹凸	稍々凹凸
b) 肉 芽	赤	淡赤色或ハ赤色	淡赤色時トシテハ弛緩
c) 沈着物其他	小	癌栓(微小灰白色)又ハ癌乳	時トシテハ壞死組織(灰白色(±))
d) 分 泌 物	少	少量ノ漿液(±)悪臭アリ	少量ノ漿液(±)
e) 出 血	ナ	有 リ (±)	(-)
f) 疼 痛	()	(±)	(-)
6) 邊緣 a) 出 入	輕	(±)	(±)
b) 硬 結	()	(+)!	(-)
c) 周圍皮膚	輕	異狀ナシ	異狀ナシ
d) 皮下掘鑿	(-)	(-)	(-)
7) 經 過 治 癒	治	成長緩慢或稍々速	成長甚ダ緩慢
8) 淋 巴 腺 腫 脹	(±)	(±)(硬靱・無痛)	(-)
9) 發 生 年 齡	不	壯 年 後	壯 年 後
10) 發 生 關 係	外	稀ニ單純性潰瘍(慢性)ニ續發	脊髓癆或ハ脊髓空洞症
11) 榮 養 狀 態	不	強壯ナル人ニ多シ併シ末期ニハ惡液質	不 定
12) 他 部 ノ 疾 患	(-)	(-)	原病多クハ著明
13) 輔 助 診 斷 法	(-)	組織の検査	(-)

ヲ起シ, abfallen シテ
 又ハ blässerlich ニシテ,
 chwür 増大シ, Heilung
 ationsgewebe blässerlich
 r Schmerz (自發痛) 甚
 々 typisch ノ Bild ヲ有
 照スベシ。
 e Wunde ノ Behandlung
 uthérapie, Sonnenlicht-
 ヲ behandeln セザルベ
 ernung, Röntgentiefenthe-
 ノ Behandlung 必要ニシ
 Zirkulation ヲ佳良ニス
 xis 必要ナリ。即チ始終
 reiben スベシ。
 Druck ヲ避ケ, Dermatol
 s Bad 佳良ニシテ, 其他

	Ulcus simplex 單純性潰瘍	Tuberkulöses Geschwür 結核性潰瘍	Gummöses Geschwür 護謨腫性潰瘍	Varicöses Geschwür 靜脈瘤性潰瘍	Kazinomatöses Geschwür 癌腫性潰瘍	Neuropathisches Geschwür 神經病性潰瘍
1) 發生部位	全身、特ニ下腿ニ多シ	同 左	同 左	下 腿	全 身!	足ニ多シ
2) 數	單(或二三)	單(稀ニ二三續發)	同 左	多クハ單	單	單
3) 形 狀	不 定	不 定	圓形或橢圓形或腎臟形	不 定	圓形ナルコト多シ	略々圓形ナルコト多シ
4) 大 小	不 定	不 定	不定(過大ナラズ)	不 定	不 定	不定(過大ナラズ)
5) 底部 a) 凹 凸	粗大顆粒狀凹凸(甚ダ慢性ナルハ平)	淺クシテ平	初メハ洞鑿狀後ニハ次第ニ扁平	稍々不同凹凸	顆粒狀凹凸	稍々凹凸
b) 肉 芽	赤色(其)或ハ弛緩シテ淡赤色(不其)	弛緩シテ灰白淡赤色	赤色或ハ銅赤色	淡 赤 色	淡赤色或ハ赤色	淡赤色時トシテハ弛緩
c) 沈着物其他	小壞死組織アルコトアリ(±)	乾酪變性物(±)	初期ニハ豚脂樣物、末期ニハ無	(-)	癌栓(微小灰白色)又ハ癌乳	時トシテハ壞死組織(灰白色)(±)
d) 分 泌 物	少量ノ漿液又ハ膿	結核性膿、多量或ハ少量	粘稠漿液少量(時トシテ惡臭)	少量ノ漿液或ハ膿	少量ノ漿液(±)惡臭アリ	少量ノ漿液(±)
e) 出 血	ナ シ (±)	(-)	(-)	無シ(稀ニ+)	有 リ (±)	(-)
f) 疼 痛	(±)	(±)	(-)	(±)	(±)	(-)
6) 邊緣 a) 出 入	輕度ノ出入(±)	(±)	(±)	(±)	(±)	(±)
b) 硬 結	(-)	(±)	初期及進行面ニ(+)、治癒面ニ(-)	(-)	(+)!	(-)
c) 周圍皮膚	輕度ノ發赤或浮腫(±)	輕度ノ弛緩發赤(±)附近ニ瘻孔アルコトアリ	色素沈着	靜脈瘤著明	異狀ナシ	異狀ナシ
d) 皮下掘鑿	(-) 稀ニ (+)	+(時トシテ-)	(-) 稀ニ (+)	(-)	(-)	(-)
7) 經 過	治癒ノ傾向多シ	成長緩慢(自然治癒甚稀)	治癒或成長緩慢	成長緩慢(治癒稀)	成長緩慢或稍々速	成長甚ダ緩慢
8) 淋 巴 腺 腫 脹	(±)(靱軟、無痛)	(±)(靱軟、無痛)	(±)(靱固無痛)	(-)	(±)(靱軟・無痛)	(-)
9) 發 生 年 齡	不 定	若年者ニ多シ	壯 年 後	壯 年 者	壯 年 後	壯 年 後
10) 發 生 關 係	外傷或ハ化膿後	原發或隣接結核ニ續發	骨或ハ軟部等ノ膿腫ノ軟化	靜脈瘤ニ因ル	稀ニ單純性潰瘍(慢性)ニ續發	脊髓癆或ハ脊髓空洞症
11) 榮 養 狀 態	不 定	貧血虛弱等	不 定	不 定	強壯ナル人ニ多シ併シ末期ニハ惡液質	不 定
12) 他 部 ノ 疾 患	(-)	肺、肋膜、淋巴腺等結核(±)	他部ノ膿毒(±)	(-)	(-)	痔病多クハ著明
13) 輔 助 診 斷 法	(-)	ツベルクリン反應	ワッセルマン反應 試驗的驅膿療法	(-)	組織的検査	(-)

1% Rivanol 又ハ 1% Chloramin-T. ノ feuchter Umschlag モ可ナリ。Sonnenlichttherapie モ良シ。

vi). Röntgengeschwür = 對シテハ, Geschwür ノ Excision ヲ行ヒ, Haut ノ Transplantation ヲナスヲ可トス。

vii). Neuropathisches Geschwür, Lepra 等 = 對シテハ 適當ナル療法ナシ。

X. Fistel 瘻孔 *Fistula*.

Fistel トハ Gewebe 内ニ生ズル Kanal (管孔) ニシテ einzeln ナルコト多キモ, 時トシテハ multipel (多發) ナリ。Fistel ノ開口部ハ a) Haut 又ハ Schleimhaut ノ一方ニノミ存スルコトト (Fistula incompleta 不全瘻孔), b) 兩方ニ存スルコトトアリ (Fistula completa 完全瘻孔), c) 或ハ multipel ノ Fistel ヲ有スルコトトアリ (Fistula multiplex 多發性瘻孔)。

其 Ursache ニヨリ之ニ次ノ Arten ヲ分ツ。

1). **Angeborene Fistel (先天性瘻孔)。**

a). **Mediale Halsfistel (正中頸瘻)。** Ductus thyreoglossus (甲狀舌管) ノ遺物ニシテ, 前頸部ノ中央ヨリ上方ニアリ。

b). **Laterale Halsfistel (側頸瘻)。** Kiemenspalte (腮裂) ノ遺物ニシテ, M. sternocleidomastoideus (胸鎖乳嘴筋) ノ内縁ニテ Zungenbein ト Unterkieferwinkel (下顎隅) ノ間ニアリ。

c). **Dottergangsfistel (卵黄管瘻)。** Embryonalzeit ニ存セル Dottergang (卵黄管) 即チ胎兒ノ小腸下端ト Dottersack (卵黄囊) ヲ結合セル管ノ遺物ニシテ Nabel ニアル Fistel ナリ。

d). **Urachusfistel (尿管瘻)。** Embryonalzeit ニ胎兒ノ Harnblase ト Allantois (尿囊) トヲ verbinden スルモノ Urachus (尿管) ノ Rest ニシテ, 前者ノ如ク Nabel ニ在リ。

Therapie: Angeborene Fistel ハ operativ ニ全部ヲ exstirpieren セザレバ radikal ニ heilen セズ。烙白金又ハ硝酸銀棒ニテ aetzen スル法アレドモ sicher ナラズ。

Table with multiple columns and rows, containing faint text and possibly diagrams or illustrations. The text is mostly illegible due to fading and low resolution.

2). **Entzündliche Fistel (炎症性瘻孔)**。

其最も多キハ tuberkulöse Fistel ナリ。Syphilis, Aktinomykose ニヨリテモ一時 Fistel ヲ bilden スレドモ、多クハ自然ニ治癒シテ永ク Fistel ヲ残スコトナシ。又 Eiterung ニヨルモノハ何レモ特殊ノ關係ニヨルモノナリ。之ニ就キテハ項ヲ更メテ述ベン。

Tuberkulöse Fistel (結核性瘻孔)。Lymphadenitis tuberculosa, Knochen-tuberkulose, Gelenktuberkulose 等ガ外部ニ durchbrechen シテ屢々 Fistel ヲ遺ス。又 Fistula ani (痔瘻) ノ大部分モ tuberkulös ノモノナリ。又屢々 tuberkulöser Abszess ノ durchbrechen シタル時ニ Fistel ヲ殘ス。

Tuberkulöse Fistel ハ dünn ノ tuberkulöser Eiter ヲ分泌シ、其 Rand 屢々 unterminieren (掘鑿) シ、Granulation schlaff, blass rötlich ナリ。屢々其 Umgebung ニ種々ノ tuberkulöse Veränderung ヲ認ム。時トシテハ Fistel ノミアリテ Sekret モ甚ダ少ク、tuberkulös ノ Zustand 明カナラザルコトアリ。併シ tuberkulöse Fistel ハ一般ニ heilen シ難ク、更ニ二三ノ Fistel ヲ生ズルコトアリ。

Therapie: 10% Silbernitrat-Perubalsam (硝酸銀ペルバルサム), 30% Bismut-Vaselin (ビスマートワゼリン) (Becksche Pasta), 10% Jodoformparaffin (沃度フォルムパラフィン) 等ノ注入法等アルモ sicher ナラザルコト多シ。

Röntgentherapie, Sonnenlichtbehandlung ハ時トシテ効果アリ。

最も sicher ナルハ Fistel ヲ充分ニ spalten シテ, auskratzen シ又ハ aetzen シ、或ハ Fistel 全部ノ Exstirpation ヲ行フニアリ。其他 Fistel 以外ニ Primärherd アル時ハ、之ニ對シテ radikale Behandlung ヲ行ハザルベカラズ。

3). **Fremdkörperfistel (異物性瘻孔)**。

Schrapnellwunde, Schusswunde 等ニ際シ、Fremdkörper ノ残留ニヨリテ Fistel ヲ殘スコトアリ。又 Stichwunde, Quetschwunde 等ニテ竹木ノ先端、硝子片、小石等ガ Wunde 内ニ残留シテ Fistel ヲ作ルコトアリ。

其他 Operation 後ニ Gaze 又ハ Drain (排膿管) ガ体内ニ残りテ Fistel ヲ生ズルコトアリ。又屢々見ラルルハ Nahtmaterial (縫合糸) ニ B. ガ附着

セル爲ニ Fistel ヲ生ジテ治セザルコトアリ (**Nahtfistel 縫合糸瘻孔**)。

Fremdkörperfistel ハ Fremdkörper ニ B. ノ附着セル爲ニ起ルモノニシテ、B. ナキ時ハ Fremdkörper ハ Bindegewebe ニヨリテ abkapseln セラレテ特別ノ Störung ヲ來サズ。Virulenz ノ schwach ナル B. アル時ハ一時 abkapseln セラレ居ルモ、或ル機會ニヨリテ Entzündung ヲ起シ、Fistel ヲ生ズルコトアリ。

Therapie: 縱令 Fremdkörper ニヨリテ Eiterung アルモ、Fremdkörper ヲ去レバ Fistel ハ速ニ heilen ス。

4). **Fistel durch nekrotischen Geweben (壊疽組織ニ因ル瘻孔)**。

Trauma 又ハ Entzündung ノ結果 Knochen, Knorpel, Sehne 等ニ Nekrose ヲ來ス時ハ Fistel ヲ生ジ、nekrotisches Gewebe ノ排出セラレザル間ハ治セズ。併シ之ヲ除去スレバ速ニ治ス。

5). **Narbige Fistel (癭痕性瘻孔)**。

Infizierte Wunde 又ハ eitrige Krankheit ニテ、其 Wundkanal 深キ時ハ Eiterung 永ク heilen セズ。加之 Wundkanal ノ Umgebung ニ Narbengewebe ヲ生ジテ一層 heilen シ難クナル。

Therapie: Eiterkanal アル時ハ成ルベク其外口ヲ開大シテ Eiter ノ排出ヲ良クシ、narbige Fistel ヲ作ラヌヤウニ豫防スルヲ要ス。既ニ narbige Fistel ヲ作りタル時ハ、tuberkulöse Fistel ニ對スルガ如ク、種々ノ藥物ヲ使用シ、或ハ Röntgentherapie ヲ行フモ sicher ナラズ、時トシテハ Sonnenlichtbehandlung, heisse Douche ノ wirksam ナルコトアリ。

Radikal ニハ Fistel ヲ開大シ、Narbengewebe ヲ去リ、Eiter ノ排出ヲ佳良ナラシム。

6). **Fistel nach Durchbruch der Zyste (囊腫ノ破開ニヨル瘻孔)**。

Atherom, Dermoidzyste, Ovarialzyste, Pankreaszyste 等ガ Inzision ニヨリ或ハ spontan ニ durchbrechen シタル後ニ、Fistel ヲ殘シテ長ク heilen セザルコトアリ。多クハ其 Zyste ヲリ夫々特異ノ Inhalt ヲ sezernieren ス。時トシテハ同時ニ Eiterkokken ノ Infektion ヲ kombinieren スルコトアリ。

Therapie: 其 Zystenwand ヲ total = exstirpieren スルヲ要ス。Fistel ダケニ對スル Therapie ナシ。

7). **Fistel nach Durchbruch der sezernierenden Organe** (分泌性臓器類ノ開口ニヨル瘻孔)。

例ヘバ Speicheldrüse, Milchdrüse, Gallenblase, Harnblase 等ノ verletzen セラレタル時ハ、其跡ニ Fistel ヲ殘シ、各 spezifisch ノ Sekret ヲ排出シ、長ク heilen セザルコトアリ、Magenfistel, Darmfistel モ大體此部ニ屬ス。

Therapie: 各 Organe ニヨリテ夫々異リタル Therapie アリ、之ニ就テハ spezielle Chirurgie ヲ参照スベシ。

XI. Subkutanes Emphysem od. Hautemphysem.

皮下氣腫 *Subcutaneus emphysema*.

Aetiologie: Gesicht 又ハ Thorax ノ Trauma ニ際シテ認メラル。

1). **Gesicht** ニ於テハ Trauma ニヨリテ *Higlmoresche Höhle* (上顎竇), *Sinus frontalis* (前額竇), *Processus mastoideus* (乳嘴突起部) 等ノ一部ニ Fraktur ヲ起シ、或ハ Karies ノ爲ニ Knochen ノ一部ニ Defekt ヲ生ズル時ハ、是等ノ腔内ニ入リタル Luft ガ subkutan ニ出デテ Emphysem ヲ起ス。

2). **Thorax** ニ於テハ Kontusion (挫傷) ニヨリテ Rippe ノ subkutane Fraktur ヲ起シテ、Lunge ヲ verletzen シタル爲、或ハ Lunge ノ Stichwunde, Schusswunde ニテ其外口ノ小ナル場合ニ、Lunge ノ Luft ガ Thoraxwand ノ subkutan ニ出デテ *ausgedehnt* ノ Emphysem ヲ起スコトアリ。

Symptome: elastisch weich ノ diffuse Anschwellung ニシテ、Haut normal, schmerzlos ナリ。本症ニ特有ナルコトハ之ヲ drücken スルニ一種特有ナル *schneeballknirschendes Gefühl* (握雪様感) 又ハ *knisterndes Gefühl* (捻髮様感) ヲ呈シ、壓迫ニヨリテ容易ニ退散スルモ、又舊狀ニ復ス。其他大ナルモノハ Perkussion ニヨリ tympanitisch (鼓音) ナリ。

輕度ナルハ einige Tage ニシテ resorbieren セラレテ治スルモ、高度ナル

ハ次第ニ全身ニ擴延シ、時トシテハ Hals ヨリ Mediastinum ニ入リテ Atmung 及 Zirkulation ノ Störung ヲ來シ、生命ニ危険ナルコトアリ。

Diagnose: 多クハ leicht。併シ同時ニ subkutane Blutung ヲ伴フ時ハ多少診斷困難ナルコトアリ。

Therapie: leicht ナルハ原創口部ニ對シテ外部ヨリ Druckverband ヲ行フ。然ラザレバ Operation ニヨリテ該部ヲ開キ Luft ノ出ヅル場所ニ Naht ヲ行ヒテ schliessen シ或ハ Tampon ヲ以テ壓迫ス。

其他 Emphysem ノ deutlich ナル部位ニ Inzision ヲ行フテ Luft ヲ排出セシム。

XII. Oedema cutis. 皮膚水 或浮腫 *Cutaneus oedema*.

A). **Allgemeines Oedem:** 屢々 Nephritis, Herzklappenfehler, marantische Krankheit (消耗性疾患) 等ニヨリテ起ル (内科書参照)。

又 **Myxoedem** (粘液水腫) ナルモノアリ。Struma ノ全別出又ハ Schilddrüsenkrankheit ニ因スルモノニシテ、之ハ他ノ Oedem ト異リ、kutan 及 subkutan ノ Gewebe ニ oedematöse Flüssigkeit ノ外ニ Schleim ヲ含有スルモノニシテ、之ガ爲ニ Fingerdruck ヲ加フルモ普通ノ Oedem ノ如クニ壓痕ヲ留メズ。

B). **Lokales Oedem:** 種々ノ原因ニ因ル。

1). **Entzündliches Oedem** (炎症性浮腫)。各種ノ原因ニ因ル。

Akute Entzündungen ニ際シテ、該部ニ Hyperaemie アリ、甚シキ時ハ Stauung ヲ起シ、Körpersaft ガ Gefäss ノ外ニ出デテ Oedem ヲ起ス。此際ニハ Fingerdruck ニヨリテ容易ニ vertiefen (陷凹) スルニヨリテ明カナリ。

2). **Stauungsoedem** (滯血性浮腫)。Extremitäten 又ハ Rumpf ノ大ナル V. ガ Thrombose (血栓) 又ハ Geschwulst ニヨリ、或ハ Unterbindung (結紮) 等ニヨリテ閉塞セラレル時ハ、其 Peripherie ニ高度ノ Stauung ヲ起シ、Oedem ヲ生ズルニ至ル。Bauch ニ於テハ Aszites (腹水) ヲ生ズ。Extremitäten

等ニ Stauungsoedem 持續スル時ハ次第ニ Bindegewebe ノ増殖ヲ來シ Elephantiasis トナル。

3). **Lymphatisches Oedem (淋巴管性浮腫)**。Elephantiasis ノ條下ニ述べタルガ如ク, Lymphstamm ノ Störung アル時ハ, Oedem ヲ來シ, 次第ニ Bindegewebe ノ Wucherung ヲ起ス。

4). **Neuropathisches Oedem (神經性浮腫)**。主トシテ Hysterie 患者ニ一時的ニ發生スル Oedem ヲ云フ。蓋シ Gefäss ノ sympathische N. ノ一時的障礙ニヨルモノナリ。

Quinckesches Oedem (クインケ氏浮腫) ハ一種ノ Gefäss-N. ノ Störung ニヨルモノト稱セラルルモノニシテ, Gesicht, Rumpf, Extremitäten, selten ニハ Schleimhaut ニ一時的ニ Oedem ヲ生ジ, Rötung, Schmerz 等ナク, 多クハ數時間ニシテ消散ス。

5). 其他原因不明ナル一種ノ Oedem アリ, 屢々輕度ノ Fieber ヲ伴ヒテ, Körper ノ各所ニ leicht ノ lokalisiertes Oedem ヲ生ズ, 多クハ附近ノ Lymphdrüse ノ Anschwellung ヲ伴フ。einige Wochen ニシテ Oedem 消散スルコト多キモ, 該部ニ多少ノ Verdickung ヲ殘スコトアリ。予ハ本症ノ 2 例ヲ實驗セルモ, 其本態等不明ナリト。

6). **Oedema ex vacuo (空腔性水腫)**。Körper ノ Gewebe 内ニ Defekt アリテ Totenraum (腔腔) アリテ該部ニ Körpersaft (體液) ノ stauen スルモノヲ云フ。

XIII. Geschwülste u. Zyste der Haut u. des Subkutis 皮膚及皮下ノ腫瘍及囊腫

之ニハ數種ノモノヲ發生ス。

1). **Fibrom (纖維腫)**。之ニ a) Hartes Fibrom (硬性纖維腫) ト b) Weiches Fibrom (軟性纖維腫) トアリ, 後者ハ屢々 multipel ニ發生ス, 之ヲ *Recklinghausensche Krankheit (レックリングハウゼン氏病)* ト云フ。

其他 Haut ニハ屢々 **Narbenkeloid (癭痕ケロイド)** ヲ發生ス。

2). **Myxom (粘液腫)**。rein ノ Myxom ハ äusserst selten ニシテ, 多クハ Mischgeschwulst ノ一部分トシテ認メラルルノミ。

3). **Lipom (脂肪腫)**。relativ häufig ニ認メラル, 之ニモ a) Hartes Lipom ト b) Weiches Lipom ノ二種アリ, 多クハ einzeln ニ發生スルモ, 時トシテハ二三發生スルコトアリ, 其 Grösse モ verschieden ニシテ時トシテハ巨大ナルモノヲ見ルコトアリ。

4). **Osteom (骨腫)**。Mischgeschwulst ノ一成分トシテ認メラルルコトアリ。又 sehr selten ニ subkutan ニ Osteom ノ發生シタル報告アルノミ。

5). **Chondrom (軟骨腫)**。Mischgeschwulst 中ニハ Osteom ヲヨリモ häufig ニ認メラル。

6). **Myom (筋腫)**。sehr selten ニ Haarmuskel (Mm. arrectores pilorum 立毛筋) ヲヨリ Myom ヲ發生スルコトアリ。kleinfingerspitzgross 以下ノ derbes Knötchen ニシテ Fibrom ニ酷似ス。併シ之ハ Haut ト Zusammenhang アリ, sichere Diagnose ハ histologische Untersuchung ニヨラザルベカラズ。

7). **Neurom (神經腫)**。Subkutis ニハ屢々 Neurofibrom (神經纖維腫) ヲ認ムルモ, echtes Neurom ハ äusserst selten ナリ。

8). **Gliom (グリオーム)**。selten ニ malignes Gliom ノ Metastase ヲ認ムルコトアリ, 但シ此際ニハ Sarkom, Karzinom ノ Metastase ト Differentierung schwer ナルコトアリ。

9). **Angiom (血管腫)**。a) Angioma simplex (單純性血管腫), b) Angioma cavernosum (海綿狀血管腫), c) Angioma racemosum (蔓狀血管腫) ガ kutan 又ハ subkutan ニ發生ス。kutan ノ Angioma simplex ハ Naevus vasculosa (血管性母斑) トモ稱ス。

10). **Lymphangiom (淋巴管腫)**。Angiom ニ比シテ selten ナルガ, 時トシテ a) Lymphangioma simplex (單純性淋巴管腫), b) Lymphangioma cavernosum (海綿狀淋巴管腫) ヲ認ム, c) Lymphangioma cysticum (囊狀淋巴管腫) ハ sehr selten ナリ。

11). **Endotheliom (内被細胞腫)**。Lymphangiendotheliom (淋巴内被細胞腫) ハ屢々 Mischgeschwulst ノ一成分トシテ認メラル, Haemangiendotheliom (血管内被細胞腫) ハ äusserst selten ナリ。

12). **Papillom** (乳嘴腫)。屢々 Haut = 認メラル, sehr selten ニハ Hawthorn (皮角) フ認ムルコトアリ。

13). **Adenom** (腺腫)。之ハ drüsige Organe ニハ häufig = 發生スルモノナレドモ, Haut ニハ sehr selten ニシテ, Talgdrüse (皮脂腺) ヨリ發生スルコトアルノミ, 之ハ derb ノ kleines Knötchen トシテ生ジ, klinische Diagnose ハ schwer ナリ。

14). **Sarkom** (肉腫)。Haut = 發生スル typisch ノ Sarkom ハ Melanosarkom (黒色肉腫) ナリ, 其他 subkutan = Rundzellensarkom (圓形細胞肉腫) Spindelzellensarkom (紡錘細胞肉腫) フ發生スルコトアルモ relativ selten ナリ。又 Riesenzellensarkom (巨大細胞肉腫) = 至リテハ äusserst selten ナリ。Sarkom ノ末期ニ於テハ自潰シテ aufgeworfen (臙化) セル Geschwür フ bilden スルコトアリ。

時トシテハ kutan 又ハ subkutan = Sarkom ノ haematogene Metastase (血行性轉移) フ認ムルコトアリ, primäre Geschwulst 不明ナル時ハ, 他ノ Geschwülste ト區別困難ナルコトアリ。

15). **Karzinom** (癌腫)。Haut = 原發スル Karzinom ハ每常 a) Kankroid (表皮癌) ニシテ, i) Platter Hautkrebs od. ulzeröses Karzinom (扁平皮膚癌或潰瘍性癌) トシテ來ルコト多ク, 時トシテハ ii) Papillärer Hautkrebs od. tumorbildendes Karzinom (乳嘴腫性癌或腫瘤性癌), selten ニハ iii) Tiefgreifendes Karzinom (滲潤性癌) トシテ來ル。

b). Karzinoma simplex (單純性癌), c) Adenokarzinom (腺癌), d) Gallertkrebs u. Schleimkrebs (膠樣癌及粘液癌) ハ Haut ニハ primär = 發生スルコトナク, Metastase 又ハ infiltratives Wachstum (滲潤性成長) ニヨリテ來ルノミ。

16). **Mischgeschwulst** (混合腫)。subkutan ノ Mischgeschwulst ハ Parotisgend (耳下腺部), sehr selten ニハ Lendenggend 等ニ發生スルコトアリ。

17). **Atherom** (粉瘤)。häufig = 認メラル。身體ノ各所ニ發生スルモ,

Handteller 及 Fusssohle ニハ發生セズ, 是等ノ部位ニハ Talgdrüse ナキヲ以テナリ。

18). **Dermoidzyste** (皮膚様囊腫)。Atherom = 類スルモノナルガ, angeboren = 發生スルモノニシテ Gesicht = 最モ多ク, 每常一定ノ Lokalisation = 發生ス。

19). **Traumatische Epithelzyste** (外傷性上皮囊腫)。Finger, selten = Zehe = 發生ス, Verletzung ニヨリテ Epithelchen ガ subkutan = einkeilen セル爲ニ生ズルモノナリ。

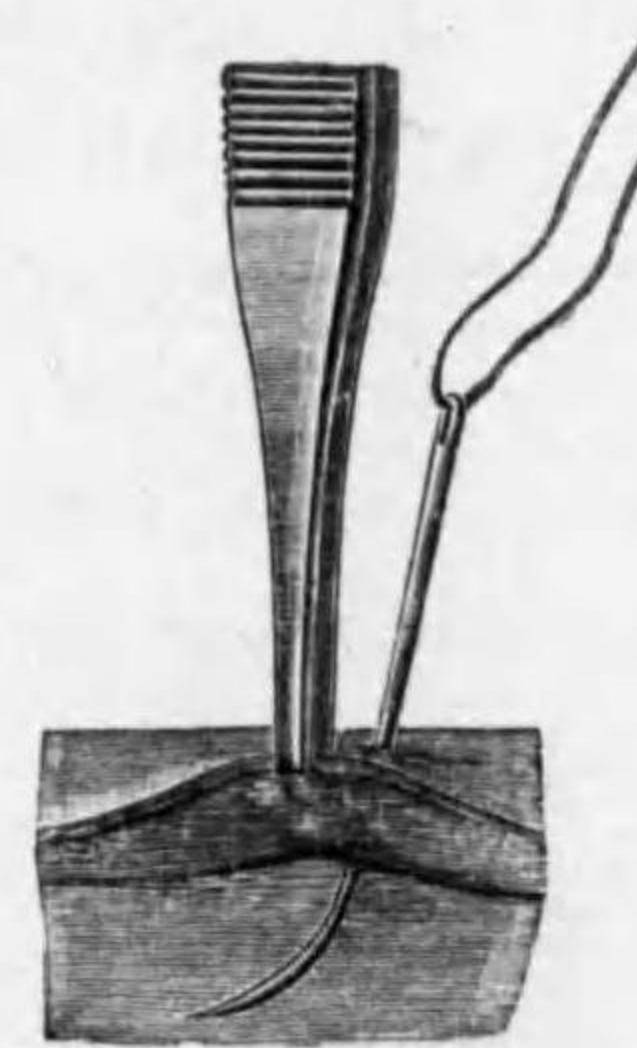
20). **Echinokokkus** (胞蟲囊腫) 及 Cysticercus cellulosae (囊蟲腫)。何レモ sehr selten ノモノニシテ, Parasiten ニヨリテ發生スルモノナリ。

(以上各 Geschwülste 及 Zyste = 就キテハ Allg. Teil 參照)。

XVI. Operationen der Haut 皮膚ノ手術 Operations by skin.

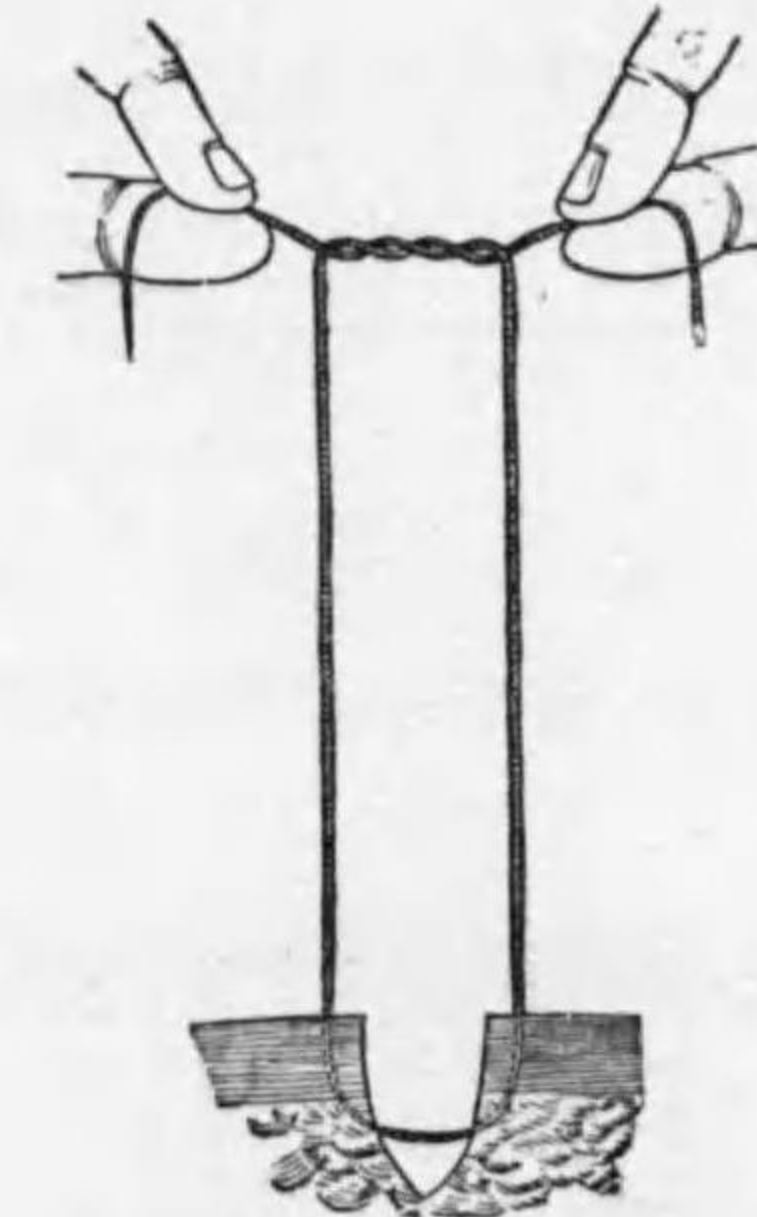
1). Hautnaht (皮膚縫合法)。

第七十二圖



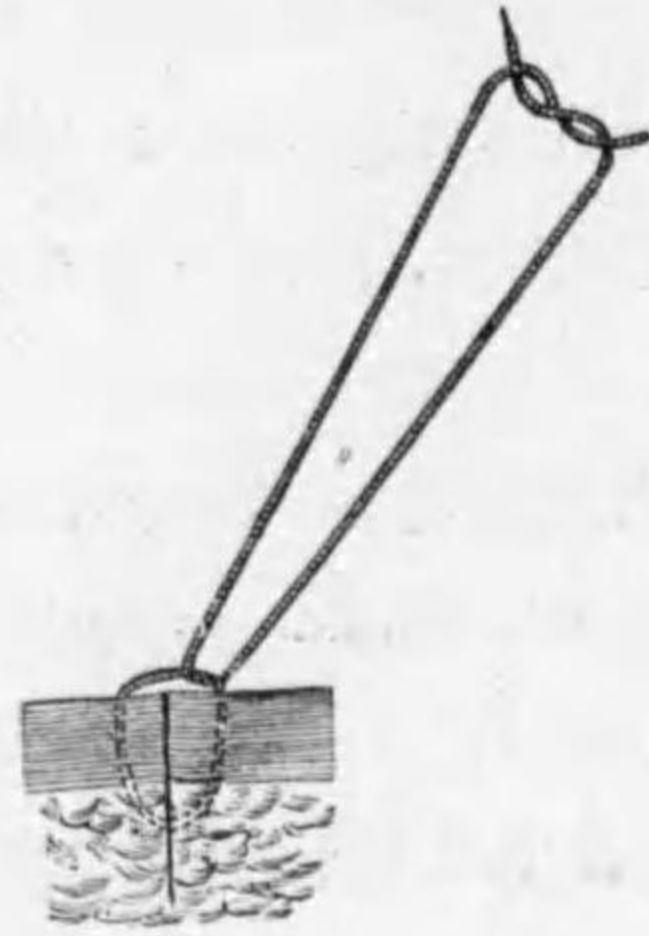
皮膚縫合法

第七十三圖



同上。正シキ結び方

第七十四圖



同上

第七十九圖



減張縫合法

第八十一圖



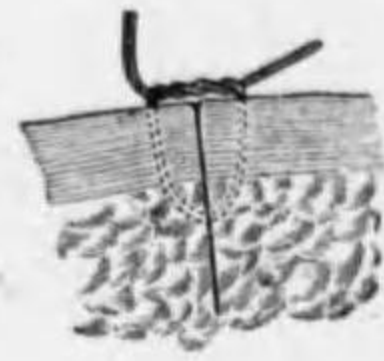
進行褥被縫合法

第八十三圖



進行埋没縫合法

第七十五圖



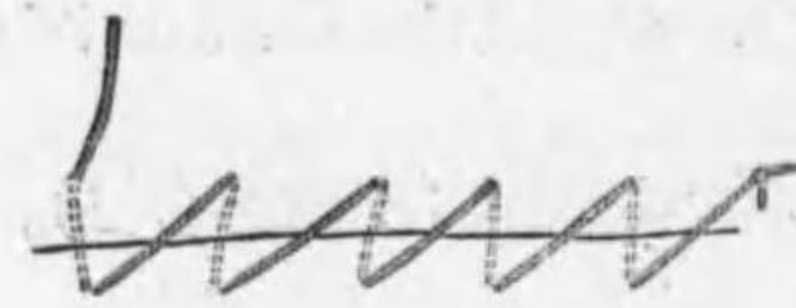
外科結ビ

第七十六圖 第七十七圖 第七十八圖



女結ビ 男結ビ 外科結ビ

第八十圖



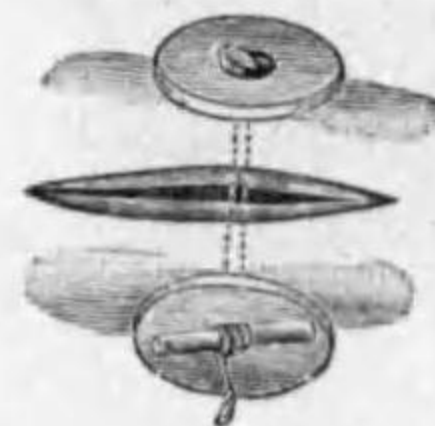
進行舌狀縫合法

第八十二圖



進行舌狀縫合法

第八十四圖



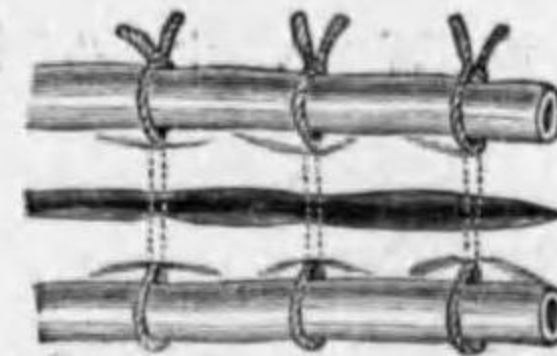
平板縫合法

普通 Hautnaht ニハ Seidenfaden (絹絲) ヲ用フ。時トシテ Catgut (腸線), Silberdraht (銀線) ヲ用フルコトアリ。Naht ヲ行フニハ Nadel 及 Nadelhalter (持針器) 或ハ Hautnadel (皮膚縫合針) 及 Hakenpinzette (鉤鑷子) ヲ要ス。

a). Knopfnah (結節縫合法)。本法ハ最モ屢々用キラル。Hautrand ノ相對スル兩側ニ 2—3 mm ヲ距テテ Nadel ニヨリテ絲 (通常 3 號半又ハ 4 號絲) ヲ通ジ, chirurgische Knoten (外科的結節) ヲ作ル。

Chirurgische Knoten ハ Faden ヲ 2 回交過セシメテ, 第一結節ヲ作り, 皮膚ヲ adaptieren (接合) セシメ, 助手ヲシテ Hautrand ヲ正シク接合セシメツツ適度ニ結合シ, 之ヲ一側ニ牽引

第八十五圖



圓柱縫合法

第八十六圖



網絡縫合法

シテ側方ニ移シ (Fig. 172—Fig. 178), 以テ結合ノ縫合部ニアルヲ避ケシム。次デ第二ノ單一ナル結節ヲ作ル。此際ニハ Schifferknoten (船頭結ビ) 或ハ männlicher Knoten (男結ビ) ヲ行ヒ, weiblicher Knoten (女結ビ) ナラザルヲ可トス (Fig. 176, 177, 178)。

以上ノ Knopfnah ハ約 1—1.5 cm 宛ノ距離ニテ行ヒ, 縫合後 Naht ヲ結節ノ少シク上部ヨリ剪裁シ, aseptischer Verband ヲ行フ。而シテ此 Naht ハ 6—9 Tage ノ後, Faden ノ斷端ヲ Pinzette ニテ挟ミ上ゲ Haut 中ニアル weisslich ノ部ヲ剪ミテ entfaden ス。尙ホ Hautnaht ヲ行フニ大ナル手縫針又ハ有孔針ヲ用フルコトモアリ。

b). Entspannungsnaht (減張縫合法)。Fig. 179 ニ示ス如ク, Knopfnah ニ際シテ其 Spannung ヲ避クル爲ニ太キ Naht (第 4 號或第 5 號) ヲ用キ, Wundrand ヲリ 1—2 cm 離レタル所ニテ Knopfnah ヲ行フ法ヲ云フ。

c). Fortlaufende Naht (連續縫合法)。之ニハ次ノ種類アリ。

- i). Fortlaufende Kürschuernaht (連續縫合或革匠縫合法) (Fig. 180)
- ii). Matratzennaht (褥被縫合法) (Fig. 181)
- iii). Fortlaufende Zapfennaht (進行舌狀縫合法) (Fig. 182)
- iv). Fortlaufende versenkte Naht. (Halsted'sche od. amerikanische Naht) (進行埋没縫合法) (Fig. 183) 等。

d). **Spezielle Naht (特殊縫合法)**。之ハ Spannung ノ甚シキ場合ニ用キラルモノニシテ、其主ナルハ、

- i). Zapfennaht (圓柱縫合法) (Fig. 185)
- ii). Plattennaht (平板縫合法) (Fig. 184)
- iii). Gazestückennaht (ガーゼ片縫合法)
- iv). Umschlungene Naht (纏絡縫合法) (Fig. 186)
- v). Schnürnaht (括約縫合法) (Fig. 188)

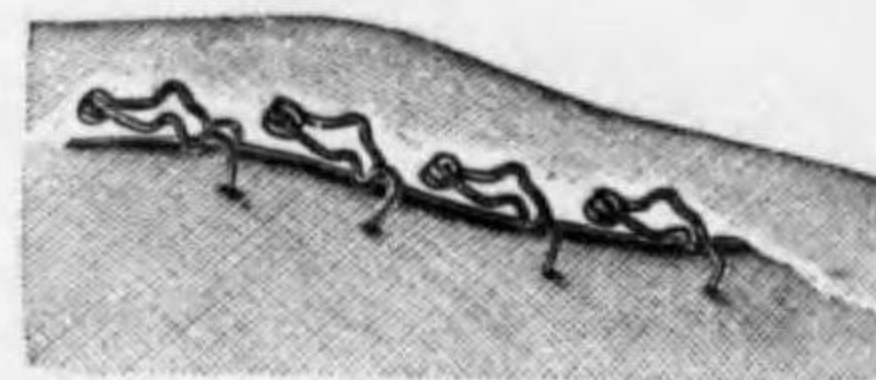
e). **Wundklemme (縫創鉗)**。之ハ金屬製ノ小縫創鉗ヲ用フルニアリ。之ニ *Herff (ヘルフ氏)*, *Michel (ミヘル氏)* ノ二式アリ (Fig. 187, 188)。併シ本邦ニテハ餘リ之ヲ使用セズ。

第百八十七圖



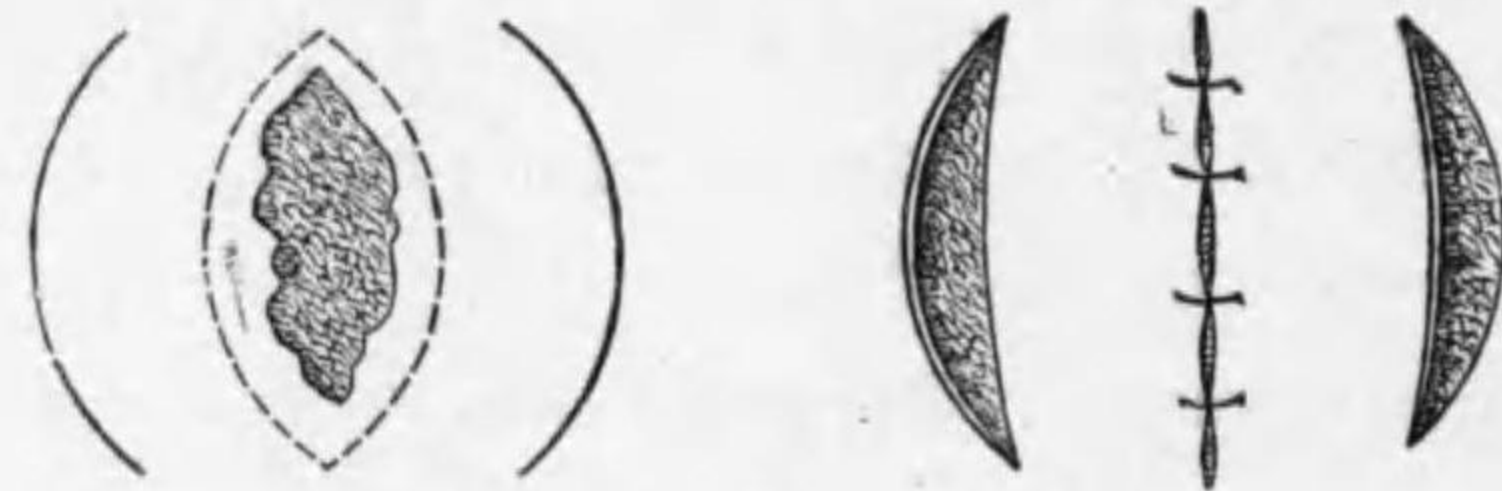
ミヘル氏縫合器操作器

第百八十八圖



ヘルフ氏縫合器

第百八十九圖



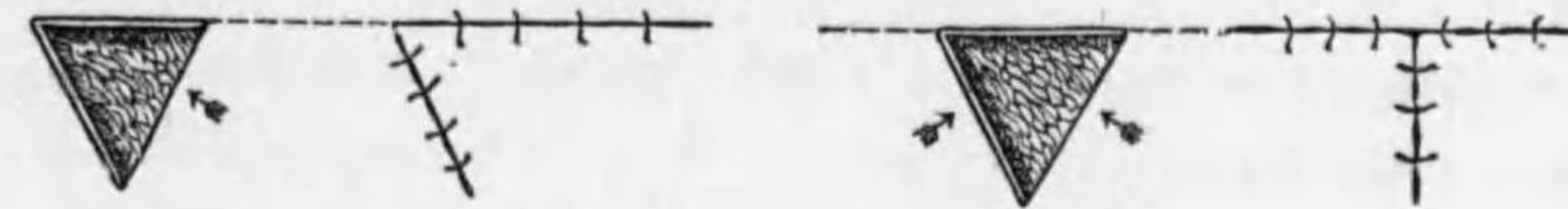
減張縫合法

第百九十圖



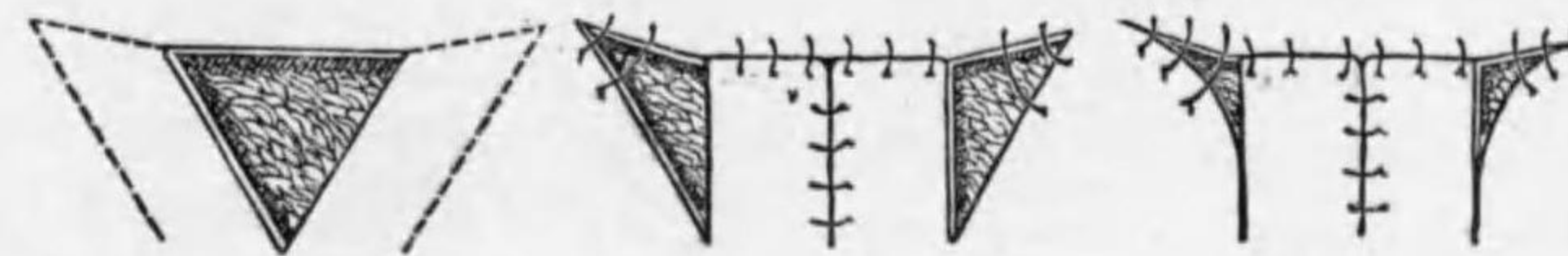
減張縫合法

第百九十一圖



轉換移植法

第百九十二圖



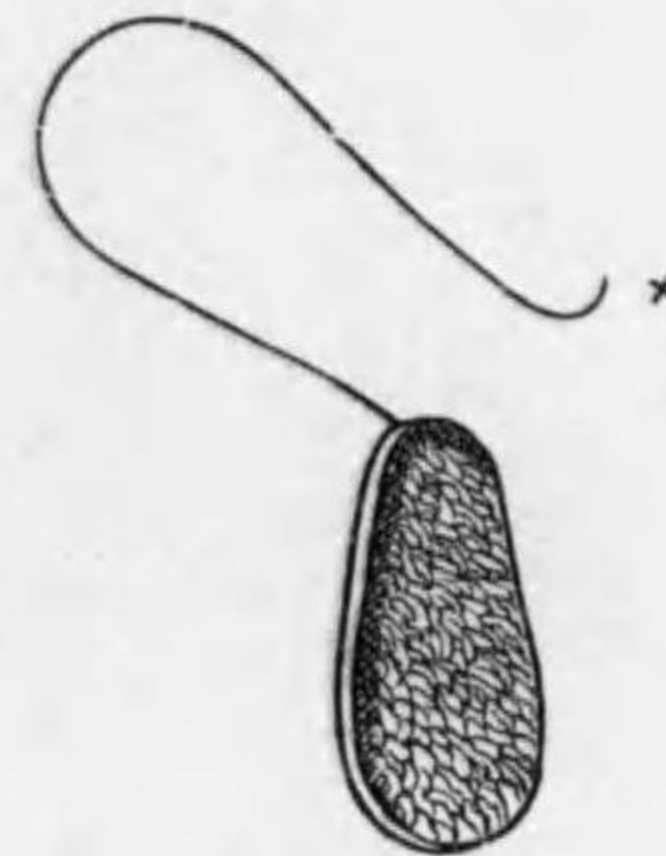
同上

2). **Plastische Operationen der Haut (皮膚成形手術)**。

Haut ノ Defekt ヲ補充シ、或ハ Haut ノ Kontraktur (攣縮), Deformität (畸形) ヲ矯正スル爲ニ行ハルル方法ナリ。Hautplastik ヲ行フニハ次ノ各項ヲ注意スベシ。

- i). Desinfektion ヲ streng ニ行フベシ。然ラザレバ Eiterung ヲ起シ Heilung ヲ妨グ。
- ii). Gestielter Hautlappen (有莖皮膚瓣) ヲ作ルニハ、該部ノ Gefäßversorgung (血管支配) ヲヨク注意スベシ。然ラザレバ Haut ノ Nekrose ヲ起シテ目的ヲ達シ難キコトアリ。又 Stiel ハ餘リ狭クスベカラズ。

第百九十三圖



第百九十四圖



轉換移植法

iii). Hautnaht = 際シ、Spannung 強キ=過グル時ハ該部ノ Ernährung ヲ害シ、Nekrose = 陥ラシムルコトアリ。

iv). Hautlappen ヲ作ルニハ Defekt ヨリモ遙カニ大キク切取スベシ、之レ Hautlappen ハ切除後著シク schrumpfen スルヲ以テナリ。

主ナル Plastische Operation ヲ述ブレバ、

a). **Einfache Hautnaht** (*Celsussche Methode*) (單純縫合法)。Haut = Defekt アル時ニ之ヲ schliessen スル爲、或ハ Geschwulst 又ハ Narbe ヲ Haut ト共ニ resezieren シタル後ニ行ハル Method ナリ。

Wundrand glatt ナラザル場合又ハ veraltet ノ場合ニハ Wundrand ヲ少シク切除シテ Naht ヲ行フ。然ラザル場合ニハ其儘 Naht ヲ行フ。

Wundrand 餘リ離レ居ル時ニハ Haut ヲ下層ヨリ充分ニ剝離シテ縫合スベシ(此 Ablösung ヲ充分ニ行フ程 Haut ノ移動性ヲ増ス)。或ハ Wundrand ヨリ少シク離レタル所ニ **Entspannungsschnitt** (減張切開) ヲ行フベシ (Fig. 189)。

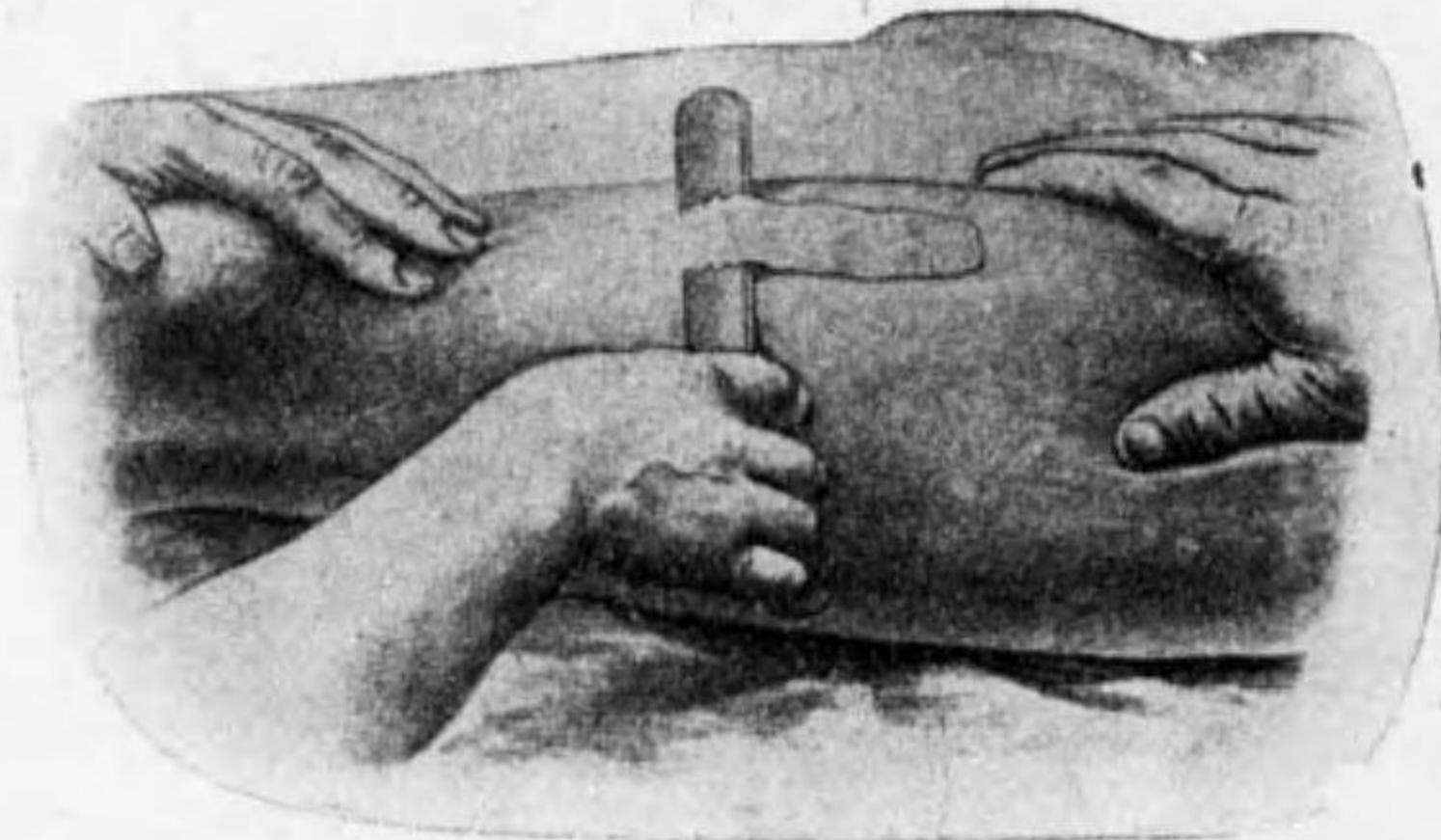
b). **Diffenbachsche Methode** (*ディフエンバッハ氏法*)。Hautdefekt ノ一側ニ Hautschnitt ヲ行フテ適當ナル Hautlappen ヲ作り、下層ヨリ ablösen シ、Defekt ノ部ニ移動セシメテ Hautnaht ヲ行フ。時トシテハ此 Hautlappen ヲ兩側ヨリ持來スコトアリ。Hautlappen ヲ作りタ

第百九十五圖



有莖皮瓣移植法 (イタリー法)

第百九十六圖



チールシュ氏植皮法

ル爲ニ生ジタル新ラシキ Defekt ハ前述ノ單純縫合法ニヨルカ、或ハ Granulation ヲ生ゼシメタル後 sekundärニ heilen セシム (Fig. 191, 192)。

c). **Indische Methode** (印度法或轉置移植法)。特ニ Rhinoplastik (造鼻術)ニ於テ應用セラルルモノナリ。Stirn ヨリ Haut 時トシテハ其 Periost ヲ共ニ ablösen (遊離) シテ、鼻部ニ轉置シテ Hautnaht ヲ行フ (Fig. 193, 194)。

d). **Umklappungsmethode** (皮瓣翻轉法)。例ヘバ Wange ノ Defekt ヲ補充スル爲ニ Halsteil 等ヨリ Hautlappen ヲ作り、恰カモ扉戸ノ如クニ Defekt ノアル上ニ翻轉シ、其ノ äussere Hautfläche ハ Mundhöhleニ向ハシメ、Hautlappen ノ裏面ナル frische Wunde ハ他ノ Hautlappen 又ハ Hauttransplantationニテ被フ。

e). **Italienische Methode** (イタリー法或有莖皮瓣ニヨル移植法)。例ヘバ Nase ノ Defekt ヲ補フニ Fig. 195 ノ如クニ Oberarm ヨリ gestielter Hautlappen ヲ作りテ Defekt ノ部ニ縫合シ、Oberarm ヲ約 2 Wochen 固定シ、Haut ノ癒合ヲ待チテ、Stiel ヲ切斷ス (Fig. 195)。

3). Hauttransplantation (植皮術)。

本法ハ屢々行ハルルモノニシテ、之ニ 2 Methoden アリ。

a). **Thiersche Methode** (チールシュ氏法)。Hautdefekt ノ跡ニ Granulationsgewebe ノ發生シタル後ニ行フ。多クハ Oberschenkel ノ前側ヲ消毒シタル後植皮刀ヲ以テ極メテ薄ク Epidermis ノミヲ剝切シテ Granulationsgewebe ノ上ニ transplantieren ス。

此 Granulationsfläche ハ Löffel (銳匙) ヲ以テ一度 auskratzen (搔爬) シタル後、壓迫止血シテ移植スルコトモアレドモ、之ヲ行フコトナクシテ移植スルモ可ナリ。移植後ハ有窓ノ護膜布又ハ消毒オリーブ油ヲ浸シタル Gaze ヲ敷キテ、其上ニ Verband ヲ行フ。Verbandwechsel ハ 4-5 日後ニ行フ、或ハ Transplantation ノ後ニ offene Behandlung ヲ行フコトモアリ。

b). **Krausche Methode** (クラウゼ氏法)。本法ハ Granulationsgewebe ヲ生ジタル Wundeニモ Granulationsgewebe ナキ frische Wundeニモ行ハル。

Oberschenkel 其他ヨリ Hautschicht (Fettgewebe ヲ充分ニ除去ス) ヲ切除シ、Defekt ノ上ニ置キテ Umgebung ト Hautnaht ヲ行フテ之ヲ保持ス。其他ノ處置ハ前者ト同様ナリ。

其他二三ノ移植法アルモ主トシテ行ハルルハ前二者ナリ。尙 Transplantationニハ

- i). Heterotransplantation (異種移植法) (他種動物ヨリ移植スル法)。
 - ii). Homotransplantation (同種移植法) (同種動物間ニテ他ノモノヨリ移植スル法)。
 - iii). Autotransplantation (自家移植法) (同一者ノ他部ヨリ移植スル法)。
- ノ 3 Arten アルガ、Autotransplantation ハ每常成功スルモ、Heterotransplantation ハ每常效果ナク、Homotransplantation ハ時トシテ效果アリ。

VIII. Abschnitt.

Gefäss-Chirurgie 血管外科

I. Haemorrhagie od. Blutung 出血 Haemorrhagie.

Blutung ハ之ヲ大別シテ次ノ 2 Arten トス。

A). Traumatische Blutung (外傷性出血)。

1). Äussere Blutung od. offene Blutung (外出血或開放性出血) (Wunde ノ條下参照)。

2). Innere Blutung od. subkutane Blutung (内出血或皮下出血)。

(Quetschung ノ條下参照)。

B). Pathologische Blutung (病的出血)。

1). Haemorrhagia per diapedesin (濾出性出血)。

a). Kapillaren 或ハ kleine V. ノ Blutstauung 甚シキ爲ニ bluten スルモノ、例ヘバ Stauungsleber, Stauungslunge, akute Pneumonie, akute Entzündungen, Menstruation 等。

b). Gefässendothelzellen ノ Degeneration ニヨルモノ。例ヘバ Antypirin, Schlangengift ノ Vergiftung 或ハ Pest, Typhus abdominalis, Cholera 等ノ akute Infektionskrankheiten ニヨル場合。

c). Blutkrankheit ニテ Blut ノ性狀ガ濾出シ易クナリタルモノ。例ヘバ Haemophilie (血友病), Purpura (紫斑病), Skorbut (壞血病) 等。

2). Haemorrhagia per rhexin (破綻性出血)。

Aneurysma (動脈瘤) ニ於テ, Gefässwand ガ侵サレ内壓ニ耐ヘズシテ bluten スルモノ。

3). Haemorrhagia per diobrosin (侵蝕性出血)。

Entzündung, Geschwülste 等ニヨリ Gefässwand ガ外部ヨリ侵サレテ bluten スルモノ, Magengeschwür, Darmgeschwür ノ Blutung モ之ニ屬ス。

Blutung ハ其 Lokalisation 及其他ノ關係ニヨリテ種々特殊ノ Nomenkulatur (名稱) アリ。即チ

i). Kephaloheatom od. Kopfblutgeschwulst (頭蓋血腫)。頭部ニ頻發スル血腫ヲ云フ。

ii). Apoplexie od. Schlagfluss (卒中或腦溢血)。腦實質内ノ出血。

iii). Haemothorax (血胸)。胸腔内ノ出血。

iv). Haemarthros (關節血腫)。關節内ノ出血。

v). Epistaxis (衄血)。鼻出血。

vi). Haemoptoe (咯血)。肺ヨリノ血液咯出。

vii). Haematomesis (吐血)。胃ヨリノ血液吐出。

viii). Melaena (下血)。腸ヨリノ出血。

ix). Okkulte Blutung (潛血)。胃腸等ヨリノ出血ニシテ, 糞便検査ニテ證明セラルルモノ。

x). Haematurie (血尿)。尿道ヨリノ排尿 (Haemoglobinurie ハ血液中ノ血色素ノミガ尿中ニ出ヅルモノヲ云フ)。

xi). Menorrhagie (子宮出血)。子宮ノ病的出血。

xii). Menses od. Menstruation (月經)。子宮ノ生理的出血等。

Symptome u. Prognose:

A). Lokale Symptome: 其 Lokalisation ニヨリテ異リ。

1). Äussere Blutung od. offene Blutung (外出血或開放出血)。

2). Innere Blutung od. subkutane Blutung (内出血或皮下出血) トニ分ツ。是等ノ出血ニ就テハ, Wunde 及 Quetschung ノ條下ヲ参照ズベシ。

B). Allgemeine Symptome: Blutung 少ナケレバ特別ノ Symptome ヲ呈セズ。

Blutung 多キ時ハ akute Anaemie (急性貧血) ノ Symptome ヲ呈ス。即チ Haut 及 Schleimhaut blass トナリ, Puls klein frequent, Atmung flach frequent, Kopfschmerz, Schwindel, Funkenschen (眼華閃發), Ohrensausen, (耳鳴), Angstgefühl (恐怖感), Nausea, Erbrechen 等アリ。更ニ進メバ

Ohnmacht (失神), Dyspnoe (呼吸困難), Pupillendilatation (瞳孔散大), Harn 及 Kot ノ unwillkürliche Entleerung (失禁), Krampf (痙攣) 等ヲ起シ, 遂ニハ sterben ス。一般ニ Blutung ガ全身ノ Blut ノ三分ノ一以上ニ及ブ時ハ Leben ニ危険ナリト。小兒, 老人, 衰弱者ニ於テハ遙ニ少量ノ Blutung ニテモ危険ナリ。

Perikardium, Gehirn ニ Blutung アル時ハ, 其 Menge 大ナラザルモ, 是等ノ Druck ニヨリテ sterben セシム。

Therapie: Blutung ノ Aetiologie 等ニヨリテ異ルモ, Blutung アル時ハ先ヅ **Blutstillung (止血法)** ヲ行フヲ要シ, Blutung 大ナル時ハ之ガ **Blutersetzung (補血法)** ヲ行ハザルベカラズ。

第一 Blutstillung (止血法)。

A). **Vorläufige Blutstillung (一時的止血法)。** 所謂應急的處置トシテ一時 Blutung ヲ止ムル法ナリ。從ツテ此際ニハ必ズシモ Desinfektion ヲ顧慮スル要ナシ。併シ一時ノ急ヲ救ヒタル後ニハ成ルベク速ニ aseptische Blutstillung 即チ dauernde Blutstillung ニ改ムルヲ要ス。vorläufige Blutstillung ノ主ナルモノハ,



血 帶

1). **Druckmethode (壓迫法)。** 其場ニ持合セタル手布, 手拭, 紙等ヲ厚クシテ Wundfläche ニ當テ手拭, 帶等ヲ以テ其上ヨリ強ク umschüüren (緊縛) ス。grosse Gefässe ノ Verletzung ナラザレバ之ニヨリテ Blutstillung ヲナシ得ベシ。其他 Wundhöhle ノ深キ時, 又ハ Nasenhöhle, Uterus 等ニ於テハ綿又ハ布片等ヲ腔内ニ強ク tamponieren シテ Blutstillung ヲ圖ル (**Tampnade 栓塞法**)。

2). **Umschnürung des Stammes (幹部緊縛法)。** Extremitäten ノ grosse Gefässe ガ verletzen セラレテ grosse Blutung アル場合ニハ, 其 Stamm ニ於テ **Esmarch'sches Gummirohr (エスマ**

第 百 九 十 七 圖

ルヒ氏護膜管) ノ類ヲ以テ強ク緊縛シ, Blutzirkulation ヲ hemmen シテ止血ヲ圖ル法ナリ。若シ是等ノ Material ナキ時ハ帶, 太キ紐, 繩等ヲ以テ強ク umschüüren スルモ可ナリ。尙ホ此際 Umschnürungsbinde ノ下ニ棒ヲ通シ, Umschnürung ノ後ニ充分ニ之ヲ振ル時ハ一層 Umschnürung ヲ強クナスコトヲ得ベシ。或ハ Hauptarterien ノ上ニ手布, 又ハ手拭等ヲ丸メテ Kissen (枕) トシテ當テ其上ヲ強ク umschüüren スルモ可ナリ。

下腹部又ハ下肢ノ大出血ニ際シ腹部ヲ護膜管ニテ強ク緊縛スルコトアリ, 之ヲ **Momburg'sche Methode (モンブルヒ氏法)** ト稱ス (Fig. 197)。

以上ノ vorläufige Blutstillung ハ Verletzung ニ於テ行ハルルノミナラズ, Operation ニ際シテ

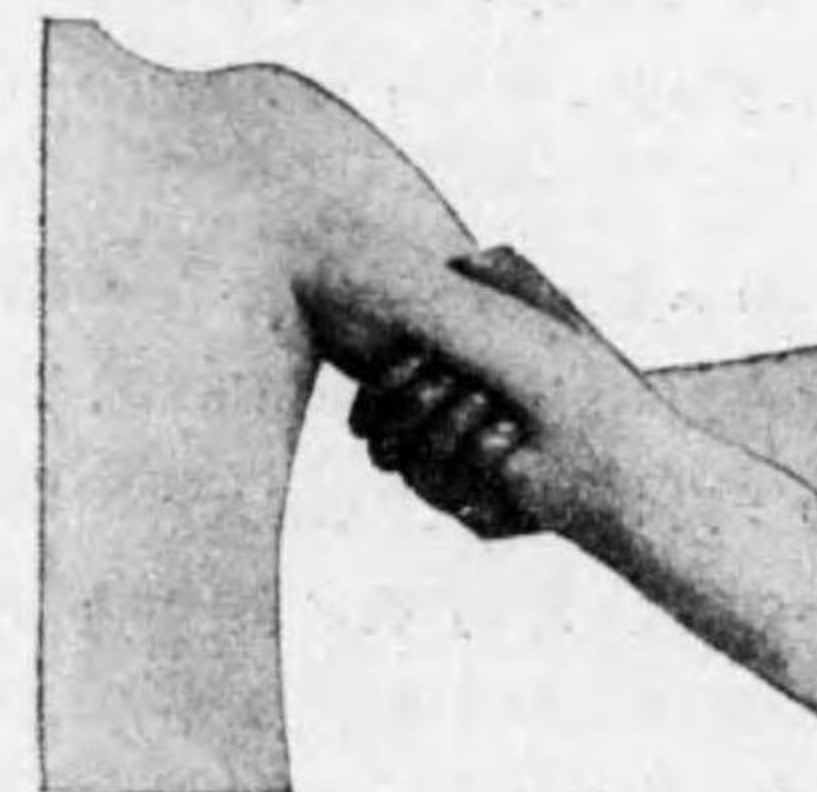
第 百 九 十 八 圖



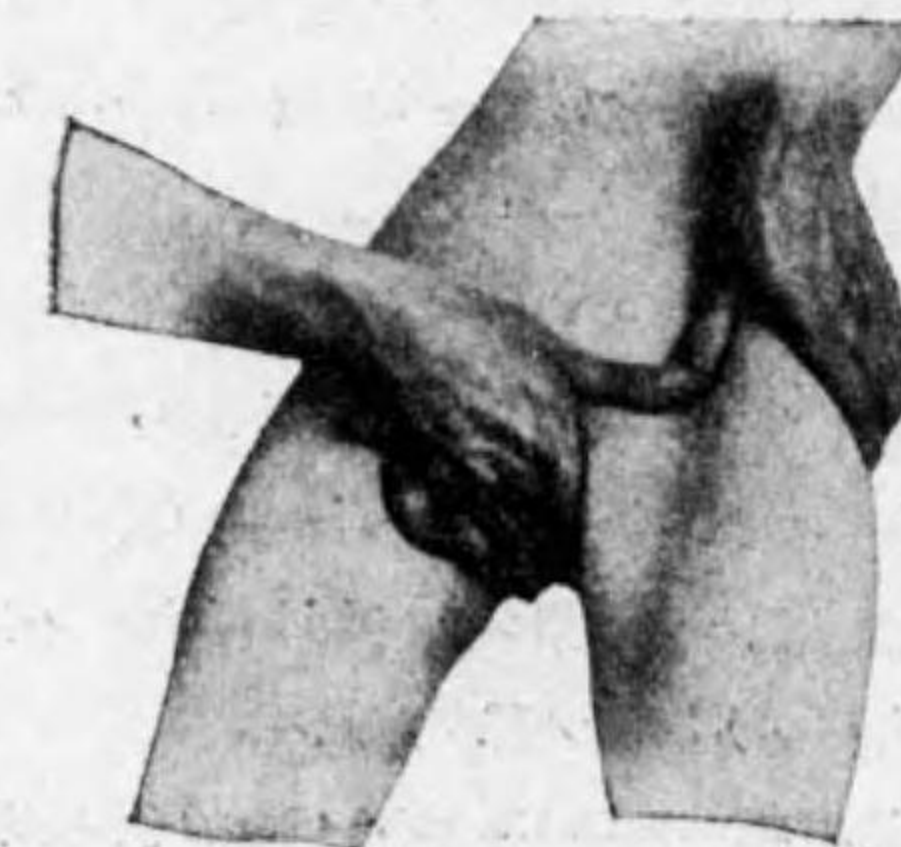
頸 動 脈 指 壓 止 血 法

第 百 九 十 九 圖

第 二 百 圖



上 膊 動 脈 血 管 壓 迫 法



股 動 脈 血 管 壓 迫 法

Blutungヲ制限スル爲、特ニ Amputationヲ行フニ際シ、豫メ四肢ノ幹部ニ Umschnürungヲ行フカ或ハ Hauptarterienヲ operativニ露出シテ、vorläufigニ結紮法ヲ行フコトアリ。

3). **Fingerdruckmethode am A-Stamm (血管幹部指壓法)**。 Extremitätenニ於ケル grosse Gefässe (A. femoralis, A. brachialis 等)ノ Verletzungニ際シ、其 Stammニ於テ Arterienニ強ク digitale-Kompressionヲ加フル方法ニシテ (Fig. 198, 199, 200), 直チニ Blutstillungヲ行ヒ得ベシ。但シ此際ニハ Blutgefässノ anatomische Lageヲ genauニ知ルヲ要ス。又此方法ハ Fingerノ Ermüdungヲ來シ易ケレバ長時間ノ Kompressionヲ持續スルコトハ schwerナリ。其他 unter: Extremitätノ Blutstillungニハ、

4). **Hochlagerung (高擧法)**。

5). **Forcierte Beugung (強屈法)** 等アレドモ實際上應用セラルルコトハ seltenナリ。

B). **Dauernde Blutstillung (永久的止血法)**: Dauernde Blutstillungハ vorläufige Blutstillungト異リテ Desinfektionヲ嚴守セザルベカラズ。之ニモ mehrere Methodenアリ。

1). Operative Blutstillung (手術的止血法)。

1). **Druckmethode (壓迫法)**。 Kapillaren, kleine Venenヨリ blutenセル場合ニハ aseptische Gazeヲ當テ其上ニ einfachノ Druckverbandヲ行フコトニヨリテ Blutungヲ stillenシ得ベシ。 Wundhöhle tiefナル時或ハ Nase, Rektum, Uterus 等ノ Blutungニ於テハ Jodoformgaze又ハ aseptische Gazeヲ強ク tamponierenス (**Tamponade 栓塞法**)。又 Bauchhöhleノ Operationニ使用スル Mikuliczノ Tamponハ Eiterungニ對スル防備ト共ニ Blutstillungニ對シテモ役立つモノナリ。

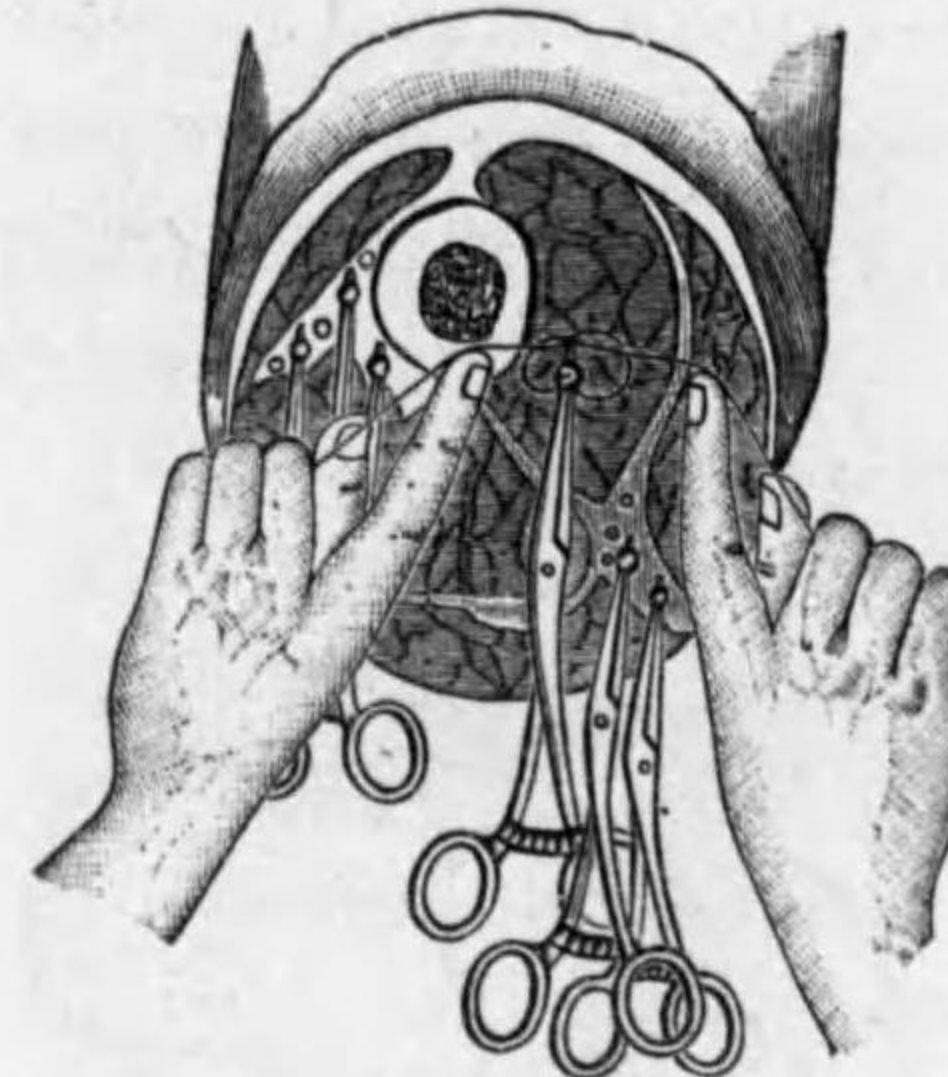
2). **Wundrändernaht (創縁縫合法)**。 Hautノ einfachノ Blutungニ對シテハ、Wundränderヲ dichtニ縫合スルコトニヨリテ Blutstillungヲ行フヲ得ベシ。

3). **Unterbindung (結紮法)**。 Chirurgische Operationノ際又ハ Wundeノ arterielle und venöse Blutungニ最モ häufigニ行ハルル Blutstillungニシテ之ニ lokale und zentrale Unterbindungノ 2 Artenアリ。

a). **Lokale Unterbindung (局所的結紮法)**。 Wundeニ於テ Arterien又ハ Venenガ verletzenセラレテ blutenスル場合ニ、**Gefässklemme (血管鉗子)** (*Kochersche Klemme, Seansche Klemme* 又 *Schiebersche-Pinzette* 等)ヲ以テ Gefässendeヲ撮ミ、稍々之ヲ引出シテ Gefässendeヲ結紮絲ニテ結紮シテ (Seidenfadenハ通常第二號又ハ第三號ヲ用フ) 次デ Klemmeヲ放シ (Fig. 201), 餘分ノ絲ヲ剪除ス。

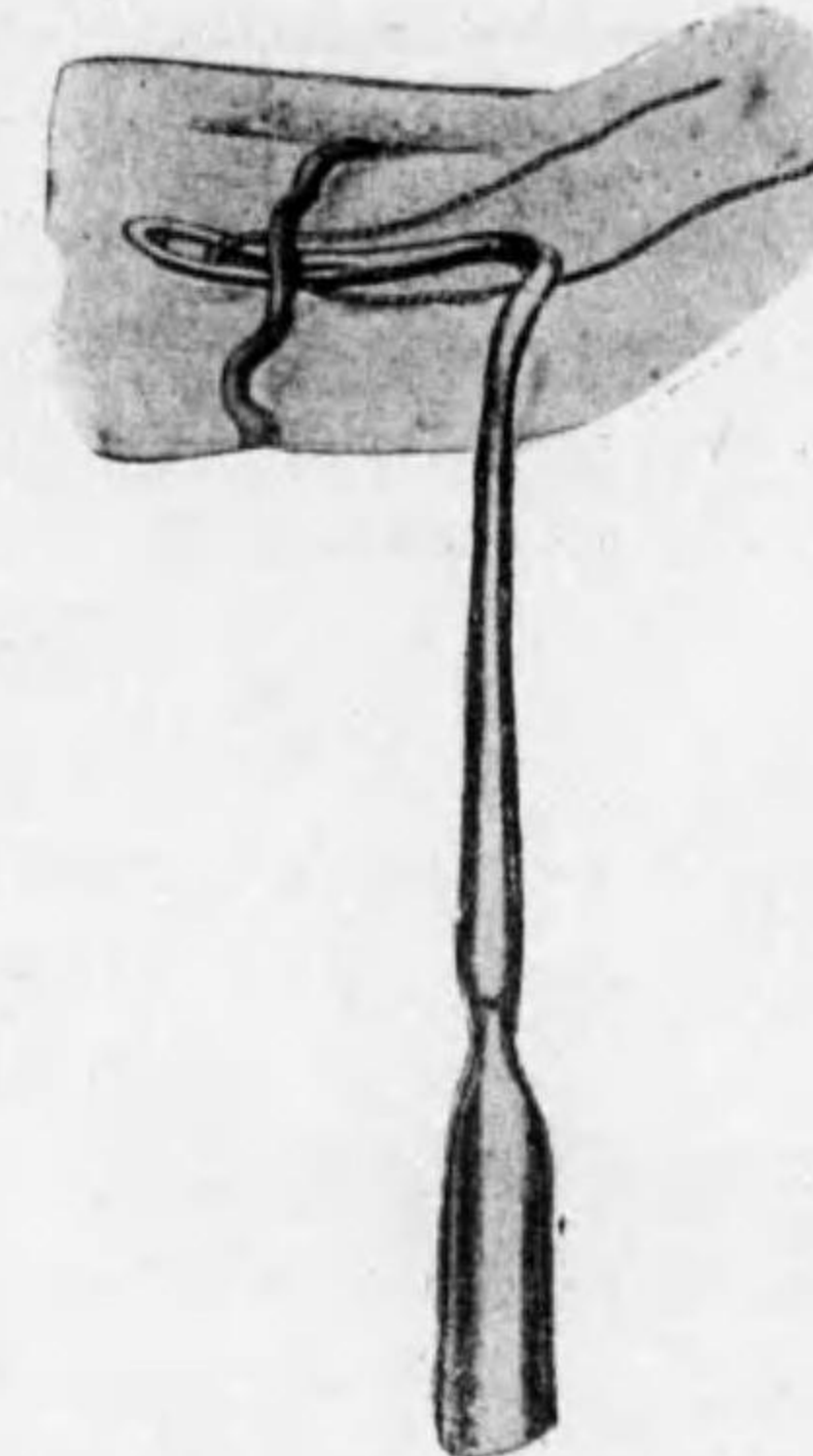
b). **Zentrale Unterbindung (中樞的結紮法)**。 lokale Unterbindungニテ Blutstillung schwerナル場合或ハ Operationノ Vorbereitungトシテ Zentralteilニ於テ、Arterienstammヲ露出シテ

第 二 百 一 圖



中 樞 的 結 紮 法

第 二 百 二 圖



切 斷 端 部 ニ 於 ケ ル 血 管 結 紮 法

Aneurysmanadel (動脈瘤針) (*Rosersche oder Deschampsche Nadel*)ヲ以テ Unterbindungsfadenヲ Gefässニ廻ラシテ Ligaturヲ行フ法ニシテ、Operationノ際ニハ vorläufigノ Blutstillungトシテ用キラルルコトアリ (Fig. 202)。

4). **Umstechung (括約法或纏絡法)**。 Operation等ニ際シ Gefässガ derbノ Gewebeノ中ニアルカ或ハ反對ニ morschノ Gewebe中ニアリテ Unterbindungヲ行ヒ難キ場合ニハ Nadelニテ Nahtfadenヲ Blutungノアル Umgebungノ Gewebeノ一箇所又ハ二箇所ニ通シテ unterbindenス (Fig. 203)。

5). **Torsion (捻撻法)**。 kleine Blutgefässノ Blutstillungニ用キラル。

Arterienklemmeヲ以テ Blutgefässヲ fassenシ、數回 torquierenシテ zerstörenシタル後ニ Klemmeヲ去ル。

6). **Blutgefässquetschung (血管挫滅法)**。 Angiotripsie (**挫滅鉗子**) (*Doyen, Bergmann, Blunk*)ヲ以テ Blutgefässヲ zerquetschenシ其 Zerstörungニヨリテ

第 二 百 三 圖

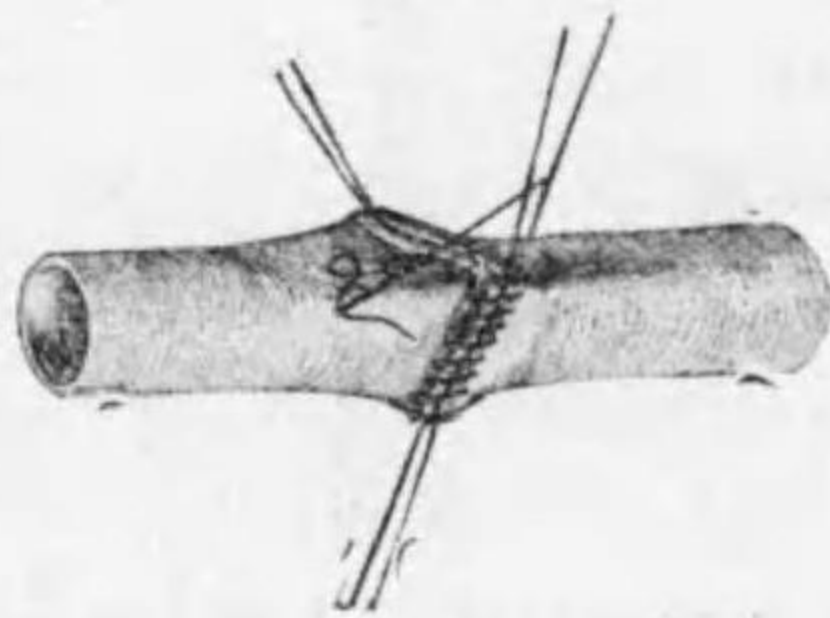


血 管 括 約 法

Gefässlumen を塞ギタル後 = Angiotripsie を去ル。併シ之ハ小ナル Gefässe = 有效ナルノミ。

7). **Gefässnaht (血管縫合法)**。 grosse Gefässe ノ Verletzung = 際シテ行ハルモノナリ。一時 Gefäss ノ beide Ende を *Höpfnersche* Gefässklemme ニテ fassen シ Gefässnadel = ヨリテ fein ノ Nahtfaden (通常第一號ノ縫合糸ヲ三分セルモノヲ用フ) を Gefässwand ノ 3 Schicht = durchstechen シテ dicht = zunähen ス (*Carre'sche Methode*) (Fig. 204)。或ハ kleine Gefäss = テハ Magnesiumröhrchen 又ハ Kalb (犢) ノ Arterien を Gefäss ノ beide Stümpfe ノ 中間 = 媒介トシテ接合スルコトアリ。

第 二 百 四 圖



血 管 縫 合 法

8). **Thermokauterisation (焼灼法)**。 Haemorrhoid (痔核), Angiom (血管腫) ノ Operation 又ハ parenchymatöse Blutung = 用キラルモノナリ。

Paquelin (烙白金) (Platinbrenner od. Thermokauter nach *Paquelin* を通常簡單 = Paquelin ト稱ス) を以テ Blutungsstelle を kauterisieren シ Blutstillung を行フ (Fig. 205)。

II). **Medikamentöse Blutstillung (薬物的止血法)**。

1). **Lokale Blutstillung (局所的止血法)**。 **Haemostatisches Mittel (止血劑)** トシテ從來使用セラルルモノハ **Liquor sesquichlorati (一半クロール過鐵液)** = シテ、之ヲ綿 = 浸シテ出血部 = 當テ、其上 = Verband を行フ。或ハ之ヲ綿 = 浸シテ乾燥セシメタルモノヲ止血綿ト稱ス。其他 1—2% **Chlorkalkwasser (石灰水)** を用フルコトモアリ。又民間藥中ニハ種々ノ止血劑アルモ、何レモ是等ノモノハ局所ノ刺激強ク、又不快ノ Kruste を作り Infektion を起シ易キヲ以テ、現今特殊ノ場合(血友病等)以外ニハ是等ノ方法ヲ用キズシテ、前記ノ operative Blutstillung を行フ。

2). **Allgemeine Blutstillung (全身的止血法)**。 其主ナルモノハ、

第 二 百 五 圖



パ ク レ ン 焼 灼 器

i). 10% Kochsalzlösung (Chlonatol トシテ販賣セラル) 10—30 cc ノ intravenöse Injektion。

ii). **Bluttransfusion (輸血法)** 最も有效ナリ (次項参照)。

iii). Pferdserum (馬血清) 10—20—40 cc ノ intravenöse Injektion。

iv). 2—5% Gelatin-Kochsalzlösung 40—100 cc ノ subkutane Injektion。

v). 2% Chlor calcium 10—30 cc ノ intravenöse Injektion。

vi). 其他 Ergotin (麥角エキス) ノ subkutane Injektion 又ハ内服, Chlorkalk (一日量 0.2 gr.) ノ内服(效ナシ)等。又 Clauden (クラウデン), Fibronin (フィプロニン) Thromburin (トロムブリン) 等ノ新劑アリ。

vii). Milz ノ Röntgenbestrahlung モ多少止血 = 效果アリト稱セラル。

第二 **Blutersetzung (補血法)**。 *Supply of blood*。

Grosse Blutung ハ直接 Lebensgefahr アルヲ以テ Blutersetzung を必要トス。之ニハ種々ノ Methode アリ。

1). **Konservative Behandlung (姑息的處置)**。

i). Akute Anaemie = 際シテハ全身 kalt トナルヲ以テ、被覆物ヲ厚クシテ保温シ、Brust, Bauch, untere Extremität = warmer Umschlag をナシ、或ハ褥中 = 湯たんぽヲ入レテ温ム。

ii). Rotwein, Branntwein (ブランデー), Kaffee 等ノ興奮劑ヲ與へ、又 Herz ノ Funktion を強クスル爲 = Kamfer, Digitalin, Aether 等ノ Injektion を行ヒ、其他濃茶ノ少量ツツヲ數回 = 與へ、水分ノ缺乏ヲ補フ。

iii). **Autotransfusion od. Blutansammlung (自家輸血法或血液集注法)**。 Extremitäten を elastische Binde ニテ Peripherie ヨリ上方 = 緊縛シ、或ハ Extremitäten を舉上シテ、Blut を中樞部 = 集マルヤウニス。又 Kopf を低クシテ、Gehirn ノ Anaemie を避クルヲ可トス (Fig. 206)。

2). **Kochsalzlösunginfusion (食鹽水注入法)**。

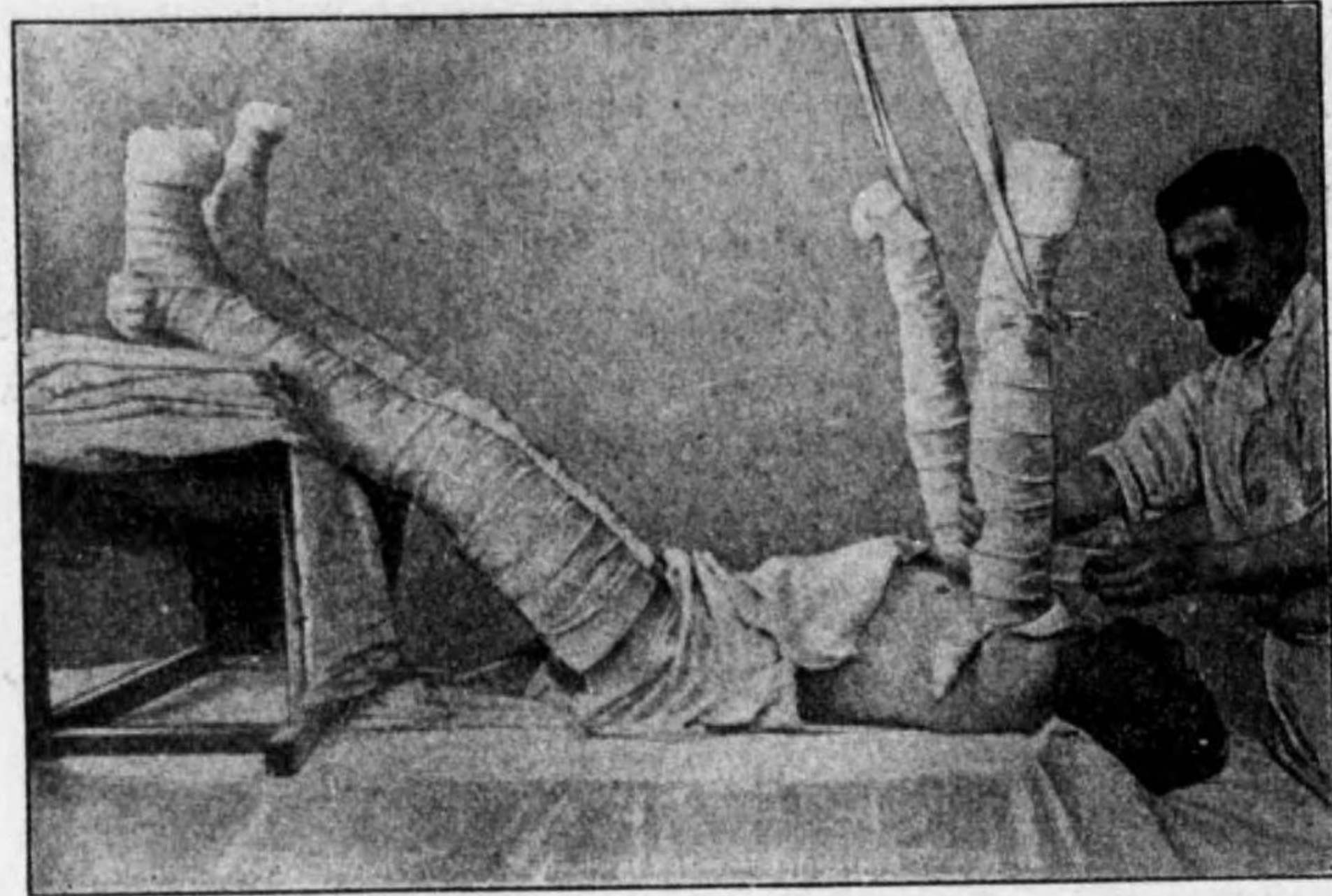
Tierexperiment = ヨリ Gefäss 内ノ Blut ノ殆ド總テ Kochsalzlösung ニテ置換スルモ、其動物ハ一定時間生命ヲ保ツコトガ確證セラルルニ及ンデ、特ニ其應用範圍ヲ廣メタリ。

Kochsalzlösung を體內 = 入ルルニハ a). Intravenöse Infusion (靜脈内注入法), b). Subkutane Infusion (皮下注入法), c). Intraarterielle Infusion (動脈内注入法), d). Trinken (飲用法), e). Klystier (灌腸法), f). Intraperitoneale Infusion (腹腔内注入法) 等アルモ就中必要ナルハ前二者ナリ。

a). **Intravenöse Infusion (靜脈内注入法)**。 Subkutane Infusion = 比シテ Wirkung 早ク、且ツ Schmerz を感ゼシムルコト少シ、併シ Technik 稍々困難ナリ。

Injektionsstelle ハ Vorderarm ノ V. medialis (中正靜脈) 又ハ V. cephalica (貴要靜脈) = 行フヲ常トス。

第 二 百 六 圖



血 液 集 注 法

Injektionsflüssigkeit トシテハ **physiologische Kochsalzlösung** (0.6—0.9% 普通ハ 0.8%) ヲ用フ。或ハ之ニ Traubenzucker (葡萄糖) ヲ 2—5% ノ比ニ混ジ又ハ Gelatin ヲ 1—2% ノ比ニ混ズ。其他 *Ringersche Lösung* (食鹽 9.0, 鹽化加里 0.42, 鹽化カルシウム 0.24, 蒸餾水 1000.0), *Locksche Lösung* (食鹽 8.0, 鹽化加里 0.2, 鹽化カルシウム 0.1, 重曹 0.2, 葡萄糖 1.0, 蒸餾水 1000.0) 等ヲ用フ。Intravenöse Infusion = 使用スル蒸餾水ハ毎常新鮮ナルモノヲ選バザルベカラズ (陳腐ナル蒸餾水ヲ用フル時ハ注射後發熱スルコトアリ)。又注入液ハ消毒ヲ嚴ニシ, 38—39°C = 加温ス。

Intravenöse Injektion = 要スベキ器具ハ「イルリガートル」, 靜脈注射針又ハ靜脈注入嘴管及是等ヲ連絡スル護膜管ニシテ, 豫メ煮沸消毒ヲ要ス。

靜脈内注入法ヲ行フニハ Oberarm ヲ護膜管ニテ緊縛シテ肘部ノ V. ヲ充分ニ怒張セシメ, 直接 Haut ノ上ヨリ Nadel ヲ V. ノ中ニ刺入ス, 併シ V. ノ Dilatation 不十分ナレバ Haut ヲ開キ V. ヲ露出シテ Nadel ヲ einstechen スルカ或ハ Kanüle (嘴管) ヲ挿入スルコトアリ。

一回注入ノ量ハ 600—1000 cc トシ, 1 日 2—3 回行フコトヲ得。尙 intravenöse Injektion = 際シテハ Luftembolie (空氣エムボリー) ヲ起サザルヤウ注意スベシ。

b). **Subkutane Injektion (皮下注射法)**。之ニ種々ノ裝置アリ。茲ニハ比較的簡單ナル裝置ヲ述ブレバ, 食鹽水容器 (硝子製) アリテ, 之ニ附着セル護膜管ノ先端ニ Y 字形ノ硝子管ヲ附シ, 更ニ護膜管ニヨリテ各一個ツツノ注射針ト連絡ス。注射部位, 器械, 注入液ハ充分ニ steril トナシ, 注入液ハ 38—39°C = 加温ス。

Injektionsstelle ハ Oberschenkel ノ内側, Seitenbrust, Achselhöhle ノ附近等 subkutane Bindegewebe ノ locker ナル所ヲ選ブ。

注入ヲ行フニハ Nadel ノ根部ヲ持チテ一氣ニ Haut ニ刺入シ, Nadel ノ先端ガ subkutan ニテ自由ニ運動スルヲ確メタル後, 上方ノ護膜管ニ附セル Klemme ヲ去リテ容器ヲ舉上スル時ハ, 液ハ次第ニ subkutan ニ注入セラル。或ハ液ノ注入ヲ一層速ナラシムル爲ニ容器ニ Doppelballon (二聯護膜球) ノ附着セル裝置ヲ用キ之ヲ加壓シテ注入スルヲ可トス。

注入部ハ輕ク按摩シテ Flüssigkeit ノ Resorption ヲ促ス。併シ之ニヨリテ Schmerz ヲ klagen スルコト著シキ時ハ按摩ヲ見合スベシ。或ハ注射後 warmer Umschlag ヲ行フコトアリ。

注入量ハ大人ニ於テハ 1 回 600—800—1200 cc ニシテ一日數回行フヲ得ベシ。

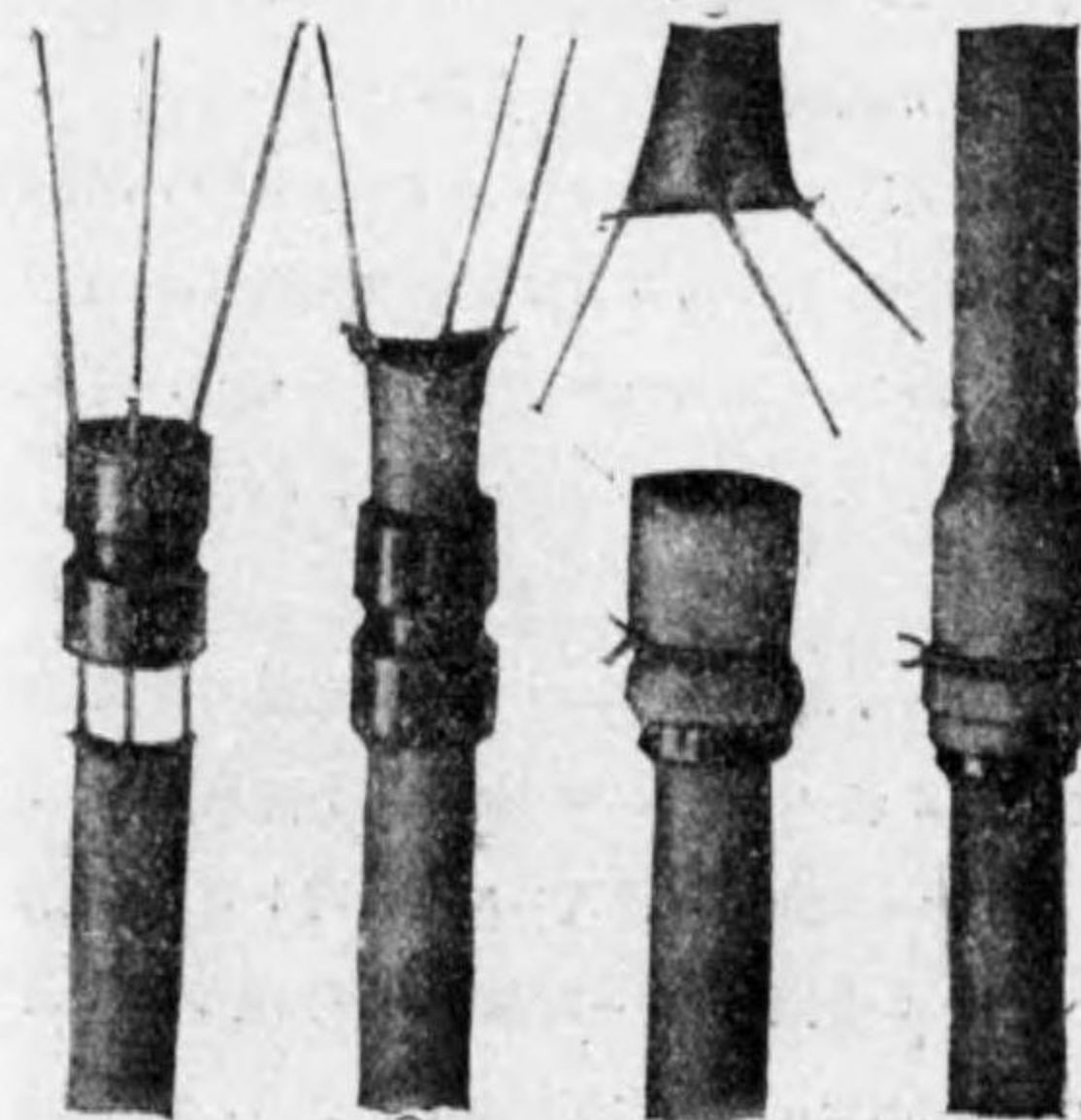
3). **Bluttransfusion (輸血法)**。

本法ハ世界大戰以來盛ニ用キラルルニ至リタルモノニシテ, 管ニ Blutung ノミナラズ, akute Peritonitis, akute Infektionskrankheiten, Autointoxikation, chronische Anaemie 等ニモ應用セラル。

a). **Direkte Bluttransfusion (直接輸血法)**。本法ハ給血者ノ A. radialis 又ハ V. brachialis ヲ受血者ノ V. brachialis 又ハ V. femoralis ニ連結シテ輸血スル法ナリ。

血管接合ニハ直接ニ Gefäßnaht ヲ行フ法モアレドモ, Blutgerinnung ヲ起シテ目的ヲ達セザルコト多シ。之ガ爲ニハ Gefäßprothese (血管プロテーゼ) ヲ使用スルヲ可トス。Payr (パイヤー氏) 法ハ長さ 0.3—1 cm ノ zylindrisch ノ Magnesiumröhrchen (マグネシウム小管) ヲ用キテ

第 二 百 七 圖



パイヤー氏血管接合法

第 二 百 八 圖



ユングリング氏直接輸血器

兩血管ヲ接合セシム。其他 *Crille-Buergersche* Transfusionskanüle (クリル、ブルゲル氏輸血管子) *Crillesche* Kanüle 等アリ。

以上ノ方法ニヨリテ Gefäss ヲ接合シタル後 Blut ヲ 30—45 分流入セシメ、給血者ノ Blutdruck ガ 95—100 mm Hg. マデ下降スル時ハ給血ヲ廢スベシ。本法ヲ行フニハ多少ノ Technik ヲ要ス。

尙ホ近來ハ direkte Bluttransfusion ノ爲ニ *Jüngling* (ユングリング氏), *Oehlecker* (エーレックル氏), *Unger* (アンガー氏) 等ノ Transfusionsapparat (輸血器) アリ。併シ本邦ニ於テハ未ダ尙 direkte Methode ヲ用フル人少キガ如シ。

b). **Indirekte Bluttransfusion (間接輸血法)。**

本法ハ他人ヨリ一旦採血シテ、改メテ之ヲ Kranke ニ注入スル法ナリ。

本法ヲ行フニハ次ノ準備ヲ要ス。

- i). 10% (又ハ 20%) ノ Na.-Citratlösung (滅菌枸橼酸曹達液) 50—100 cc
- ii). 小ナル「メートルグラス」。
- iii). 硝子棒。
- iv). 血液ヲ容ルベキ度盛硝子コップ (標本瓶ニ簡單ニ度盛シテ用フルモノ可ナリ)。
- v). 20—30 cc 硝子注射器又ハ Irrigator。
- vi). 簡單ナル小手術器械、局所注射及注射薬。

以上ノ器械類、術者ノ手及採血局所ヲ desinfizieren ス。

前記ノ「コップ」ノ内壁及硝子棒ヲ Na.-Citratlösung ニテ充分潤シタル後、Na.-Citratlösung (10% ナレバ 20 cc, 20% ナレバ 10 cc) ヲ入レ置キ、給血者ノ Oberarm ヲ緊縛シテ V. ヲ dilatieren セシメ、1% Novocain 注射ヲ行ヒテ局所ヲ麻痺セシメタル後、尖刀ヲ以テ V. ヲ stechen スル時ハ、venöses Blut ハ直チニ流出スルヲ以テ、之ヲ先ノ「コップ」ニ受ケ、硝子棒ヲ以テ靜ニ攪拌ス。而シテ Blut ヲ容ルルコト 200 cc ニ至リ、「コップ」ヲ交換スルカ或ハ更ニ Na.-Citratlösung ヲ注加スルヲ要ス (Blut 中ニ Na.-Citrat ガ 1% ノ比ニ混ズル時ハ、其 Gerinnung ヲ妨グ)。所要ノ Blut ヲ採取シタル後ハ、V. ヲ unterbinden シテ、aseptischer Verband ヲナス。

斯ノ如クシテ得タル Blut ハ之ヲ氷室ニ貯フル時ハ、2—3 Wochen ハ之ヲ受血者ニ注射シ得ベシト云フ。尙ホ念ノ爲ニ Injektion ニ先立チテ 2 枚ノ aseptische Gaze ニテ濾過スルヲ可トス。鳥居博士ノ研究ニヨレバ給血者ノ Blut ヲ直チニ受血者ニ注入スル時ハ時トシテ危険ナルコトアルモ、一夜之ヲ氷室ニ静置スルカ、或ハ 30—50 分間 40°C ニ加温スレバ無害ナリト云フ。

受血者ニ Injektion ヲ行フニハ、護膜管ヲ以テ Oberarm ヲ unterbinden シテ V. ヲ dilatieren セシメ、前記ノ Blut ヲ Irrigator 又ハ注射器ニヨリテ徐々ニ注入ス、一回ノ注入量ハ 200—600 cc

トス。人ニヨリテハ 1000 cc ヲ注入セルアリ。注入ハ數回反復スルコトヲ得。又健康者ヨリ採血シ得ル量ハ 200—600 cc ナルガ、1000 cc 迄ハ差支ナシト。

給血者ノ選擇ハ wichtig ナリ。特ニ Syphilis, Malaria 等ノ存否ニ注意スベク、又豫メ受血者ト給血者ノ Blut ヲ混ジテ Agglutination (凝集作用) 又ハ Haemolyse (溶血作用) ヲ起サザルヤ否ヤヲ検査セザルベカラズ。

Arten des Menschenblutes (人類血液ノ種類)：

Menschen ノミナラズ各種ノ動物ニハ、他ノモノノ Blut ヲ agglutinieren (凝集) 又ハ haemolysieren (溶解) スル作用アリ、然ルニ Bluttransfusion ヲナスニハ、此 Agglutination モ Haemolyse モナキモノヲ選バザルベカラズ。然ルニ Menschenblut ヲ Agglutination ノ方面ヨリ觀察スルニ、Blutserum 中ニハ α, β ナル二種ノ Agglutinin (凝集素) アリ、之ニ對シテ夫々ノ Agglutino-gen (凝集原) ヲ有スル Erythrozyten A. 及 B. アリ、其他 Blutserum ニ α, β ナキモノ、Erythrozyten ニ A 及 B ナキモノアリ、之ガ爲ニ Menschenblut ニハ次ノ 4 Arten ヲ分ツ。

- 1). **I 型** (O 型トモ稱ス)。Blutserum 中ニハ Agglutinin α, β ヲ有シ、Erythrozyten ニハ Agglutino-gen ヲ有セザルモノ。
- 2). **II 型** (A 型トモ稱ス)。Blutserum 中ニハ Agglutinin β ヲ有シ、Erythrozyten ニハ Agglutino-gen A ヲ有スルモノ。
- 3). **III 型** (B 型トモ稱ス)。Blutserum 中ニハ Agglutinin α ヲ有シ、Erythrozyten ニハ Agglutino-gen B ヲ有スルモノ。
- 4). **IV 型** (A, B 型トモ稱ス)。Blutserum 中ニハ Agglutinin ナク、Erythrozyten ニハ Agglutino-gen A, B ヲ有スルモノ。

是等ノ Blutarten ハ各民族ニヨリテ相異アルモノナルガ、河村一耶博士ノ調査ニヨレバ本邦人ニ於テハ約 O 型 30%, A 型 40%, B 型 20%, A, B 型 10% ナリト。尙ホ此分類法ハ各學者ニヨリテ種々ナリ。

Bluttransfusion ヲ行フニ當リテ最モ適當ナル Spender (給血者) ハ Empfänger (受血者) ト同ジ

血球 血清	(給血者)			
	(I) O	(II) A	(III) B	(IV) AB
I (O)	-	+	+	+
II (A)	-	-	+	+
III (B)	-	+	-	+
IV (AB)	-	-	-	-

[(+) 凝集反應陽性 (-) 同上陰性]



Arten ノ Blut ヲ有スル健康者ナリトス。併シ若シ之ニ適當スルモノナキ時ハ給血者ノ Erythrozyten ガ受血者ノ Blutserum ニヨリテ agglutinieren セラレザルモノヲ選バザルベカラズ。之ヲ表示スレバ左ノ如シ、即チ如何ナル受血者ニ對シテモ Gefahr ナキハ O 型ヲ有スル給血者ニシテ、如何ナル Blut ヲ受クルモ差支ナキハ A, B 型ノ受血者ナリ。其他ノ關係ハ左表ニ就キテ知ルベシ。

Auswahl des Blutspenders (給血者ノ選定法):

之ヲ定ムルニハ 2 Methoden アリ。

a). **Standardserum (標準血清) ニヨル法。** 信用アル研究所ヨリ II (A) 型及 III (B) 型ノ Standardserum ヲ求メ置キテ用ニ臨ミテ使用ス。

Objektglas (載物硝子) ノ上ニ兩者ノ各一滴ヲ取り、之ニ被檢者ノ Ohrläppchen (耳朶) 又ハ Fingerspitze (指尖) ヨリ採リタル僅少ノ Blut ヲ各別ニ beimischen シ、又 Objektglas ヲ前後左右ニ傾斜シテ makroskopisch ニ Blutgerinnsel ノ出ヅルヤ否ヲ檢ス。Reaktion positiv ナル時ハ beimischen シタル後約 5 Minuten ニシテ之ヲ認ムルモ 10 Minuten ヲ經ルモ、變化ナキ時ハ negativ ト見做スベシ。(但シ低溫ニテ檢スル時ハ Kälteautoagglutination (寒冷自家凝集反應) ヲ起スコトアルヲ以テ、Zimmertemperatur 15 度以上ノ所ニテ untersuchen スルヲ要ス。其成績ヲ表記スレバ

被 檢 者 血 液 反 應		第 二 百 九 圖			
	O (I)	A (II)	B (III)	IV (AB)	
標 準 II	-	+	-	+	
血 清 III	-	-	+	+	

b). **Blutempfänger (受血者)ノ Blutserum ニヨル Spender**

(給血者) 選定法。 Standardserum ノナキ場合ニ行ハルルモノナリ。先ヅ受血者ヨリ Blut ヲ Reagensglas (試験管) ニ取りテ Blutserum ヲ ausscheiden セシメ置キ、次デ給血者ヨリ 1—2 滴ノ Blut ヲ取り 1.5% Natrium-Citrat-Kochsalzlösung (枸橼酸曹達食鹽水) 2 滴ヲ加ヘテ Blutgerinnung ヲ防ギ、之ニ受血者ノ Blutserum 2 滴ヲ加ヘテ Agglutination ヲ起スヤ否ヲ檢ス、之ハ肉眼的ニモ認メラルレドモ Mikroskop ノ下ニテ弱擴大ニテ檢スル時ハ一層明カナリ。其 Resultat negativ ナル時ハ給血者ノ Blut ヲ受血者ニ transfusieren スルモ差支ナシ、又受血者ノ Blut ヲ給血者ノ Blutserum ト混ジテモ gerinnen セザル時ハ兩者ノ血液ハ同種ナルヲ示スモノニシテ最モ安全ナリ、之ニ反シ兩者共ニ positiv ナル時ハ II (A) 型及 III (B) 型ナル場合ニシテ Bluttransfusion ニハ適當セザル組合セナルガ爲、之ヲ行フコトハ Kontraindikation ナリ。

尙ホ是等ノ Blut ノ Untersuchung ニハ種々ノ Methode アリ。

近親者ノ Blut ハ比較的無害ナレドモ、而モ每常必ズシモ同一ニアラズト。

輸血ニヨル危險症狀トシテハ Lendenschmerz, Dyspnoe, Nausea, Erbrechen, Diarrhoe, Urticaria, Schweisssekretion, Pupillendilatation, Shock 等ナリ。

II. Arteriitis acuta und Phlebitis acuta 急性動脈炎及急性靜脈炎 *Acute arteriitis and Phlebitis.*

Aetiologie: i). 多クハ sekundär ニ附近ノ eitrige Krankheiten, infizierte Wunde, Phlegmone, eitrige Periostitis und Osteomyelitis 等ニヨリ Gefässノ外部ヨリ侵サル。

ii). 或ハ B. ガ Blutbahn ノ中ニ入りテ Gefäss ノ内部ヨリ Entzündung ヲ起ス。併シ之ハ A. ニ於テ見ラルルコトハ sehr selten ニシテ、多クハ V. ニ來ル、之レ V. ハ Blutstrom 弱ク、V.-Klappen アルガ爲ニ、B. ノ停滞ヲ來シ易キヲ以テナリ。

a). **Arteriitis purulenta acuta (化膿性動脈炎)。** A. ガ eitrige Entzündung ニ侵サルル時ハ、Gefässwand ガ Nekrose ニ陥リテ突然ニ **grosse Blutung** ヲ來スコトアリ (grosse infizierte Wunde ニ於テ時トシテ見ラル)。
或ハ Gefässwand ノ一部ノミガ侵サレタル時ハ Aneurysma (Aneurysma per arrosionem 侵蝕性動脈瘤) ヲ生ズルコトアリ。A. ノ内部ヨリ侵サルルコトハ sehr selten ナルガ、若シ Intima (内層) ニ Entzündung ヲ起ス時ハ eitrige Thrombose (化膿性血栓) ヲ作り、ablösen シテ Peripherie ノ A. ヲ verstopfen シ、或ハ peripherer Teil ノ Gangraen (脱疽) ヲ來シ、或ハ更ニ metastatischer Abszess (轉移性膿瘍) ヲ生ズルコトアリ。併シ V. ニ於ケルガ如ク allgemeine Infektion ヲ起スコトハ äusserst selten ナリ。

b). **Phlebitis purulenta (化膿性靜脈炎)。** V. ガ侵サルル時ハ、其内方ヨリ來ルト外方ヨリ來ルトヲ問ハズ、容易ニ Thrombose ヲ形成ス (**Thrombophlebitis 血栓性靜脈炎**)。此 Thrombose 中ニハ多數ノ B. 存在シ、且ツ甚 morsch ナルヲ以テ、容易ニ Blutstrom 中ニ ablösen シテ全身ニ傳播シ、metastatischer Abszess ヲ作り Lebensgefahr アリ、又屢々 V. ノ周圍ニモ Entzündung 傳播シテ Phlegmone ヲ起ス (**Periphlebitis 靜脈周圍炎**)。

Thrombophlebitis 持續スル時ハ、Peripherie ニ deutlich ノ Stauung ヲ來シ、Fiebersteigerung, Schmerz アリ。幸ニ akute Symptome 去ルモ Elephan-

tiasis 様ノ肥厚ヲ遺スコト多シ。

Therapie: 各ノ場合ニヨリテ異ル, Gefässノ侵サレタル場所明カナル時ハ該部ヲ切開シ, 或ハ其上部ニテ Gefässノ Unterbindung ヲ行フ。allgemeine Symptome ヲ呈シタル場合ニハ Sepsisノ Therapie ヲ行フ。

III. Arteriitis chronica 慢性動脈炎 *Chronica arteriitis.*

A. ニハ屢々 Syphilis, Arteriosklerose (動脈硬變症) ヲ起ス。此變化高度ナル時ハ A.-Wandノ Verdickungニヨリテ其閉塞ヲ來シ (Endoarteriitis obliterans 閉塞性動脈内膜炎), 甚シキハ Peripherieノ Gangraen ヲ起ス。又大ナル A.-Wandニ於テハ之ガ爲ニ Gefässwandノ一部ノ Widerstand 減弱シ Aneurysma ヲ生ズルコトアリ。併シ是等ノ變化ヲ起シタル時ニアラザレバ A. 其モノノ Erkrankungハ不明ナリ。

Phlebitis chronica (慢性靜脈炎)。 sehr selten = Syphilisニヨリテ大ナル V. ニ本症ヲ起スコトアルモ甚 seltenニシテ klinische Bedeutung ナシ。

IV. Thrombose 血栓 *Thrombosis.*

Thromboseト Embolie (栓塞)トハ時トシテ混同セラルルコトアルガ, **Thrombose**トハ Blutガ Gefäss内ニテ gerinnenシ, 該部ニ於テ Gefässlumenヲ verengernシ又ハ verstopfenスルモノヲ云ヒ, Thromboseヲ起シタル Blutgerinnselヲ Thrombus (血栓子)ト稱ス。

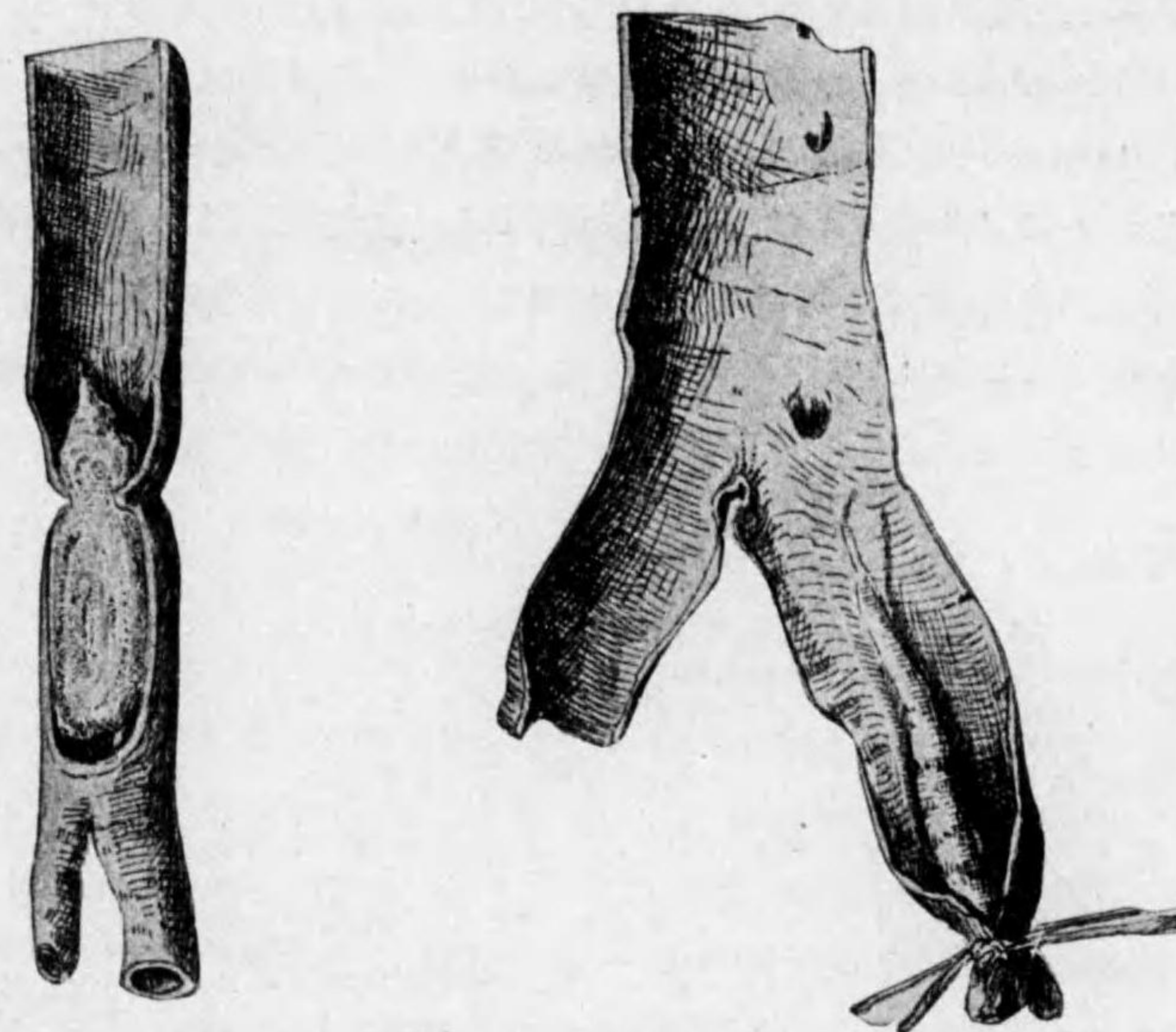
Embolieトハ他部ニ生ジタル Thrombus (栓子)ガ Blutstromニヨリテ移動シ來ルカ, 或ハ他ノ Fremdkörperガ Gefäss内ニ入リテ, 之ヲ verstopfenスルモノヲ云ヒ, Embolieヲ起シタル Blutgerinnselヲ Embolus (栓子)ト稱ス。

Aetiologie: 元來 Blutハ gesunde Gefässe中ニ於テハ gerinnenセザルモノナレドモ, 次ノ Störungアル時ハ gerinnenシテ Thromboseヲ作ル。

1). **Verlangsamung des Blutstroms (血流ノ緩慢)**。例ヘバ akute Infektionskrankheitenノ letztes Stadium, Karzinomノ Kachexie, chronische

Herzschwäche等ニヨリテ Blutstromノ langsamトナリタル時ハ, V. iliaca interna (内腸骨靜脈), V. femoralis profunda (深在股靜脈), Sinus durae matris

第 二 百 十



動脈結紮ニ因スル血栓

(硬腦膜靜脈窩)等ニ Thromboseヲ生ズルコトアリ, 之ヲ **Marantische Thrombose (消耗性血栓)**ト稱ス。

2). **Veränderung der Gefässwand (血管壁ノ變化)**。例ヘバ,

a). **Kompressionsthrombose (壓迫性血栓)**。Geschwülste, Fragment (骨折片)等ノ Druckニヨリテ Gefässlumenノ verengernセラレタル場合。

b). **Dilatationsthrombose (擴張性血栓)**。Aneurysma, Varix等ニテ Gefässlumenガ著シク dilatierenセル場合。

c). **Verletzungen der Gefässwand (血管壁ノ外傷)**。例ヘバ Gefässノ Quetschung, Riss, Verbrennung, Erfrierung, Aetzung等ニヨル場合。

d). **Entzündungen der Gefäßwand (血管壁ノ炎症)**。例へば Arteritis purulenta, Phlebitis purulenta, Arteriosklerose, Syphilis 等ニヨル場合。時トシテハ Gefäss 内ニ入りタル Fremdkörper ニヨリテ Entzündung ヲ起シ、Thrombose ヲ生ズルコトアリ。

3). **Veränderung des Blutes (血液ノ變化)**。Typhus abdominalis, Pneumonie, Masern, Influenza, Pyaemie, Sepsis 等ノ Infektionskrankheiten ニヨリ Blutzellen ノ Zerfall 甚シキ爲、或ハ Leukaemie (白血病), Chlorose (萎黄病), allgemeine Verbrennung 等ニヨリテ、Blut ノ Gerinnung 著明トナリタル爲ニ容易ニ Thrombose ヲ作ルコトアリ。(予ハ Pneumonie ノ後ニ Vorderarm ノ Gangraen ヲ來シタル 2 例及 Masern ノ後ニ Vorderarm ノ Gangraen ヲ來シタル 1 例ヲ經驗セリ、何レモ小兒ニシテ Thrombose ニ因スルモノナリキ)。

Pathologie: Thrombose ヲ分チテ a). Wandständige Thrombose (壁在性血栓) ト b). Obliterierende Thrombose (閉塞性血栓) ノ 2 種トナス。前者ハ尙 Lumen ヲ存セルモノ、後者ハ全ク之ヲ verstopfen セルモノヲ云フ。

Thrombose ハ Blut ノ Gerinnung ニヨリテ生ズルモノニシテ、

- i). 新シキ Thrombus ハ rötlich ニシテ水分ニ富ミ、weich ナルモ、
- ii). 日ヲ經ルニ從ツテ dicht (緻密) トナリ、次第ニ weisslich トナリテ、schrumpfen (縮小) ス、之ガ爲ニ初メ obliterierend ナルモノガ再ビ開通スルコトアリ。
- iii). 更ニ時日ヲ經過スレバ Gefäss ノ内壁ヨリ Bindegewebe 増殖シテ organisieren (組織化) ス。
- iv). 時トシテハ Thrombus 内ニ Kalk ガ ablagern (石灰沈着) シテ、Venenstein (静脈石) 又ハ Arterienstein (動脈石) ヲ形成スルコトアリ。
- v). 大ナル Thrombus ニ於テハ中央 erweichen (軟化) シ、遂ニハ ablösen シテ Blutstrom 中ニ流レ Embolie (栓塞) ヲ起スコトアリ。
- vi). 最も危険ナルハ Thrombus ニ B. ノ Infektion アリタル場合ニシテ、Thrombus ハ citrige Erweichung ヲ來シ、多數ノ B. ヲ含有スル Thrombus ガ Blut 中ニ流レテ所々ニ metastatischer Abszess ヲ作り、遂ニハ Pyaemie ヲ起スニ至ル。

Symptome: Gefäss 内ニ Thrombose ヲ起スモ、全ク之ヲ閉塞スルニアラザレバ Symptome ヲ呈セズ。

1). **A.-Thrombose (動脈血栓)**。時トシテ Extremitäten ニ見ラルルコトアリ。A. ガ全ク obliterieren セラルル時ハ、其 Peripherie ニ plötzlich ニ Anaemie, Schmerz ヲ起シ kalt トナリ、A. ノ Pulsation ナクナリ、次第ニ Nekrose ニ陥ル (併シ Anastomose アレバ此限リニアラズ)。

2). **V.-Thrombose (静脈血栓)**。閉塞性ノモノハ特ニ untere Extremität ニ見ラルルガ、V. femoralis ノ Thrombose ニ於テハ untere Extremität ニ急ニ Zyanose, 高度ノ Oedem ヲ來シ、初メニハ Schmerz 著シク、時トシテハ Fieber アリ、屢々 V. femoralis ニ相當シテ daumendick (拇指大) ノ Strang (索狀物) ヲ觸ル。本症ノ Verlauf ハ chronisch ニシテ、次第ニ Elephantiasis 様ノ肥厚ヲ來ス。

又 Geburt ノ際ノ Infektion ニヨリテ V. uterina (子宮静脈) ニ entzündliche Thrombose ヲ生ジ、進ンデ V. iliaca 迄モ Thrombose 進ミ、之ガ爲ニ偏脚又ハ兩脚ガ高度ニ anschwellen シ、Blutstauung ト共ニ Oedem ヲ來シ、疼痛アリ、初メハ Fieber ヲ伴フ、之ヲ **Phlegmasia alba (疼痛性白腫)** ト稱ス。其他 Otitis media (中耳炎) ニ際シ、或ハ marantische Krankheit (消耗性疾患) ノ爲ニ Schädel 内ノ Sinus venosum (静脈竇) 又ハ Hals-V. ニ Thrombose ヲ生ジ、Hirnsymptome ヲ呈スルコトアリ (**Sinus-Thrombose 静脈竇血栓**)。

A.-Thrombose ニ於テハ Symptome 著シク増悪セザレドモ、V.-Thrombose ニ於テハ Thrombus 次第ニ中樞部ニ向ツテ増大シ、或ハ Blutstrom 中ニ游離シテ、Peripherie ニ至リテ Embolie ヲ起スコトアリ。又前述ノ如ク B. ノ Infektion ヲ伴フ時ハ、恐ルベキ metastatischer Abszess 又ハ Pyaemie ヲ起スニ至ル。

3). **Herz** ノ Klappenfehler (心臟瓣膜障礙) 又ハ Endocarditis (内膜炎) ニ際シ、屢々該部ニ Thrombose ヲ生ズルコトアリ。此際ニハ夫々 typisch ノ Symptome ヲ呈スルノミナラズ、Thrombus ガ ablösen セラレ Gehirn,

Lunge 等ニ至リテ Embolie ヲ起スコトアリ (内科書参照)。

Therapie: A.-Thrombose ニ就キテハ Gangraen ノ條下ヲ参照スベシ。

V.-Thrombose ニ對シテハ發病後數週間, 少クトモ 3 Wochen ハ Ruhe ヲ守リ, 患部ヲ高舉シ seitliche Anastomose (副血行枝) ノ發生ニヨル Blut-zirkulation ノ恢復ヲ待ツ。此際濫リニ Massage, Badtherapie 等ヲ行フベカラズ, 之レ却ツテ Thrombus ノ游離ニヨリ Embolie ヲ起ス危險アレバナリ。併シ 1 Monat 後ニ及ブモ尙 Oedem 去ラザル時ハ, 徐々ニ Massage, Bad, Druckverband 等ヲ行フ。

時トシテ Thrombose 發生當時ニ Operation ニヨリテ Gefäss ヲ開キテ Thrombus ヲ除去シ得ルコトモアリ。

V. Embolie 栓塞 *Embolism.*

Embolie トハ游離セル Thrombus 又ハ Fremdkörper (Luft, Fett, Parasiten-eier 等) ガ Blutgefäss ノ中ニ入り, Gefässlumen ヲ verstopfen スルモノヲ云フ。併シ單ニ Embolie ト云ヘバ Thrombus ニ因スル Embolie ヲ意味ス。尙ホ栓塞セルモノヲ **Embolus** (栓子) ト稱ス。

1). **Arterien** 内ニ於テハ Embolie ハ Gefäss ノ Peripherie ニ運バレテ, ヨリ小ナル A. 内, 特ニ好ンデ A. ノ分岐部ニ到リテ栓塞シ, 若シ其 A. ガ Haupt-A. (主要動脈) ニテ Anastomose (副血行) ナキ場合ニハ Peripherie ガ急ニ anaemisch トナリ, 次デ Nekrose ヲ起ス。又 Embolus ガ infizieren シ居ル時ハ, Endoarteriitis obliterans infectiosa (傳染性栓塞性動脈炎) ヲ起スコトアリ (但シ之ハ甚 selten ナリ)。

2). **Venen** 内ノ Thrombus ハ A. ニ於ケルヨリモ ablösen シ易ク, rechte Herzkammer ヲ經テ Lungen-A. 内ニ入り Lungenembolie (肺栓塞) ヲ起シ, 甚シキハ頓死セシムルコトアリ。Embolus 小ナル時ハ Lunge ニ haemorrhagische Infarkt (出血性梗塞) ヲ生ジ, 輕度ノ Infarktsymptome (Husten, Dyspnoe, Brustschmerz, Haemoptoe) ヲ呈スルノミ。若シ其 Embolus infizieren シ居ル時ハ metastatischer Lungenabszess (轉移性肺膿瘍) ヲ起ス

ノミナラズ, 進ンデ Pyaemie ヲ起スニ至ル。

Paradoxe Embolie (奇性栓塞) トハ angeboren ニ Foramen ovale (卵圓孔) ガ開放セル場合ニ來ルモノニシテ, V. 内ノ Embolus ガ Herzventrikel ニ入ラズシテ, Foramen ovale ヨリ直チニ Aorta 内ニ入りテ periphäre A. ニ至リテ verstopfen スルモノヲ云フ。

3). **Herz 内**ニ Thrombose ヲ作ル時ハ linke Herzkammer ナレバ ablösen シタル後, 最モ屢々 Hirn-A. 内ニ入りテ Hirnembolie (腦栓塞) ヲ來シ, 特有ノ Symptome ヲ呈ス。rechte Herzkammer ニ生ジタル時ハ Lungen-A. ニ入りテ Embolie ヲ起ス (内科書参照)。

Therapie: Ruhe 最モ必要ナリ。同時ニ Morphium, Pantopon 等ノ鎮靜劑 ヲ與フ。Herzmittel ハ Herzschwäche ノアル場合ニノミ用フ。然ラザレバ反ツテ Blutdruck ヲ強メテ更ニ Embolie ヲ起ス懼アリ。

VI. Luftembolie 空氣栓塞 *Air embolism.*

V. 内ニ Luft ガ入ルニ際シ, 少量ノモノガ徐々ニ入ル時ハ Blut 内ニ resorbieren セラレテ Störung ヲ起サザレドモ, 一時ニ大量ノ Luft 侵入スル時ハ, 本症ヲ起シテ危險ナリ。

Aetiologie: Hals, 時トシテハ Achselhöhle ノ grosse V. ガ Operation 又ハ Trauma ニ際シテ verletzen セラルル時ハ, 屢々本症ヲ起ス。蓋シ是等ノ V. ハ Herz ニ近接シテ negativer Druck アルガ爲ニ, verletzen セラルル時ハ容易ニ Luft ヲ吸引スルニ至ル。

Symptome u. Prognose: Luft ハ Verletzung ノ Moment ニ吸引セララルルモノニシテ, 其際一種ノ schlüpfendes Geräusch (吸嘔様雜音) ヲ發スルモノニシテ, 少量ナレバ特殊ノ Symptome ナキモ多量ナル時ハ Brustbeklemmung (胸内苦悶), Dyspnoe, Zyanose, Pupillendilatation, Puls klein frequent, Atmung flach frequent, Ohnmacht, Krampf 等ヲ起シテ sterben ス。之ハ吸引セラレタル Luft ガ先ヅ rechte Herzkammer ニ入りテ之ヲ充シ, Lungen-A. ヲ verstopfen シ, 從ツテ linke Herzkammer ニ於ケル Blut ノ注入充分ナラズ, akute Hirnanaemie ヲ起シ, 又 Medulla oblongata (延髓)

ノ Störung トシテ Zirkulation 及 Atmung ノ Funktionsstörung ヲ來スニヨル。Luftmenge 比較的少キ時ハ、Herz ヲ經テ Lungen-A. ノ Embolie ヲ起シ Dyspnoe, Brustschmerz, Husten, Haemoptoe 等ヲ起シ、次第ニ erleichtern ス。

Diagnose: 其特殊ノ Aetiologie 及 typisch ノ Symptome ニヨリテ leicht ナリ。

Therapie: Hals, Achselhöhle ノ Operation ニ際シテハ前述ノ如キ Gefahr アルヲ以テ特ニ grosse V. ヲ verletzen セザルヤウ注意スベシ。若シ grosse V. ヲ verletzen シタル時ハ速ニ V. ノ中樞端ニ指壓ヲ加ヘ、Luft ノ侵入ヲ防ギ V. ノ Ligatur ヲ行フベシ。

此際 V. ノ損傷部ヲ Finger ニテ drücken シ、徐々ニ Finger ヲ verschieben シツツ損傷部ヲ探索シテ Schieber-Pinzette 又ハ Kornzange (麥粒鉗子) ニテ fassen シテ Ligatur ヲ施スヲ可トス。此際溢リニ周章シテ Gaze ヲ押シ込ムベカラズ。

既ニ grosse Menge ノ Luft 入りテ瀕死ノ状態ニアル時ハ、呼吸ノ Expiration (呼氣) ニ際シテ Thoraxwand ヲ兩側ヨリ drücken シ、同時ニ V. ノ損傷部ヲ開キテ Luft ヲ排出セシメ、Inspiration (吸氣) ノ時ニ之ヲ閉鎖ス。此操作ヲ反復スル時ハ幸ニ Luft ヲ排出セシメ得ルコトアリ。或ハ Wunde 内ニ physiologische Kochsalzlösung ヲ充タシ置キテ、胸部壓迫法ヲ wiederholen ス。此ノ如クシテ危険状態去リタル時ハ直チニ V. ノ結紮ヲ行フベシ。其他 rechte Herzkammer ノ Punktion ヲ行フコトモアリ。併シ既ニ grosse Menge ノ Luft 侵入シタル時ハ殆ド hoffnungslos ナリトス。

VII. Fettembolie 脂肪栓塞 Fatembolism.

本症ハ初メ Schriber ガ記載セルモノナルガ、近來ノ研究ニヨレバ Schock ニ屬スルモノトノ説モアリ。

Aetiologie: schwere Fraktur 又ハ Fettgewebe ニ富メル場所ノ schwere Quetschung ニヨリ Fettkügelchen ガ Gefäss 内ニ入り、Lunge 時トシテハ Gehirn, Darm, Niere 等ノ Gefäss ニ Embolie ヲ起スコトアリ、但シ本症ハ極メテ selten ナリ。

Symptome: Fett ノ Menge 少ナキ時ハ spezifisch ノ Symptome ナキモ、其 Menge 多キ時ハ verschiedene Symptome ヲ呈ス。

i). **Lunge** ニ於テハ haemorrhagische Infarkt (出血性梗塞) ヲ起シ Dyspnoe, Brust-

schmerz, Haemoptoe 等ヲ發ス。更ニ

ii). **Gehirn** ニ到ル時ハ Nausea, Erbrechen, Koma, Delirien, Krampf, Lähmung 等ヲ發ス。

iii). **Herz** ニ到ル時ハ Herzmuskel ノ Degeneration ヲ起シ、Herzschwäche ヲ來シ、初メハ時々 Fiebersteigerung アリ、後ニハ Körpertemperatur ノ下降ヲ見ルコトアリ。

iv). **Darm** ニ於テハ Diarrhoe, Blutung 等アリ。

v). **Niere** ニ於テハ Harn 中ニ Fettkügelchen ヲ見、時トシテハ Blut ヲ mischen ス。

Prognose u. Verlauf: schwer ナルハ einige Tage ニテ sterben シ、leicht ノモノハ Fett 次第ニ resorbieren セラレテ治ス。

Diagnose: schwere Trauma ノ後ニ Lunge, Herz 等ノ Symptome ヲ呈シ、或ハ Harn 中ニ Fetttropfen 出ヅル時ハ Diagnose sicher ナリ。

Therapie: Herzmittel ヲ與ヘテ Verlauf ヲ監視スベシ、其他ハ symptomatisch ニ behandeln ス。

VIII. Aneurysma 動脈瘤 Aneurism.

本症ヲ a). Echtes Aneurysma ト b). Falsches Aneurysma ノ 2 Arten ニ分ツ。前者ハ不完全ナガラ Gefässwand ヲ有スルモノヲ云ヒ、後者ハ之ヲ有セザルモノヲ云フ。又 A. ト V. ノ Kommunikation アリテ同時ニ Gefäss ノ Erweiterung アルモノヲ c). Aneurysma arterio-venosum ト云フ。

A). **Echtes Aneurysma od. Aneurysma verum (眞性動脈瘤)。**

Aetiologie u. Entstehung: 之ニ種々アリ。

i). **Angeborenes Aneurysma (先天性動脈瘤)。** selten ナリ、Bauchaorta, Aortenbogen ノ Ductus Botalli ノ附近等ニ認メラルルコトアリ。或ハ kleine A. ニ multipel ニ發生セル例アリ。

ii). **Aneurysma spontaneum od. Dehnungsaneurysma (特發性動脈瘤或擴張性動脈瘤)。** Arteriosklerose, Arteriitis syphilitica 等ノ疾患ニヨリ A.-Wand ノ Widerstand ガ比較的 diffus ニ減ジタルガ爲ニ Blutdruck ニヨリテ次第ニ A. ガ dilatieren シテ spindelförmig (紡錘狀) 又ハ zylindrisch (圓柱狀) ノ Aneurysma ヲ作ル。

iii). **Aneurysma dissecans (解裂性動脈瘤)。** 前者ト同ジク Arterioskle-

rose, Arteriitis syphilitica 等ニヨリテ A.-Wand ノ一部分ノ Intima (内層) 及 Media (中層) モ共ニ變化ヲ受ケタル爲ニ, 其 Widerstand ヲ減ジ, sackförmig ノ Aneurysma トナル。

iv). **Aneurysma per arrosioneum** (侵蝕性動脈瘤)。A. ノ外部ヨリ eitriche Infiltration アリタルニヨリ Widerstand 減弱シテ Aneurysma ヲ作り (eitriche Infiltration 高度ナレバ A.-Wand 全ク破レテ大出血ヲナス)。

v). **Aneurysma embolicum** (栓塞性動脈瘤)。Kalk ノ ablagern セル spitzig ノ Embolus (栓子) ニヨリ A.-Wand ガ内部ヨリ verletzen セラレ、或ハ B. ヲ含有セル Embolus ニヨリテ Intima 侵サレタル爲ニ, 其 Widerstand ヲ減ジテ Aneurysma ヲ生ズ。

vi). **Aneurysma traumaticum verum** (外傷性眞性動脈瘤)。A. ノ Quetschung 又ハ Schusswunde 等ニヨリテ, A. ノ ganze Schicht 又ハ一部ガ verletzen セラレタル爲ニ Aneurysma ヲ生ズルコトアリ。

第二百一圖



囊狀動脈瘤

第二百二圖



紡錘形動脈瘤

第二百三圖

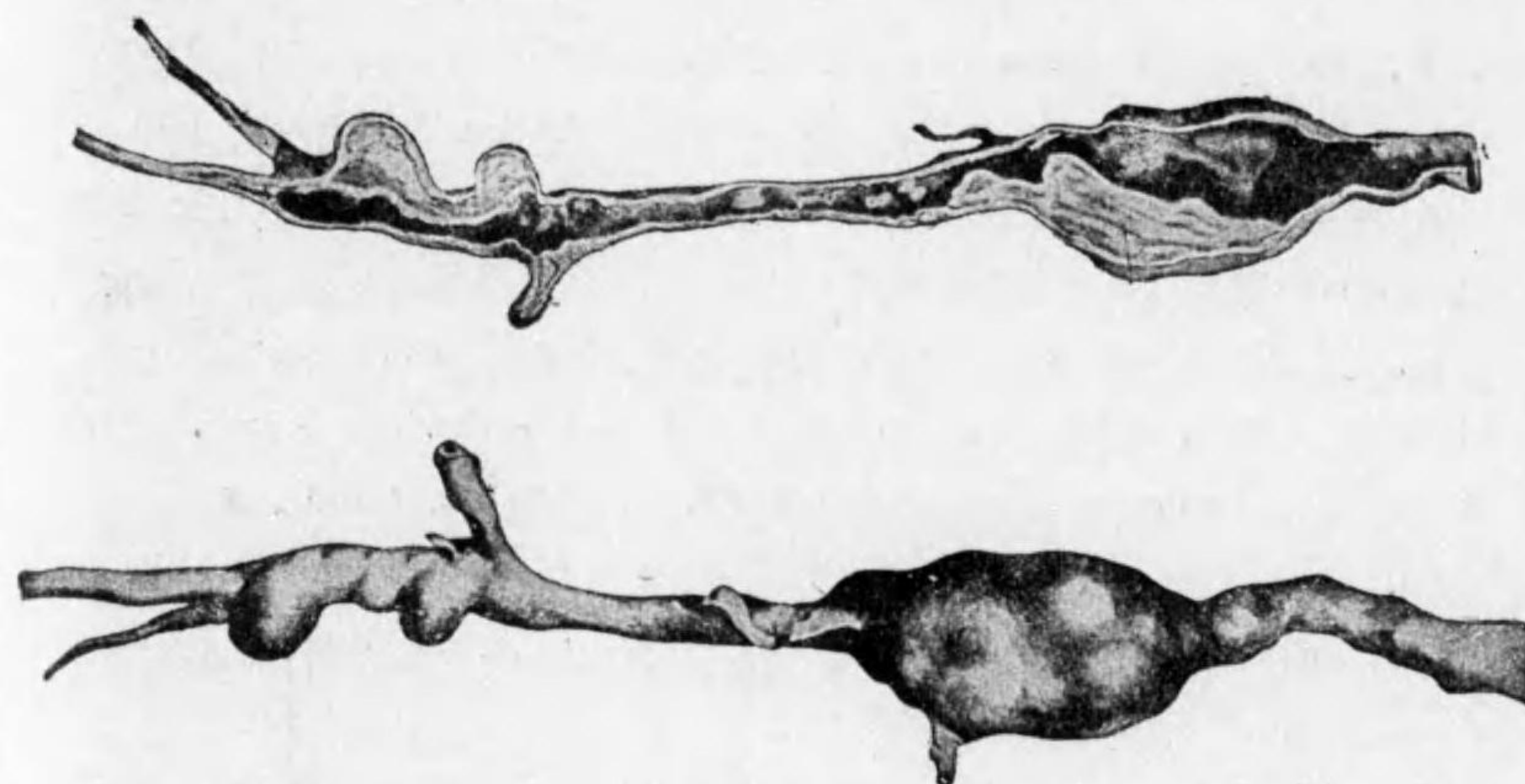


圓柱狀動脈瘤

以上ノ原因中最モ多キハ (ii). (iii). ナリ, 即チ A. ノ Syphilis, Arteriosklerose ニヨルコト最モ多ク, 又 Krieg = 際シテハ (vi). ヲ見ルコト多シ, 其他 Lunge ノ kleine A. ニ於テハ (iv). ニヨリテ kleines Aneurysma ヲ多發スルコト多シ。

Pathologie: Aneurysma ハ其 Form ニヨリテ spindelförmig (紡錘狀), zylindrisch (圓柱狀), sackförmig (囊狀) 等ニ分ツコトアリ。又 kleine A. ニ多發セル場合ニハ rankenförmig (蔓狀) トナルコトアリ (Fig. 214)。

第 二 百 十 四 圖



蔓 狀 動 脈 瘤

Aneurysmawand ニハ Intima, Media, Adventitia ノ 3 Schichten ヲ完備スルコトハ selten ニシテ, dünn トナリタル其 1—2 Schichten ノミヲ殘スコト多シ。屢々又其 Umgebung = Bindegewebe ノ Wucherung ヲ認メ, 又内部ニハ schichtweise (層狀) ノ Thrombose ヲ生ズルコトアリ。其 Dicke ハ verschieden ナリ。

Lokalisation: Brustaorta = 最モ多ク, A. poplitea, A. carotis, A. subclavia, A. anonyma, A. femoralis, A. axillaris 等之ニ次グ。小ナル Arterien

ニ於ケル Aneurysma ハ Gehirn (Syphilis ニヨルモノ多ク Hirnblutung ノ Ursache トナルコト多シ) 及 Lunge (Tuberkulose ニヨルモノニシテ grosse Haemoptoe ノ Ursache トナリ易シ) ノ Arterien ニ多シ。

Mann ニハ Frau ヨリ多ク, Alter ハ 40 Lebensjahre 以上ノ人ニ多シ。

Symptome: 一程度マデ其發生不明ニシテ偶然發見セラルルコト多シ。

- i). **Form** ハ rundlich 又ハ spindelförmig ナルモノ多ク,
- ii). oberflächlich ナルハ **Begrenzung** deutlich ナルモ, tief ノモノハ Begrenzung 不明ナルコトアリ。
- iii). **Konsistenz** ハ gespannt etwas weich ニシテ, 稍々 kompressibel ナルモ, 最モ typisch ナルコトハ
- iv). **Pulsation** (搏動) ヲ有スルコトナリ。Pulsation 著明ナルハ Inspektion ニヨリテモ認ムルコトヲ得ベシ。尙ホ此 Pulsation ハ Aneurysma ノ各方向ニ一様ニ存スルヲ以テ特異トス。
- v). 又 Aneurysma ノ上ニ手指ヲ貼スレバ pulsatorisch ニ一種ノ **Reibgeräusch** ヲ認メ, 尙ホ Auskultation ニヨリテ一層 deutlich トナル, 之ハ Aneurysma ノ中ニ出入スル Blut ノ渦流ニヨリテ起ルモノナリ。
- vi). Aneurysma ノ zentrale A. ヲ drücken スレバ Aneurysma verkleinern シ, 其 Pulsation 亦消失ス。之ニ反シテ periphäre A. ヲ drücken スレバ Aneurysma ノ Spannung 一層増大ス。
- vii). 又 Aneurysma ノ **periphäre A.** ノ Pulsation ハ健側ニ比シテ schwächer トナリ, 且ツ verlangsamen ス (脈波線ヲ畫カシムルニ其頂點低ク且ツ鈍ナリ)。
- viii). Aneurysma 其モノニハ subjektive Symptome ナキモ, 増大スルニ從ツテ他ノ **Drucksymptome** (壓迫症狀) ヲ呈ス。屢々見ラルルハ N. ノ Drucksymptome ニシテ, Neuralgie, Sensibilitätsstörung, Motilitätsstörung 等ヲ起スコトアリ。V. ヲ drücken スレバ Peripherie ニ Stauung, Oedem, Thrombusbildung 等ヲ來スコトアリ。其他 Oesophagus ヲ drücken シテ Schluckbeschwerde (嚥下困難), Trachea ヲ drücken シテ Dyspnoe ヲ起スコトアリ。

Ausgang: Aneurysma 内ニ Thrombus 充實シテ自然ニ治癒スルコトアレドモ, 此ノ如キ例ハ非常ニ selten ナリ。多クハ次第ニ増大シ, Umgebung ノ Gewebe ヲ壓迫又ハ萎縮ニ陥ラシメ, Brust ニ於ケル Aneurysma ハ屢々 Sternum, Rippe ヲ侵蝕シテ次第ニ之ヲ穿破スルニ至ル。又 Aneurysma ノ増大著シキ時ハ遂ニハ破裂シテ grosse Blutung ヲ來シテ頓死セシムルコトアリ。特ニ Haut, Herzbeutel, Oesophagus, Trachea, Pleura, Bauchhöhle 等ニ perforieren スルコト多シ。

Prognose: Lokalisation ニヨリテ一定セズ。一般ニ Operation ヲ行ヒ得ル場合ニハ良ニシテ, 然ラザルモノニ於テハ不良ナリ。

Diagnose: 多クハ leicht, 併シ tief ノモノハ時トシテ schwer。

- i). **Brusthöhle, Bauchhöhle** ノ Aneurysma ハ該部ニ於ケル各種ノ Geschwulst, Zyste 等ト誤ラルルコトアリ, 慎重ニ諸症ヲ注意スベシ, X 線検査亦必要ナリ。
- ii). **Stamm-A.** (動脈幹) ノ上ニアル **Geschwulst, Zyste, Abszess** ニ於テハ底部ノ Pulsation 之ニ波及シ, 恰モ Aneurysma ノ如クニ思ハルルコトアリ。然レドモ該 Pulsation ハ唯一ノ方向ニ昇降運動ヲナスノミ (Hebepuls)。反之 Aneurysma ニ於テハ四方ニ向ツテ平等ニ擴張性ニ搏動ス。但シ Aneurysma ニ於テモ Thrombose ニヨリテ Wand dick トナル時ハ Pulsation schwach ナルコトアリ。
- iii). **Aneurysma** ガ表面ニ aufreiben シ, 其 Perforation ニ先立チテ Haut ト verwachsen シ, Oberfläche rötlich トナルコトアリ。此ノ如キ場合ニハ **Abszess** ト誤リ Inzision ヲ行ハレタル例アリ。此際ニハ Lokalisation 及其他ノ Symptome ヲ注意スベシ。
- (iv). Gefässreiches Sarkom ハ時トシテ Aneurysma ト誤ラルルコトアリ。Lokalisation, Alter, Konsistenz 等ヲ注意スベシ。
- v). Falsches Aneurysma 及 Aneurysma arteriovenosum トノ區別ハ次項参照。
- vi). **Studenten-Aneurysma** (學生動脈瘤) ナルモノアリ, 之ハ Wirbel-

säule ノ Promontrium (薦骨岬) ノ前ニアル Aorta abdominalis (腹部大動脈) ヲ初學者ガ Aneurysma ト誤ルコトアリ。

Therapie: Aneurysma ニハ種々ノ Therapie アリ。

a). **Konservative Behandlung:**

1). Aneurysma ノ Patient ニハ常ニ Ruhe ヲ守ラシメ、飲酒、飽食等ヲ避ケシメ、Jodkalium, Calciumpräparat ヲ内服セシム。Oberfläche ニ Auftreibung 著シキ時ハ、其周圍ニ梘ノ類ヲ當テテ其上ニ保護繃帯ヲナシ、外部ヨリノ Trauma ヲ避ケ、成ルベク perforieren セザルヤウ注意スベシ。

2). **Digitale Kompression (指壓法)**。A. poplitea, A. femoralis 等ノ初期ニ有效ナルコトアリ。Aneurysma ニ近接シテ zentrale A. ヲ Daumen ヲ以テ強ク drücken シ Pulsation ヲ止ムルコト數時間ニ及ブ時ハ、之ニヨリテ幸ニ治スルコトアリ (一人ニテ壓迫困難ナルヲ以テ數人ニテ交代シテ drücken スルコトアリ)。

3). **Instrumentäre Kompression (器械壓迫法)**。例ヘバ Herniaband ニ於ケルガ如キ Perotte (壓枕) ヲ以テ Aneurysma ニ近キ zentrale A. ヲ kontinuierlich ニ drücken ス。此 Apparat ハ Finger ニ比シテ便利ナレドモ、其 Wirkung ハ Finger ニ劣ル。

4). **Gelatin-Kochsalzlösung-Injektion (ゲラチン食鹽水注入法)**。2—5% Gelatin-physiologische Kochsalzlösung ヲ毎週 2—3 回 100—200 cc 宛、 Oberschenkel 又ハ Oberarm ノ内側ニ injizieren ス。

Gelatin ハ Desinfektion ニ際シ強熱ヲ持續スレバ其 Gerinnbarkeit ヲ失フヲ以テ、毎日 30 分宛 60°C ノ Dampfsterilisation ヲ 5 日間行フヲ通規トス。併シ近來注射用ゲラチン液トシテ發賣セラル。Gelatinlösung ハ約 37°C ニ加温シテ注射ス。

其他 Gelatinalkohol, Ergotin, Liquor sesquichlorati (一半クロール過鐵液) 等ヲ其内ニ注射スル法アレドモ危険ナルヲ以テ用キザルヲ可トス。

5). Aneurysma 内ニ銀線、銅線、鐵線等ヲ刺入シ、或ハ之ニ電氣ヲ通ジ、或ハ Magnesium ノ小片ヲ刺入シテ Thrombose ヲ befördern スル法アルモ、弘ク行ハレズ。

b). **Operative Behandlung:**

1). **Ideale Operation (理想的手術法)**。本法ハ屢々 A. poplitea 稀ニ A. femoralis ニ行ハル、Aneurysma ヲ兩血管端部ニテ切除シ、其兩斷端ヲ環狀ニ縫合ス。然ル時ハ全ク Blutzirkulation ヲ stören スルコトナクシテ heilen セシメ得。併シ本法ハ兩斷端ノ距離餘リ大ナル場合ニハ行ヒ難シ。其他 sackförmiges Aneurysma ニ於テハ A. ノ側壁ニテ之ヲ切除シタル後 Gefässnaht ヲ行フモ、之ハ屢々破綻シテ grosse Blutung ヲ起シ、或ハ Thrombose ヲ作り易シ。

Gefässnaht (血管縫合法)。豫メ A.-Klemme (動脈クレンメ) ニテ A. ヲ挟ミ、細小ノ血管縫合針ト縫合糸トヲ以テ兩血管壁斷面ノ 3 Schichten ヲ dicht ニ zunähen シタル後、A.-Klemmen ヲ Peripherie ヲリ除去シ、暫時 Gaze ヲ以テ drücken シ置キ、Blutung 止ムニ及ンデ Hautnaht ヲ行フ。

2). 上法ヲ行ヒ難キ場合ニハ、其 Lokalisation 及 Zustand ニヨリテ

i). 兩端ノ A. ヲ unterbinden シテ Aneurysmasack ヲ切除ス。

ii). 兩端ノ A. ヲ unterbinden シ、Sack ノ切除困難ナレバ之ヲ開キテ Gaze ヲ插入シ、sekundär ニ heilen セシム。

iii). 兩端ノ A. ヲ unterbinden シ Sack ヲ其儘トス。

iv). Zentrale A. ノミヲ unterbinden ス。

v). Periphere A. ノミヲ unterbinden ス。

vi). 其他 Gefäss-Transplantation (血管移植法) アリ、即チ Aneurysma ヲ切除シタル後、屍體又ハ動物ノ A. ヲ以テ其中間ヲ補充スル法ナレドモ、弘ク行ハレズ。

vii). A. carotis interna ヲ全ク unterbinden スル時ハ、特ニ老人ニ於テハ Hirn ノ Zirkulation ヲ害シテ sterben セシムルコトアリ。又 A. femoralis ヲ全ク unterbinden スル時ハ、足ノ Gangraen ヲ起スコトアルヲ以テ、是等ノ場合ニハ特ニ注意ヲ要ス。併シ予等ハ是等ノ場合ニ Fascia ヲ以テ **Gefässverengung (血管狭窄法)** ヲ試ミ、其結果ヲ收メタルコトアリ。

B). **Falsches Aneurysma od. Aneurysma spurium (假性動脈瘤)**。

本症ハ Aneurysma arterielle traumaticum spurium (假性外傷性動脈性動脈瘤) 或 pulsierendes od. arterielles Haematom (搏動性或動脈性血腫) トモ

稱セラクルモノニシテ A. ノ Stichwunde, Schusswunde 等ニテ kleine Verletzung アリタル爲ニ Blut ガ A.-Wand ノ外ニ出デテ Gewebe ノ間ニ ansammeln シ, Bindegewebe ニ abkapseln セラル。此 Blut ハ koagulieren シテ次第ニ resorbieren セラルコトアルモ, 時トシテハ永ク其 Sack ノ中ニ flüssig ノ Blut ガ zirkulieren シテ本症ヲ起スコトアリ。

此際ニハ恰カモ echtes Aneurysma ノ如クニ pulsieren スル Tumor ヲ生ジ, systolisches Geräusch ヲ發シ, zentraler A.-Stamm ヲ drücken スレバ verkleinern シ Spannung 減ジ, Pulsation, Geräusch 止ム。又 periphere A. ノ Pulsation schwach トナリ, 或ハ verspättern ス。

本症ハ echtes Aneurysma ト誤ラルルコトアルモ, (イ) Trauma ノ直後ニ發生シ (前者ニ於テハ Trauma 後ニ漸次發生ス), (ロ) 著大トナラズ, (ハ) Wand dicker ナルコトニヨリテ區別セラル。尙 falsches Aneurysma ハ spontan ニ heilen スルコト前者ヨリモ多シ。

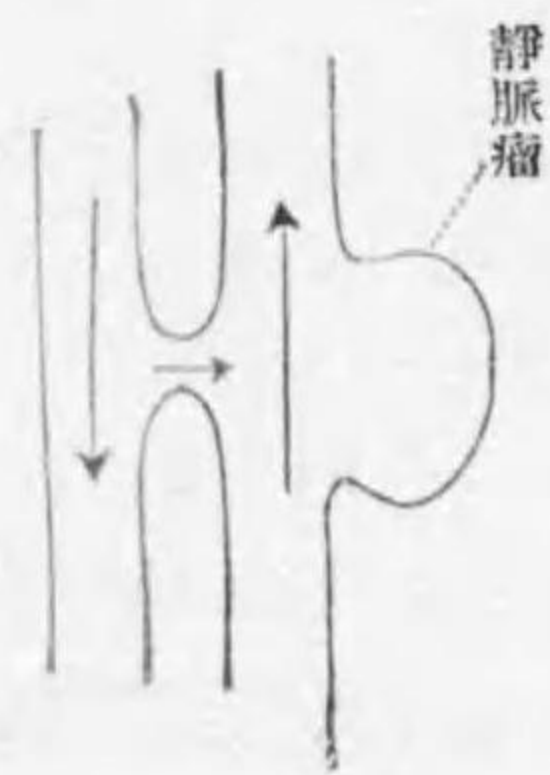
Therapie: 異ボ echtes Aneurysma ト同様ナルガ, leichter ナリ。

C). **Aneurysma arterio-venosum (動靜脈瘤)。**

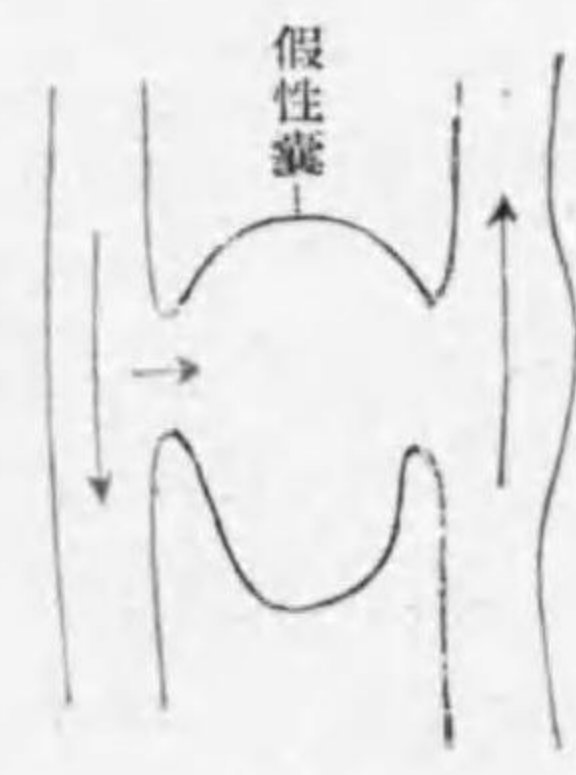
Aetiologie: 主トシテ Verletzung ノ後ニ生ジ, A. ト V. トノ竝行セル所ニ來ルヲ常トス (Oberarm, Oberschenkel, Hals, Achselhöhle 等)。

Stichwunde, Schusswunde ニヨルコト多ク, 又時トシテハ Schnittwunde,

第二百十五圖



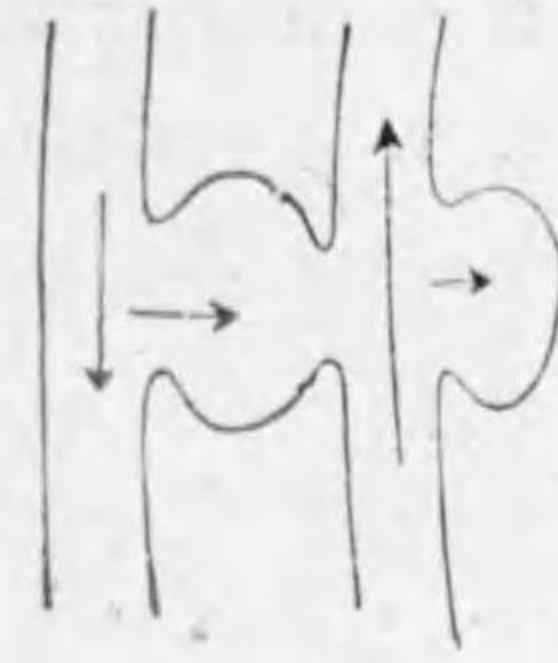
第二百十六圖



第二百十七圖



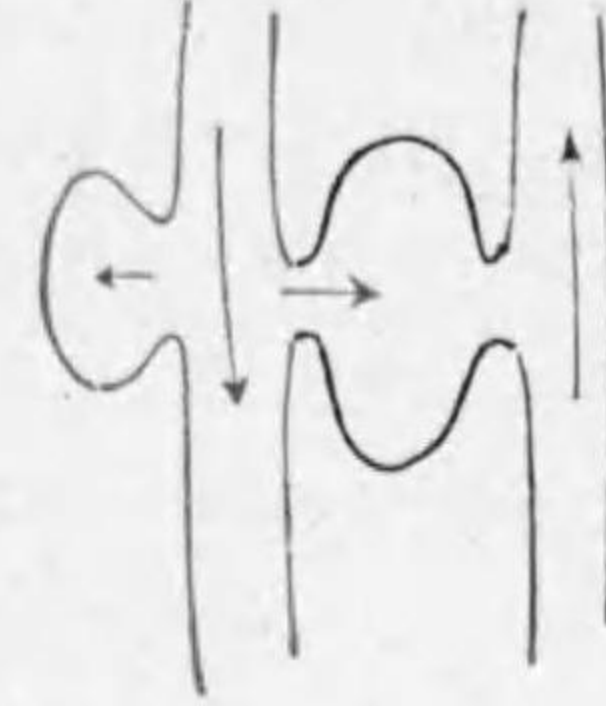
第二百十八圖



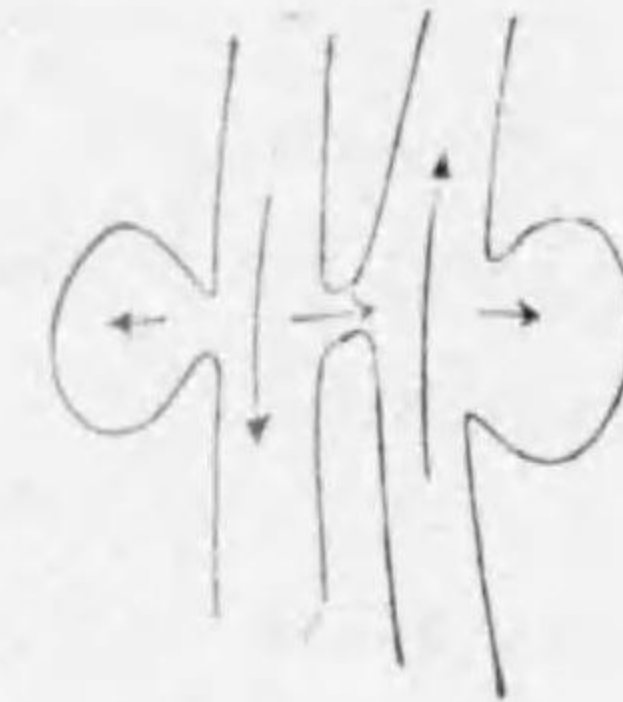
第二百十九圖



第二百二十圖



第二百二十一圖



以上各種ノ動靜脈瘤

Quetschwunde 等ニヨルコトモアリ。

Arten: 之ニハ種々ノ Formen アリ。

i). Varix aneurysmaticus (動脈性囊ヲ有スル動靜脈瘤或動脈瘤性靜脈瘤) (Fig. 209, 215)。

ii). Aneurysma varicosum (假性囊一結締織性囊ヲ有スル動靜脈瘤或靜脈瘤性動脈瘤) (Fig. 216)。

iii). Aneurysma arteriovenosum secundum (靜脈囊ヲ有スル動靜脈瘤或繼發性動脈瘤) (Fig. 217)。

iv). 種々ノ混合型 (Fig. 218, 219, 222)。

Symptome: 本症ハ Aneurysma venosum ト同様ニ pulsierender Tumor ナレドモ, A.-Blut ノ一部ガ V. 内ニ流入スルヲ以テ, 該部ノ V. ノ Dilatation 及ビ Wirbeln (渦流) ヲ生ジ, 之ガ爲ニ sausendes Geräusch (騒鳴様雜音) ヲ生ズ。此 Geräusch ハ echtes Aneurysma ノ如クニ systolisches

Stadium (心縮期) ノミナラズ, 間斷ナク存シ, 只 systolisches Stadium ニ少シク高調ス。加之 Sack 内ノ Wirbelbewegung ハ Gefässwand 及其 Umgebung ニモ震動ヲ及ボシ, 又 zentrale V. 及 periphere V. ニモ Geräusch ヲ生ズルコトアリ。zuführende A. (輸入動脈) ヲ drücken スレバ Aneurysma verkleinern シ Geräusch 止ム。

其他屢々 V.-Stauung (靜脈鬱血) ヲ伴フ。之ハ V.-Blut ノ Zirkulation ガ stören セラルル爲ニ生ズルモノニシテ, 時トシテハ Oedem ヲ伴ヒ, veraltet ノモノハ象皮病様肥厚ヲ來シ, 甚シキハ Peripherie ノ Nekrose ヲ起スコトアリ。

Ausgang: Aneurysma arterio-venosum ハ一程度ニ達スレバ Wachstum 止ムコト多キモ, 自然ニ heilen スルコト sehr selten ニシテ他ノ sekundäre Symptome 増悪スルコト多シ。又時トシテハ Trauma ニヨリテ plötzlich ニ發育シ, 屢々 durchbrechen スル危険アリ。

Prognose: Operation ノ möglich ナルモノハ良。

Diagnose: echtes Aneurysma トハ V. ニ於ケル Störung ノ有無, 竝ニ Geräusch ノ kontinuierlich ナルコト等ニヨリテ區別セラル (其他ノ Krankheiten トノ鑑別ハ前項参照)。

Therapie: Operative Behandlung トシテ Aneurysma ノ切除後 Gefäßnaht ヲ行フヲ以テ理想トナスモ, 之ヲ行ヒ難キ場合多シ, 從ツテ兩端結紮法或ハ一端結紮法ヲ行フ。

Konservative Behandlung トシテハ Druckmethode ハ無効ナルコト多シ。Gelatinlösung ノ Injektion ヲ行ヒ, Ruhe ヲ守ラシムベシ。

IX. Phlebektasie 靜脈擴張症 *Varix*.

V. ガ一部分又ハ大部分 dilatieren セルモノヲ云フ。部分的ナレバ knotig (結節狀) 又ハ spindelförmig (紡錘狀) トナリ, 瀰漫性ナレバ rankenförmig (蔓狀), serpiginos (蛇行狀) ヲナス。

本症ハ angeboren ニ V.-Wand ノ schwach ナルモノニ於テ erworben ニ

第二百二十二圖



靜脈瘤別出標本

第二百二十三圖



下肢靜脈瘤

V.-Stauung ヲ起スベキ種々ノ Ursacheアリタルニヨリテ生ズ。

本症ノ主ナルモノハ,

- i). **Haemorrhoid** (痔核) (Anus ニ於ケル V. haemorrhoidalis ノ Dilatation).
- ii). **Varicocele** (精系靜脈瘤) (精系ニ來ル).
- iii). **Varix** (靜脈瘤) (Unterschenkel ニ來ル).
- iv). **Bauchwand ノ V.-Dilatation** (Caput medusae メドゥサ頭). (Pfortader ノ Störung ニヨル).
- v). **Thoraxwand ノ V.-Dilatation** (Mediastinum ノ Krankheit ニヨル) 等ナリ。詳細ハ spezielle Chirurgie ヲ参照スベシ。

X. Nekrose und Gangraen 壊疽及脱疽

Necrosis and Gangraene.

Nekrose トハ Gewebe ノ一部ガ Lebenskraft (生活力) ヲ失ヒタルモノヲ云ヒ, Gangraen トハ Nekrose ノ結果, 該部ノ abfallen (脱落) スルモノヲ云フ。併シ屢々兩者同意義ニ使用セラル。

Aetiologie u. Arten: 本症ノ原因ニハ種々アリ。

A). **Trauma** ニ因スルモノ。

i). Gewebe 全ク durchtrennen セラレテ, 其癒合不十分ナル場合。

ii). Gewebe 甚シク quetschen セラレタル場合。

iii). Haupt-A. ノ verletzen セラレタル場合。

B). **Druck** ニヨルモノ。

i). Dekubitus (褥瘡)。 schwere Kranke, Rückenmarksverletzung 等ニ際シ, 特ニ Lendengegend, Skapulargegend, Felsenteil 等ニ生ジ易シ。

ii). Umschnürung (緊縛) ニヨルモノ, 例ヘバ Gipsverband, Esmarchsche Binde 等ヲ強ク緊縛セル爲メ。

iii). Inkarzeration (嵌頓) ニヨルモノ, 特ニ「ヘルニア嵌頓。

iv). Torsion (捻轉) ニヨルモノ, Achsendrehung des Darmes (腸捻轉), Uteruspolyp ノ Stiel 捻轉等。

C). **Physikalisch-chemische Ursache** ニヨルモノ。

i). Verbrennung (火傷)。

ii). Erfrierung (凍傷)。

iii). Aetzung (腐蝕)。

iv). Elektrische Verletzung (電氣傷)。

v). Röntgenverletzung (レントゲン傷)。

vi). Radiumverletzung (ラヂウム傷)。

D). **Bakteriologische und Toxische Ursache** ニヨルモノ。

i). Akute Entzündungen 例ヘバ Gasgangraen, Noma, Erysipelas 等,

ii). Chronische Entzündungen 例ヘバ Tuberkulose, Syphilis, Lepra 等,

iii). Giftige Schlange ノ Bisswunde 等,

E). **Gefässerkrankungen** ニ因スルモノ。

i). **Senile Gangraen od. Arteriosklerotische Gangraen** (老人性脱疽或動脈硬變性脱疽)。老人ニ來ルモノニシテ Arteriosklerose ニ因ス。Zehe ヲリ始マル

コト多ク, 時トシテハ Finger ニ來ル, Gefäss ノ Arteriosklerose deutlich ニシテ Pulsation schwach 又ハ undeutlich トナル。

ii). **Spontane Gangraen od. Praesenile Gangraen** (特發性脱疽或壯年性脱疽)。原因確定セザルモ A. ノ Arteriosklerose ニ類似セル Veränderung ノ爲ニ, Blut ノ Zirkulation stören セラルルニヨリテ起ルモノニシテ, 30—40 歳ノ人ノ Zehe 又ハ Finger ニ來リ, A. ノ Pulsation schwach 又ハ undeutlich トナル。

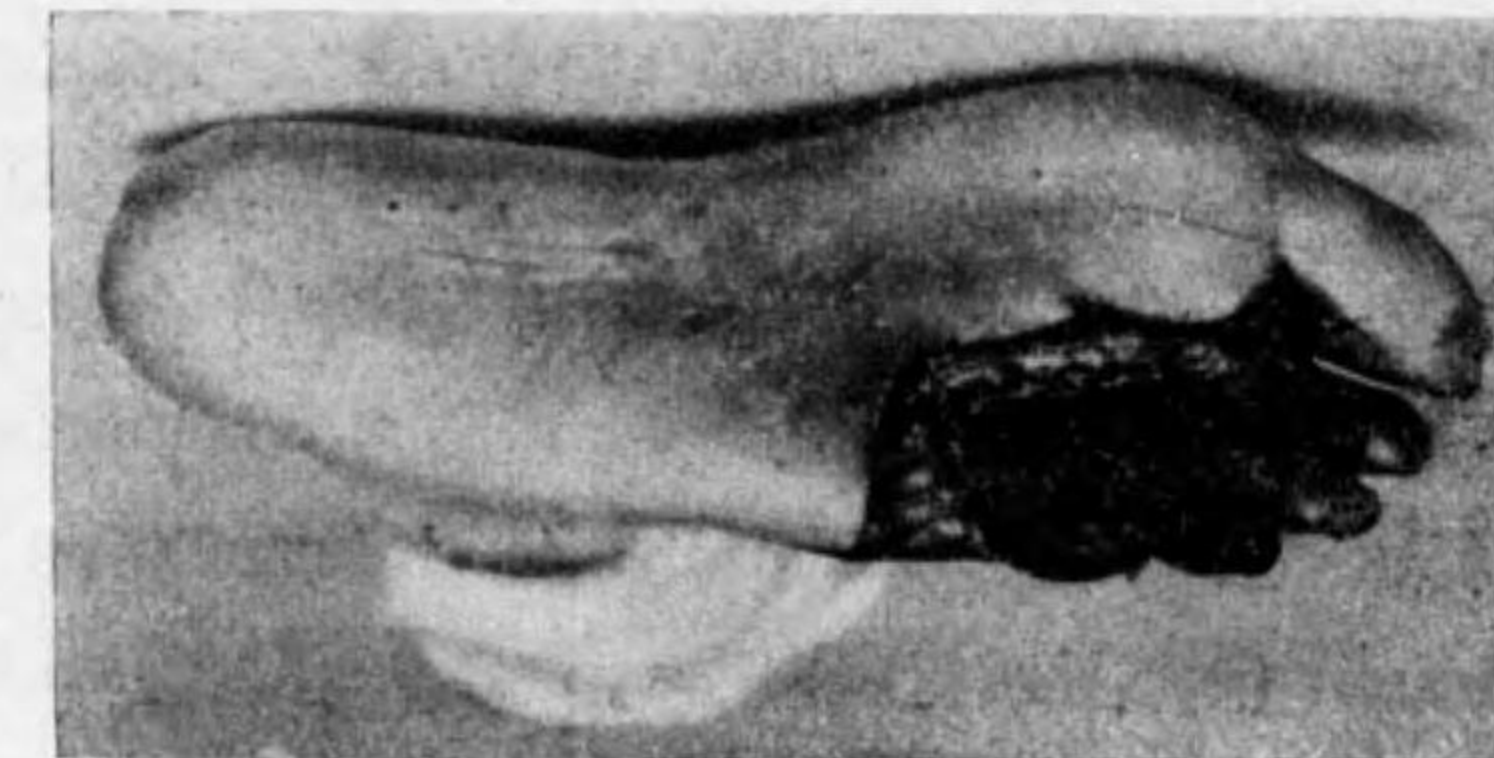
iii). **Syphilitische Gangraen** (微毒性脱疽)。A. ノ syphilitische Veränderung ニヨリテ Blutzufuhr ノ stören セラレタル爲ニ起ルモノニシテ, spontane Gangraen ニ似タル Bild ヲ呈ス, 併シ antiluetische Kur ニヨリテ多少 erleichtern ス。

第 二 百 二 十 四 圖



「カルボールガングレーン」
(n. Lexer.)

第 二 百 二 十 五 圖



足ノ乾性脱疽
(n. Keen.)

iv). **Raynaudsche Krankheit** od. **Symmetrische Gangraen** (レノー氏病或對側性脱疽)。本症ノ Ursache モ unklar ナルガ, A. ノ vasomotorische N. (血管運動神經) (sympathische N.) ノ abnormer Reiz ニヨリテ Gefäss-M. ガ spastische Kontraktur (痙攣性攣縮) ヲ起ス爲ニ來ルモノニシテ, Hysterie, Syringomyelie, Tabes dorsalis 等ガ時ニ關係アルコトアレドモ, 又時トシテハ全ク是等ノ關係 unklar ナルコトモアリ。且ツ喫煙, 飲酒ガ關係アリトモ稱セラル。

本症ハ特ニ Fuss ニ多ク, 時トシテ Hand, sehr selten ニハ Gesicht ニモ來ル, Fuss ニ於テハ歩行ニ際シ plötzlich ニ heftig ノ Schmerz ヲ發シ, gehen シ能ハザルニ至ル。此際 Fuss ニ Zirkulationsstörung ヲ來シ, kalt ニシテ blass 或 blaurötlich トナリ, A. dorsalis pedis ノ Pulsation ヲ fühlen シ能ハザルニ至リ, Paraesthesie (知覺異常) ヲ伴フ。併シ暫時 liegen シテ Ruhe ヲ保テバ, 以上ノ Symptome 全ク erholen シテ normal ノ如ク gehen シ得ルニ至ル, 之ヲ **Claudicatio intermittens** od. **Intermittierendes Hinken** (間歇性跛行) ト稱ス。

本症進行スルニ從ツテ Intervall kurz トナリ, 僅ニ歩行スルモ Schmerz-anfall ヲ來シ, 長ク休止セザレバ erholen セズ (Finger, Gesicht ニ於テハ psychischer Reiz ニヨリテ以上ノ Anfall ヲ起スコトアリ)。是等ノ Vor-symptome ハ數年乃至十數年 dauern シテ, 其間ニ多少ノ消長アリテ長ク Gangraen ヲ起サザルコトモアレドモ, 遂ニハ Zehe ニ symmetrisch ニ Gangraen ヲ起ス, 其 Bild ハ Spontane Gangraen 等ト同様ナリ。

併シ Intermittierendes Hinken ノ Symptome ハ, 前記ノ Gangraen ニ於テモ起ルコトモアリ, 又前記ノモノニ於テモ symmetrisch ニ Gangraen ヲ起スコトアリ。

v). **Diabetische Gangraen** (糖尿病性脱疽)。Diabetiker ニ於テハ Arteriosklerose ヲ frühzeitig ニ起シ易ク, 且ツ Eitererreger ニ對スル Widerstand schwach ナルガ爲ニ Eiterung ヲ起シ易ク, 之ガ爲ニ Gangraen ヲ來ス。本症ハ比較的 selten ナルモ, Zehe 時トシテハ Finger, Penis 等ニ見

ラルルコトアリ。

Diabetische Gangraen ハ malignös ニシテ, 毎常 feuchte Gangraen ノ Bild ヲ呈シ, 多クハ Phlegmone ヲ伴ヒ schmerzhaft ニシテ fortschreiten シ易シ。betreffende A. ノ Pulsation ハ schwach 又ハ undeutlich ナリ。

vi). **Toxische Gangraen** (中毒性脱疽)。Ergotin (麥角) 又ハ Blei (鉛) ノ chronische Vergiftung ノ結果 Gefäss ノ Kontraktion ヲ來シテ, Zehe 又ハ Finger ノ Gangraen ヲ起スコトアルモ, 近來殆ド是等ヲ見ズ。

vii). **Gangraen durch Thrombose u. Embolie** (栓塞及血栓ニヨル脱疽)。Thrombose 及 Embolie ハ第 310 頁ニ述ベタルガ如ク種々ノ原因ニヨリテ起リ, 又前記 A. ノ各疾患ニ際シテ Thrombose ヲ bilden ス。是等ノモノガ Haupt-A. ニ發生スル時, 例ヘバ A. femoralis, A. axillaris ニ發生スル時ハ, Peripherie ノ Zirkulationsstörung ヲ來シテ Gangraen ヲ起スニ至ル。又 Haupt-A. ノ Unterbindung 及 Druck ニヨリテモ同様ノ Gangraen ヲ起スコトアリ。

此際ニハ初メ lokal ニ Schmerz ヲ發シ plötzlich ニ blass, kalt トナリ, Sensibilität, Motilität ナクナリ, 次第ニ Gangraen ニ陥ル, 併シ決シテ fortschreiten スルコトナク, Demarkationslinie ヲ生ジ, trockene Gangraen ノ Bild ヲ呈ス。betreffende A. ノ Pulsation ハ上方ニ於テハ normal ノ如ク deutlich ニ觸ル。

本症ハ Prognose 比較的 schlecht ニシテ, 特ニ Kind ニ於テハ早ク amputieren セザレバ速ニ Schwäche ニヨリテ sterben セシム。

viii). **Hochgradige Stauung des Unterschenkels** (下腿ノ高度ノ鬱血)。Varix hochgradig ナル場合, V. femoralis ノ Stauung hochgradig ナル場合ニハ Peripherie ノ Zirkulation 充分ナラザルガ爲ニ, kleine Ursache ニヨリテ Haut ノ Nekrose ヲ來シ, Geschwür ヲ生ジ, 次第ニ ausbreiten スルコトアリ, 併シ之ハ他ノ Gangraen ノ如クニ Fuss ノ Peripherie ニ來ルニアラズシテ, Unterschenkel 又ハ Fuss ニ來リ, 又 Gangraen ノ Bild deutlich ニアラズシテ, 寧ロ Geschwür ヲ主トス。

F). **Neuropathische Gangraen** (神経性脱疽)。

Tabes dorsalis (脊髄癆), Syringomyelie (脊髄空洞症), Rückenmark ノ Verletzung 等ニ際シ, trophische N. (栄養神経) ノ Störung ノ爲ニ Fuss ニ Gangraen ヲ起スコトアリ (Zehe ニハ來ラズ), 次第ニ Knochen, Gelenk ヲ 侵シ, 遂ニハ Fuss ヲ perforieren スルコトアリ (**Mal perforant du pied** 穿足症)。之ニ於テハ nekrotisches Gewebe ハ schlaff, 且ツ全ク schmerzlos ニシテ, 全然 heilen スル傾向ナシ。

Symptome: 以上種々ノ Ursache ニヨリテ Ursache ガ wirken シタル Stelle ニ直接 Gangraen ヲ起ス場合ト, 其 Peripherie 特ニ Zehe, Finger ニ Gangraen ヲ起ス場合トアリ。後者ハ主トシテ Gefässerkrankungen ニ因スルモノニシテ, 其他ハ Ursache ノ wirken セル到ル所ニ Gangraen ヲ起ス。 Gefässerkrankung ニ因スル場合ニハ betreffende A. ノ Pulsation schwach ナルカ, 或ハ殆ド觸レ難キヲ常トスルモ, 他ノモノニ於テハ A. ノ Pulsation ニ Veränderung ナシ。

通常 **Gangraen** ニ a) Trockene Gangraen ト, b) Feuchte Gangraen トヲ區別ス。

a). **Trockene Gangraen (Brand), Gangraena sicca** od. **Mumifikation** (乾性壞疽或木伊乃變性)。之ハ Trauma, Druck (Dekubitus ヲ除ク), 種々ノ physikalische Ursache, chemische Ursache, Haupt-A. ノ Embolie 又ハ Thrombose 等ニ因スルモノニシテ, 後者ニ比シテ günstig ノモノナリ。

Nekrotische Stelle 初メハ blass ナルモ, 漸次 bräunlich—schwärzlich トナリ, 次第ニ schrumpfen シテ hart トナル, 之レ即チ Mumifikation (木伊乃變性) ノ名アル所以ナリ。

之ハ毎常進行性ニアラズシテ, gesunder Teil トノ間ニ Demarkationslinie (分界線) ヲ生ズ, コハ gesunder Teil ヲ生ジタル Granulationsgewebe ニシテ rötlich weich ノ細キ Linie ヲナシ, 遂ニハ nekrotische Gewebe ハ Demarkationslinie ヲリ abfallen シテ Heilung ニ赴ク。

其他 trocken Gangraen ニ於テハ Sekret ノ Ausscheidung 著シカラズ,

Schmerz モ gering ナルコト多シ, 併シ Beginn ニハ可ナリ deutlich ナルコトアリ。

b). **Feuchte Gangraen (Brand)** od. **Gangraena humida** (濕性壞疽)。之ハ種々ノ Entzündungen, neuropathisch ノモノ, Dekubitus 等ニ因スルコト多シ。

之ニ於テハ Nekrose ノ始マラントスル所ニ屢々 Zyanose ヲ呈スルコトアリ, nekrotischer Teil ハ schmutzig grauweisslich—bläulich—dunkel grünlich—bräunlich—schwärzlich ノ Farbe ヲ呈シ, feucht ニシテ多クハ gesunder Teil ヲリモ anschwellen シ, schlechter Geruch ヲ有スル Sekret ヲ ausscheiden ス。

之ニ於テハ前者ノ如ク deutlich ノ Demarkationslinie ヲ作ルコトナク, 次第ニ fortschreiten スル Neigung ヲ有ス。

又上方ノ Haut ハ trockene Gangraen ノ如クニ全ク gesund ニアラズシテ, 多少ノ Ernährungsstörung ヲ伴ヒ, Kältegefühl (冷厥感), Hypaesthesia (知覺鈍麻) アリ, 或ハ Haut ニ Blase ヲ bilden スルコトアリ, 又屢々 Phlegmone, Fäulniss ヲ伴フコトアリ。

Schmerz ハ其 Ursache ニヨリテ異レドモ, 多クハ deutlich ナリ。

併シ feuchte Gangraen ハ屢々 trocken Gangraen ノ Bild ヲ kombinieren シ, 又ハ一時 Gangraen ノ Fortschreitung 止ミテ trocken Gangraen ノ Bild ヲ呈シ, 或ハ verschlimmern スルニ及ンデ又 feuchte Gangraen ノ Bild ヲ呈スルコトモアリ。

其他各原因ニヨリテ夫々 typisch ノ Symptome ヲ呈スルコトアリ。

Ausgang u. Prognose: 一旦 Nekrose ニ陥リタルモノハ, 決シテ其 Leben ヲ回復スルコトナシ, 併シ Haut ノ leichte Verfärbung ノミニ留マル時ハ, konservative Behandlung ニヨリテ heilen スルコトアリ。

Trockene Gangraen ニ於テハ nekrotischer Teil ガ Demarkationslinie ヲリ abfallen シテ heilen スルコト多キモ, feuchte Gangraen ニ於テハ fortschreitend ニ verschlimmern スルコト多シ, 又初メ側ノ Zehe ノミニアリシモ

ノガ、他ノ Fuss 或ハ Finger 等ニモ同病ヲ發スルコトアリ。

Gangraen 其モノニヨリテハ Leben ヲ失フコトナキモ、Schmerz heftig ナル時ハ次第ニ Schwäche ヲ起シ、特ニ Fäulniss, Phlegmone ヲ kombinieren スル時ハ一層 Schwäche deutlich トナル。

Diagnose: leicht. 併シ如何ナル Ursache ニヨルモノナルカヲ決定スルコト wichtig ナリ、特ニ Gefässerkrankungen ニヨルモノニ於テハ其判定 schwer ナルコトアリ (Spez. Chirurgie 参照)。

Therapie: Aetiologie 及 Stadium ニヨリテ異ルモ、其大體ヲ述ブレバ、

a). Kausale Krankheiten ニ向ツテ behandeln スルヲ要ス、例ヘバ Eiterung, Syphilis 等ニ因スルモノナル時ハ先ヅ是等ヲ behandeln ス。併シ kausale Behandlung ノ方法ナキモノアリ。

b). **Konservative Behandlung.** 最モ屢々行ハルルハ Na.-Zitrat-physiologische Kochsalzlösung ナリ。

Rp. Natrium chlorati (食鹽)	6.—8.0
Natrium citrati (枸橼酸曹達)	5.0
Aqua destillata (蒸餾水)	1000.0
(以上消毒注射用)	

其他 Ringersche Lösung, Locksche Lösung 等モ用キラル。是等ノ Lösung ノ 600—1000 cc ヲ intravenös 又ハ subkutan ニ隔日 injizieren ス。此際同時ニ Badtherapie, Heisslufttherapie, Diathermietherapie, Sonnenlichttherapie 等ヲ行ヒ、lokal ノ Zirkulation ヲ佳良ナラシム。günstig ナルハ einige Monate ニテ奏效スルモ、少クトモ半年以上行ハザルベカラズ。

c). **Operative Behandlung.** i). Trockene Gangraen ニテ Demarkationslinie deutlich ナル時ハ、其 Linie ヲリ切除シテ heilen スルモ、feuchte Gangraen ニ於テハ無効ナリ。

ii). Feuchte Gangraen ニ於テハ Zirkulation ノ充分ナル上部ニテ Amputation ヲ行フ。即チ Zehe ニ於テハ Unterschenkel ノ下三分ノ一又ハ Mitte, Finger ニ於テハ Vorderarm ノ Mitte ニテ amputieren ス。

iii). 曾テ spontane Gangraen 等ニ對シテ *Wietingsche Operation* (ウエーチング氏手術) ナルモノアリシガ (A.-Stamm ト V.-Stamm ノ間ニ Anastomose ヲ行フ法), Erfolg 充分ナラザルヲ以テ現今之ヲ行フ人ナシ。

iv). Unterschenkel ノ Gangraen ニ對シ A. femoralis ノ Wand ニ於テ Sympathektomie (交感神經切除術) ヲ行ハレシモ, Erfolg sicher ニアラス、併シ近來 Laparotomie ヲ行フテ Ganglion lumbalis u. sacralis (腰椎又薦骨神經節) ヲ exstirpieren スル法 empfehlen セラル。Finger ニ於テハ Ganglion cervicalis (頸神經節) ヲ exstirpieren ス。

v). Zehe, Finger 以外ノ lokalisierte Gangraen ニ對シテハ、多クハ其 lokal ノ nekrotisches Gewebe ヲ exstirpieren シテ Wundbehandlung ヲ行フ。又夫々ノ原因ニヨリテ Behandlung ヲ異ニス。

XI. Haemophilie 血友病 *Haemophilia.*

Aetiologie: 未ダ不明ナリ。Kapillarenwand 弱クシテ極メラ破綻シ易ク、且ツ Blut ノ Gerinnbarkeit (凝固性) 甚ダ少シ。但シ其他ノ Blut ノ Beschaffenheit ニハ著變ナシ。

本病ハ Kinder ニ多ク、屢々 Heredität ヲ認ム。

Symptome: 本病ハ Neugeborene 又ハ erstes Dentitionsstadium (第一生齒期) ニ發見セラルルコト多シ。

本病ノ特徴ハ ganz leicht ノ Verletzung ニヨリテモ reichlich ニ bluten スルコトニシテ、且ツ此 Blutung ノ止血ハ甚 schwer ニシテ、微小ノ Wunde 又ハ Zahnextraktion ノ後ナドニモ lebensgefährlich (瀕死) ノ Blutung ヲ來スコトアリ。又 Neugeborene ノ Nabelschnür (臍帶) ヲリ bluten シテ止マザルコトモアリ。

Blutung ハ Wunde ノミナラス、屢々 Gelenk, Muskel, Nasenschleimhaut, Magen- u. Darmschleimhaut 等ヨリ出デテ止マザルコトアリ。

Blutung 著シキ時ハ、其儘 akute Anaemie ニヨリテ sterben ス。或ハ幸ニ sterben セザルモ allgemeine Anaemie ノ爲ニ Mattigkeit, Herzklopfen,

Kopfschmerz, Schwindel (眩暈), Ohrensausen (耳鳴) 等ヲ起スコトアリ。

Diagnose: 一旦 Blutung アル時ハ止血甚ダ困難ナルコトニヨリテ Diagnose ganz leicht ナリ。併シ Blutung ナキ間ハ Diagnose 甚 schwer ナリ。

然ルニ此ノ如キ Patient ヲ operieren スル時ハ、時トシテ lebensgefährlich ノ Blutung アルヲ以テ特ニ注意ヲ要ス。之ニハ本病ノ Heredität ノ有無、Anamnese ニ於ケル Blutung ノ状態ヲ調査スベシ。特ニ又 anämisch ノ Kind ニ注意スベシ。

Blut ノ Untersuchung トシテハ Blut ノ Gerinnbarkeit (凝固力) 甚ダ不良ナルコト、及 Blut ノ Viscosität (粘稠度) ノ小ナルコトニヨリテ診断セラル。

之ト differenzieren スベキ Krankheit ハ **Skorbut** (壞血病), **Purpura** (紫斑病) ナルガ何レモ各 typisch ノ Symptome ヲ有シ、Blutstillung 此ノ如ク schwer ニアラズ (内科書参照)。

其他時トシテ **Influenza** ノ後ニ haemorrhagische Disposition (出血性素質) ヲ生ズルコトアリ。

Prognose: Blutung ノ Lokalisation ニヨリテハ Blutstillung schwer ナリ。又 Wunde 等ヨリ Blutung アル時ハ、成ルベク速ニ止血法ヲ行フベシ。

一般ニ本病ハ年齢ノ長ズルニ從ツテ次第ニ其度ヲ減ジ、成年後ニ之ヲ發スルコトハ sehr selten ナリ。

Therapie: 本病ノ患兒ニ對シテハ Trauma ヲ避クルニカメ、allgemeine Ernährung ヲ佳良ナラシム。特ニ Calcium 含有物ヲ多量ニ攝取セシム (小魚骨、貝類等) 或ハ Chlorcalcium ヲ内服セシム。

Rp. Calcium chlorati (クロールカルチウム) 5.0

Aq. dest. (蒸餾水) 120.0

Sirups menthae (薄荷舎利別) 25.0

右混和一日數回一食匙宛服用。

Wunde 等ヨリ bluten シタル時ハ Liquor sesquichlorati (一半クロール過鐵液) ヲ Watte ニ浸シテ Wunde ニ當テ、其上ニ Druckverband ヲ行フ。

其他 Blutstillung 困難ナル場合ニハ 10% Kochsalzlösung 20—30 cc (Chlornatol), Pferdserum 又ハ Diphtherieserum 20—30 cc ヲ intravenös ニ injizieren ス。併シ最モ效果アルハ Bluttransfusion (輸血法) ニシテ 100—200 cc ニテ目的ヲ達ス。

Ergotin, Adrenalin 等ノ注射ハ效ナシ。其他 Milz ノ Röntgenbestrahlung モ用キラル。新藥トシテハ Clauden, Fibronin, Thromurbin ナルモノアリ。

XII. Geschwülste der Gefäße 血管ノ腫瘍

Tumors of blood-vessels.

Periphere kleine V. 又ハ Kapillaren ヨリ屢々 **Haemangiom** (血管腫), selten ニハ **Haemangioendotheliom** (血管内被細胞腫) ヲ發生ス。grosse Gefässwand ニハ殆ド Geschwulst ヲ發生セズ。

XIII. Operationen der Gefäße 血管ノ手術

Operation of blood-vessels.

Aneurysma ノ Operation, Gefässnaht, Blutstillung 等ノ條下参照。

IX. Abschnitt.

Lymphgefäß-Chirurgie.

淋 巴 管 外 科

I. Verletzungen der Lymphgefäße 淋 巴 管 ノ 外 傷

Injury of the lymphatic vessels.

Lymphgefäß ハ Wunde アル時ハ每常共ニ verletzen セラルルモノナレドモ、此際生ズル **Lymphorrhoe (淋 巴 漏)** ハ其 Menge 少ク且ツ多クノ場合 Blut ノ Farbe ニヨリテ bedecken セラルルヲ以テ不明ナリ。併シ linker Supraclavicularraum, Brusthöhle, Bauchhöhle ニ於ケル Ductus thoracicus (胸管), Achselhöhle, Inguinalgegend ニ於ケル grosser Lymphstamm ガ verletzen セラレタル時ハ Lymphorrhoe ヲ見ルコトアリ。

Ductus thoracicus ノ verletzen セラレタル時ハ Verdauungszeit ニハ chylös (乳糜狀) ノ Flüssigkeit reichlich ニ出ヅルモ、nüchterne Zeit (空腹時) ニハ其 Menge 少ク且ツ klar ナリ。他ノ Lymphgefäße ニ於テハ每常 wasserklar ナリ。

Ductus thoracicus ニヨル Lymphorrhoe 永續スル時ハ、次第ニ Ernährungsstörung ヲ起スニ至ルコトアルモ、多クハ V. トノ間ニ Anastomose (副行枝) ヲ生ジテ自然ニ heilen スルモノトス。

Thorax ニ於テ Ductus thoracicus ガ verletzen セラルル時ハ Chylothorax (乳糜胸) ヲ起シ、甚シキハ Dyspnoe ヲ來ス。

Bauch ニ於テハ Ascites chylosus (乳糜性腹水) ヲ起ス (各論参照)。

又 Inguinalgegend, Femoralgegend ニ於テハ Lymphdrüse ノ Operation 後 Lymphorrhoe アリテ長ク Fistel ヲ殘シテ heilen セザルコトアリ。

Therapie: 大ナル Lymphstamm ニ Verletzung アルモ、多クハ Jodoformgaze 等ヲ以テ tamponieren (栓塞) シ aseptischer Verband ヲナシ置ケバ

heilen ス。Ductus thoracicus ニ於テハ Unterbindung (結紮) ヲナスコトアリ。Chylothorax ニテ Dyspnoe 甚シキ時ハ Punction ヲ要スルコトアリ。

併シ多少ノ Dyspnoe アルモ之ヲ放置スル時ハ自然ニ heilen スルコト多シ。

II. Lymphangitis (Lymphangoitis) acuta 急 性 淋 巴 管 炎

Acute lymphangitis.

Aetiologie: 特ニ Extremitäten ノ eitrige Krankheiten, 殊ニ infizierte Wunde ニ續發ス。(Leichengiftinfektion モ本症ノ一種ナリ)。

Pathologie: B. ガ Lymphgefäß 内ニ侵入セルニヨリテ、Lymphgefäß ニ沿ヒテ akute Entzündung ヲ起ス。多クハ同時ニ Perilymphangitis (淋 巴 周 圍 炎) ヲ伴ヒ、重症ナル時ハ Lymphthrombose (淋 巴 栓 塞) ヲ起シ、Lymphgefäßwand ガ nekrotisch トナリ、該部ニ Phlegmone 又ハ Abszess ヲ作ルコトアリ。

又 Lymphangitis アル時ハ多クハ Lymphadenitis acuta (急性淋 巴 腺 炎) ヲ併發ス。

Symptome: 本症ニ i). **Oberflächliche Lymphangitis (表在性)** ト ii). **Tiefe Lymphangitis (深在性)** トヲ分ツ。表在性ナルハ infizierte Stelle ヲヨリ上方ニ向ヒテ Lymphgefäß ニ相當シテ rötlich ノ Linie ヲ生ジ、之ヲ觸ルルニ稍々 derb ニシテ druckempfindlich ナリ。反之深在性ノモノニハ rötliche Linie 不明ニシテ、只 Lymphgefäß ニ entsprechen シテ schmerzhaft ノ Strang ヲ觸ル。

Allgemeine Symptome トシテ Fiebersteigerung アリ、Fieber 高キ時ハ種々ノ Fiebersymptome ヲ伴フ。

Obere Extremität ニ於テハ Cubitaldrüse (肘腺), Achseldrüse (腋窩腺), untere Extremität ニ於テハ Femoraldrüse (股腺) ノ akute Anschwellung, Druckschmerz ヲ來スヲ常トス。

Ausgang u. Prognose: Verlauf akut ニシテ、一時 Symptome schwer

ナルガ如キモ、適當ノ Therapie ニヨリテ多クハ速ニ heilen ス。併シ時トシテハ Lymphdrüse 又ハ Lymphgefäss ニ Eiterung ヲ起シ、或ハ Phlegmone 又ハ Erysipelas ヲ kombinieren シテ schwer ナルコトアリ。甚シキハ allgemeine Infektion ヲ起シテ Lebensgefahr アルコトアリ。

Diagnose: typisch ノ Symptome アルニヨリテ Diagnose leicht ナリ。

Therapie: lokal ノ Ruhe, Hochlagerung (高擧法) 必要ナリ。

10—20% Ichthyolglycerin 又ハ T. jodi ヲ bepinseln シ, kalter Umschlag ヲ行フ。

Eiterung ヲ起セバ Inzision ヲナス。

又 Primärherd ニ對シテハ、其状態ニ應ジテ Inzision 又ハ Auskratzung 等ヲ行フ。

Allgemeine Symptome schwer ナル時ハ、Herzmittel ノ Injektion, Rivanol, Presojod, Yatren 等ノ intravenöse Injektion ヲ行フコトアリ。

III. Lymphangitis chronica simplex 單純性慢性

淋巴管炎 Simple chronic lymphangitis.

Lymphangitis acuta ノ wiederholen セル後、又ハ Ekzema, Geschwür 等アリテ絶エズ Toxin ノ resorbieren セラレタル爲ニ起ル。

之ニヨリテ Lymphgefässendothelzellen ノ Wucherung, Perilymphatisches Bindegewebe ノ Verdickung ヲ來シ、遂ニハ Lymphgefäss ノ閉塞ヲ起シ、Lymphstauung ニヨリテ Elephantiasis ヲ續發スルニ至ル。

Therapie: Ursache ヲ去リ、Hochlagerung, Massage 等ヲ行フ。

IV. Lymphangitis tuberculosa 結核性淋巴管炎

Tuberculous lymphangitis.

Lymphdrüse ノ Tuberkulose ハ sehr häufig ナルモ、Lymphgefäss ノ Tuberkulose ハ sehr selten ナリ。予ハ曾テ此ノ一例ヲ erfahren セリ。

本症ハ Lymphgefäss ニ tuberkulöses Granulationsgewebe ヲ發生セル爲ニ之レニ相當シテ Strang ヲ生ジ、時トシテハ Verkalkung ヲ起ス。subjektiv ニ Klage ナキヲ以テ、久シク其發

生ニ氣付カザルコト多シ。klinisch ニ Fibrom 又ハ Osteom ト區別困難ナリ。

Therapie ハ einfach ニ exstirpieren スルコトヲ得ルモ、他部ノ Tuberkulose ニ注意スベシ。

V. Lymphangiectasie 淋巴管擴張症

Lymphangiectasie.

Aetiologie: i). habituelles Erysipelas ニヨリ、或ハ ii). Lymphgefäss 内ニ於ケル Filaria ノ寄生ニヨリ、又ハ iii). Bubo ノ Exstirpation, Lymphgefässstamm ノ Unterbindung ニヨリ、或ハ iv). schwere Quetschung, Phlegmone 等ノ後ニ本症ヲ起スコトアリ。

本症ハ Extremitäten 特ニ untere Extremitäten ニ多ク來ル。

Symptome: 其 Aetiologie ニヨリ akut 又ハ chronisch ニ起ル、或ハ anfallsweise ニ verschlimmern ス。

又 oberflächlich ノ Lymphgefäss ニ來リタルモノト、tief ノ Lymphstamm ニ來ルモノトニヨリテ少シク趣ヲ異ニス。

A). **Lymphangiectasie reticularis.** (網狀淋巴管擴張症)。Haut 又ハ Serosa ノ Lymphgefäss-Kapillaren ガ dilatieren セル時ハ、該部 anschwellen シ、屢々連續的ニ Bläschen ヲ認ム。此 Bläschen ハ erbsengross 以下ナルヲ常トス、wasserklar 又ハ milchig weiss ノ Inhalt ヲ有シ、之ヲ drücken スレバ Flüssigkeit ハ周圍ニ滲逸シテ陷凹ヲ生ズルモ、暫時ニシテ舊狀ニ復ス。

B). **Lymphangiectasie truncularis.** (淋巴管幹擴張症)。Haut ノ深部ノ grosse Lymphgefäss ガ dilatieren セル時ハ、regenwurmartige Verschlängerung (蚯蚓様迂曲) ヲナセル Strang ヲ生ジ、weich ニシテ kompressibel ナルヲ常トス。

Haut ハ normal ナルカ、或ハ Bläschen ヲ生ズルコトアリ。又 subfascie (筋膜下) ノ Lymphgefäss モ dilatieren セル時ハ、該部一般ニ anschwellen シ Konsistenz weich ナリ。

以上ノ兩者ハ屢々 kombinieren シ來ルモノニシテ、erkrankte Stelle ノ Haut ニ Entzündung ヲ起シ易ク、Bläschen ハ ganz leicht ノ Trauma ニヨリテモ verletzen シ易ク、之ガ爲ニ多量ノ Lymphorrhoe ヲ來シ、allgemeine Schwäche ヲ起スコトアリ。其他時トシテハ Phlegmone, Erysipelas, Lymphangitis acuta ヲ起スコトアリ。

本病ノ Verlauf ハ chronisch ニシテ次第ニ Elephantiasis ヲ起ス。

Diagnose: 一般ニ leicht。併シ Lymphgefäss ガ tumorartig ニ dilatieren セル時ハ **Lymphangiom (淋巴管腫)** ト鑑別ヲ要ス。Entstehungsalter 及 Ursache ノ有無, Form, Lokalisation 等ニヨリテ區別セラル。

其他 **Varix (静脈瘤)** トハ bläuliche Verfärbung, dicke V. ガ reichlich ニ verschlängern セルコト, Ursache ノ有無ニヨリテ區別セラル。

Prognose: 直接 Leben ニ Gefahr ナキモ, Krankheit 其モノハ Ursache ノ去ラザル間ハ治癒シ難シ。

Therapie: i). Druckverband, Hochlagerung, Massage 等ヲ行フ。

ii). Lymphorrhoe アル時ハ Salbe ニヨリテ保護シ, 或ハ Lapis (硝酸銀棒ニテ aetzen シ) 又ハ Paquelin (烙白金) 等ヲ以テ kauterisieren ス。

iii). Tumorartig トナレルモノハ operativ ニ exstirpieren ス。併シ既ニ hochgradig トナレルモノハ Behandlung ノ法ナシ。

iii). Lymphgefässstamm ノ Stauung ニヨル時ハ Elephantiasis ニ對スル木村氏法ヲ行フ (第 270 頁)。

VI. Geschwülste der Lymphgefäße. 淋巴管ノ腫瘍

Lymphgefäss-Kapillaren ヨリ屢々 Lymphangiom (淋巴管腫), Lymphangioendothelioma (淋巴管内被細胞腫) ヲ發生スルコトアレドモ, Lymphstamm ニハ殆ド Geschwulst ヲ發生セズ。

X. Abschnitt.

Lymphdrüsen=Chirurgie.

淋巴腺外科

I. Lymphadenitis purulenta acuta 急性化膿性

淋巴腺炎 *Acute suppurative lymphadenitis.*

Aetiologie: Eiterkokken ノ Lymphdrüse 内ニ侵入セルニヨリテ起ルモノニシテ, infizierte Wunde, 其他種々ノ citrige Krankheiten ニ續發スルコト多シ。(Haut ノ kleiner Riss, kleine Erosion, kleine Ekzema ヨリ B. ガ侵入セル場合ニハ, 其 Primärherd ヲ見逃スコトアリ。或ハ既ニ Primärherd ハ heilen シテ Lymphadenitis ノミ明カナルコトアリ。

Eitererreger ハ Staphylokokken 最モ多ク, Streptokokken 之ニ次グ。其他 B. coli communis, B. pyocyaneus, Typhus B., Pneumokokken 等種々ノ B. ニヨル。又 Inguinaldrüse ノ Entzündung (Bubo 横痃) ハ Tripper, weicher Schanker ニヨリテ起ルコト多シ。

Lokalisation: B. ノ Eingangspforte ニヨリテ異ル, 例ヘバ

- i). Halsdrüse—Gesicht, Kopf 等
- ii). Achseldrüse—Mamma, obere Extremität
- iii). Femoraldrüse—untere Extremität,
- iv). Inguinaldrüse—äussere Genitalien

等ニヨル。selten ニハ retrograde Metastase (逆行性轉移) ヲナスコトアリ。(之ハ Halsdrüse, Femoraldrüse ニ認メラルルコトアリ)。

Symptome: Lymphadenitis acuta ハ時トシテ Lymphangitis acuta ニ竝發スルモ, 屢々 Drüse ノミ侵サル。

a). **Lokale Symptome:** i). 時トシテ單一ノ Drüse ガ侵サルルコトアルモ, 多クハ einige—mehrere Drüse ガ侵サル。併シ Tuberkulose ノ如ク

ニ多數ノ Drüsen ノ侵サルルコトナシ。

ii). 本症ハ Lymphdrüse ニ急ニ Schmerz ヲ起シテ速ニ anschwellen シ, Oberfläche ニ Rötung, Hitze ヲ來ス (tief ナル時ハ Oberfläche ニ Rötung, Hitze ヲ來スコト遅シ)。Schmerz ノ爲メ該部ノ Bewegung 不自由トナル。

iii). Konsistenz ハ初メハ infiltrativ derb (滲潤性靱) ナルガ, 初期ニ於テ適當ナル處置ヲ行ヘバ Eiterung ニ至ラズシテ, 其儘 resorbieren セラルルモ, 多クハ次第ニ erweichen シテ eitern シ, Konsistenz 次第ニ weich トナリテ Fluktuation ヲ示スニ至リ, 遂ニハ Eiter ガ durchschimmern (透見) シテ自潰スルニ至ル。

iv). 數多ノ Lymphdrüse ガ侵サレタル場合ニハ Eiterung ハ初メ個々ノ Lymphdrüse 内ニ局限シ居レドモ, 増大スルニ從ツテ互ニ konfluieren (融合) シテ大ナル Abszess ヲ形成スルニ至ル。

v). 本症ハ容易ニ Periadenitis (淋巴周圍炎) ヲ起シテ, 周圍ニ Phlegmone ヲ生ジ, 或ハ Umgebung ト Verwachsung ヲ來ス。

b). **Allgemeine Symptome:** Körpertemperatur steigern シ, 種々ノ Fiebersymptome ヲ伴フ。併シ Eiter ガ entleeren セラルレバ Temperatur 下降ス。

Diagnose: 多クハ leicht ナリ。毎常 Primärherd ノ所在ヲ探索スベシ。**Phlegmone** ト鑑別ヲ要スルモ, Lokalisation, schmerzhaft ノ Knoten ノ有無等ニヨリテ區別セラル。又 **Drüsenpest** トモ區別スベシ (次頁參照)。

Prognose: 多クハ günstig. selten ニ allgemeine Infektion ヲ起シテ gefährlich ナルコトアリ。

Therapie: i). 初期ニハ kalter Umschlag ヲ行フ。又 Ichthyolglycerin, T. jodi ノ塗布モ行ハル。

ii). 數日ヲ經ルモ Resorption ノ見込ナキ時ハ warmer Umschlag ヲナス。蓋シ之ニヨリテ Resorption ヲ促スカ或ハ反對ニ Eiterung ヲ促ス。Röntgentherapie モ同様ノ關係ニテ wirksam ナリ。

iii). Inzision ハ充分ニ eitern シタル後ニ行フヲ可トス。

iv). Eiterung 充分ナラザル時ニ Inzision ヲ行フ時ハ Fistel ヲ遺シテ heilen シ難キコトアリ。此ノ如キ場合ニハ寧ロ Lymphdrüse ノ Exstirpation ヲ可トス。

v). Eiterung 充分ニテ Abszess ヲ bilden シ居ル時ハ Punktion ニヨリテ Inhalt ヲ漏ラシ, 10% Jodoformglycerin, 1% Rivanol, Yatren 等ノ注入ヲ行フ時ハ, 比較的簡單ニ heilen セシムルコトアリ。或ハ小切開ヲナシテ Saugtherapie ヲ行フ。

vi). 其他本症ノ Primärherd アレバ, 之ニ對スル處置ヲ行フコト亦必要ナリ。

II. Drüsenpest 腺ベスト Bubonic plague.

Pest ニハ Lungenpest ト Drüsenpest ノ別アリ。本症ハ重篤ナル allgemeine Infektion ヲ起ス Krankheit ニシテ, 先ヅ Ratte ニ流行シ, 之ヨリ人體ニ傳染スルニ至ル。

Aetiologie: Drüsenpest ハ種々ノ機會ニヨリテ (患者トノ接觸, 排泄物又ハ病菌附着セル物品等ノ接觸) Haut, 時トシテハ Schleimhaut ノ小創ヨリ Pest-B. ガ侵入シ, Lymphdrüse ニ至リテ akute Entzündung ヲ起ス。

Lokalisation: Femoraldrüse (股腺) 又ハ Achseldrüse (腋窩腺) ニ初發スルコト多シ (之レ B. ハ手又ハ足ノ kleine Wunde ヲヨリ infizieren スルコト多キヲ以テナリ)。其他 sekundär ニ Inguinaldrüse, Submaxillardrüse, Halsdrüse 等ヲ侵ス。而シテ Eingangspforte ニハ何等ノ變化ナキヲ常トス。

Symptome: Inkubationszeit. 2—7 Tage.

Prodromalsymptome. Mattigkeit, Kopfschmerz, Schwindel, Gliederschmerz, Nausea, Erbrechen 等アリ。時トシテハ是等ノ Symptome 不明ノコトモアリ。

本症ハ先ヅ allgemeine Symptome ヲ以テ始マリ, 1—2 日ニシテ lokale Symptome ヲ呈ス。

a). **Allgemeine Symptome:** Frösteln—Schüttelfrost: ニ次テ 39—40°ノ高熱ヲ發シ, 種々ノ Fiebersymptome (Mattigkeit, Kopfschmerz, Schwindel,

Nausea, Erbrechen 等) ヲ伴ヒ schläfrig (嗜眠性) トナリ又ハ Schlaflosigkeit ヲ來ス。

Schwer ナル時ハ Koma (昏睡) 或ハ Delirien (譫語) ヲ發シ, 或ハ tonischer Krampf (間代性痙攣) ヲ來ス。

Puls 及 Atmung ハ frequent トナリ, Zungenbelag (舌苔) アリ。

Fiebertypus ハ unregelmässig ナルガ, 發病後, 第1日ニ最高ニ達シ 2—3 日目ニ少シク下降シ, leicht ナルハ其儘次第ニ下熱スルモ, 多クハ再ビ上昇シ, 5—7 日ニシテ次第ニ entfiebern ス。

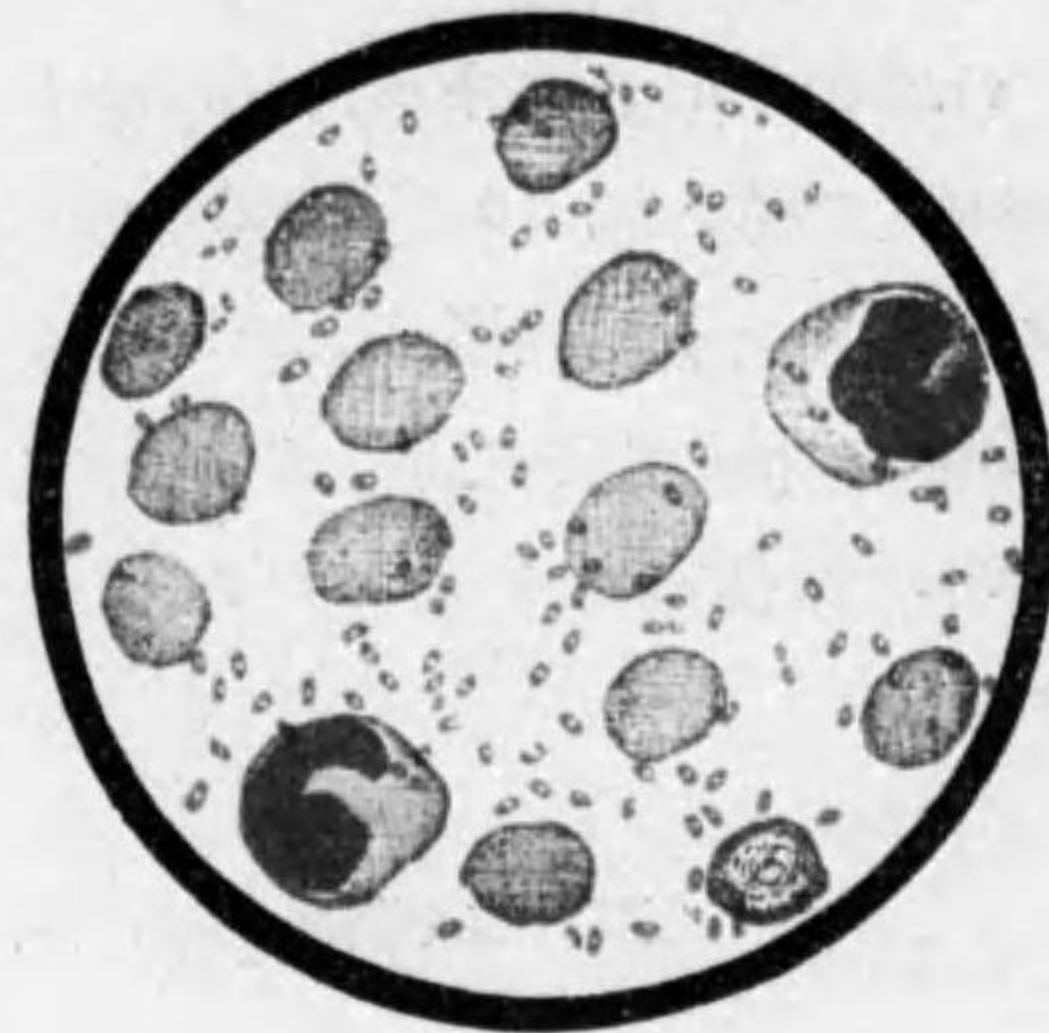
b). **Lokale Symptome:** 發病後 1—2 日ニシテ typisch ノ Drüsenanschwellung ヲ來ス。

Drüse ノ Anschwellung ハ甚ダ akut ニシテ, Lymphdrüse 内ニハ Leukozyten ノ高度ノ Infiltration アルノミナラズ屢々 **Blutung** ヲ伴ヒ, Entzündung ハ Drüse 内ノミナラズ, Periadentitis (淋巴周圍炎) モ高度ナリ。該部ニハ Anschwellung, Schmerz, Rötung, Hitze 顯著ニシテ, 多少ノ Funktionsstörung ヲ伴フ。Anschwellung ノ Grad ハ種々ニシテ, 甚シキハ faustgross 或ハ夫レ以上トナルコトアリ。Konsistenz ハ初メハ gespannt derb (緊張性韌) ナルモ後ニハ erweichen ス。

Leicht ナルハ akute Symptome 次第ニ erleichtern シ, 無痛性ノ Induration ヲ殘スニ至ルモ, 多クノ場合ニハ次第ニ erweichen シ, 2 Wochen 内外ニシテ Eiterung ニ陥リ, 自潰排膿スルカ或ハ其經過ヲ取ルニ至ラズシテ sterben ス。

Komplikation: 最も恐ルベキハ allgemeine Infektion ナリ。此際ニハ allgemeine Symptome 一層著シク, 身體ノ各所ニ kleine Abszesse ヲ作り,

第 二 百 二 十 六 圖



ベ ス ト 菌

又ハ Ekchymose (溢血斑) ヲ生ジ, Koma, Delirien 著明トナル。其他 Darm ヲ侵シテ Diarrhoe ヲ起シ, 或ハ Milz, Leber ノ Anschwellung, Herzdilatation, Albuminurie 等アリ。時トシテハ Lungenpest ヲ kombinieren ス。

Verlauf u. Prognose: Drüsenpest ハ Lungenpest ニ比シテ稍々輕キモ, Verlauf 一般ニ akut ニシテ 3—10 日ニテ sterben スルコト多シ。其ノ Mortalität ハ 70—80% ナリ。

Diagnose: Pest 流行時ニ於テハ Diagnose 比較的 leicht ナルモ, 其初發時ニハ Diagnose ヲ誤ルコトアリ。併シ特別ノ Ursache ナクシテ, Femoraldrüse 又ハ Achseldrüse ニ akut ニ heftig ノ Entzündung ヲ起シ, 且ツ allgemeine Symptome schwer ナル時ハ, 先ヅ疑ヲ Pest ニ置カザルベカラズ。併シ sicher ノ Diagnose ハ Drüse ノ Punktion ヲ行ヒ, 或ハ Blut 中ニ Pest-B. ヲ證明スルニアリ。疑ハシキ場合ニハ直チニ其筋ニ屈出ヅベシ。

Dolente Bubo (有痛性横痃) ハ時トシテ Drüsenpest ト誤ラルルコトアリ。併シ Pest ハ Femoraldrüse ニ初發シテ Inguinaldrüse ニ初發セズ。其他 Primärherd, allgemeine Symptome ヲ参照スベシ。

Therapie: Allgemeine Therapie ハ内科書ヲ参照スベシ。

Drüse 自個ニ對シテハ初期ニハ antiphlogistische Behandlung (消炎法) ヲ行ヒ, Eiterung sicher ナレバ Inzision ヲ行フ。Operation ニ際シテハ Eiter ハ勿論 Blut モ甚 gefährlich ナルヲ以テ, Operation ニ使用シタル材料ハ全部之ヲ一ツノ容器ニ入レタル儘焼却スルヲ可トス。

III. Lymphadenitis chronica simplex 單純性慢性 淋巴腺炎 Simple chronic lymphadenitis.

Aetiologie: Kopf 及 Gesicht ノ Rhagaden (皰裂), Ekzema, Geschwür, Tonsillitis, Pharyngitis chronica, Zahnkaries 等ニ續發スルモノニシテ, 屢々 10 歳以下ノ小兒ノ Submaxillardrüse ニ於テ認メラル, 之レ小兒ニ於テハ前記ノ Krankheiten ニ罹リ易キヲ以テナリ。

其他 Cubitaldrüse (肘腺), Femoraldrüse (股腺) ニモ之ヲ認ムルコトアリ。

Pathologie: 前記疾患ニヨリテ Virulenz ノ弱キ B. 又ハ toxischer Substanz ガ吸収セラレテ, 局所ノ Lymphdrüse ヲ reizen シタル爲ニ chronisch ノ Entzündung ヲ起シテ, Drüse ノ Anschwellung ヲ來ス。此際 histologisch ニハ Lymphocyten (淋巴球) 及 Zwischenbindegewebe (間質結締織) ノ増殖ヲ認ム。而シテ Bindegewebe ノ多少ニヨリテ a). **Harte Form** (硬性) ト b). **Weiche Form** (軟性) トヲ分ツコトアリ。

Symptome: i). 1 個或ハ 2-3 個ノ Lymphdrüse ガ chronisch ニ anschwellen ス。

ii). Grösse ハ erbsengross—kleinfingerspitzgross ナルモノ多ク, daumenspitzgross ヨリ大トナルコトナシ。 iii). Form ハ oval, platt rundlich ナルモノ多シ。 iv). Konsistenz ハ derb 或ハ etwas derb ニシテ, v). 決シテ eitern スルコトナク, vi). 又 Umgebung ト verwachsen セズ。 vii). 初期ニ於テハ稍々 weich ニシテ, viii). 少シク壓痛ヲ有スルコトアルモ, 多クハ Druckschmerz ヲ有セズ。

Prognose: 一程度ノ大サ以上ニ増大スルコトナク, Ursache 去レバ多クハ自然ニ縮小ス。又小兒ノ成長スルニ從ヒ, 又強壯トナルニ從ツテ次第ニ heilen スルヲ常トス。

Diagnose: **Lymphadenitis tuberculosa** ノ Beginn ト differenzieren スルヲ要ス。併シ本症ハ Tuberkulose ニ比シテ初期ヨリ derb ニシテ, Primärherd ノ有無及強壯療法ニヨリテ比較的速ニ heilen スルコトニヨリテ區別セラル。併シ此ノ初期ノモノトハ區別困難ナルコトアリ。

Skrofulöses Lymphom トノ鑑別ハ次頁參照。

Therapie: 特別ノ Therapie ヲ要セザルコト多シ。

Primäre Krankheit アレバ先ヅ之ガ Behandlung ヲ行フ。

其他一般ノ強壯療法, Kaliseife ノ塗擦, anaemisch ノ小兒ニハ Jodeisensyrup (沃鐵舍利別), Leberthran (肝油) 等ヲ用フ。

IV. Skrofulöses Lymphom 腺病性淋巴腺腫

Skrofulous lymphoma.

Aetiologie: Skrofulös ノ Kind ニ於テハ, Lymphdrüse empfindlich ナルヲ以テ, leicht ノ Reiz ニヨリテモ容易ニ anschwellen ス。

Anschwellen セル Drüse ハ Lymphadenitis simplex ノ如クニ Submaxillardrüse ノミナラズ, 屢々 Seitenhalsdrüse ガ anschwellen シ, 其他 Femoraldrüse, Inguinaldrüse, Achseldrüse 等モ anschwellen ス。

Pathologie: 本症ニ於テハ Lymphdrüse ノ Follikelzellen ノ Wucherung 主ニシテ, Bindegewebe ノ Wucherung 前者ノ如ク deutlich ニアラズ。

Symptome: i). Zahl mehrere 乃至 multipel ニシテ, 各 isolieren シテ verwachsen セズ。

ii). Grösse erbsengross 内外ニシテ大トナラズ。 iii). Konsistenz weich 又ハ etwas derb。 iv). Form platt rundlich 又ハ olipsoid ニシテ, 瓜ノ種子ニ似タルモノ多シ。

v). 決シテ eitern セズ, vi). Druckschmerz ナシ。 vii). Verwachsung ナシ。 viii). 小兒ガ成長スルニ從ヒ, 又ハ gesund トナルニ從ツテ, 次第ニ resorbieren セラレテ治スルコト多シ。

ix). 併シ時トシテハ Lymphadenitis tuberculosa ヲ續發ス。

Diagnose: **Lymphadenitis chronica simplex** ト誤ラレ易キモノナレドモ, 之ハ Submaxillardrüse ノミナラズ, 他ノ部分ニモ生ジ, Konsistenz etwas weich ナリ。併シ兩者ヲ scharf ニ區別シ難キコトモアリ。

Lymphadenitis tuberculosa ノ Beginn ト誤ラレ, 時トシテハ其何レニ屬スルカ區別困難ナルコトアリ。Grösse, Konsistenz, Zahl 等ニヨリテ區別セラル, 或ハ暫時 Verlauf ヲ beobachten スルヲ要ス。

Therapie: Lymphadenitis simplex ト同様ナリ。

V. Lymphadenitis tuberculosa od. Lymphdrüsen tuberkulose

結核性淋巴腺炎或淋巴腺結核 *Tuberculous lymphadenitis.*

Aetiologie: Tuberkel-B. が Lymphdrüse 内ニ侵入シタル爲ニ起ル、klinisch ニハ Halslymphdrüse ニ最モ多ク、Achseldrüse 之ニ次ギ、其他 Femoraldrüse, Inguinaldrüse 等之ニ次グ。Sektion ニ於テハ Peribronchialdrüse ニ最モ多ク、之ニ次グヲ Mesenterialdrüse トス。

Halsdrüse ノ Tuberkulose ハ Zahnkaries, Tonsillen, Pharynx 等ヨリ Tbc.-B. ノ侵入ニヨリ、即チ a) **primär** ニ發生スルコトアルモ、他ノ Lymphdrüse ノ Tuberkulose ハ多クハ b) **sekundär** ナリ(但シ Peribronchialdrüse 及 Mesenterialdrüse ノ Tuberkulose ハ屢々 primär ニ來ル)。

本症ハ各年齢ニ來レドモ特ニ 15—25 歳ニ最モ多ク、殊ニ Statur, Ernährung 等ノ不良ナルモノニ多ク、又 Tuberkulose ニ belasten セラレタル小兒ニ多シ。

Pathologie: i). Lymphdrüse 内ニ Tbc.-B. ノ侵入スルヤ、間モナク其

第 二 百 二 十 七 圖



結核性淋巴腺炎

第 二 百 二 十 八 圖



同 上 割 面

處ニ **Tuberkel** (結核結節) ヲ作ル。之ハ tuberkulöses Granulationsgewebe ヨリ成ル Knötchen ニシテ、histologisch ニハ Epitheloidzellen (類上皮細胞), Lymphozyten (淋巴球), *Langhanssche* Riesenzellen 等ヨリ成リ、Gefäss ニ乏シ。

ii). 此 Tuberkel ハ初メハ小ニシテ、Gewebe 中ニ散在スルモ、次第ニ増大シ互ニ融合シテ rötlich grauweisslich ノ **Granulationsgewebe** トシテ認メラル。

iii). Granulationsgewebe ハ günstig ノ場合ニハ、次第ニ dicht トナリテ vernarben シテ自然ニ heilen スルコトアリ (**Spontane Heilung** 自然治癒)。

iv). 併シ多クノ場合ニハ Granulationsgewebe ノ中ニ Tuberkulose ニ typisch ナル **Verkäsung** (乾酪變性) ヲ起シ、變性次第ニ増大シテ軟化シ、遂ニハ **tuberkulöser Abszess** (結核性膿瘍) ヲ作り、或ハ自潰シテ **tuberkulöse Fistel** (結核性瘻孔) ヲ遺ス。

v). 之ニ反シ僥倖ナル場合ニハ一旦 Verkäsung ニ陥ルモ、次第ニ dicht トナリテ schrumpfen シ、**Verkalkung** (石灰沈着) ヲ來シ、遂ニハ heilen スルコトアリ。

vi). Lymphdrüse ノ Tuberkulose ハ Granulationsgewebe ノ多少、Verkäsung ノ多少及新舊、Verkalkung ノ有無及多少等ニヨリテ種々ノ **Konsistenz** ヲ有シ、又屢々種々ノ Stadium ノモノヲ見ルヲ特異トス。

vii). Lymphdrüsentuberkulose ノ新ラシキモノ及ビ Vernarbung ニヨリテ heilen シタルモノハ Umgebung ト Verwachsung ナキモ、多クノモノハ **Perilymphadenitis** (淋巴腺周圍炎) ヲ起シ、Drüse 相互ニ或ハ Umgebung ト verwachsen スルヲ常トス。併シ多數ノ Lymphdrüsen ガ anschwellen シ、其 Wachstum rasch ナル時ハ Verwachsung 著明ナラザルコトアリ。

Symptome: Lymphdrüsentuberkulose ハ klinisch ニモ種々ノ状態ヲ呈ス、而シテ之ヲ gutartig ト böartig トニ大別スルヲ便宜トス。併シ時トシテハ兩者ノ Uebergangsform (移行型) アリテ兩者ヲ確然區別シ難キコトモアリ。

a). **Gutartige Form:** 單發又ハ 2—3 個ノ Lymphdrüsen ガ ansch-

wellen シ, klein, derb ニシテ, Verwachsung ナキヲ常トシ Wachstum ganz langsam 又ハ成長停止シテ spontan ニ heilen スルコト多シ。

b). **Bösartige Form:** i). 初メハ少数ノ Lymphdrüse ノ Anschwellung アルモ, 次第ニ増加シ, 或ハ殆ド一時ニ多数ノ Lymphdrüse ガ anschwellen シ, 特ニ Hals ニ於テハ累々重積シ居ルコトアリ。

ii). 各 Lymphdrüse ノ **Grösse** ハ種々不同ニシテ, kleinfingerspitzgross—hühnereigross ナルモノ多ク, 或ハ數個ノ Lymphdrüse 互ニ癒合シテ大塊ヲナスコトアリ (**Drüsenpaket** od. **Konglomerata 腺塊**)。

第二百二十九圖

iii). 各 Lymphdrüse ハ相互ニ **verwachsen** スルコト多ク, 又 Unterlage (底部) 及 Haut トモ verwachsen シ易シ。

iv). **Konsistenz** 多クハ elastisch etwas weich 又ハ etwas derb ナルガ, Heilung ノ Tendenz (傾向) アルモノハ ganz derb, knorpelhart, 甚シキハ knochenhart ナリ。erweichen セルモノハ weich トナリ, 遂ニハ Fluktuation ヲ呈スルニ至ル。多数



頸腺結核

ノ Lymphdrüsenanschwellung アル場合ニハ以上種々ノ Konsistenz ヲ有スルモノアルコト typisch ナリ。

v). 多クノ場合ニハ Haut ハ normal ナルガ erweichen シテ Abszess ヲ bilden シタル場合ニハ, Haut ニ Vortreibung 著明ニシテ, 該部 rötlich トナリ, 遂ニハ自潰シテ Tuberkulose ニ typisch ナル weisslich gelb ノ dünner Eiter (多クハ其中ニ verkäste Flocken 乾酪様絮片ヲ混ズ) ヲ entleeren シ, Fistel ヲ殘シテ永ク heilen セズ。後ニハ該部ニ Skrofuloderma ヲ生ズルコトアリ。

vi). 本症ニハ Schmerz ナキヲ常トスルモ, 大ナル Drüse ニシテ Erweichung アル時ハ多少ノ Schmerz ヲ發スルコトアリ。

發生				
數				
大				
硬				
軟化及				
瘻				
疹				
成長縮				
發生				
榮				
發				
補助檢				
備				

	Lymphadenitis chronica simplex 單純慢性淋巴腺炎	Skrofulöses Lymphom 腺病性淋巴腺腫	Lymphadenitis tuberculosa 結核性淋巴腺炎		Lymphadenitis syphilitica 梅毒性淋巴腺炎			Malignes Lymphogranulom 惡性淋巴肉芽腫	Pseudoleukaemisches Lymphom. 假性白血病性淋巴腺腫	Leukaemisches Lymphom 白血病性淋巴腺腫
			良 性	惡 性	第 一 期	第 二 期	第 三 期			
發 生 部 位	頤下・頸下腺・肘腺・股腺、時 トシテハ他部ニモ生ズ	側頸部=多ク、其他ノ淋 巴腺ニモ來ル	頸部特=頤下部・側頸部=多シ其他各所=生ズ		鼠蹊部(瘰癧) 甚々稀=頤下・頤下・肘 腺等	肘腺・側頸腺	頸腺其他	頸腺全部、後ニハ全身淋 巴腺、内臟器	同 左	同 左
數	單發或ハ二三	二三個乃至數個	單發或ハ二三	多 發	二三或ハ數個	單發或ハ數個	單發或ハ二三	多 發	同 左	同 左
大 さ	豌豆大 - 拇指頭大	同 左	同 左	小豆 - 拇指頭大 - 鷓卵大	拇指頭大 - 鷓卵大	豌豆大 - 拇指頭大	胡桃大以下	拇指 - 鷓卵大	同 左	同 左
硬 度	硬 - 靱靱	同 左	硬靱 - 硬 - 軟骨樣	硬靱 - 靱 - 軟 - 波動等 種々	靱軟 - 靱	靱 - 靱軟	彈力性軟 - 硬或軟化	軟 - 靱	軟	同 左
軟化及自潰	(-)	(-)	(-)	屢(+)或ハ(-)	(-)	(-)	時トシテハ(+)或ハ(-)	(-)	同 左	同 左
癒 着	(-)	(-)	(-)	(+)稀=(-)	(+)或ハ(-)	(-)	時トシテハ(+)或ハ(-)	(-)	同 左	同 左
疼 痛	時トシテ初期=有。末期= ハ(-)	(-)	(-)	(-)時トシテハ(+)	(-)	(-)	(-)	(-)	同 左	同 左
成 長 及 自 然 縮 小	緩慢或ハ縮小	同 左	緩慢或ハ縮小・停止	緩或ハ速	初メハ稍々速、後縮小	縮 小	緩或ハ縮小	速(縮小セズ)	同 左	同 左
發 生 年 齡	幼年者	同 左	幼年 - 壯年者其他	同 左	壯年後	同 左	同 左	幼年 - 壯年者	同 左	同 左
榮 養	不真ナルコト多シ	同 左	比較的強壯ナル人=多 シ	同 左	不 定	不 定	不 定	不真ナルコト多シ(±)	同 左	同 左
發 熱	(-)	(-)	(-)	(-)時トシテ(+)	(-)	(±)	(-)	(-)	(-)	(-)
補 助 檢 査 法			ツベルクリン反應 組織的檢査	同 左	ワッセルマン氏反應 試驗的驅毒療法	同 左	同 左	組織的檢査	組織的檢査ニヨリテ前者 ト區別ス!	血液ニヨリ前者ト區別ス!
備 考		時トシテ淋巴腺結核ヲ起 スコトアリ	他部ノ結核(稀)	同 左 (屢)	硬性下疳	他部ノ黴毒症狀	他部ノ黴毒(屢々不明)	他部ノ本病症狀	同 左	同 左